
古河市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画

(令和3年度～令和5年度)

介護予防・日常生活圏域二一ズ調査 報告書



令和2年3月

古河市

目次

I	調査の概要	1
II	調査結果	3
	1. 回答の状況	4
	2. 回答者の属性	4
	3. 調査結果	8
	問1 あなたのご家族や生活状況について	8
	問2 からだを動かすことについて	15
	問3 食べることについて	29
	問4 毎日の生活について	46
	問5 地域での活動について	71
	問6 たすけあいについて	77
	問7 健康について	89
	問8 認知症にかかる相談窓口の把握について	99
	問9 生活支援について	101
	問10 見守りについて	107
	問11 成年後見制度について	109
	問12 相談サービスについて	111
	問13 人生の最期を迎える場所について	112
III	アンケート調査結果のまとめ	115
IV	参考資料（調査票）	119

1. 調査の目的

古河市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画策定のため、地域の課題や高齢者のニーズを的確に把握し、その調査結果を基礎資料とすることを目的に、本調査を実施するものである。

2. 設問の構成

- ・問1：あなたのご家族や生活状況について
- ・問2：からだを動かすことについて
- ・問3：食べることについて
- ・問4：毎日の生活について
- ・問5：地域での活動について
- ・問6：たすけあいについて
- ・問7：健康について
- ・問8：認知症にかかる相談窓口の把握について
- ・問9：生活支援について
- ・問10：見守りにについて
- ・問11：成年後見制度について
- ・問12：相談サービスについて
- ・問13：人生の最期を迎える場所について

3. 調査の概要

(1) 対象者

・第1号被保険者の介護未利用者	3,600人（無作為抽出）
・第1号被保険者の要支援者	400人（無作為抽出）
・合計	4,000人

(2) 調査方法

郵送による配布・回収

(3) 調査年月

令和2年1月中旬から令和2年1月下旬

4. 回収結果

・第1号被保険者の介護未利用者	2,214人（無作為抽出）
・第1号被保険者の要支援者	238人（無作為抽出）
・不明	89人
・合計	2,541人

5. データの集計等

- ・各設問に、以下により回答形式記号を付した。

【SA】単数回答(1つのみ回答)

【MA】複数回答(当てはまるもの全てに回答)

- ・各回答における割合は、以下のように算出している。

- 単純集計：各回答票数を、「不明・無回答」を含む回答総数で除して算出

- クロス集計：各回答票数を、回答属性別の「不明・無回答」を含む回答総数で除して算出

- ・%は小数点第2位を四捨五入している関係で、単数回答で足して100%にならない場合がある。

- ・複数回答形式の設問においては、割合の合計が100%を超える場合がある。

6. 標準偏差について

- ・調査結果の標準誤差の計算は、総務省統計局の標本誤差算式を参考に次の式で算出した。

$$\text{標本誤差率} = \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}} \times \pm 2 \times 100\%$$

N	=母集団(調査対象となる高齢者数)
n	=サンプルの大きさ(有効回収数)
P	=回収率(通常は0.5を用いる)
±2	=標準化補正值

■標本誤差率

N	n	P	標本誤差率
4000	4000	0.5	0.00%
4000	3000	0.5	0.91%
4000	2700	0.5	1.10%
4000	2541	0.5	1.12%
4000	2500	0.5	1.22%
4000	2400	0.5	1.29%
4000	2000	0.5	1.58%
4000	1500	0.5	2.04%

- ・許容できる標本誤差率の範囲は3%程度の範囲と言われているが、健康や生命に関する調査、初めて実施する調査等では、できるだけ2%に近づくよう配慮する必要があると言われている。したがって、上記表より1,500件以上の回収数を確保する必要がある。
- ・今回の調査の有効回答数は2,541件で、標本誤差率は1.12%となり、回収としては十分であると言える。

7. 圏域について

- ・古河市の日常生活圏域については、中学校区を基本に、以下の4ブロックとしている。

日常生活圏域	中学校区	備考(地区)
第1地区	古河第一中学校区、古河第三中学校区	古河地区
第2地区	古河第二中学校区	古河地区
第3地区	総和中学校区、総和北中学校区、総和南中学校区	総和地区
第4地区	三和中学校区、三和北中学校区、三和東中学校区	三和地区

8. 2次集計

- ・すべての設問について、単純集計と必要なクロス集計を行っているが、これに加え以下の①～⑥について2次集計を行った。

- | | | |
|-----------|----------|--------|
| ①運動器の機能低下 | ②口腔機能低下 | ③低栄養状態 |
| ④認知機能の低下 | ⑤IADLの評価 | ⑥うつ傾向 |

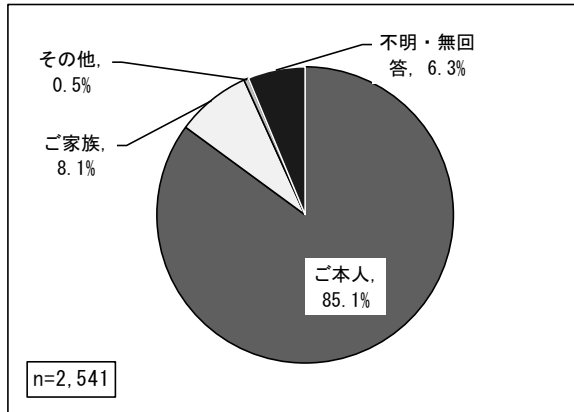
Ⅱ 調査結果

1. 回答の状況

問1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 調査票を記入されたのはどなたですか (SA)

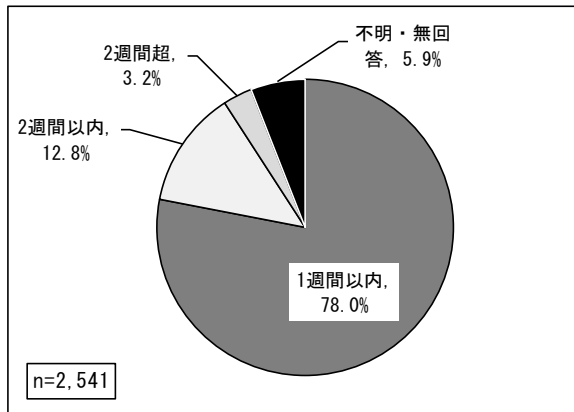
・「ご本人」が85.1%と最も多く、「ご家族」が8.1%、「その他」が0.5%となっている。



	人数	割合
ご本人	2,162	85.1%
ご家族	207	8.1%
その他	13	0.5%
不明・無回答	159	6.3%
合計	2,541	100.0%

(2) 記入日 (数値記入)

・調査票到着後、「1週間以内」の記入が78.0%、「2週間以内」が12.8%、「2週間超」が3.2%となっている。



	人数	割合
1週間以内	1,983	78.0%
2週間以内	326	12.8%
2週間超	81	3.2%
不明・無回答	151	5.9%
合計	2,541	100.0%

※調査票到着日

- ・調査票を令和2年1月14日発送したことから、到着日を令和2年1月15日とした。
- ・記入日と区分の対応は以下の通り。

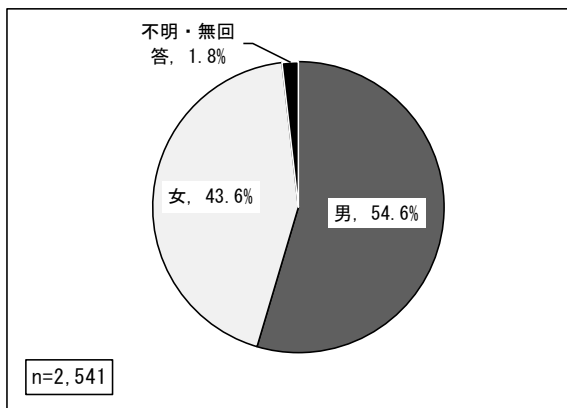
記入日	区分
1月15日～1月21日	1週間以内
1月22日～1月28日	2週間以内
1月29日～2月4日	2週間超
上記以外の日付、未記入	不明・無回答

2. 回答の属性

問1 あなたのご家族や生活状況について

(3) あなたの性別をお答えください (SA)

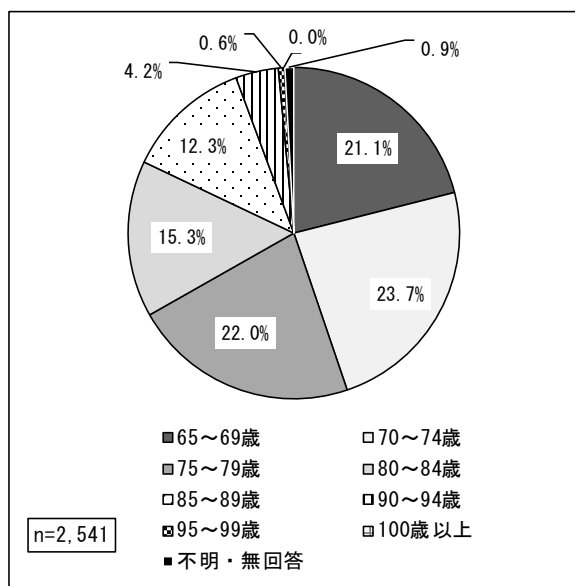
- ・回答者の性別は「男性」が54.6%に対し、「女性」が43.6%とやや男性の方が多い。



	人数	割合
男	1,387	54.6%
女	1,108	43.6%
不明・無回答	46	1.8%
合計	2,541	100.0%

(4) あなたの年齢をお答えください (SA)

- ・「70～74歳」が23.7%で最も多く、次いで「75～79歳」が22.0%、「65～69歳」が21.1%となっており、80歳未満が全体の7割近くを占めている。



	人数	割合
65～69歳	535	21.1%
70～74歳	603	23.7%
75～79歳	559	22.0%
80～84歳	388	15.3%
85～89歳	312	12.3%
90～94歳	106	4.2%
95～99歳	15	0.6%
100歳以上	1	0.0%
不明・無回答	22	0.9%
合計	2,541	100.0%

■性別・年齢別実数／割合

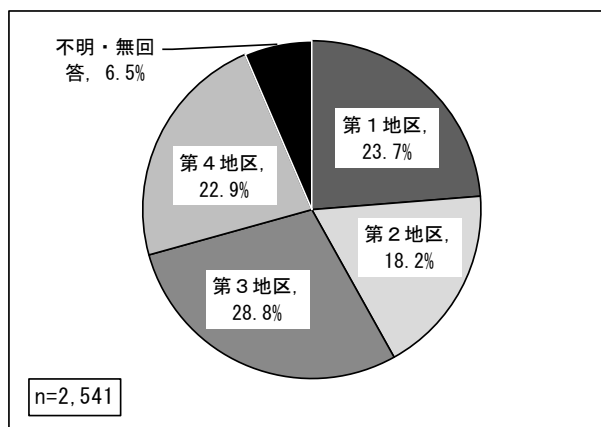
- ・男性では「70～74歳」(25.7%)、女性では「75～79歳」(22.3%)が最も多い。後期高齢者である75歳以上(「75～79歳」、「80～84歳」、「85～89歳」、「90～94歳」、「95～99歳」、「100歳以上」の合計)の割合は女性が男性より高い。

(単位：人)

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳以上	不明・無回答
男性 (n=1,387)	342 24.7%	356 25.7%	306 22.1%	187 13.5%	141 10.2%	45 3.2%	7 0.5%	1 0.1%	2 0.1%
女性 (n=1,108)	185 16.7%	240 21.7%	247 22.3%	193 17.4%	170 15.3%	60 5.4%	8 0.7%	0 0.0%	5 0.5%

(5) あなたのお住まいを、中学校区でお答えください (SA)

- ・圏域^(※)別では、第3地区(総和中・総和北中・総和南中)が28.8%と最も多く、次いで第1地区(古河第一中・古河第三中)が23.7%、第4地区(三和中・三和北中・三和東中)が22.9%、第2地区(古河第二中)が18.2%となっている。



	人数	割合
第1地区	603	23.7%
第2地区	462	18.2%
第3地区	731	28.8%
第4地区	581	22.9%
不明・無回答	164	6.5%
合計	2,541	100.0%

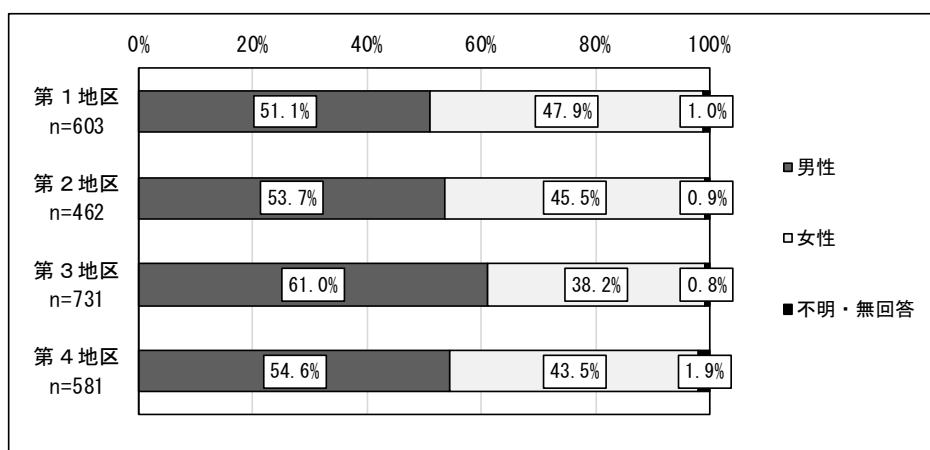
※圏域について

- ・圏域と中学校区の対応関係は下表の通りとなっている。
- ・上記圏域別の集計結果は下表の中学校区別の集計を再集計したものである。

中学校区	圏域	人数	割合
古河第一中	第1地区	427	16.8%
古河第二中	第2地区	462	18.2%
古河第三中	第1地区	176	6.9%
総和中	第3地区	288	11.3%
総和北中	第3地区	218	8.6%
総和南中	第3地区	225	8.9%
三和中	第4地区	253	10.0%
三和北中	第4地区	190	7.5%
三和東中	第4地区	138	5.4%
不明・無回答		164	6.5%
合計		2,541	100.0%

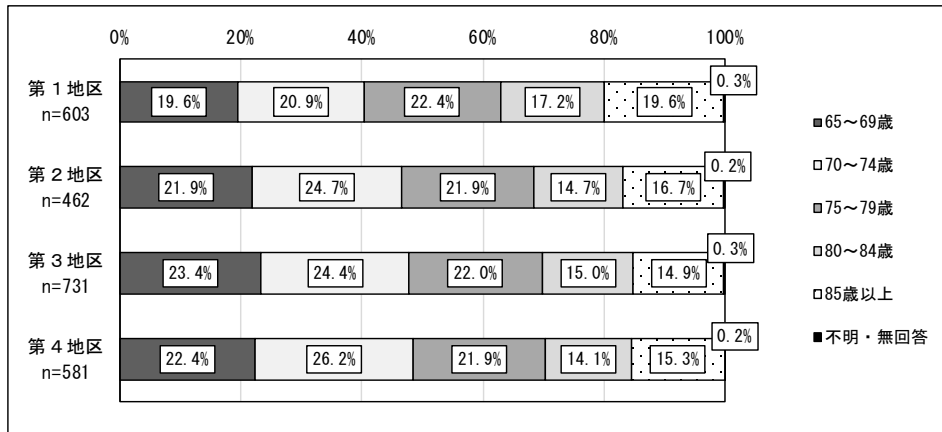
■圏域・性別割合

- ・圏域別での性別割合は、全ての地区において、男性の割合が高くなっている。



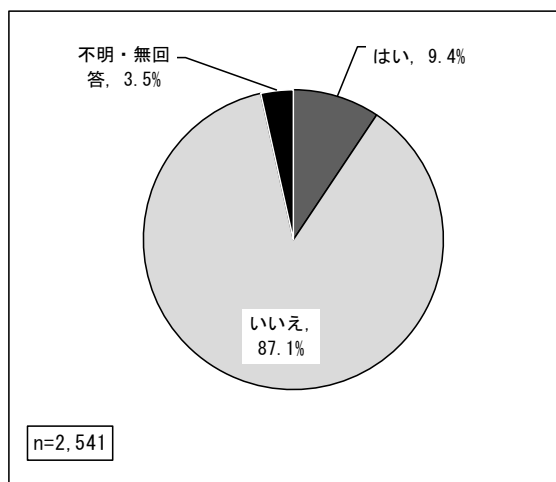
■ 圏域・年齢別割合

・年齢別割合は、全ての地区において、後期高齢者（75歳以上）の割合が第1地区（59.2%）、第2地区（53.3%）、第3地区（51.9%）、第4地区（51.3%）と5割を超えている。



(6) あなたは介護認定を受けていますか (SA)

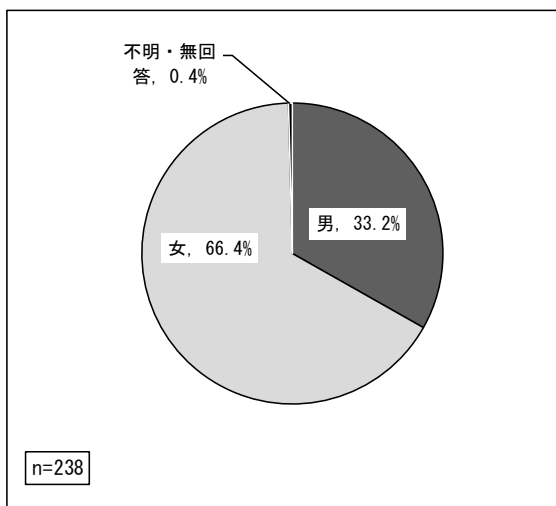
・認定者ではない(「いいえ」)が87.1%、認定者(「はい」)が9.4%となっている。



	人数	割合
はい	238	9.4%
いいえ	2,214	87.1%
不明・無回答	89	3.5%
合計	2,541	100.0%

■ 認定者の性別割合

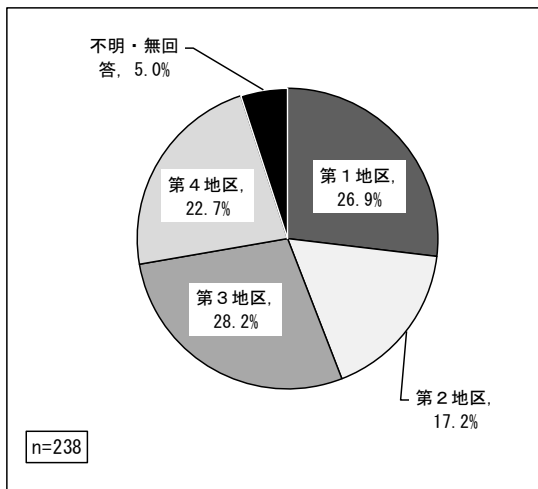
・認定者の性別は「女性」が66.4%と約3分の2を占め、「男性」は33.2%となっている。



	人数	割合
男	79	33.2%
女	158	66.4%
不明・無回答	1	0.4%
合計	238	100.0%

■認定者の圏域別割合

- ・認定者は第3地区が28.2%と最も多く、次いで第1地区が26.9%、第4地区が22.7%、第2地区が17.2%となっている。

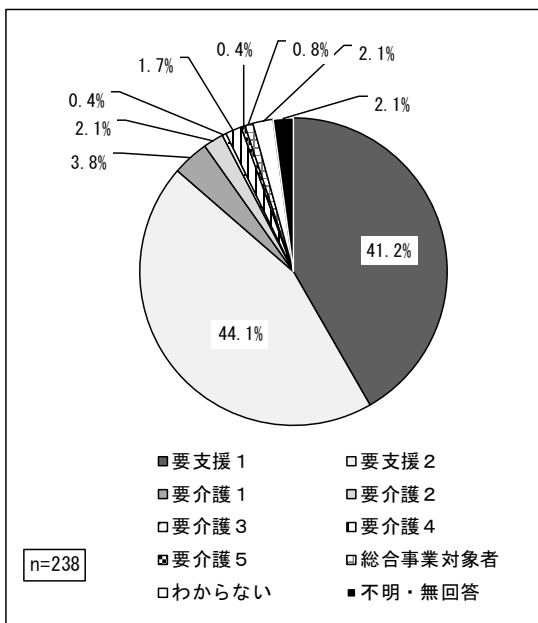


	人数	割合
第1地区	64	26.9%
第2地区	41	17.2%
第3地区	67	28.2%
第4地区	54	22.7%
不明・無回答	12	5.0%
合計	238	100.0%

【介護認定を受けている方のみ】

(6) —①あなたの介護度はどれですか (SA)

- ・認定者の介護度は「要支援2」が44.1%と最も多く、次いで「要支援1」が41.2%となっており、要支援者が約85%を占める。



	人数	割合
要支援1	98	41.2%
要支援2	105	44.1%
要介護1	9	3.8%
要介護2	5	2.1%
要介護3	1	0.4%
要介護4	4	1.7%
要介護5	1	0.4%
総合事業対象者	2	0.8%
わからない	5	2.1%
不明・無回答	5	2.1%
合計	238	100.0%

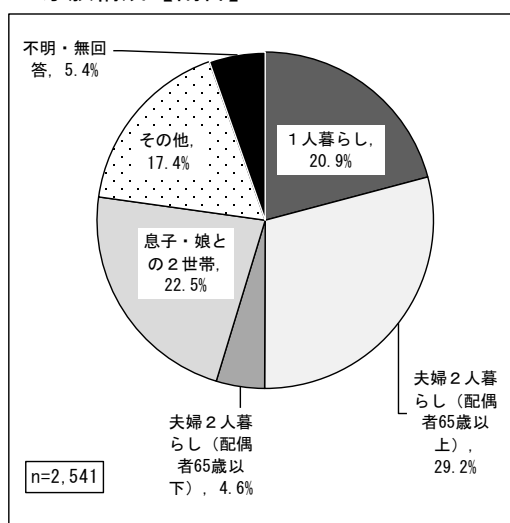
3. 調査結果

問1 あなたのご家族や生活状況について

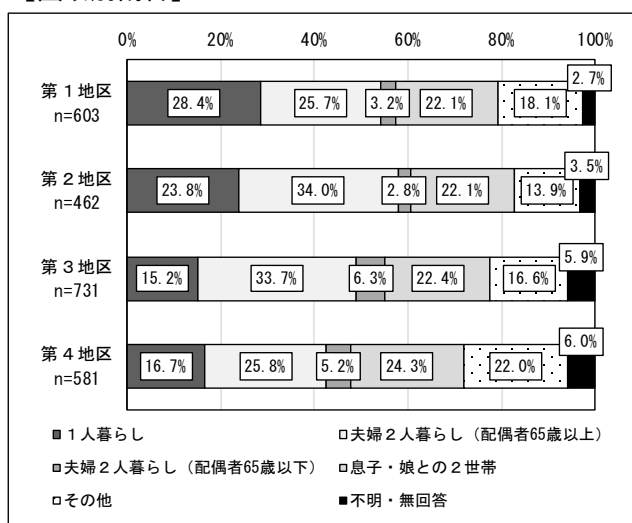
(7) 家族構成をお教えてください (SA)

- ・家族構成は「夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)」が29.2%と最も多く、次いで「息子・娘との2世帯」が22.5%、「1人暮らし」が20.9%の順になっている。
- ・圏域別では、第1地区、第2地区で「1人暮らし」の割合が2割を超え高くなっている。
- ・「1人暮らし」と回答した割合は、女性の方が高く、「65～69歳」(22.2%)を除き、約3割となっている。

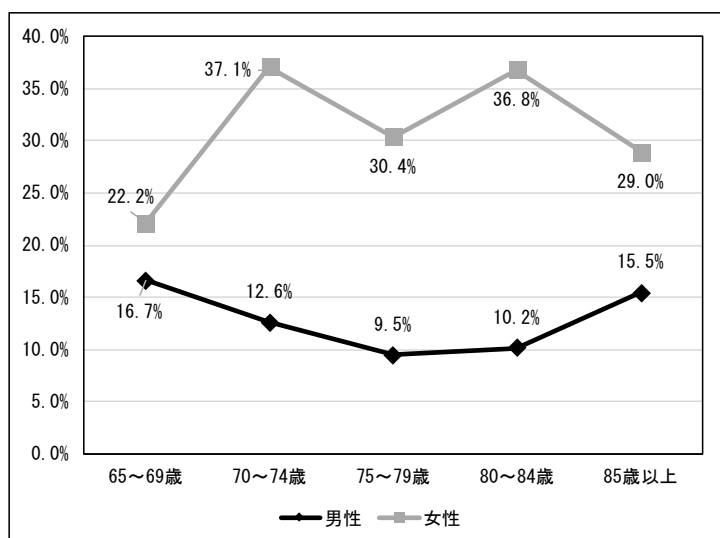
■ 家族構成【割合】



【圏域別割合】



■ 「一人暮らし」の人【年齢・性別割合】



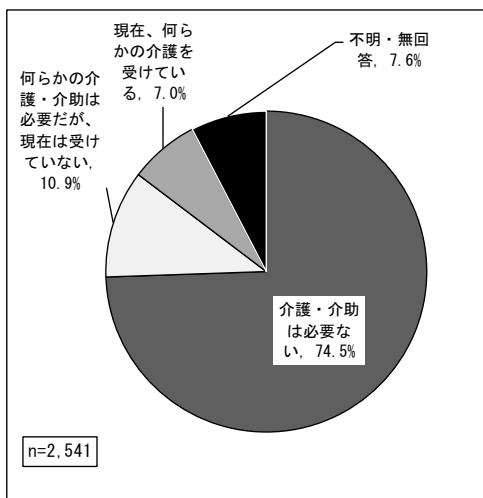
【実数】

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	57	45	29	19	30
女性	41	89	75	71	69

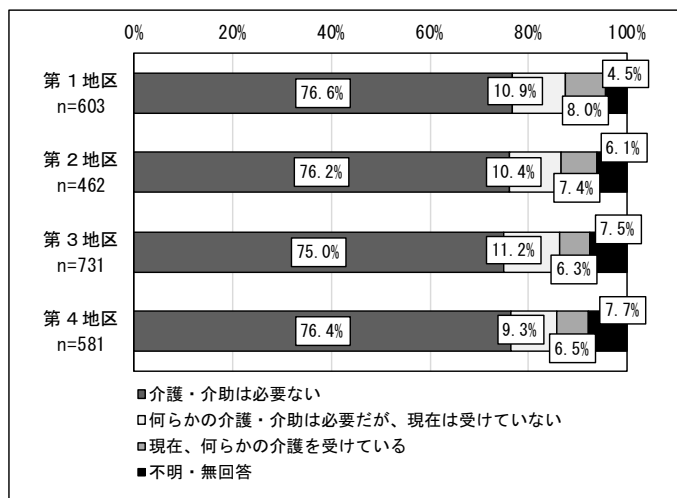
(8) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか (S A)

- ・介護及び介助の必要性に関して、「介護・介助は必要ない」が74.5%で最も多く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が10.9%となっており、介護・介助を受けていない人が8割を占める。
- ・圏域別では、第1地区において、「介護・介助は必要ない」の人の割合が76.6%と最も高い。一方、「現在、何らかの介護を受けている」においても第1地区が8.0%と最も高くなっている。
- ・介護・介助が必要である（「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」又は、「現在、何らかの介護を受けている」と回答した）人の割合は、女性の方が高い。また、その割合は男女ともに高齢なほど高く、特に80歳以上の女性では3割を超えている。

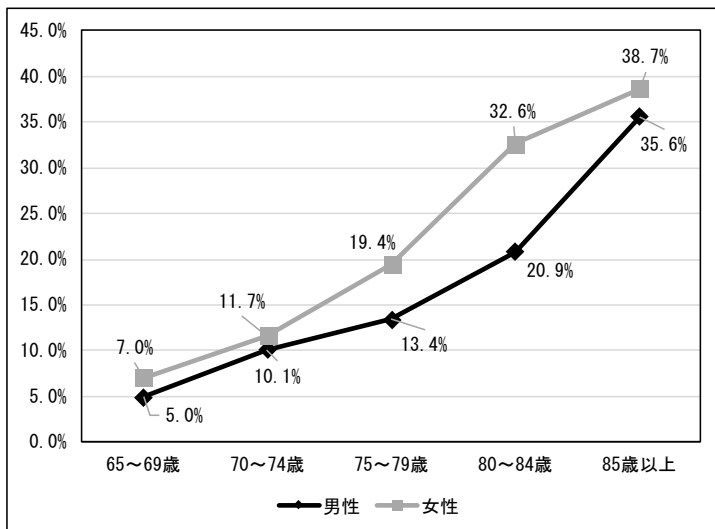
■ 介護・介助の必要性【割合】



【圏域別割合】



■ 介護・介助が必要な人※【年齢・性別割合】



※「何らかの介護は必要だが、現在は受けていない」又は、「現在、何らかの介護を受けている」と回答した人

【実数】

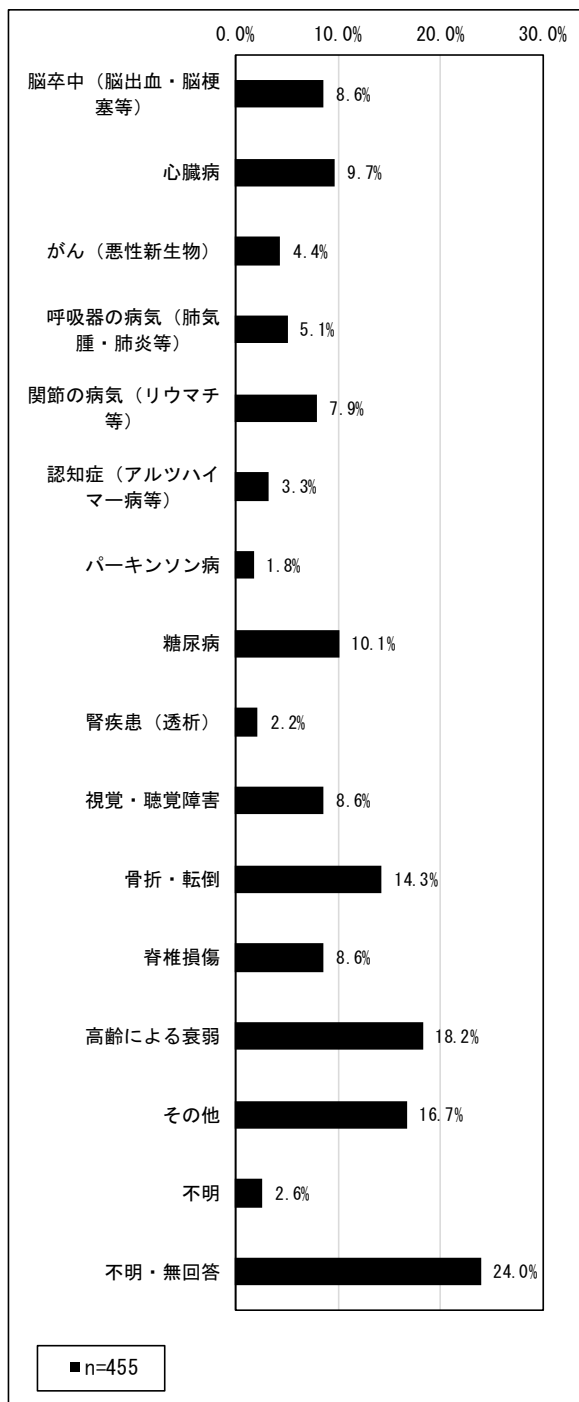
	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	17	36	41	39	69
女性	13	28	48	63	92

【「介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

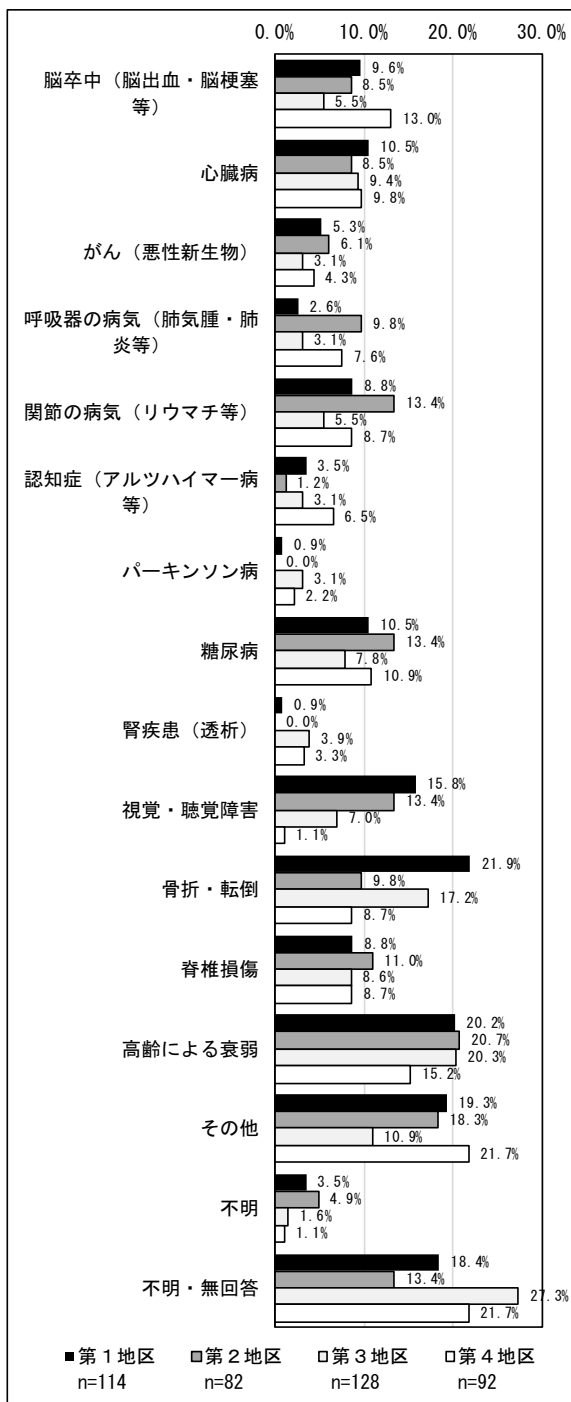
(8) -①介護・介助が必要になった原因はなんですか (MA)

- ・介護・介助が必要になった原因は、「高齢による衰弱」が18.2%と最も多く、次いで「骨折・転倒」(14.3%)、「糖尿病」(10.1%)、「心臓病」(9.7%)の順となっている。
- ・圏域別においては、第1地区において「骨折・転倒」と回答した割合が21.9%と最も高い。第3地区においても17.2%と高いが、第2地区と第4地区は10%未満と低く、地域で差が生じている。また、第2地区において、「糖尿病」「関節の病気(リウマチ等)」と回答した割合が高くなっている。

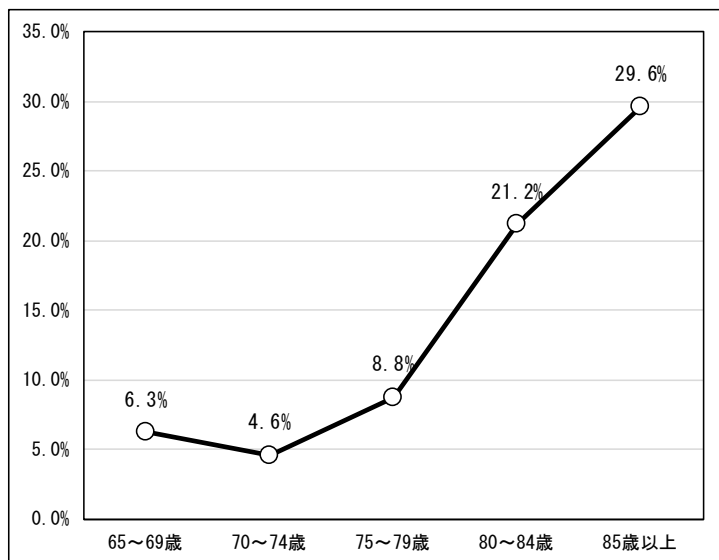
■介護者・介助者の属性【割合】



【圏域別割合】



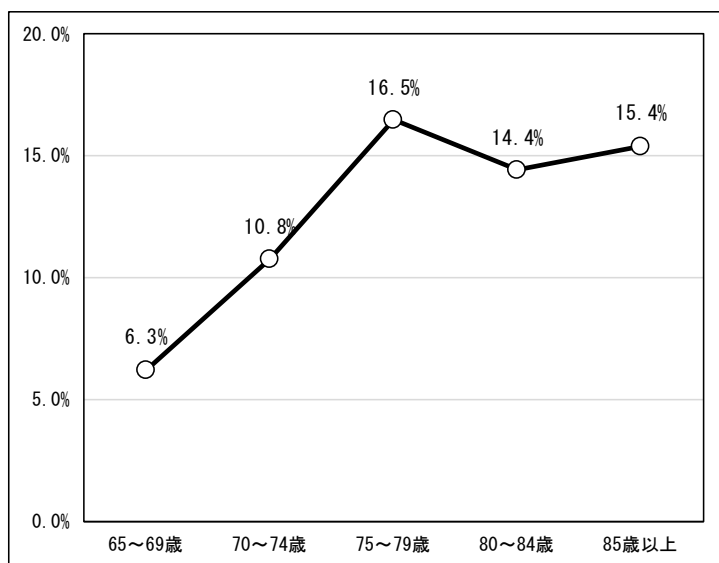
■ 「高齢による衰弱」【年齢別割合】



【実数】

65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
2	3	8	22	48

■ 「骨折・転倒」【年齢別割合】



【実数】

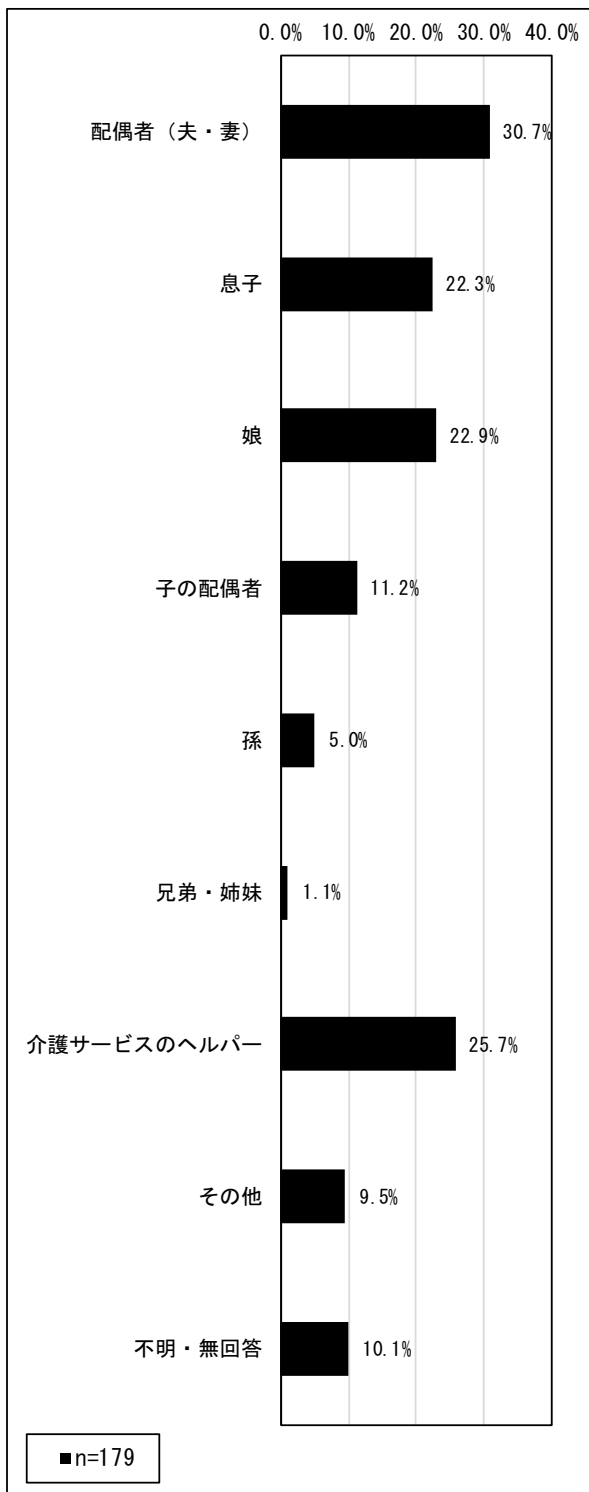
65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
2	7	15	15	25

【「現在、何らかの介護を受けている方」のみ】

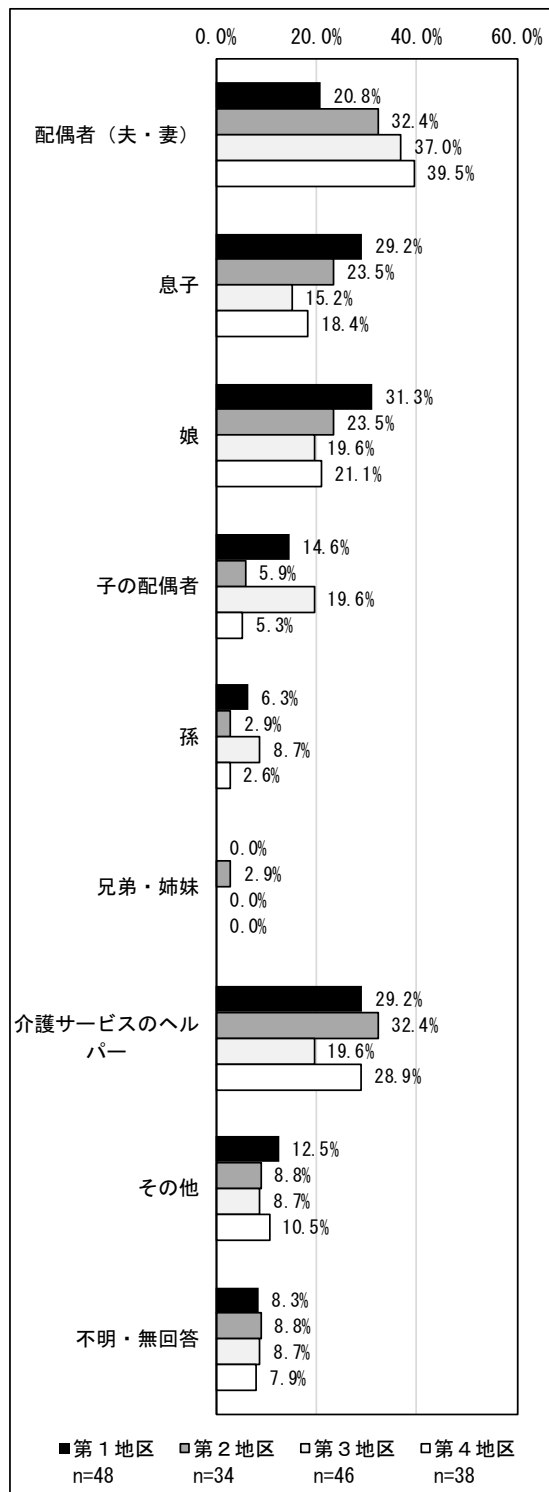
(8) -②主にどなたの介護・介助を受けていますか (MA)

- ・介護・介助が必要な回答者が、それらを主に受ける相手としては、「配偶者(夫・妻)」の割合が30.7%と最も高く、次いで「介護サービスのヘルパー」(25.7%)、「娘」(22.9%)、「息子」(22.3%)の順となっている。
- ・圏域別では、第1地区において「娘」と回答した割合が最も高い。また、第4地区においては、「配偶者(夫・妻)」と回答した割合が高くなっている。

■介護者・介助者の属性【割合】



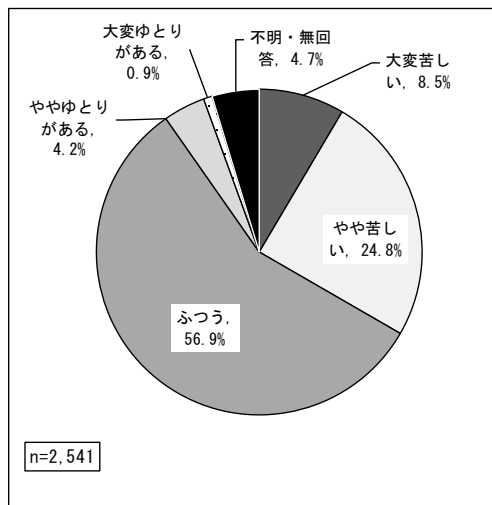
【圏域別割合】



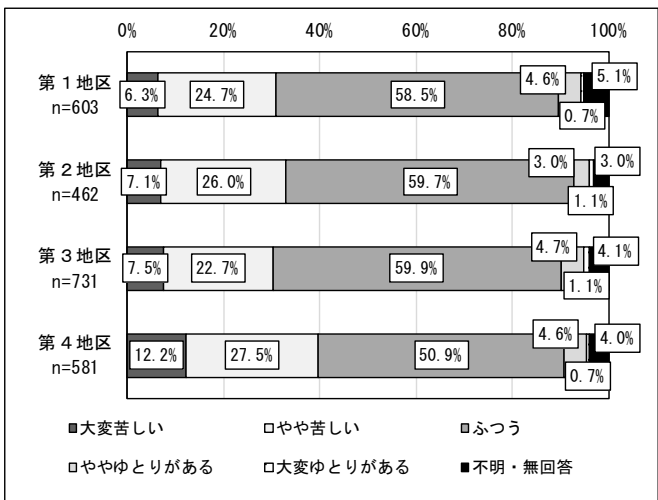
(9) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (SA)

- ・経済的状况に関して、「ふつう」が56.9%と最も多く、次いで「やや苦しい」(24.8%)、「大変苦しい」(8.5%)の順となっている。経済的に「苦しい」(「大変苦しい」又は「やや苦しい」と回答した)人が33.3%に対し、経済的に「ゆとりがある」(「大変ゆとりがある」又は「ややゆとりがある」と回答した)人は5.1%にとどまっている。
- ・圏域別では、第4地区において経済的に「苦しい」人の割合が、39.7%と最も高く、第3地区において30.2%と最も低い。
- ・経済的に「苦しい」人の割合は、男女ともに「70~74歳」が最も高くなり、高齢なほど低くなっている。

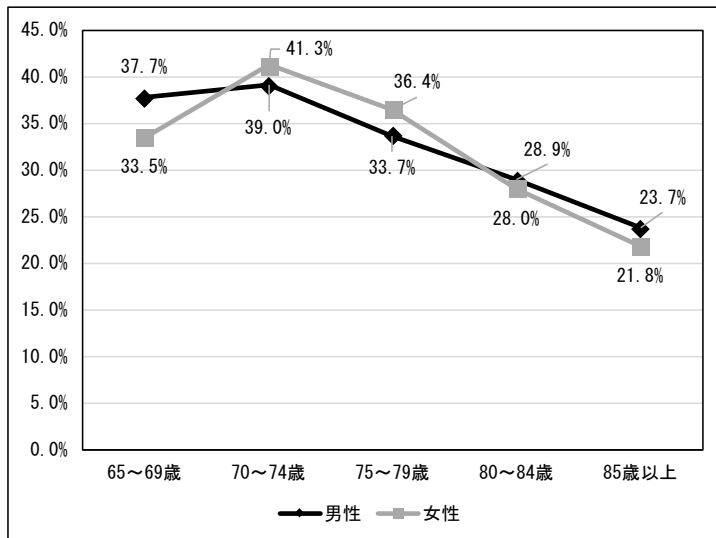
■経済的状况【割合】



【圏域別割合】



■経済的に「苦しい」人※【年齢・性別割合】



※「大変苦しい」又は、「やや苦しい」と回答した人

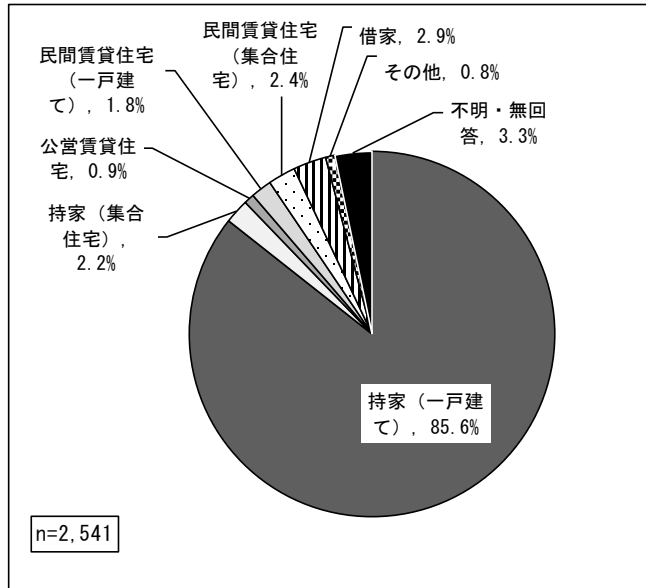
【実数】

	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	129	139	103	54	46
女性	62	99	90	54	52

(10) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか (SA)

- ・住まいに関して、「持家（一戸建て）」(85.6%) が最も高く、「持家（集合住宅）」(2.2%) を含めると、「持家」と回答した割合が 87.8% となっている。一方「賃貸住宅」（「公営賃貸住宅」又は「民間賃貸住宅（一戸建て）」、「民間賃貸住宅（集合住宅）」、「借家」と回答した）人は 8.0% となっている。
- ・圏域別では、第 4 地区において「持家」の割合が、約 92.0% と最も高く、第 1 地区において 85.1% と最も低い。

■ 経済的状況【割合】



【圏域別割合】

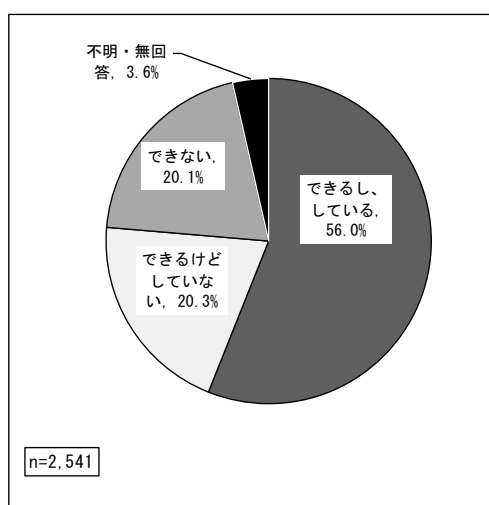
	持家（一戸建て）	持家（集合住宅）	公営賃貸住宅	民間賃貸住宅（一戸建て）	民間賃貸住宅（集合住宅）	借家	その他	不明・無回答
第 1 地区 n=603	80.3%	4.8%	1.0%	1.5%	5.0%	3.5%	1.2%	2.8%
第 2 地区 n=462	85.1%	1.9%	2.2%	1.3%	1.9%	3.7%	0.6%	3.2%
第 3 地区 n=731	90.8%	0.4%	0.7%	1.8%	1.4%	1.8%	0.4%	2.7%
第 4 地区 n=581	91.7%	0.3%	0.2%	1.4%	0.5%	2.2%	1.2%	2.4%

問2 からだを動かすことについて

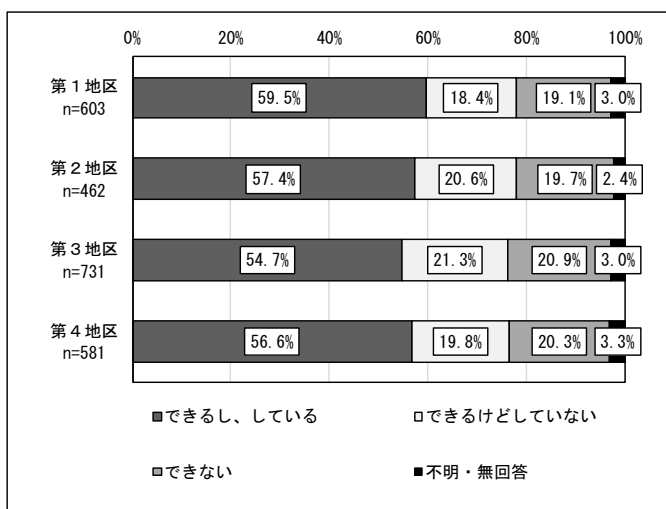
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (SA)

- ・階段を手すりや壁をつたわずに昇れるかに関して、「できるし、している」が56.0%と最も多く、次いで「できるけどしていない」(20.3%)、「できない(つたわずに昇れない)」(20.1%)の順となっている。
- ・圏域別では、第1地区において、「できるし、している」の割合が59.5%と最も高く、第3地区において54.7%と最も低い。
- ・「できない(つたわずに昇れない)」と回答した割合は、女性の方が高い。また、その割合は男女ともに高齢なほど高くなっており、85歳以上が最も高い。

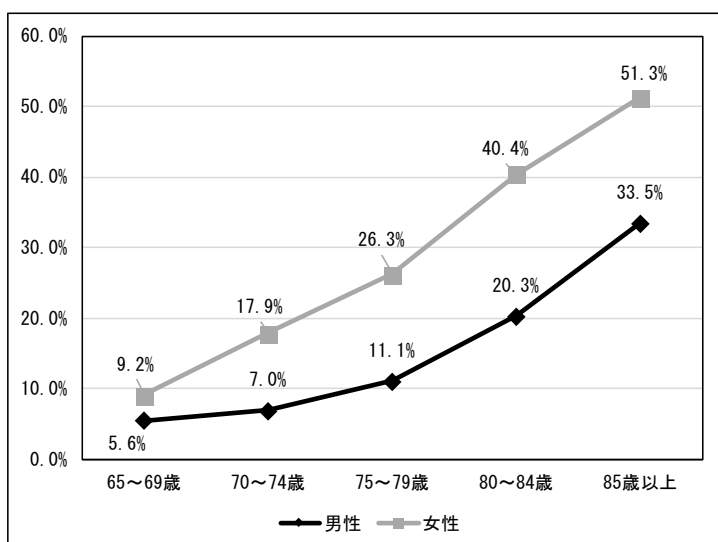
■階段を手すり等なしに昇れる【割合】



【圏域別割合】



■つたわずに昇れない人※【年齢・性別割合】



※「できない」と回答した人

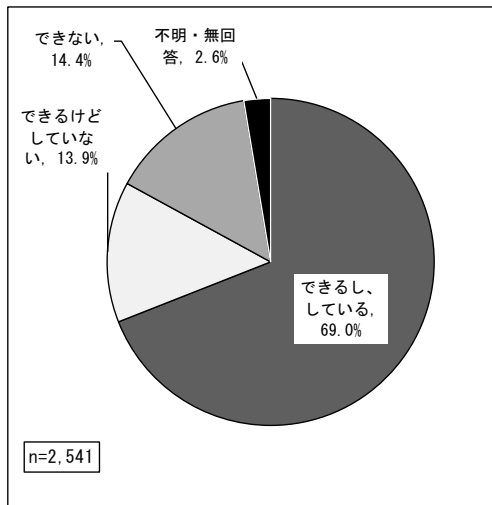
【実数】

	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	19	25	34	38	65
女性	17	43	65	78	122

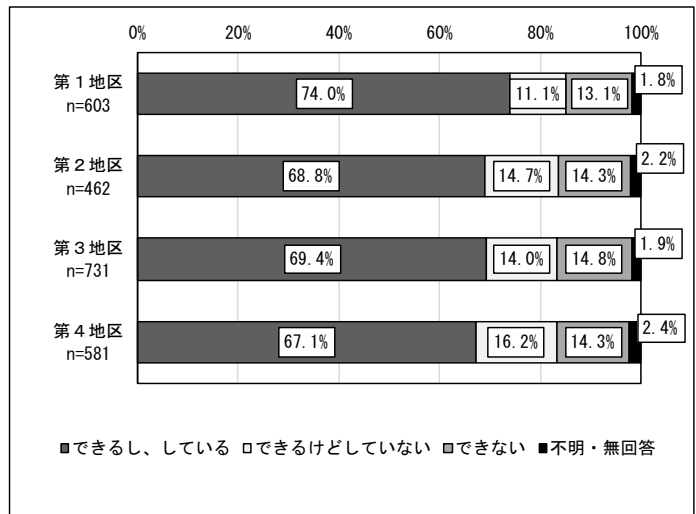
(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (S A)

- ・椅子から何もつかまらずに立ち上がれるかに関して、「できるし、している」が69.0%と最も多く、次いで「できない (立ち上がれない)」(14.4%)、「できるけどしていない」(13.9%)の順となっている。
- ・圏域別では、第1地区において「できるし、している」の割合が74.0%と最も高く、第4地区において67.1%と最も低い。
- ・「できない (立ち上がれない)」と回答した割合は、女性の方が高い。また、その割合は男女ともに高齢なほど高くなっている。

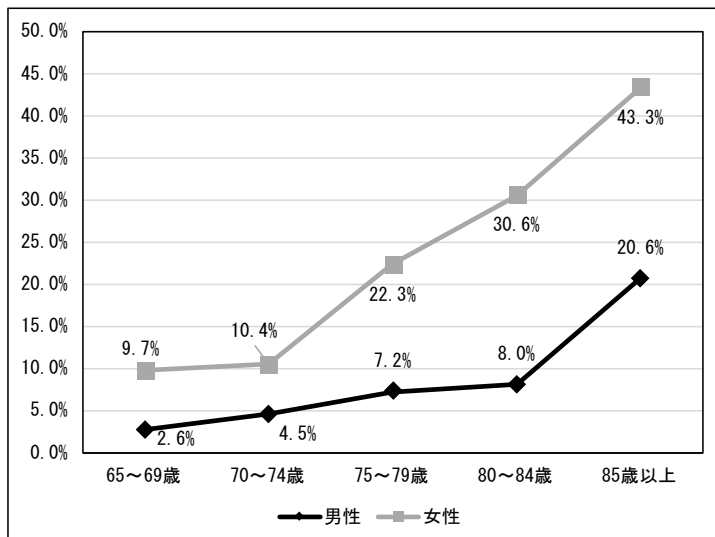
■何もなく立ち上がれる【割合】



【圏域別割合】



■立ち上がれない人※【年齢・性別割合】



※「できない」と回答した人

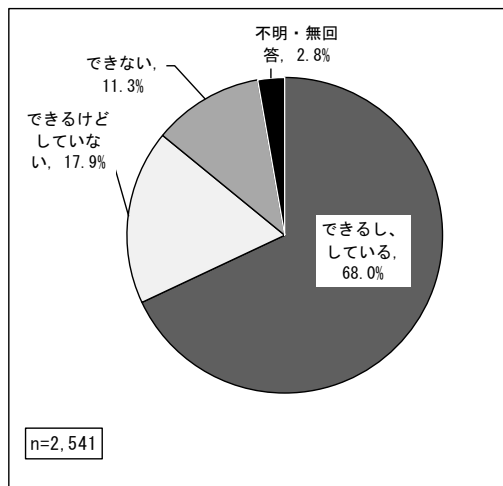
【実数】

	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	9	16	22	15	40
女性	18	25	55	59	103

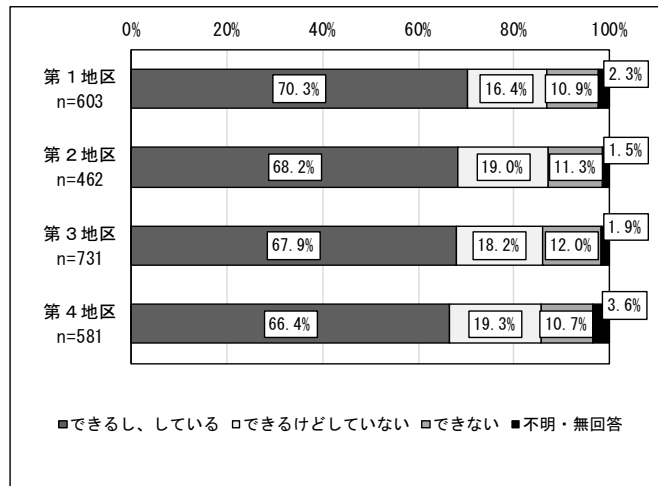
(3) 15分位続けて歩いていますか (SA)

- ・15分継続して歩いているかに関して、「できるし、している (歩いている)」が68.0%と最も多く、次いで「できるけど、していない」(17.9%)、「できない」(11.3%)の順となっている。
- ・圏域別では、第1地区において「できるし、している (歩いている)」の割合が70.3%と最も高く、第4地区において66.4%と最も低い。
- ・15分位続けて歩いていない(「できるけどしていない」又は「できない」と回答した)人の割合は、女性の方が高い。また、その割合は男女ともに高齢になるほど高い傾向になっている。

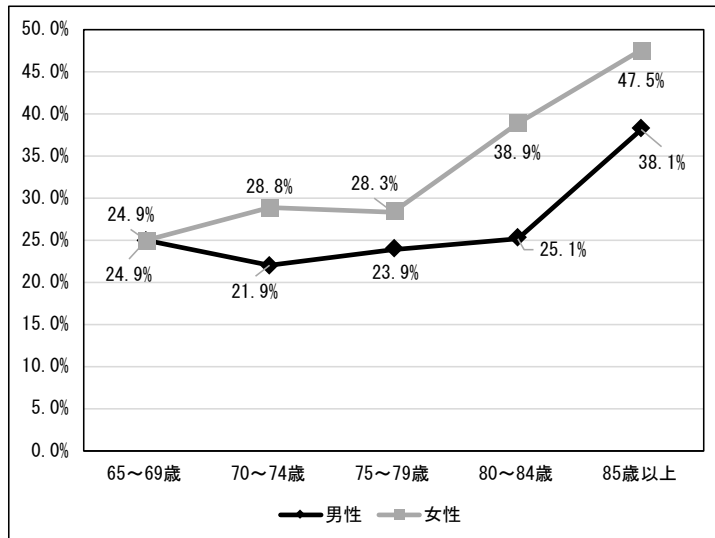
■ 15分位続けて歩ける【割合】



【圏域別割合】



■ 15分位続けて歩いていない人※【年齢・性別割合】



※「できるけどしていない」又は「できない」と回答した人

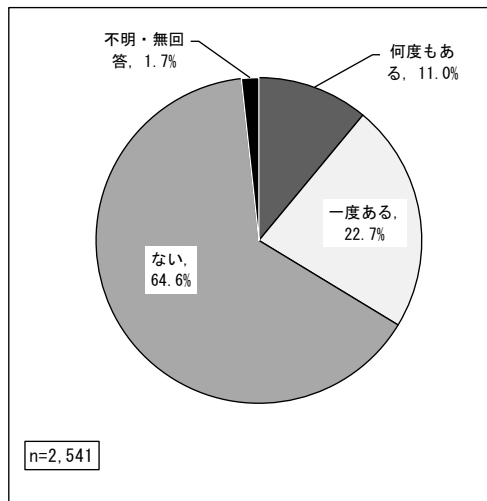
【実数】

	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	85	78	73	47	74
女性	46	69	70	75	113

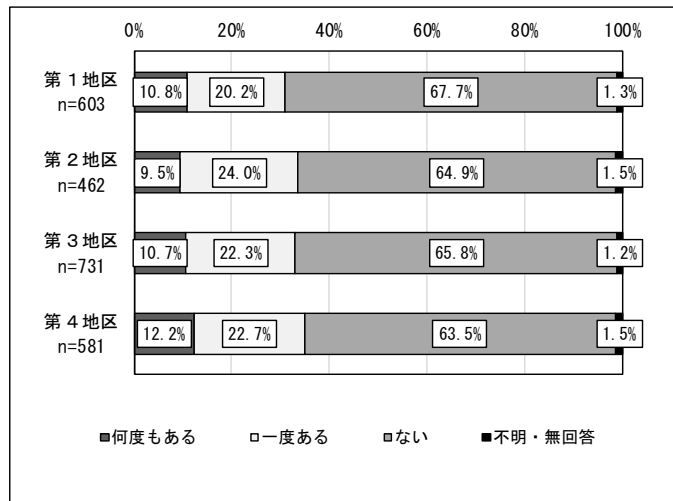
(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか (SA)

- 過去1年間に転んだ経験があるかに関して、「ない」が64.6%と最も多く、次いで「1度ある」(22.7%)、「何度もある」(11.0%)の順となっている。転倒リスクのある(「何どもある」又は「1度ある」と回答した)人は33.7%と3割程度となっている。
- 圏域別では、第4地区において転倒リスクのある人の割合が34.9%と最も高く、第1地区において31.0%と最も低い。
- 転倒リスクのある人の割合は、女性の方が高い。また、その割合は男女とも高齢なほど高い傾向にあり、85歳以上では5割近くに達している。

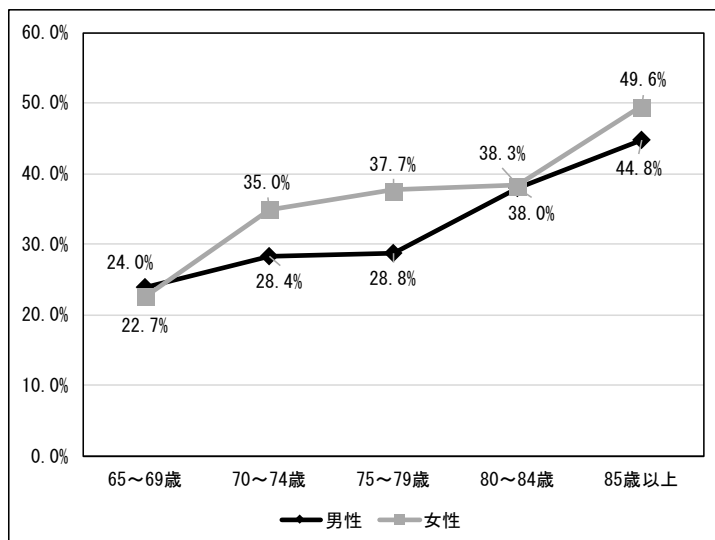
■ 転んだことがある【割合】



【圏域別割合】



■ 転倒リスクのある人※【年齢・性別割合】



※「何どもある」又は「1度ある」と回答した人

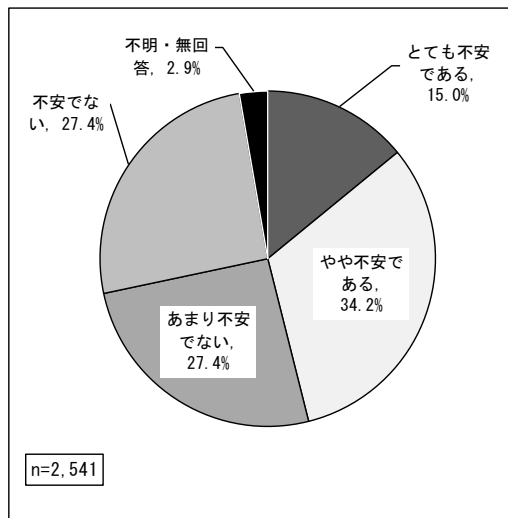
【実数】

	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	82	101	88	71	87
女性	42	84	93	74	118

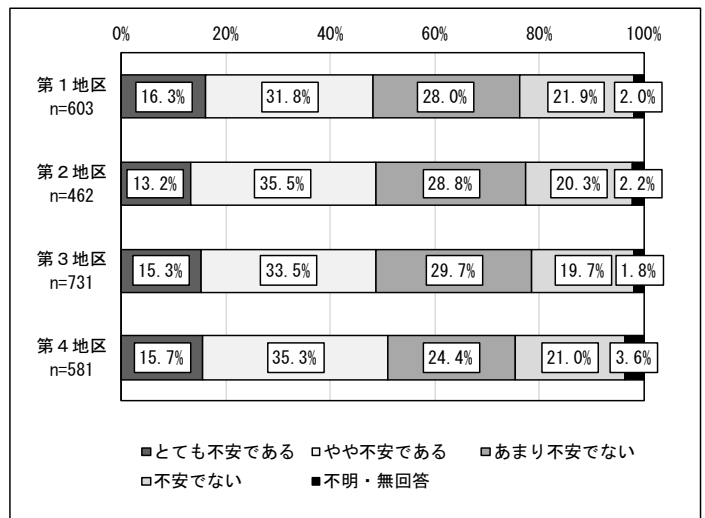
(5) 転倒に対する不安は大きいですか (SA)

- ・転倒の不安に関して、「やや不安がある」が34.2%と最も多く、次いで「あまり不安でない」(27.4%)、「不安でない」(27.4%)、「とても不安である」(15.0%)の順となっている。
- ・圏域別では、第4地区において不安が大きい(「とても不安がある」又は「やや不安である」と回答した)割合が51.0%と最も高く、第1地区において48.1%と最も低い。
- ・不安が大きい人の割合は、女性の方が高い。また、その割合は男女とも高齢なほど高くなり、男性は85歳以上で58.2%、女性は75.6%となっている。

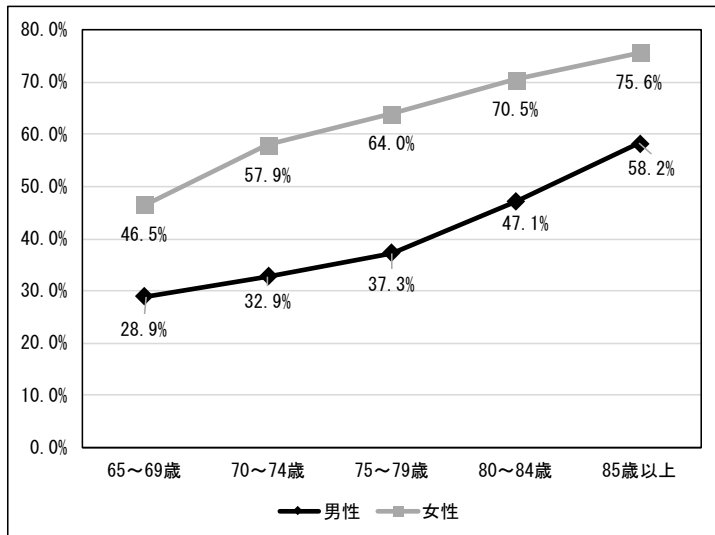
■転倒の不安が大きい【割合】



【圏域別割合】



■転倒の不安が大きい人※【年齢・性別割合】



※「とても不安である」又は「やや不安である」と回答した人

【実数】

	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	99	117	114	88	113
女性	86	139	158	136	180

① 運動器の機能低下

運動器の機能低下の定義

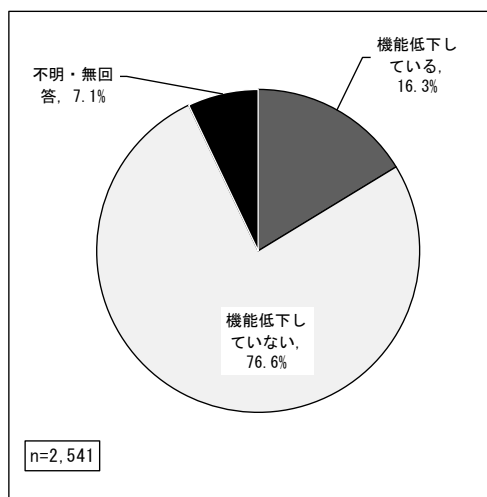
本報告書では、問2の(1)～(5)の設問で3問以上、該当する選択肢(下の表の網掛けの箇所)に回答した場合、運動器が「機能低下している」高齢者と定義した。

なお、(1)～(5)の全ての設問に回答した人のみを対象とし、それ以外は「不明・無回答」とした。

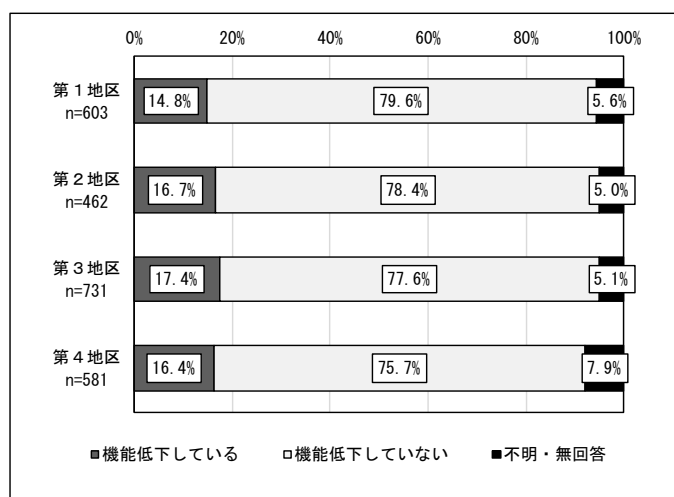
No.	設問内容	選択肢
(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(3)	15分位続けて歩いていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない
(5)	転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない

- ・運動器の機能低下に関して、「機能低下している」人が16.3%に対して、「機能低下していない」人が76.6%となっており、「機能低下していない」人が7割を超える。
- ・圏域別では、第3地区において「機能低下している」人の割合が17.4%と最も多く、第1地区において14.8%と最も少ない。

■ 機能低下しているか【割合】

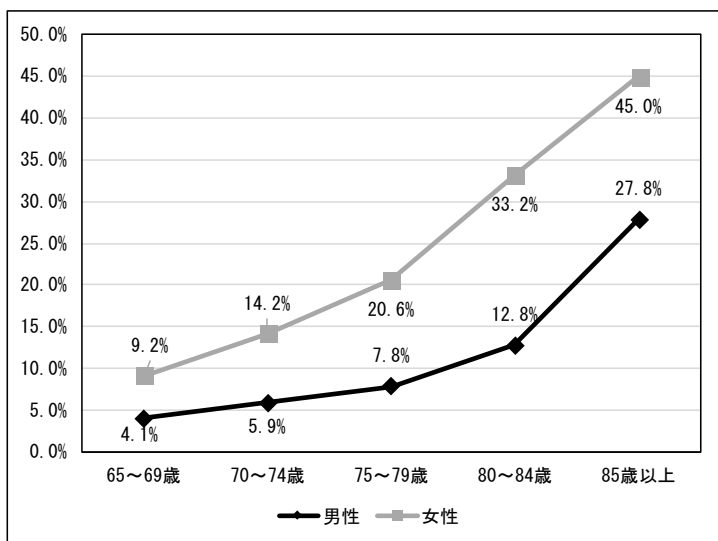


【圏域別割合】



・「機能低下している」人の割合は、女性の方が高い。また、その割合は男女とも高齢なほど高くなり、85歳以上では男性が3割弱、女性は4割強となっている。

■機能低下している人※【年齢・性別割合】



※問2の(1)～(5)で3問以上、該当する選択肢(前頁表の網掛けの箇所)に回答した人

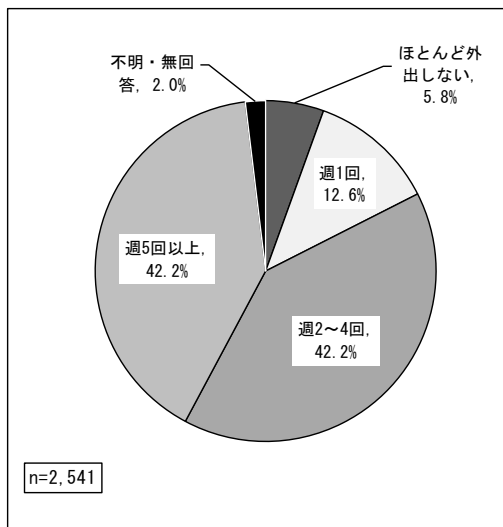
【実数】

	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	14	21	24	24	54
女性	17	34	51	64	107

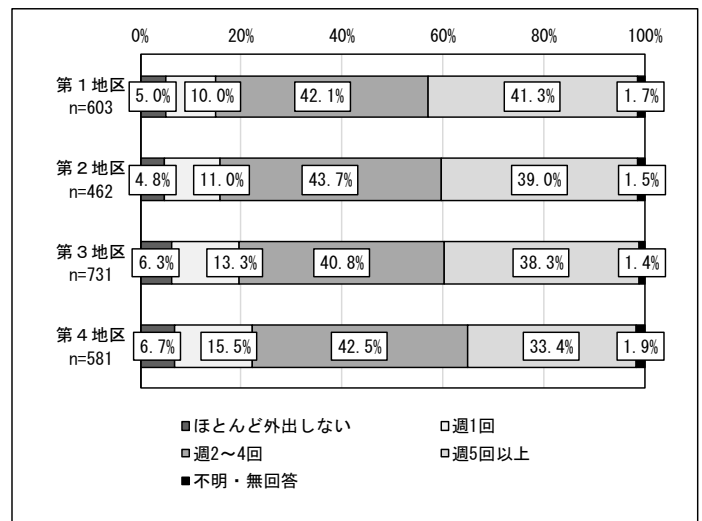
(6) 週に1回以上は外出していますか (SA)

- 週1回以上の外出をするかに関して、「週2~4回」と「週5回以上」が42.2%と最も多く、次いで「週1回以上」(12.6%)、「ほとんど外出しない」(5.8%)の順となっている。閉じこもり傾向のある(「ほとんど外出しない」又は「週1回」と回答した)人は2割弱となっている。
- 圏域別では、第3地区、第4地区で閉じこもり傾向のある人の割合が約2割を占めている。
- 閉じこもり傾向のある人の割合は、女性の方が高い。また、その割合は男女ともに高齢なほど高く、85歳以上では男性が3割弱、女性が4割を超えている。

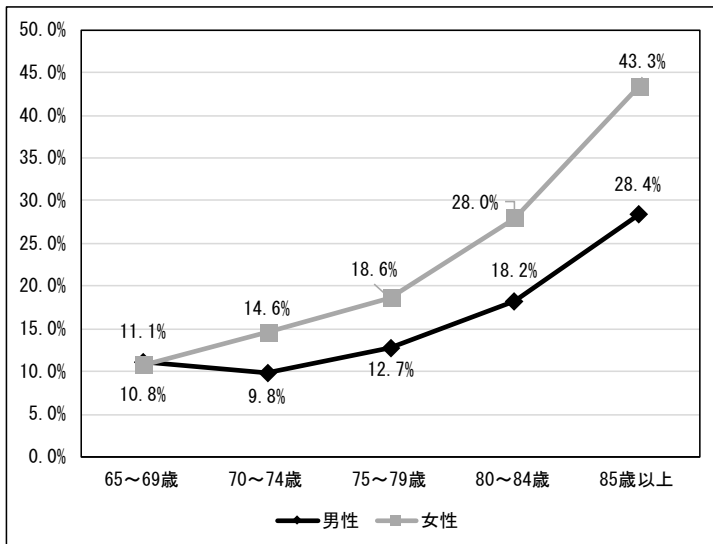
■週に1回以上は外出する【割合】



【圏域別割合】



■閉じこもり傾向のある人※【年齢・性別割合】



※「ほとんど外出しない」又は「週1回」と回答した人

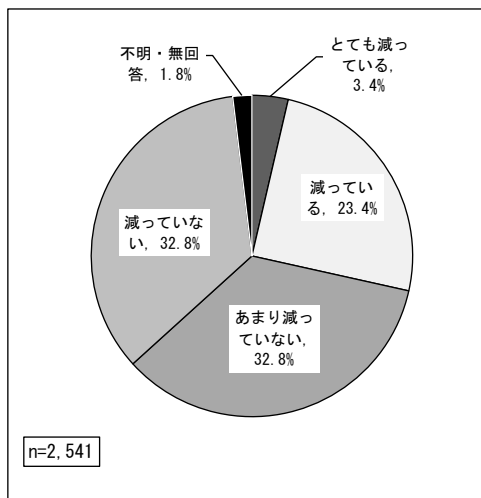
【実数】

	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	38	35	39	34	55
女性	20	35	46	54	103

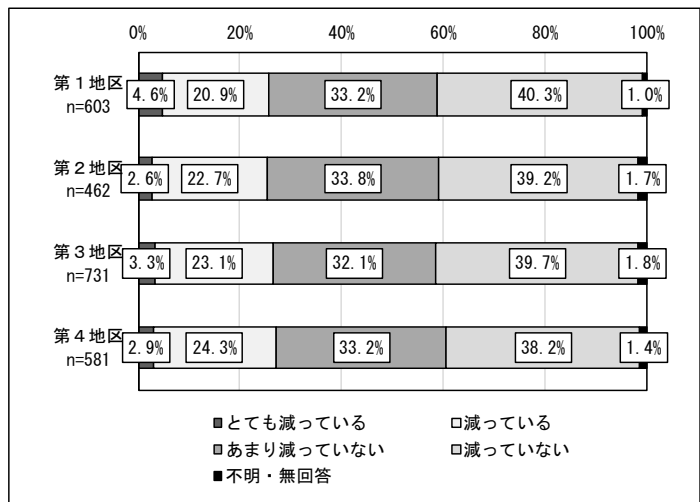
(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (SA)

- ・昨年より外出の回数が減っているかに関して、「あまり減っていない」「減っていない」が32.8%と最も高く、次いで「減っている」(23.4%)、「とても減っている」(3.4%)の順となっている。
- ・圏域別では、第4地区において外出の回数が減っている(「とても減っている」又は「減っている」と回答した)人の割合が27.2%と最も高く、第2地区において25.3%と最も低い。
- ・外出の回数が減っている人の割合は、女性の方が高い。また、その割合は男女ともに高齢なほど高い傾向にある。

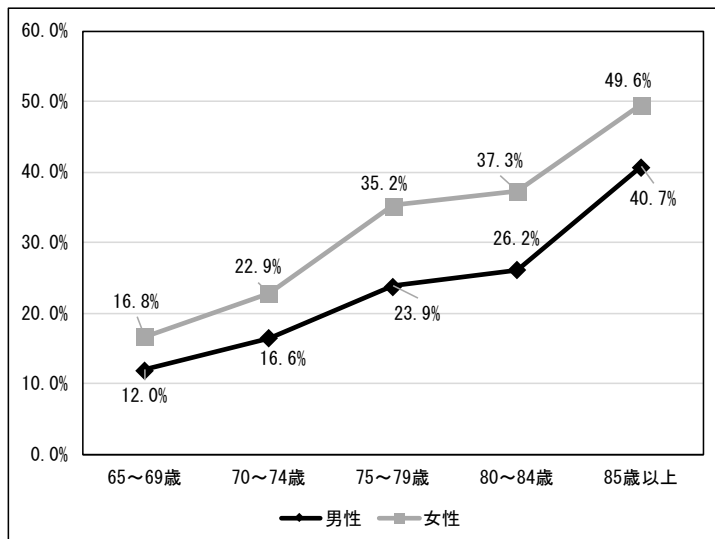
■外出の回数が減っている【割合】



【圏域別割合】



■外出の回数が減っている人※【年齢・性別割合】



※「とても減っている」又は「減っている」と回答した人

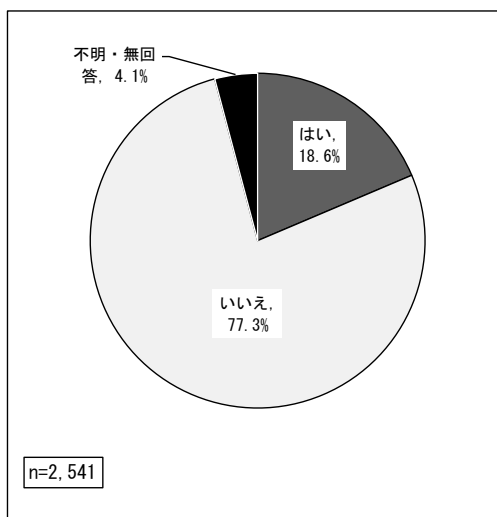
【実数】

	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	41	59	73	49	79
女性	31	55	87	72	118

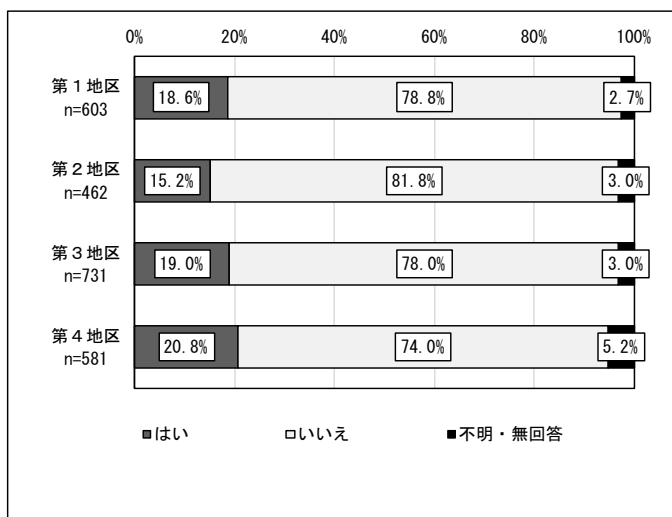
(8) 外出を控えていますか (SA)

- ・昨年より外出の回数が減っているかに関して、「いいえ (控えていない)」が 77.3%、「はい (控えている)」が 18.6%となっている。
- ・圏域別では、第4地区において外出の控えている(「はい」と回答した)人の割合が 20.8%と最も高く、第2地区において 15.2%と最も低い。

■外出を控えている【割合】



【圏域別割合】

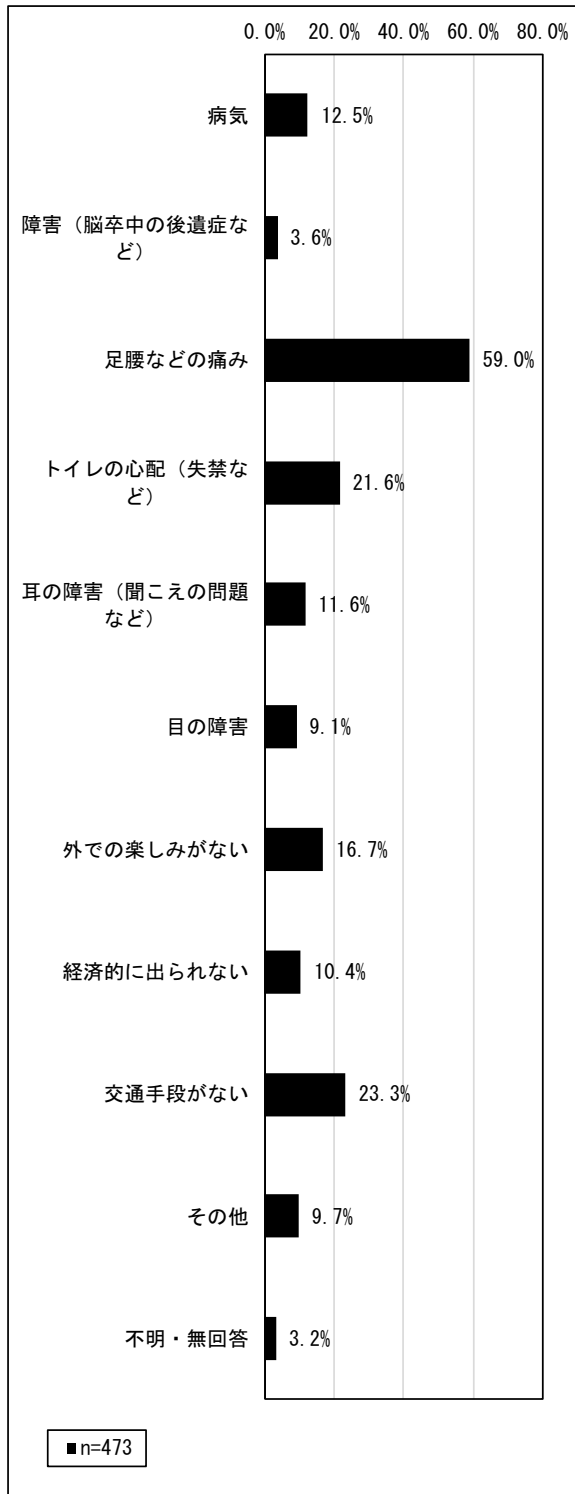


【(8) で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】

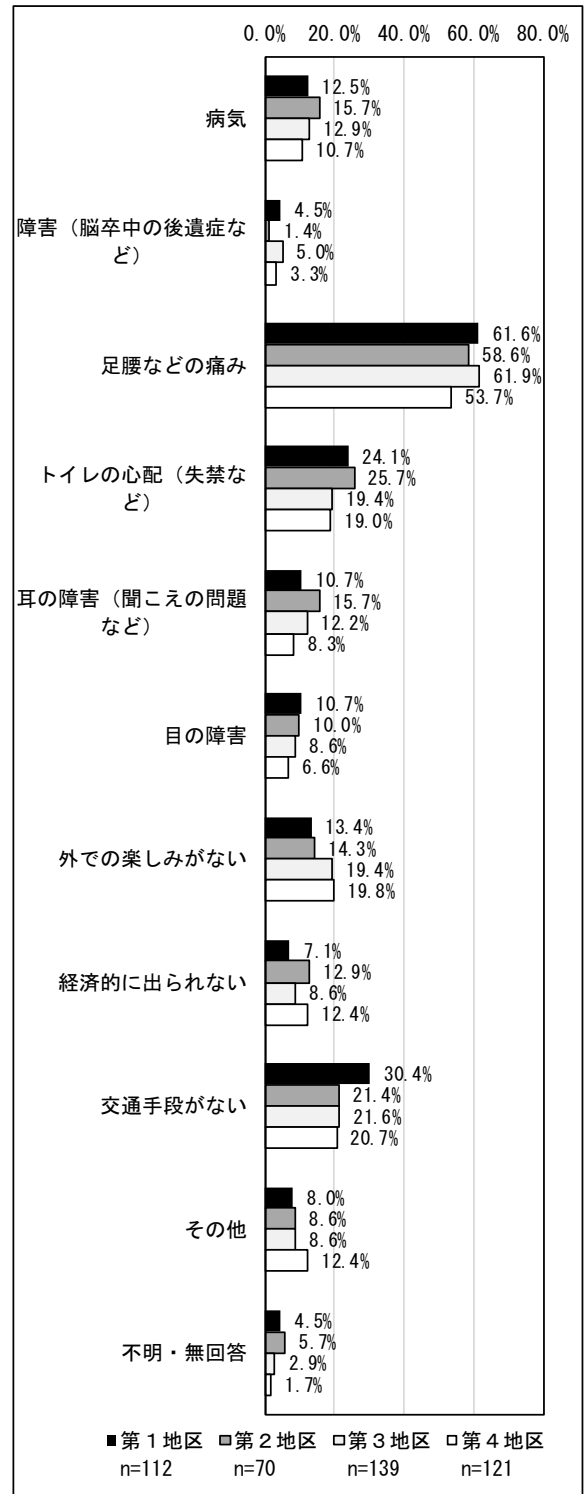
(8) - ①外出を控えている理由は、次のどれですか (MA)

- ・外出を控える理由に関して、「足腰などの痛み」が59.0%で最も高く、次いで「交通手段がない」(23.3%)、「トイレの心配(失禁など)」(21.6%)、「外での楽しみがない」(16.7%)の順となっている。
- ・圏域別では、「足腰などの痛み」において第1地区と第3地区が6割を超えている。また、第1地区において「交通手段がない」が30.4%となっており、他地区と比べて10%程高い。

■外出を控えている理由【割合】



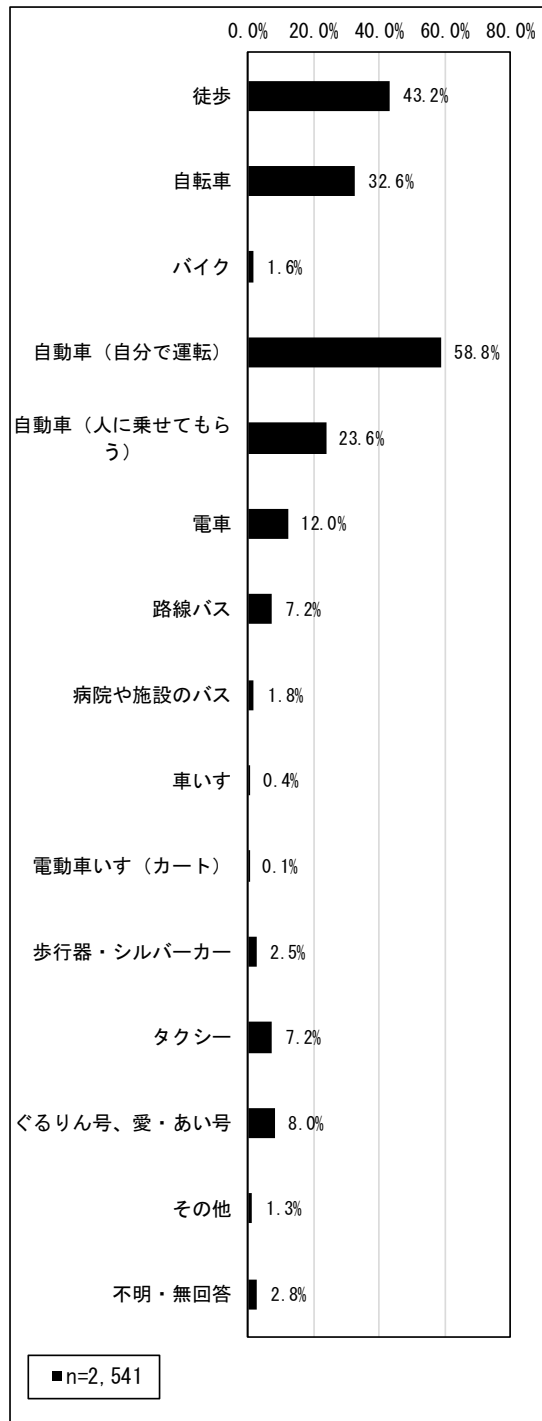
【圏域別割合】



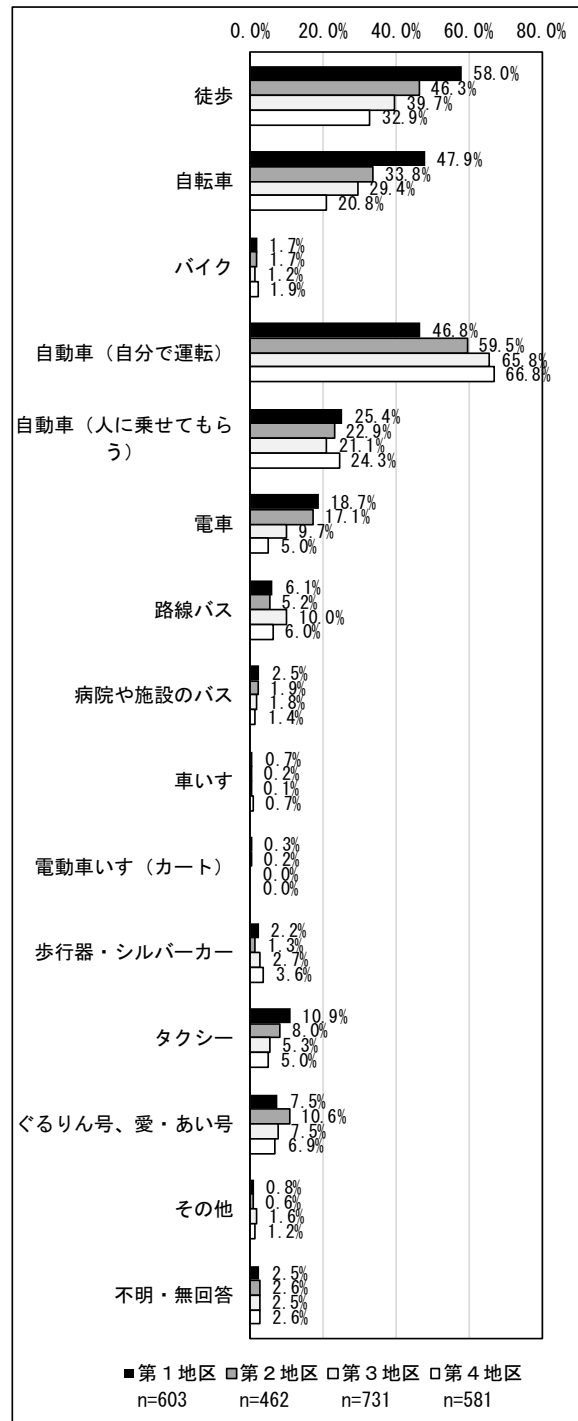
(9) 外出する際の移動手段は何ですか (MA)

- ・外出する際の移動手段に関して、「自動車(自分で運転)」が58.8%と最も多く、次いで、「徒歩」(43.2%)、「自転車」(32.6%)、「自動車(人に乗せてもらう)」(23.6%)の順となっている。
- ・圏域別でみると、第1地区において「徒歩」が58.0%と最も高く、第4地区において32.9%と最も低い。これに対し、第4地区において「自動車(自分で運転)」が66.8%と最も高く、第1地区において46.8%と最も低くなっている。

■ 外出の際の移動手段【割合】

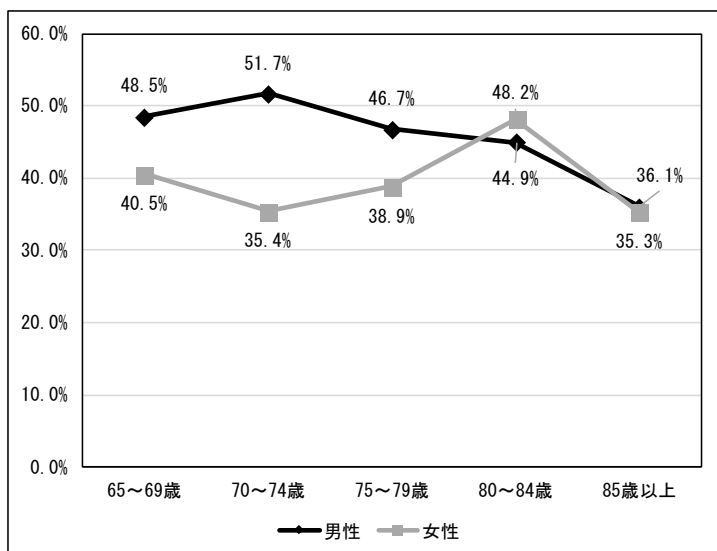


【圏域別割合】



- ・「徒歩」と回答した割合は、80～84歳を除き男性の方が高くなっている。
- ・「自転車」と回答した割合は、85歳以上を除き女性の方が高い。また、その割合は男女ともに85歳以上で最も低くなっている。
- ・「自動車（自分で運転）」と回答した割合は、男性の方が高い。また、その割合は男女ともに高齢なほど低くなっている。

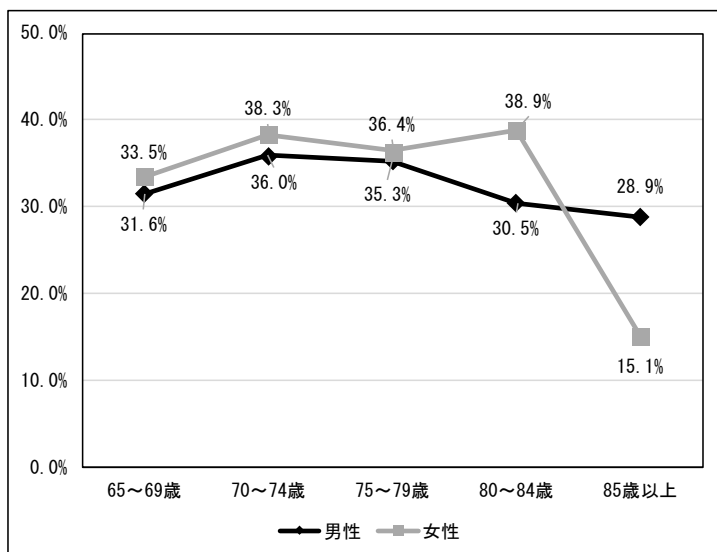
■ 「徒歩」【年齢・性別割合】



【実数】

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	166	184	143	84	70
女性	75	85	96	93	84

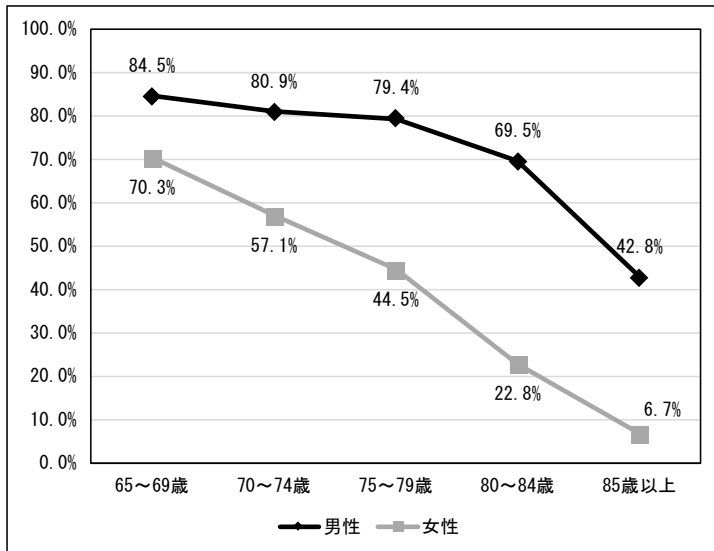
■ 「自転車」【年齢・性別割合】



【実数】

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	108	128	108	57	56
女性	62	92	90	75	36

■ 「自動車（自分で運転）」【年齢・性別割合】



【実数】

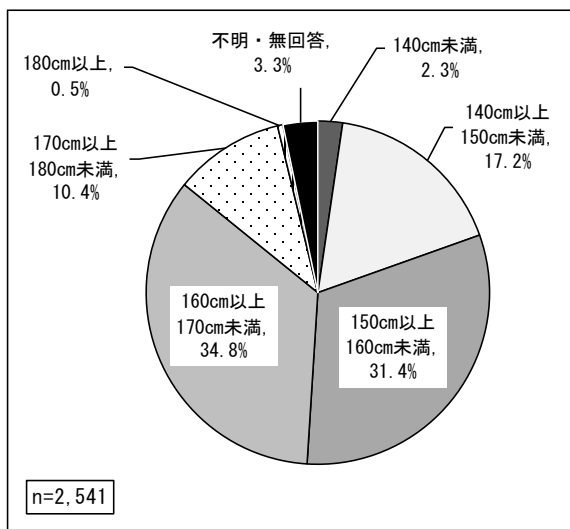
	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	289	288	243	130	83
女性	130	137	110	44	16

問3 食べることについて

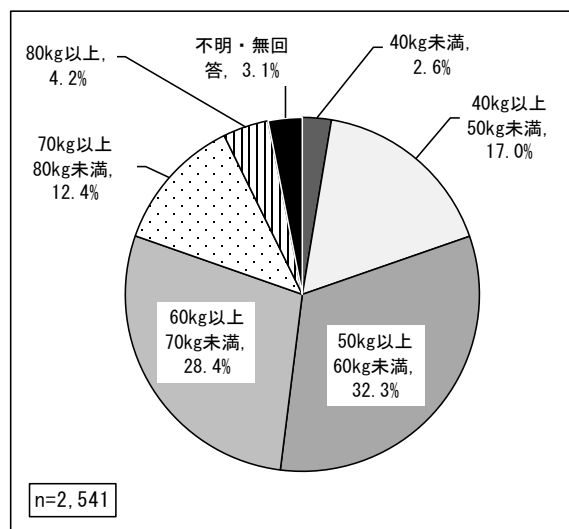
(1) 身長・体重 (数値記入)

- ・身長及び体重に関して、身長は「160cm以上170cm未満」が34.8%と最も高く、体重「50kg以上60kg未満」が32.3%で最も高くなっている。
- ・BMI※は「22.0超25.0未満」が36.2%と最も高く、次いで「25.0以上」(28.1%)、「18.5超22.0以下」(25.7%)の順となっている。低栄養の疑いのある「18.5以下」の割合は5.8%と1割に満たない。

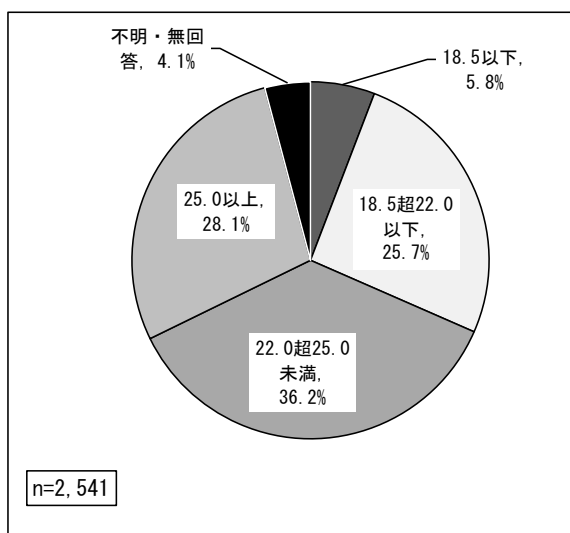
■身長【割合】



■体重【割合】



■BMI【割合】



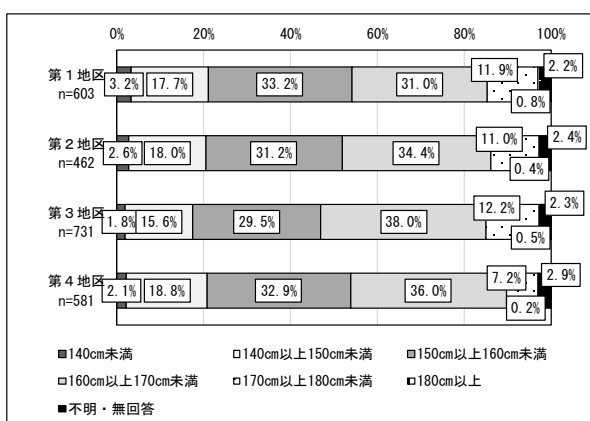
※Body Mass Index の略。肥満度を測るための国際的な指標で下記算式で算出される。

$$BMI = (\text{体重 (kg)} \div \{\text{身長 (m)} \times \text{身長 (m)}\})$$

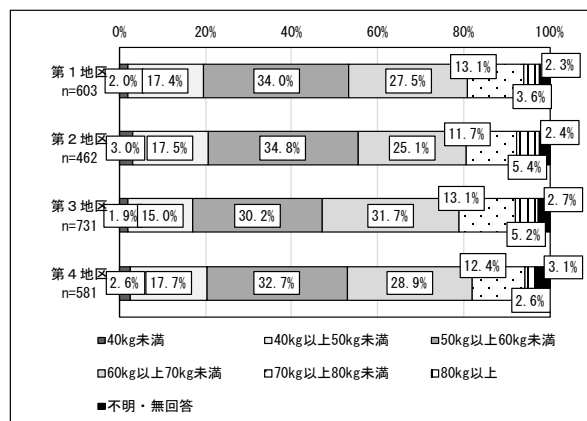
22を標準とし、25以上を「肥満」、18.5以下を「痩せ」としており、18.5以下の場合は低栄養が疑われる。

- ・圏域別に見ると、第3地区において160cm以上（「160cm以上170cm未満」又は「170cm以上180cm未満」又は「180cm以上」と回答）の割合が50.7%と4つの地域で最も高い。体重においても、第3地区の60kg以上（「60kg以上70kg未満」又は「70kg以上80kg未満」又は「80kg以上」と回答）の割合が50.0%と最も高い。
- ・男性は、身長が「160cm以上170cm未満」が58.7%で最も高く、次いで「170cm以上180cm未満」が18.9%で、体重は「60kg以上70kg未満」が39.9%で最も高く、次いで「50kg以上60kg未満」が26.3%となっている。
- ・女性は、身長が「150cm以上160cm未満」が48.0%と最も高く、次いで「140cm以上150cm未満」が38.6%で、体重は「50kg以上60kg未満」が40.1%で最も多く、次いで「40kg以上50kg未満」が32.1%となっている。

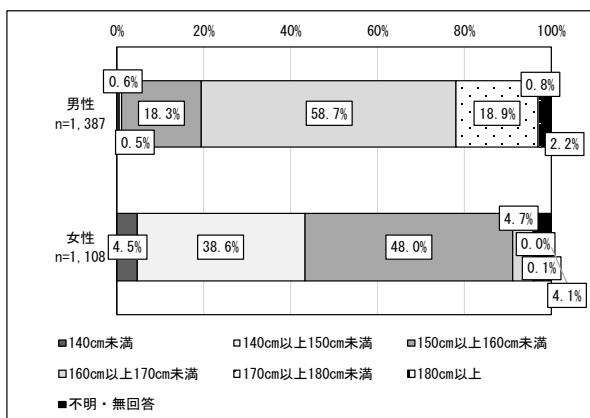
■身長【圏域別割合】



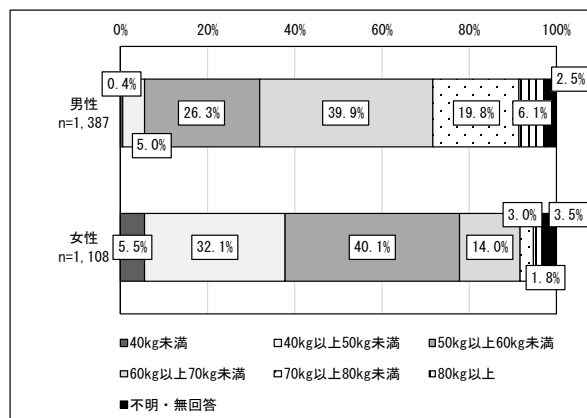
■体重【圏域別割合】



■身長【男女別割合】



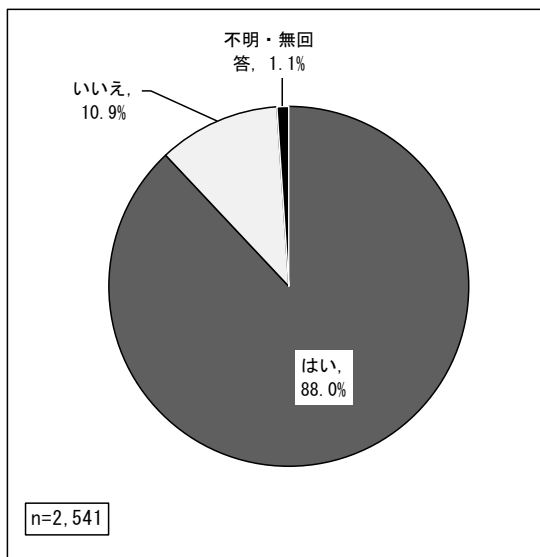
■体重【男女別割合】



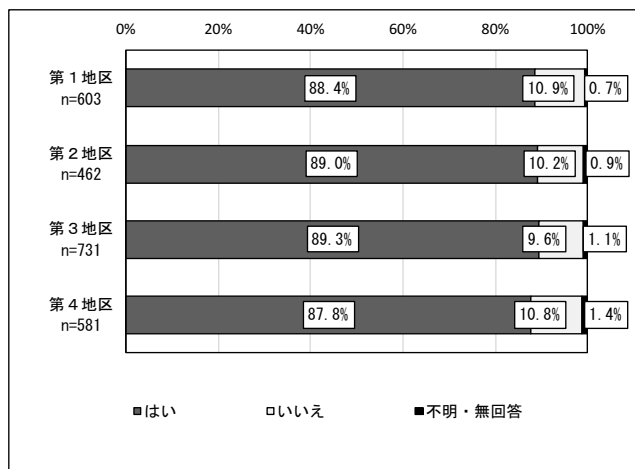
(2) 1日3食きちんと食べていますか (SA)

- ・1日3食きちんと食べているかについて、「はい (食べている)」が88.0%、「いいえ (食べていない)」が10.9%となっている。
- ・圏域別では、すべての地区において「はい (食べている)」と回答した人の割合が9割近くに達している。
- ・「いいえ (食べていない)」と回答した割合は、男性では65～69歳が14.9%と最も高く、75～79歳のみ7.5%と10%を下回っている。また、女性では70～74歳が14.6%と最も高く、80～84歳が4.1%と、年齢による差が見られる。

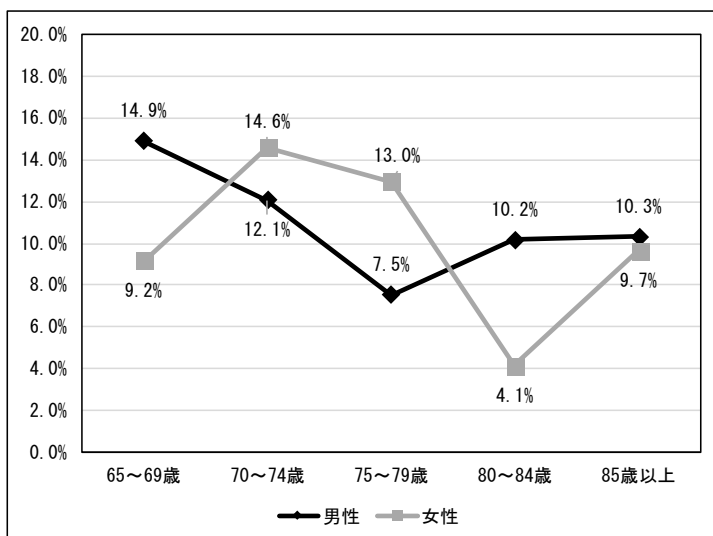
■1日3食きちんと食べている【割合】



【圏域別割合】



■1日3食きちんと食べていない人※【年齢・性別割合】



※「いいえ」と回答した人

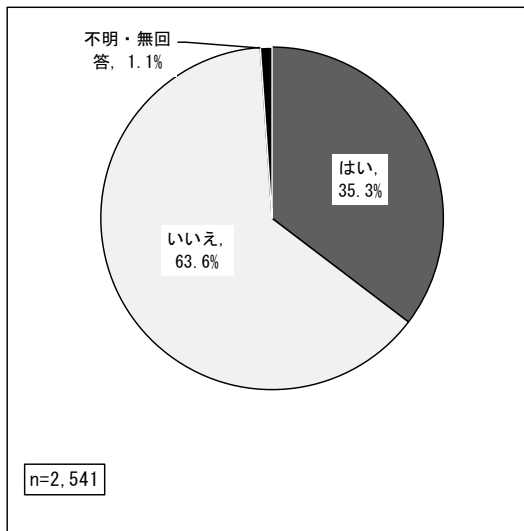
【実数】

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	51	43	23	19	20
女性	17	35	32	8	23

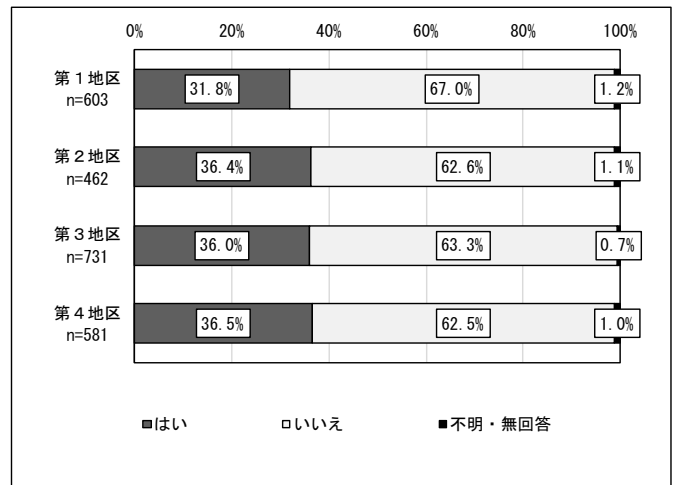
(3) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか (SA)

- ・半年前に比べ固いものが食べにくくなったかに関して、「はい」が 35.3%に対して、「いいえ」が 63.6%と、食べにくくなっていない人が6割超を占める。
- ・圏域別では、第4地区において咀嚼機能の低下が疑われる（「はい」と回答した）人の割合が 36.5%と最も高く、第1地区において 31.8%と最も低い。
- ・咀嚼機能の低下が疑われる人の割合は、女性の方が若干高い。また、その割合は男女とも高齢なほど高くなっている。

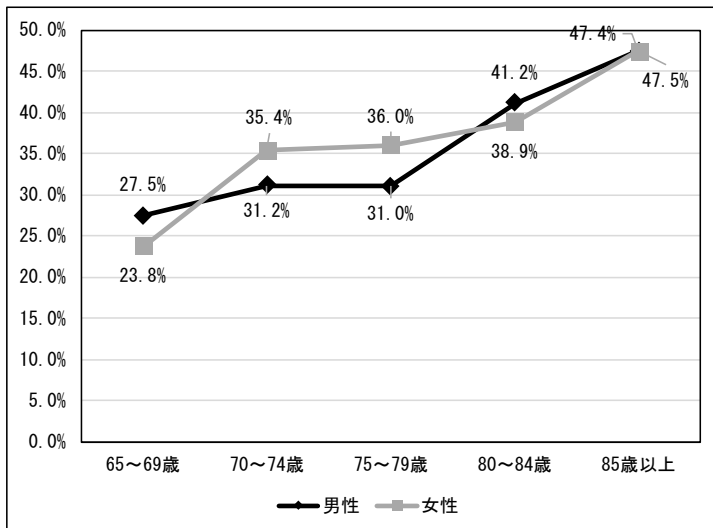
■ 固いものが食べにくくなった【割合】



【圏域別割合】



■ 咀嚼機能の低下が疑われる人 ※【年齢・性別割合】



※ 「はい」と回答した人

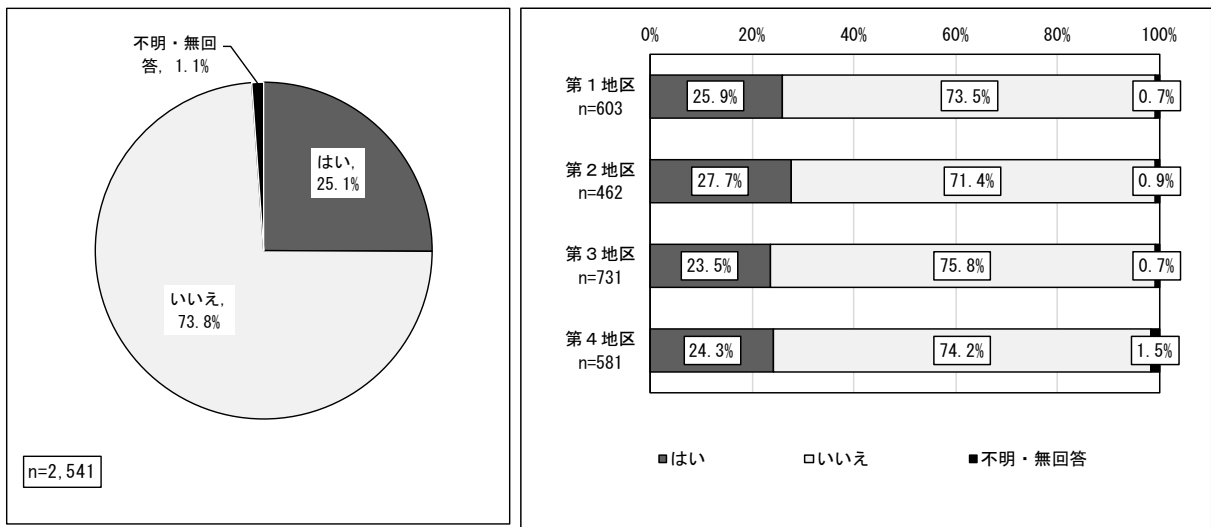
【実数】

	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	94	111	95	77	92
女性	44	85	89	75	113

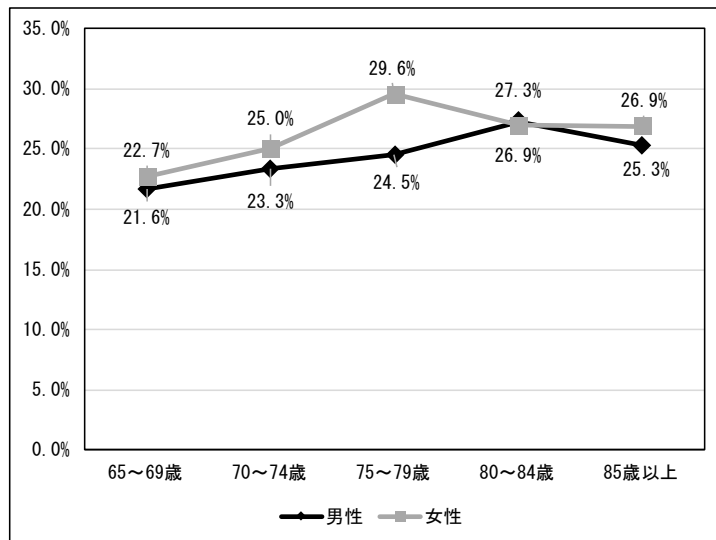
(4) お茶や汁物等でむせることがありますか (SA)

- ・お茶や汁物等でむせることがあるかに関して、「はい (むせることがある)」が 25.1%に対して、「いいえ (むせることはない)」が 73.8%と、むせないという人が7割超を占める。
- ・圏域別では、第2地区において「はい (むせることがある)」の割合が 27.7%と最も高く、第3地区において 23.5%と最も低い。
- ・「はい (むせることがある)」と回答した割合は、「80～84歳」を除き女性の方が高い。また、その割合は男性では「80～84歳」、女性では75～79歳を境に高齢なほど低くなっている。

■ お茶や汁物でむせることがある【割合】 【圏域別割合】



■ むせることがある人※【年齢・性別割合】



※「はい」と回答した人

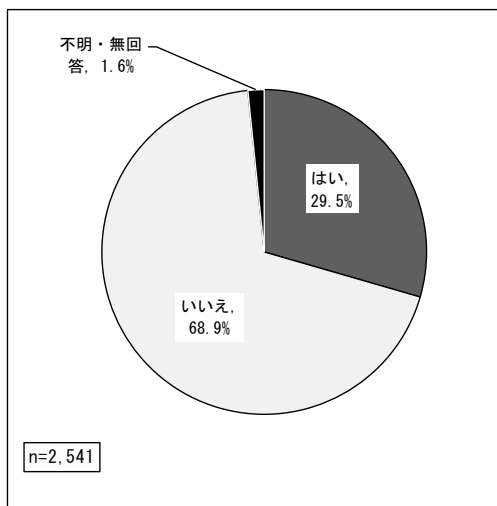
【実数】

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	74	83	75	51	49
女性	42	60	73	52	64

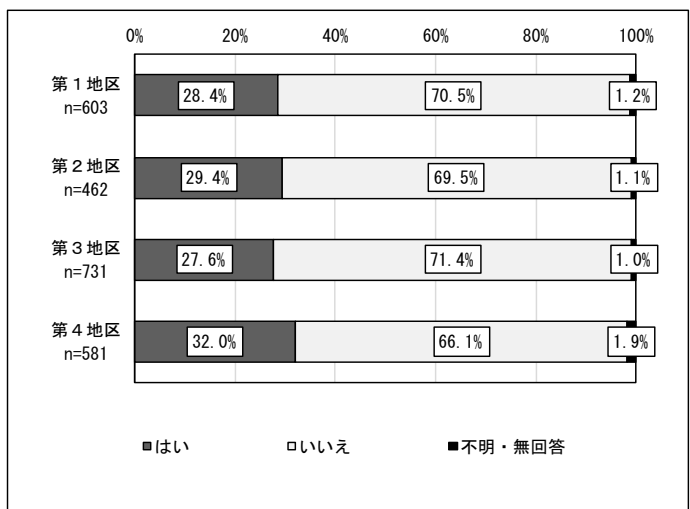
(5) 口の渇きが気になりますか (SA)

- ・口の渇きが気になるかに関して、「はい (渇きが気になる)」が 29.5%に対して、「いいえ (渇きが気にならない)」が 68.9%と、渇きが気にならない人が約7割を占める。
- ・圏域別では、第4地区において「はい (渇きが気になる)」の割合が 32.0%と最も高く、第3地区において 27.6%と最も低い。
- ・「はい (渇きが気になる)」と回答した割合は、女性の方が高い。また、その割合は女性では高齢なほど高く、男性では 75~79歳から高齢なほど高くなっている。

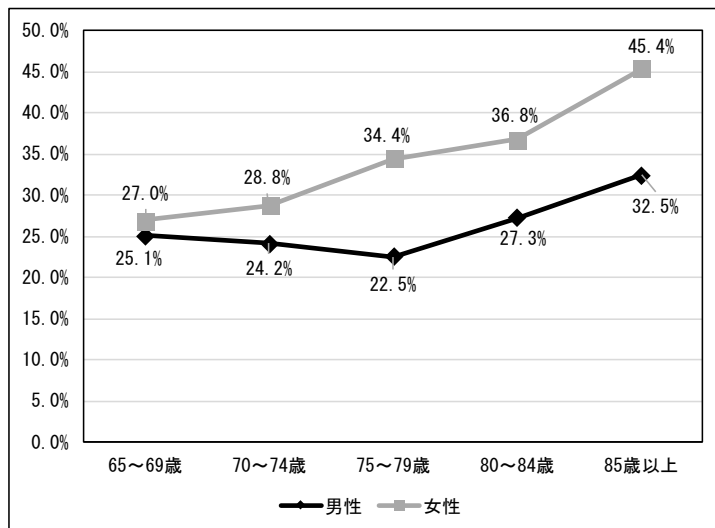
■ 口の渇きが気になる【割合】



【圏域別割合】



■ 口の渇きが気になる人※【年齢・性別割合】



※「はい」と回答した人

【実数】

	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	86	86	69	51	63
女性	50	69	85	71	108

② 口腔機能の低下

口腔機能機能低下の定義

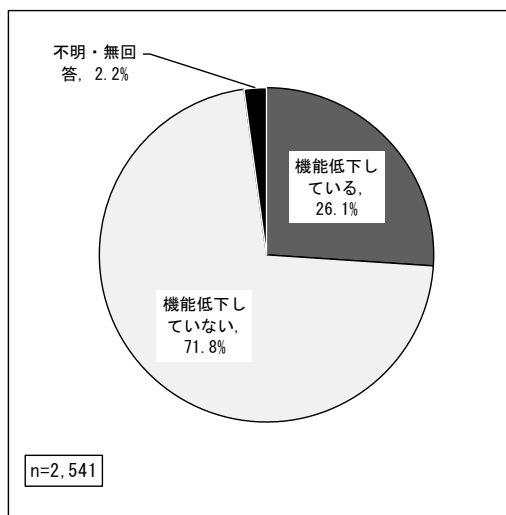
本報告書では、問3の(3)～(5)の設問で2問以上、該当する選択肢(下の表の網掛けの箇所)に回答した場合、口腔機能が「機能低下している」高齢者と定義した。

なお、(3)～(5)の全ての設問に回答した人のみを対象とし、それ以外は「不明・無回答」とした。

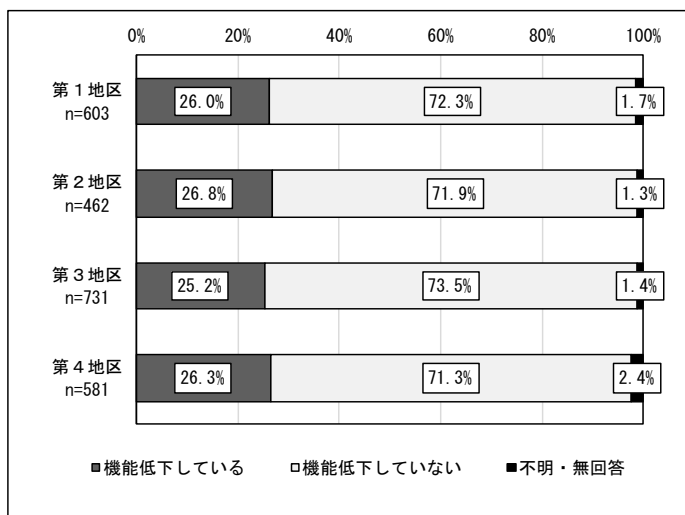
No.	設問内容	選択肢
(3)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい 2. いいえ
(4)	お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい 2. いいえ
(5)	口の渇きが気になりますか	1. はい 2. いいえ

- ・口腔機能の低下に関して、「機能低下している」人が26.1%に対して、「機能低下していない」人が71.8%となっており、「機能低下していない」人が7割を超える。
- ・圏域別では、第2地区において「機能低下している」人の割合が26.8%と最も多く、第3地区が25.2%と最も低い。

■機能低下しているか【割合】

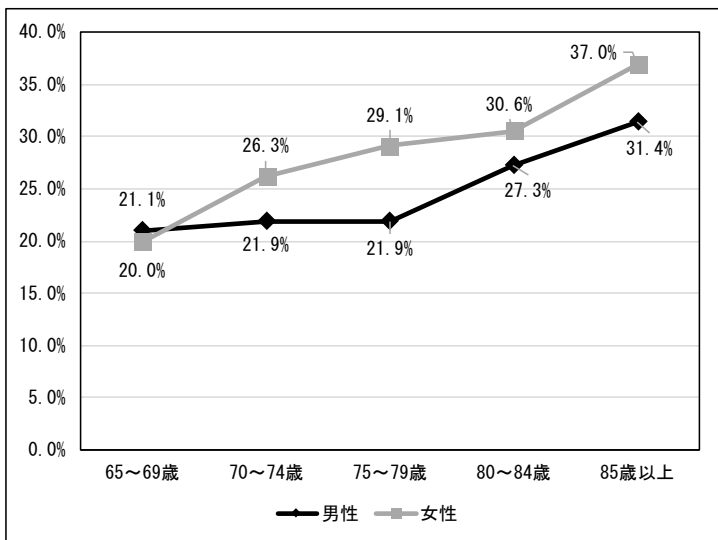


【圏域別割合】



・「機能低下している」人の割合は、「65～69歳」を除いて女性の方が高い。また、その割合は男女とも高齢なほど高くなり、85歳以上では男性が3割、女性は4割弱となっている。

■機能低下している人※【年齢・性別割合】



※問3の(3)～(5)で2問以上、該当する選択肢(前頁表の網掛けの箇所)に回答した人

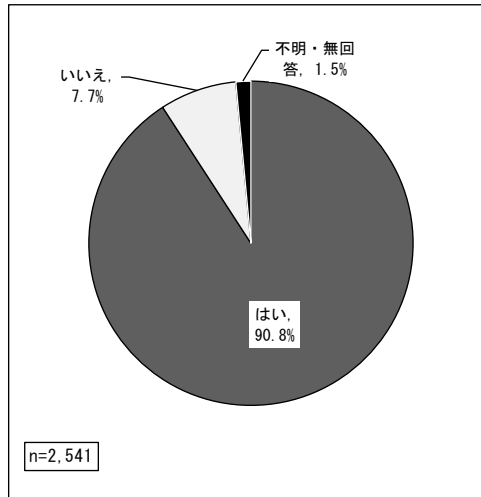
【実数】

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	72	78	67	51	61
女性	37	63	72	59	88

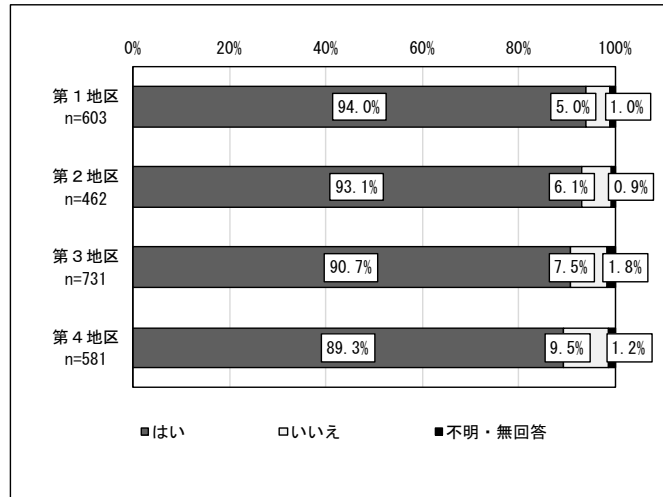
(6) 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか（SA）

- ・歯磨きを毎日しているかに関して、「はい（毎日している）」が90.8%に対して、「いいえ（毎日していない）」が7.7%と、歯磨きを毎日している人が9割超となっている。
- ・圏域別では、第4地区において「いいえ（毎日していない）」の割合が9.5%と最も高く、第1地区において5.0%と最も低い。すべての圏域においてほぼ9割を占めている。
- ・「いいえ（毎日していない）」と回答した割合は、男性の方が高い。

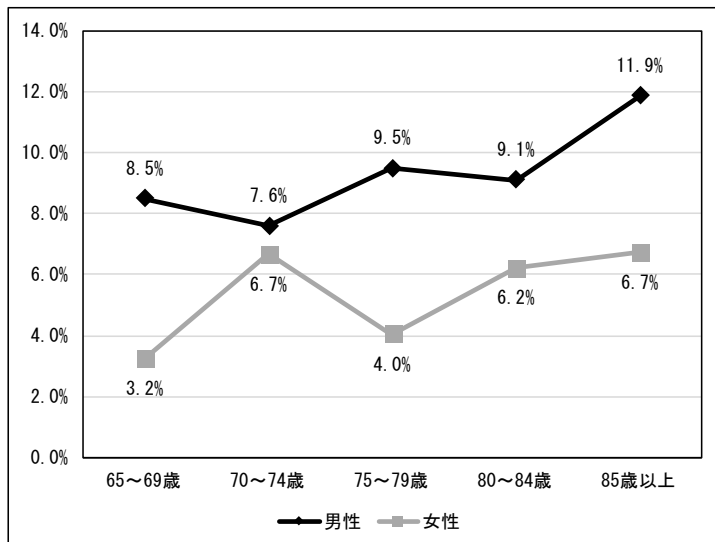
■歯磨きを毎日している【割合】



【圏域別割合】



■毎日していない人※【年齢・性別割合】



※「いいえ」と回答した人

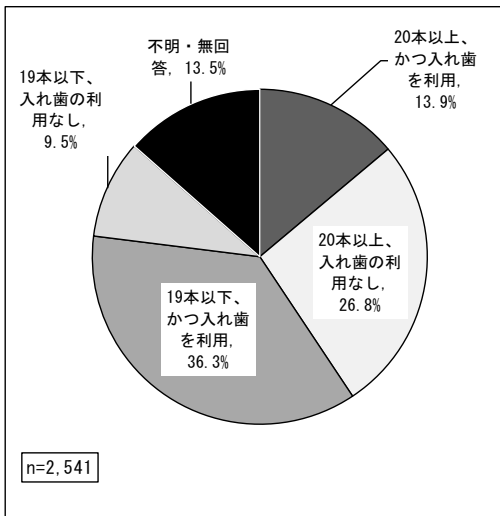
【実数】

	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	29	27	29	17	23
女性	6	16	10	12	16

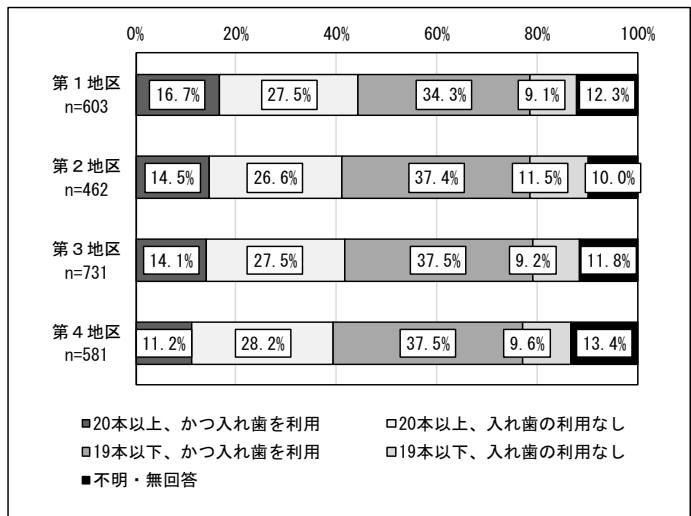
(7) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください (SA)

- ・歯の数と入れ歯の利用状況に関して、「19本以下、かつ入れ歯を利用」が36.3%で最も多く、次いで「20本以上、入れ歯の利用なし」(26.8%)、「20本以上、かつ入れ歯を利用」(13.9%)、「19本以下、入れ歯の利用なし」(9.5%)の順となっている。入れ歯を利用している(「19本以下、かつ入れ歯を利用」又は「20本以上、かつ入れ歯を利用」と回答した割合は50.2%と過半に達している。
- ・圏域別では、第2地区において入れ歯を利用している割合が51.9%と最も高く、第4地区において48.7%と最も低い。
- ・入れ歯を利用していると回答した割合は、男女ともに高齢なほど割合が高くなる傾向にある。

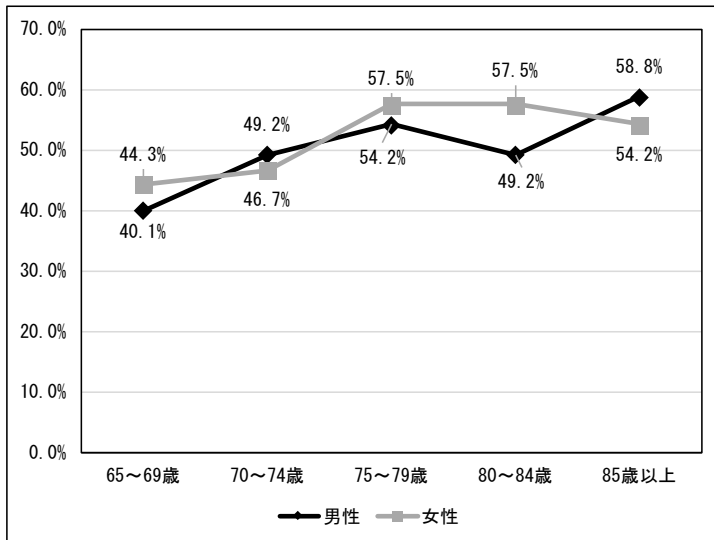
■歯の数と入れ歯の利用状況【割合】



【圏域別割合】



■入れ歯を利用している人※【年齢・性別割合】



※「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」又は「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と回答した人

【実数】

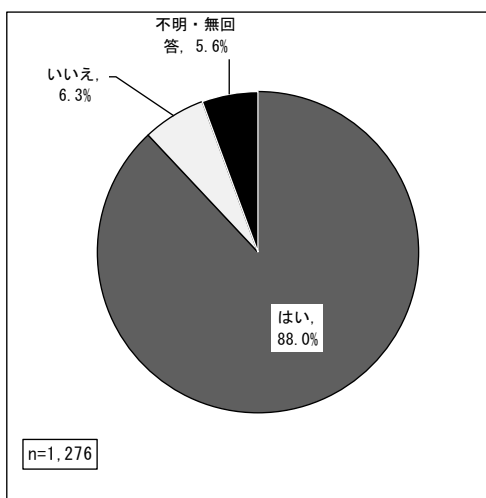
	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	137	175	166	92	114
女性	82	112	142	111	129

【(7)で「1.自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3.自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】

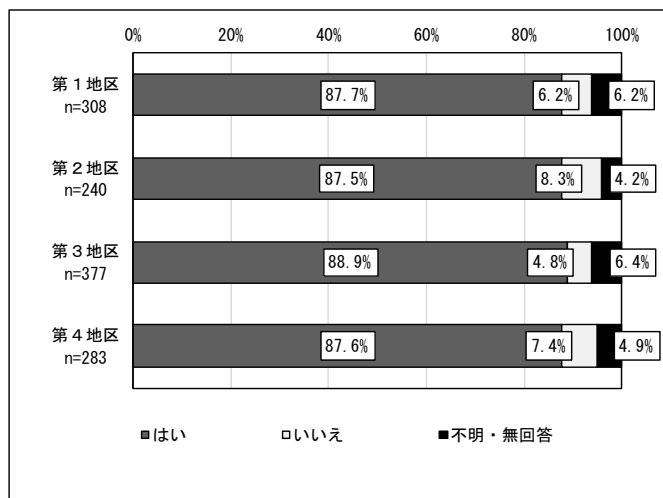
(7) - ①毎日入れ歯の手入れをしていますか (SA)

- ・入れ歯を利用している回答者が、入れ歯の手入れを毎日行っているかに関して、「はい (毎日している)」が88.0%で、「いいえ (毎日していない)」が6.3%と、毎日手入れしている人が9割弱を占めている。
- ・圏域別では、第3地区において「はい (毎日している)」の割合が88.9%と最も高く、第2地区において87.5%と最も低い。
- ・「いいえ (毎日していない)」と回答した割合は、男性の方が高い。その割合は、男性では65～69歳が12.4%で最も高くなっており、女性では70～74歳が7.1%で最も高くなっている。

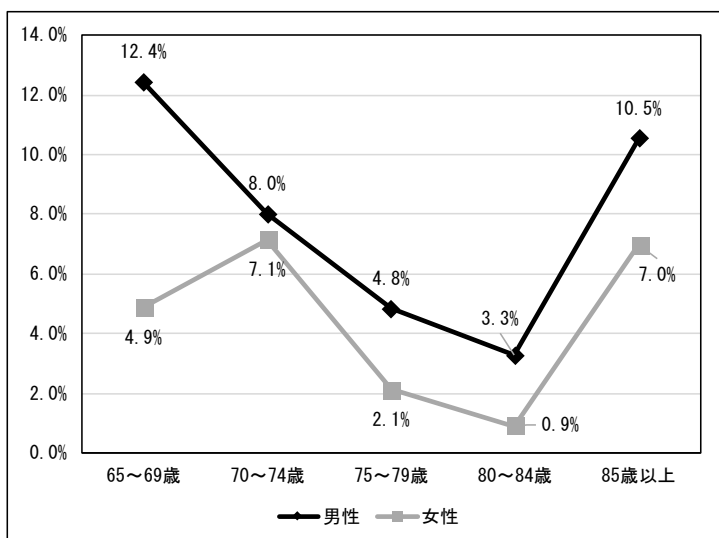
■毎日歯の手入れをしている【割合】



【圏域別割合】



■毎日手入れをしていない人 ※【年齢・性別割合】



※「いいえ」と回答した人

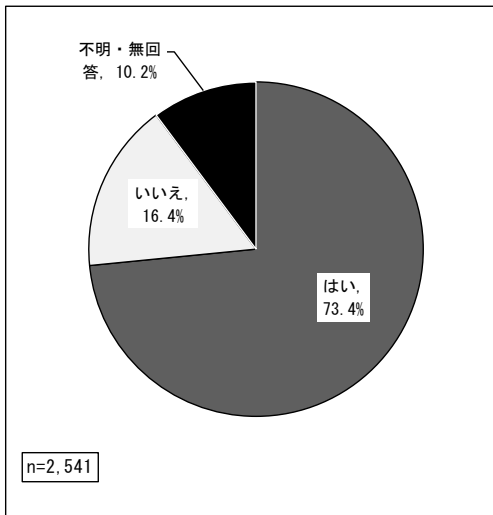
【実数】

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	17	14	8	3	12
女性	4	8	3	1	9

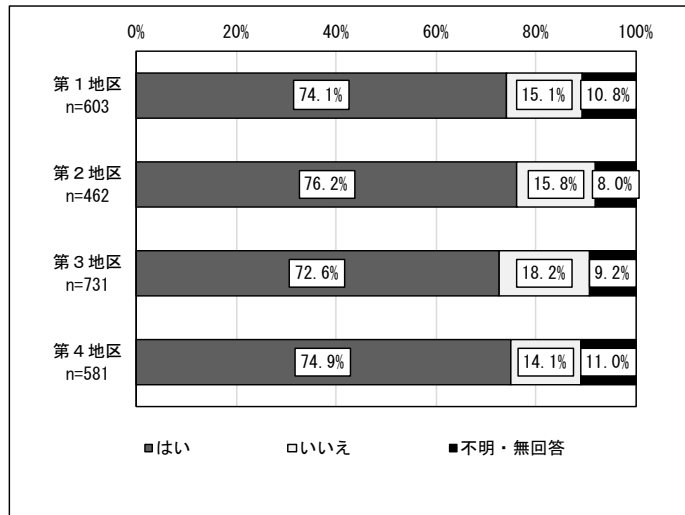
(8) 噛み合わせは良いですか (SA)

- ・噛み合わせの良さに関して、「はい (噛み合わせが良い)」が 73.4%で、「いいえ (噛み合わせが良くない)」が 16.4%と、「噛み合わせは良い」という人は7割を超えている。
- ・圏域別では、第2地区において「はい (噛み合わせが良い)」の割合が 76.2%と最も高く、第3地区において 72.6%と最も低い。
- ・「いいえ (噛み合わせが良くない)」と回答した割合は、女性の方が高い。その割合は、男性では 65～69歳が 18.7%と最も高く、女性では 80～84歳で 18.7%と最も高くなっている。

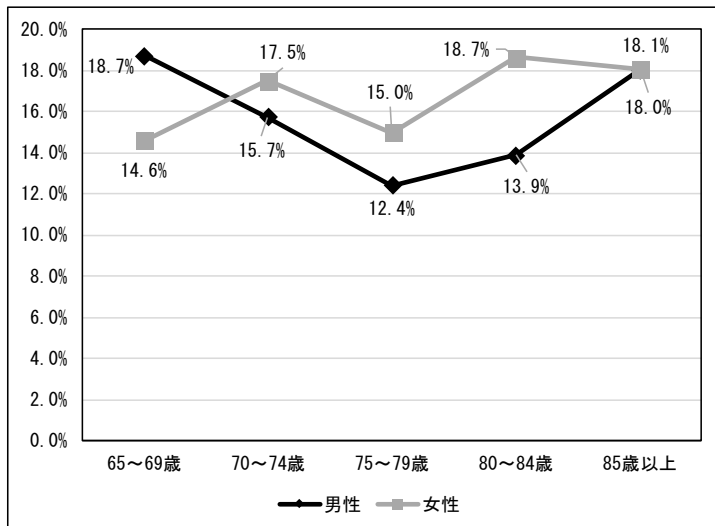
■ 噛み合わせは良い【割合】



【圏域別割合】



■ 噛み合わせが良くない人※【年齢・性別割合】



※ 「いいえ」と回答した人

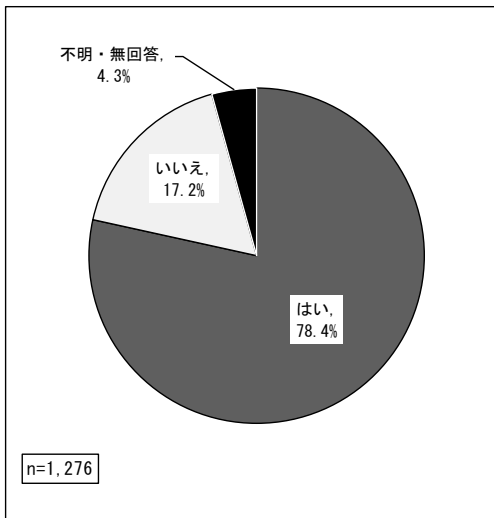
【実数】

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	64	56	38	26	35
女性	27	42	37	36	43

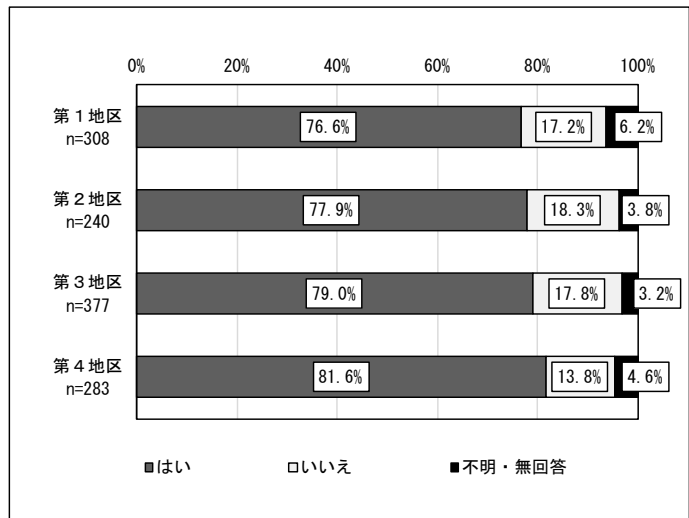
【入れ歯のある方のみ】

- ・入れ歯を利用している回答者の噛み合わせの良さに関して、「はい（噛み合わせが良い）」が78.4%で、「いいえ（噛み合わせが良くない）」が17.2%と、噛み合わせが良いという人が4分の3を超える。
- ・圏域別では、第4地区において「はい（噛み合わせが良い）」の割合が81.6%と最も高く、第1地区において「はい（噛み合わせが良い）」の割合が76.6%と最も低い。
- ・「いいえ（噛み合わせが良くない）」と回答した割合は、65～69歳と85歳以上を除き女性の方が高い。

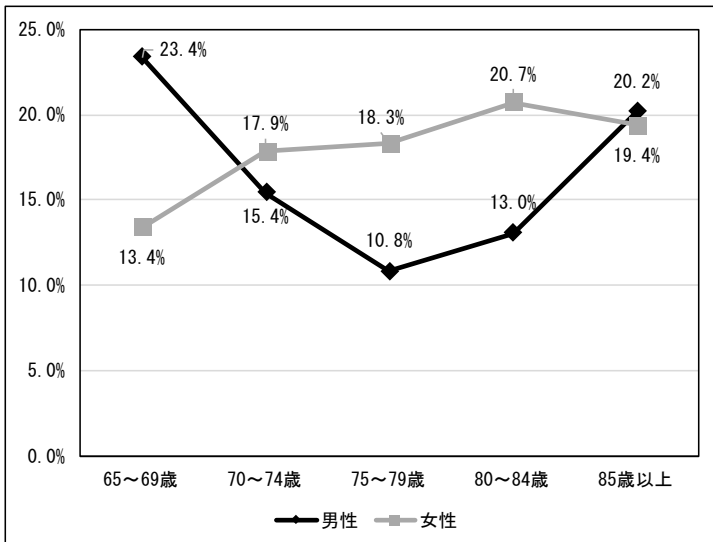
■噛み合わせは良い【割合】



【圏域別割合】



■噛み合わせが良くない人※【年齢・性別割合】



※「いいえ」と回答した人

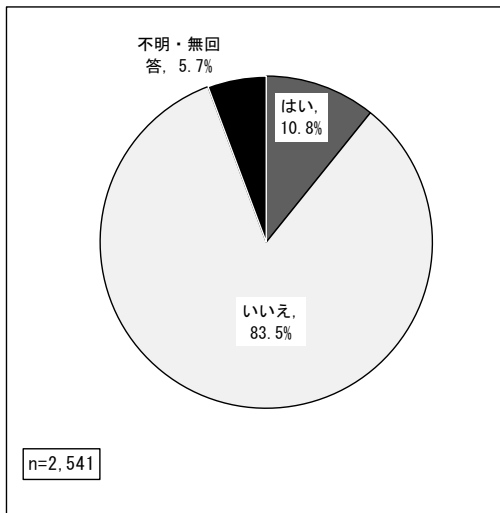
【実数】

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	32	27	18	12	23
女性	11	20	26	23	25

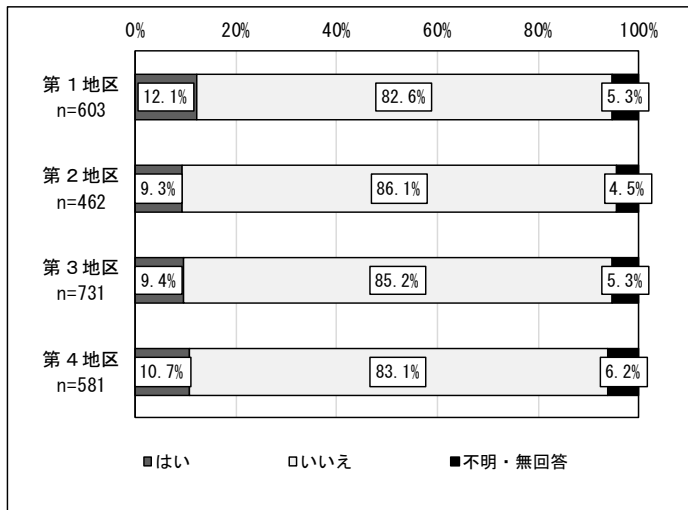
(9) 6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか (SA)

- ・半年間で2~3kg以上の体重減少があったかに関して、「はい (減少があった)」が10.8%に対して、「いいえ (減少はない)」が83.5%と、減っていない人が8割を超えている。
- ・圏域別では、第1地区において「はい (減少があった)」の割合が12.1%と最も高く、第2地区において9.3%と最も低い。
- ・「はい (減少があった)」と回答した割合は、75~79歳を除き男性の方が高い。また、その割合は男性では85歳以上が13.9%と最も高く、女性では75~79歳で14.2%と最も高い。

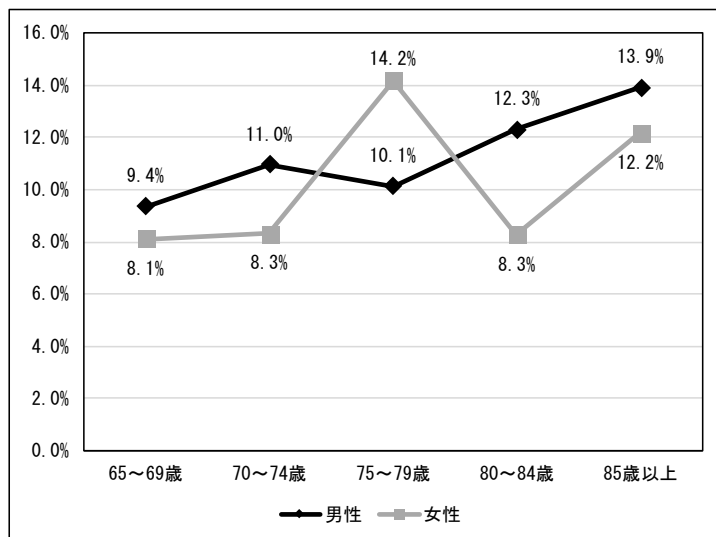
■ 体重減少があった【割合】



【圏域別割合】



■ 体重減少があった人※【年齢・性別割合】



※ 「はい」と回答した人

【実数】

	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	32	39	31	23	27
女性	15	20	35	16	29

③ 低栄養状態

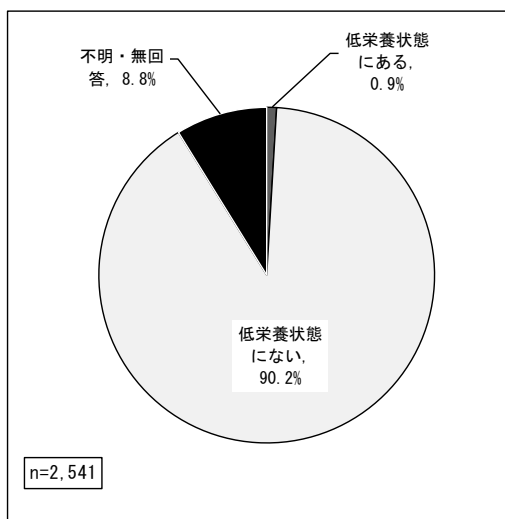
低栄養状態の定義

本報告書では、問3の(1)の回答から算出されたBMI(体重(kg)÷{身長(m)×身長(m)})が18.5以下(低栄養の疑いあり)かつ(9)の該当する選択肢(下の表の網掛けの箇所)に回答した場合、「低栄養状態にある」高齢者と定義した。

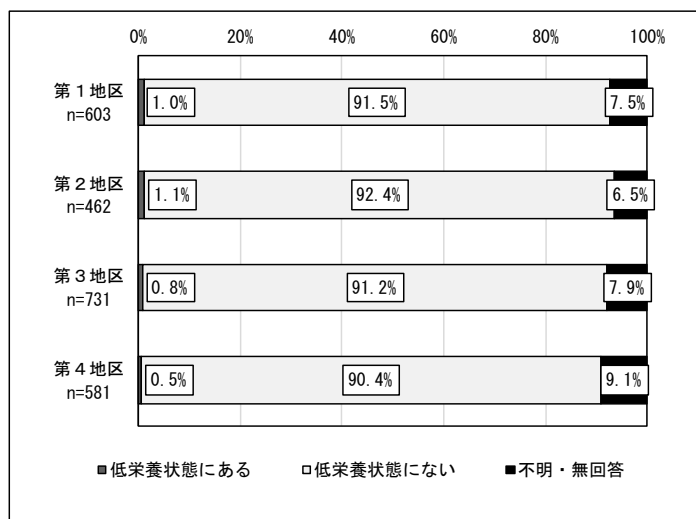
No.	設問内容	選択肢
(1)	身長・体重	() cm () kg
(9)	6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい 2. いいえ

- ・低栄養状態であるかに関して、「低栄養状態にある」人が0.9%に対して、「低栄養状態にはない」人が90.2%と、低栄養状態にはない人が9割超を占める。
- ・圏域別では、第2地区において「低栄養状態にある」人の割合が1.1%と最も高く、第4地区において0.5%と最も低い。

■低栄養状態か【割合】

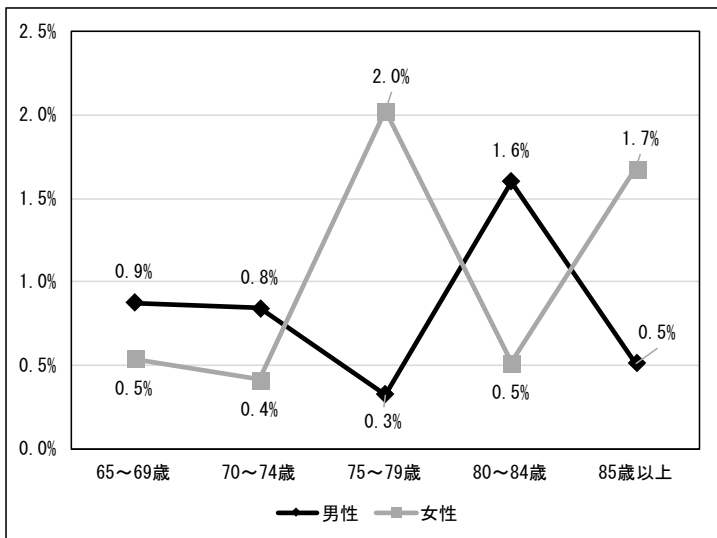


【圏域別割合】



- ・「低栄養状態にある」人の割合は、男女ともに割合は低いが、女性では75～79歳が2.0%で最も高くなっており、男性では80～84歳で1.6%と最も高くなっている。

■低栄養状態の人※【年齢・性別割合】



※BMI18.5 以下かつ問3の(9)の該当する選択肢（前頁表の網掛けの箇所）に回答した人

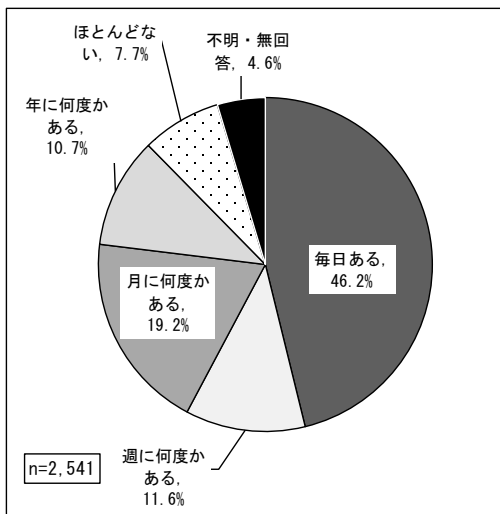
【実数】

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	3	3	1	3	1
女性	1	1	5	1	4

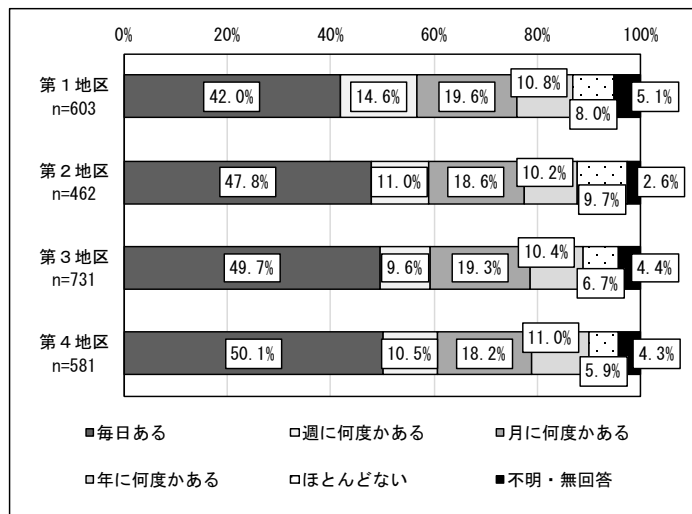
(10) どなたかと食事をとる機会がありますか (SA)

- ・人と一緒に食事をする機会の頻度に関して、「毎日ある」が46.2%と最も多く、次いで「月に何度かある」(19.2%)、「週に何度かある」(11.6%)、「年に何度かある」(10.7%)の順となっており、毎日誰かしらと食事をする人が5割弱を占めている。
- ・圏域別では、第4地区において、「毎日ある」割合が50.1%と最も高く、第1地区において42.0%と最も低い。
- ・「ほとんどない」と回答した割合は、全体で男性の方が高く、特に85歳以上が11.9%と最も高くなっている。

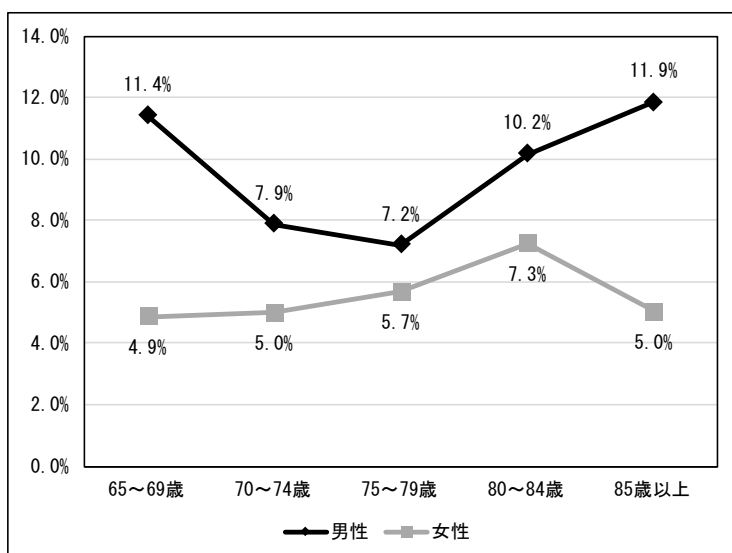
■人と一緒に食事をする機会【割合】



【圏域別割合】



■人と一緒に「ほとんどない」人【年齢・性別割合】



【実数】

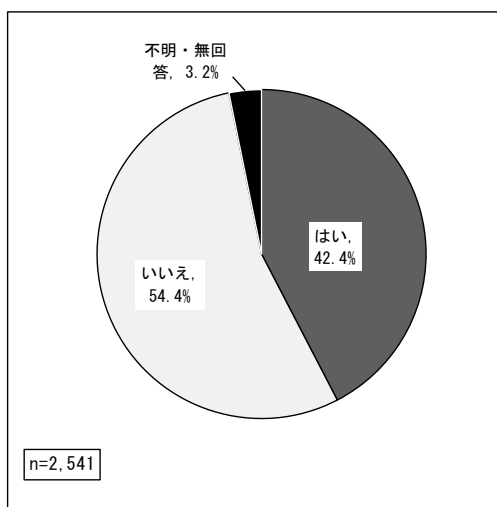
	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	39	28	22	19	23
女性	9	12	14	14	12

問4 毎日の生活について

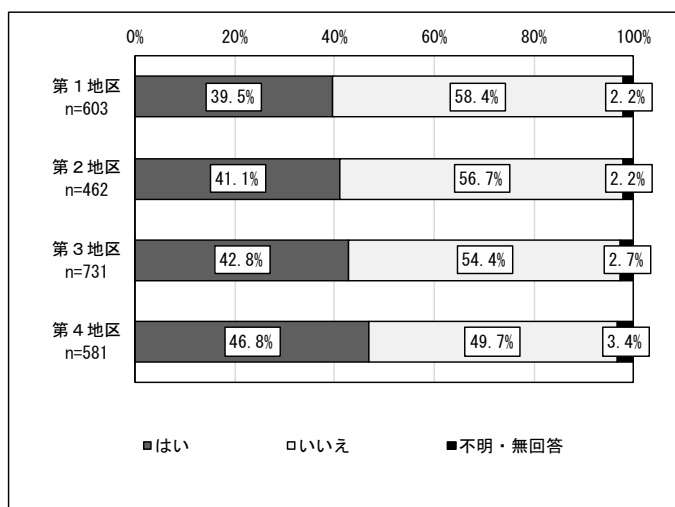
(1) 物忘れが多いと感じますか (SA)

- ・物忘れが多いと感じるかに関して、「はい」が42.4%に対して、「いいえ」が54.4%と、物忘れが多いと感じる人が4割超となっている。
- ・圏域別では、第4地区において物忘れが多いと感じる人の割合が46.8%と最も高く、第1地区において39.5%と最も低い。
- ・物忘れが多いと感じる人の割合はすべての年齢において女性の方が高い。また、その割合は男女ともに高齢なほど高くなっている。

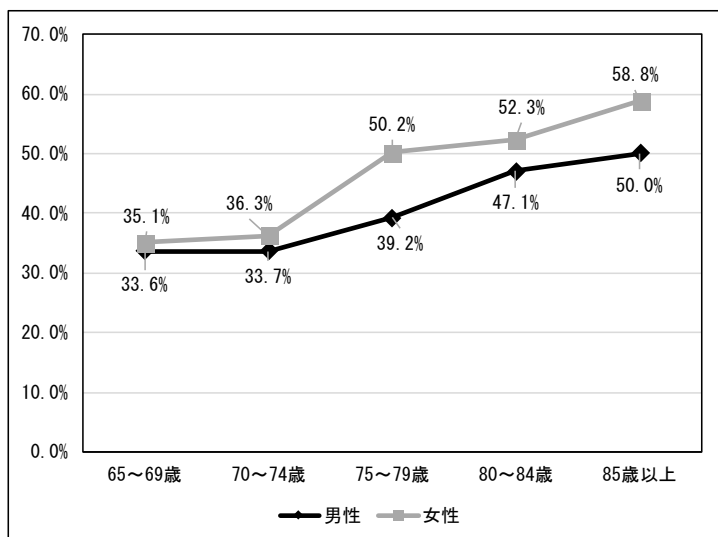
■物忘れが多いと感じる【割合】



■圏域別割合【割合】



■物忘れが多いと感じる人※【年齢・性別割合】



※「はい」と回答した人

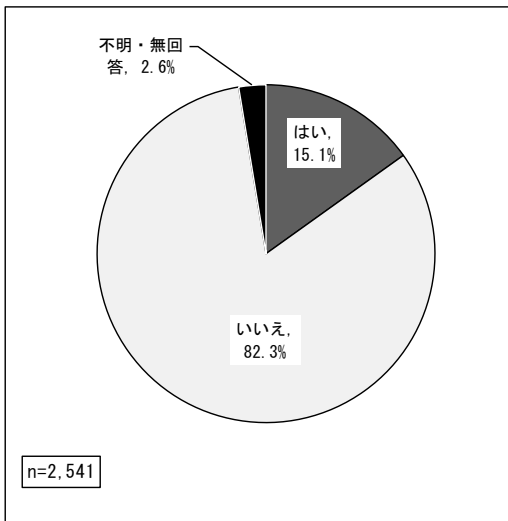
【実数】

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	115	120	120	88	97
女性	65	87	124	101	140

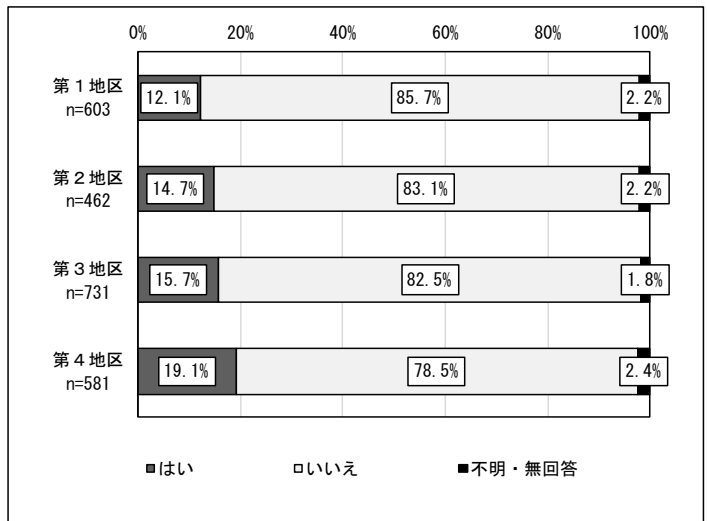
(2) 周りの人から「いつも同じことを聞く」など物忘れがあるとされますか (SA)

- ・周りの人から「いつも同じことを聞く」など物忘れがあるとされるかに関して、「いいえ (言われない)」が 82.3%で、「はい (言われる)」が 15.1%となっている。
- ・圏域別では、第4地区で「はい (言われる)」の割合が 19.1%と最も高く、第1地区では 12.1%と最も低い。
- ・「はい (言われる)」と回答した割合は、75~79歳を除き男性の方が高くなっている。また、その割合は男女ともに高齢なほど高い傾向にある。

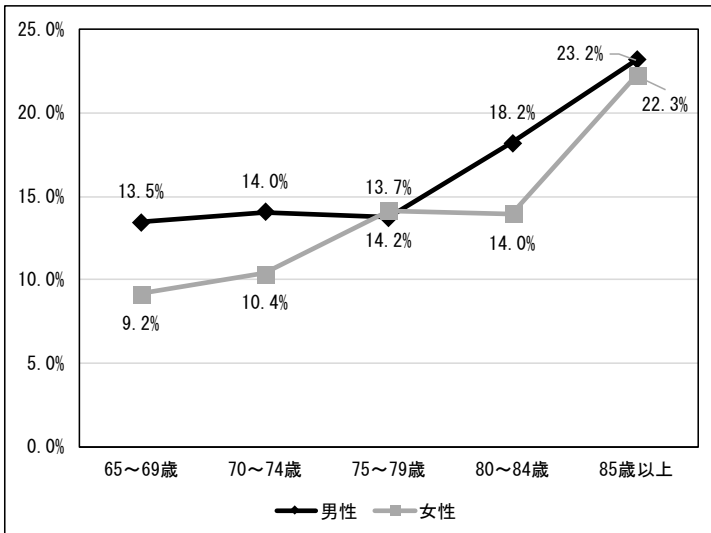
■物忘れがあるとされる【割合】



【圏域別割合】



■物忘れがあるとされる人※【年齢・性別割合】



※「はい」と回答した人

【実数】

	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	46	50	42	34	45
女性	17	25	35	27	53

④ 認知機能の低下

認知機能の低下の定義

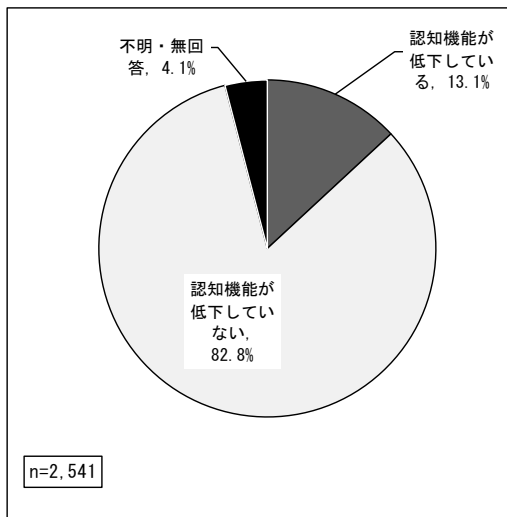
本報告書では、問4の(1)(2)の全ての設問に対し、該当する選択肢(下の表の網掛けの箇所)に回答した場合、認知機能が「機能低下している」高齢者と定義した。

なお、(1)(2)の全ての設問に回答した人のみを対象とし、それ以外は「不明・無回答」とした。

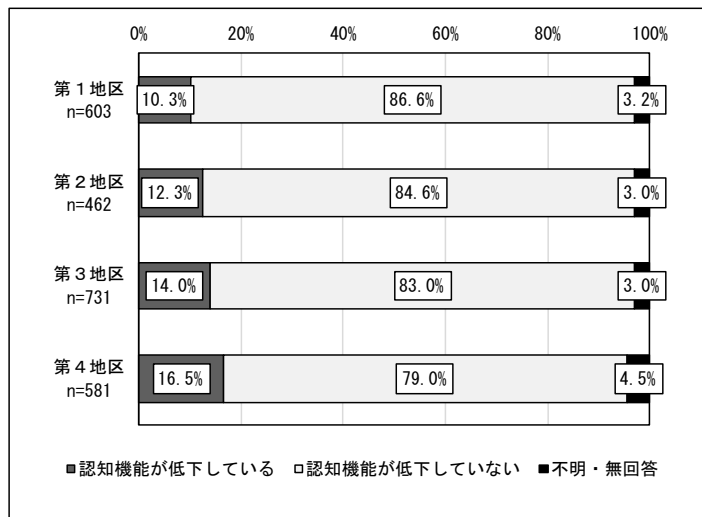
No.	設問内容	選択肢
(1)	物忘れが多いと感じますか	1. はい 2. いいえ
(2)	周りの人から「いつも同じことを聞く」など物忘れがあるとされますか	1. はい 2. いいえ

- ・ 認知機能の機能低下に関して、「機能低下している」人が13.1%に対して、「機能低下していない」人が82.8%となっており、「機能低下していない」人が8割を超える。
- ・ 圏域別では、第4地区において「機能低下している」人の割合が16.5%と最も高く、第1地区において10.3%と最も低い。

■ 機能低下しているか【割合】

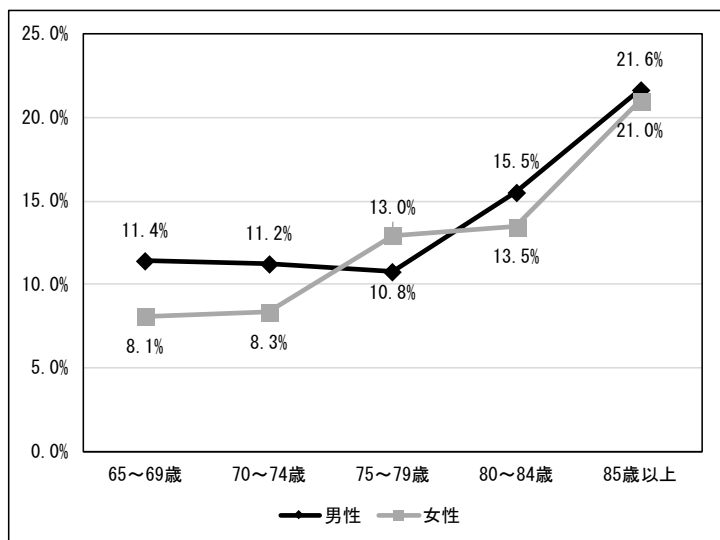


【圏域別割合】



・「機能低下している」人の割合は、75～79歳を除いて男性の方が高い。また、その割合は男女とも高齢なほど高くなり、85歳以上では男女ともに2割強となっている。

■機能低下しているの人※【年齢・性別割合】



※問4の(1)(2)ともに該当する選択肢(前頁表の網掛けの箇所)に回答した人

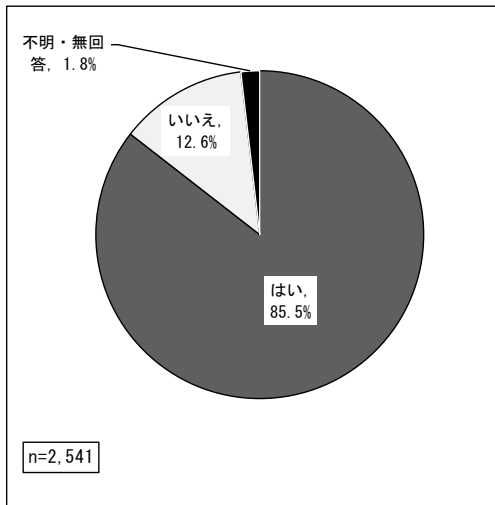
【実数】

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	39	40	33	29	42
女性	15	20	32	26	50

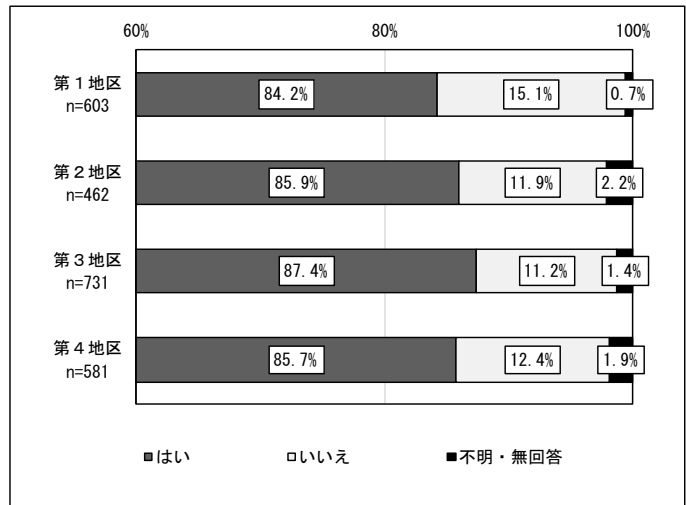
(3) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか (SA)

- ・自分で電話番号を調べて、電話をかけているかに関して、「はい (電話をかけている)」が 85.5%、「いいえ (電話をかけていない)」が 12.6%となっている。
- ・圏域別では、第3地区で「はい (電話をかけている)」の割合が 87.4%と最も高くなっている。
- ・「いいえ (電話をかけていない)」と回答した割合は、男性の方がすべての年齢において高く、85歳以上の割合が 20.6%と最も高くなっている。

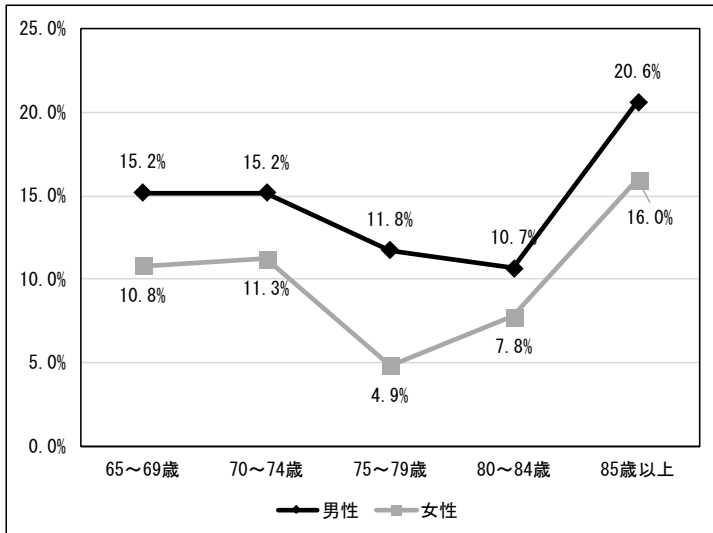
■自分で電話番号を調べて、電話をかけている【割合】



【圏域別割合】



■電話をかけていない人※【年齢・性別割合】



※「いいえ」と回答した人

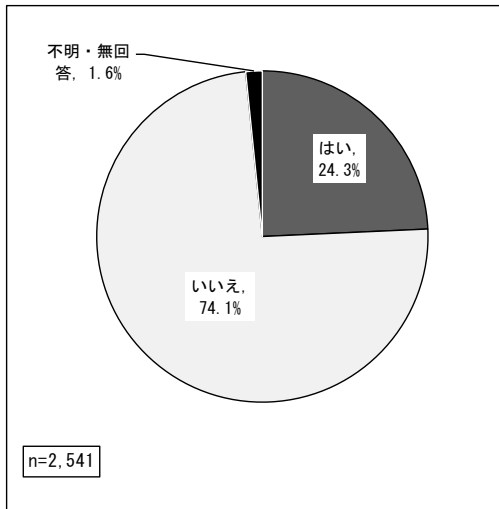
【実数】

	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	52	54	36	20	40
女性	20	27	12	15	38

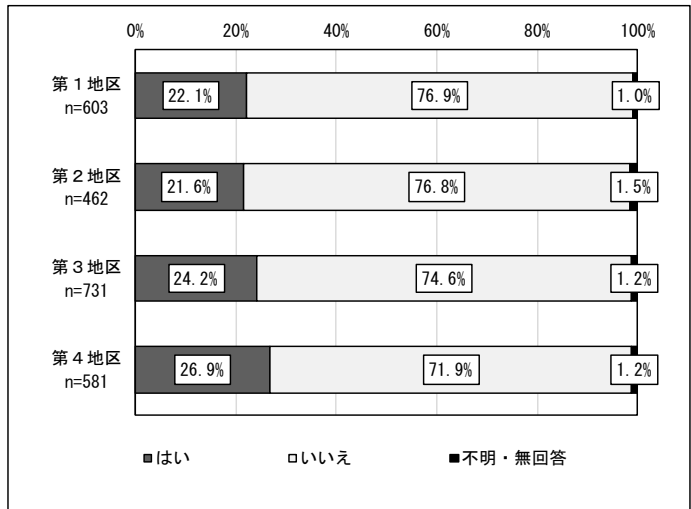
(4) 今日が何月何日かわからない時がありますか (SA)

- ・今日の月日がわからなくなる時があるかに関して、「はい (わからない時がある)」が 24.3%に対して、「いいえ (わからない時はない)」が 74.1%と、わからなくなる時はないという人が7割超となっている。
- ・圏域別では、第4地区において、「はい (わからない時がある)」の割合が 26.9%と最も高く、第2地区において 21.6%と最も低い。
- ・「はい (わからない時がある)」と回答した割合は、75～79歳を除き男性の方が高い。また、その割合は男性では高齢なほど高い傾向にある。

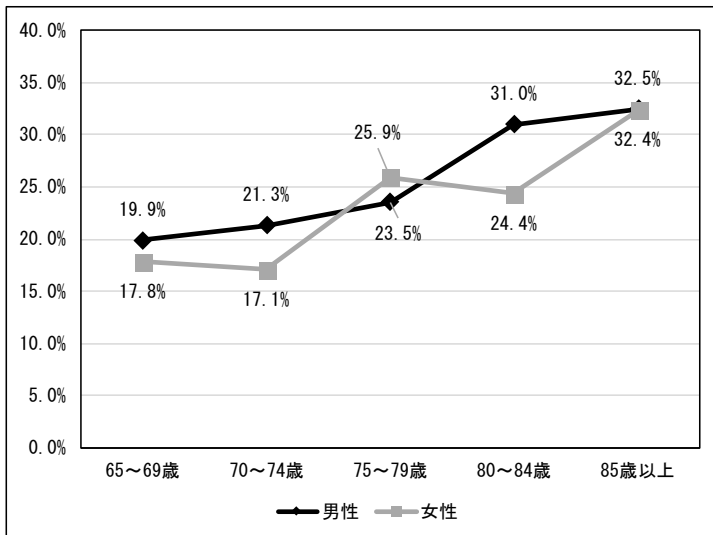
■日にちがわからない時がある【割合】



【圏域別割合】



■わからない時がある人※【年齢・性別割合】



※「はい」と回答した人

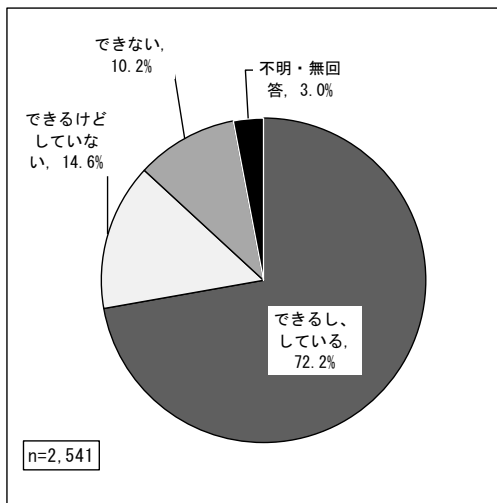
【実数】

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	68	76	72	58	63
女性	33	41	64	47	77

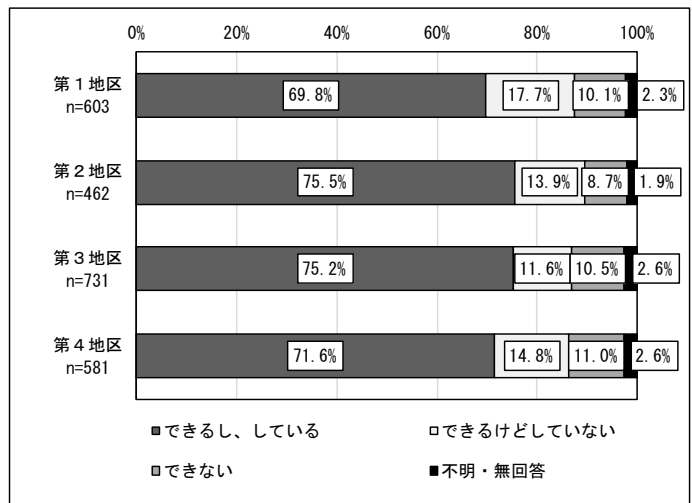
(5) バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）（SA）

- ・バスや電車を利用して一人で外出するかに関して、「できるし、している」が72.2%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が14.6%となっており、「できるし、している」と「できるけどしていない」を合わせると、できるといふ人が8割強となっている。
- ・圏域別では、第2地区において「できるし、している」が75.5%と最も高く、第1地区において、69.8%と最も低い。
- ・「できない」と回答した割合は、女性の方が高い。また、その割合は男女ともに高齢なほど高く、特に85歳以上女性では44.5%と4割を超えている。

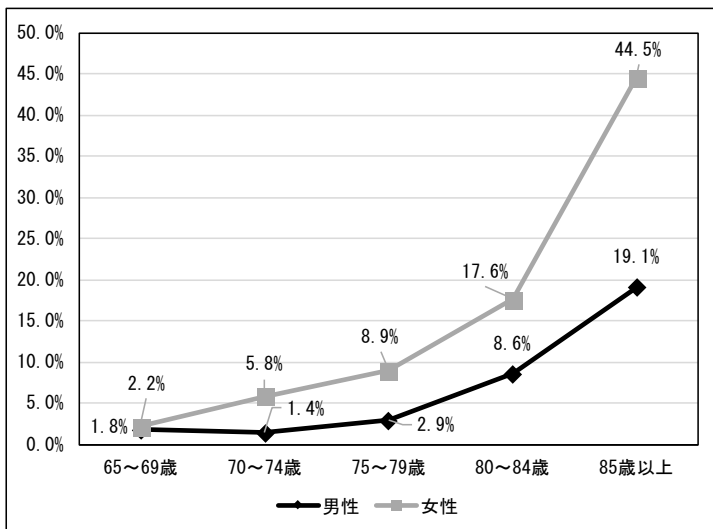
■バスや電車でひとりで外出している【割合】



【圏域別割合】



■一人で外出「できない」人【年齢・性別割合】



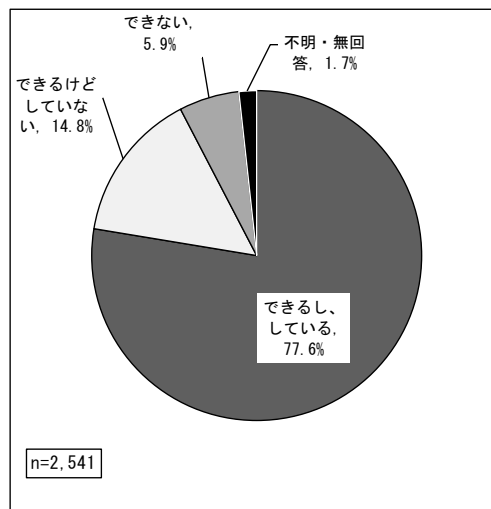
【実数】

	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	6	5	9	16	37
女性	4	14	22	34	106

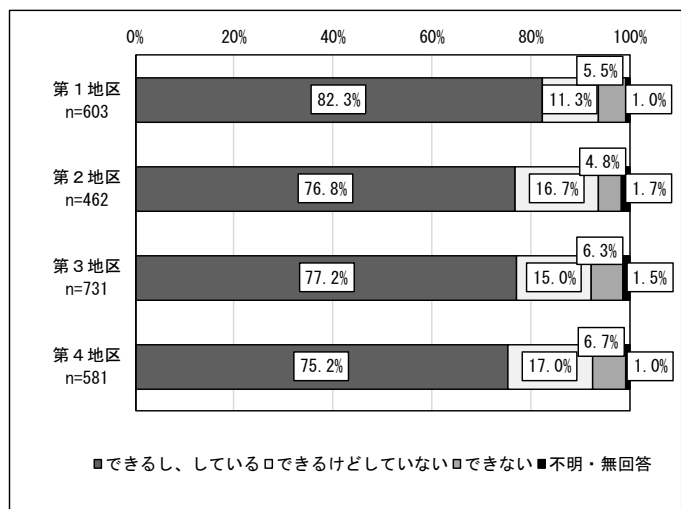
(6) 自分で食品・日用品の買物をしていますか (SA)

- ・日用品の買物を行っているのかに関して、「できるし、している」が77.6%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が14.8%となっており、「できるし、している」と「できるけどしていない」を合わせると、できるという人が9割超となっている。
- ・圏域別では、第1地区において「できるし、している」の割合が82.3%と最も高く、第4地区において75.2%と最も低い。
- ・「できない」と回答した割合は、女性の方が高い。また、その割合は男女ともに高齢なほど高くなっており、特に85歳以上の女性では24.8%と2割を超えている。

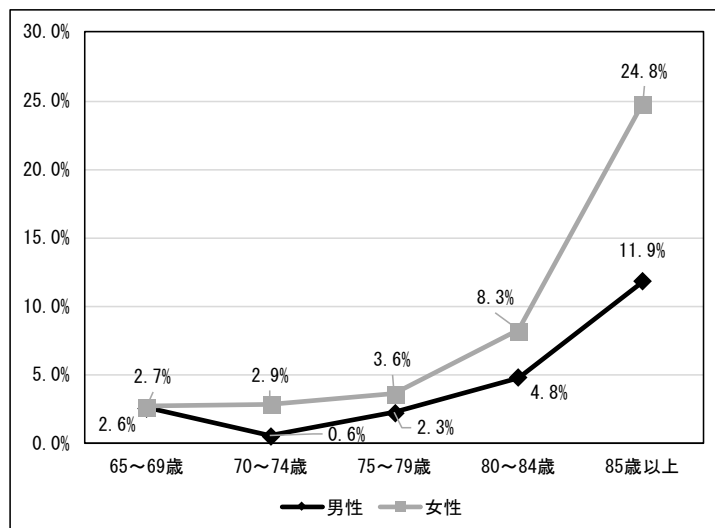
■日用品の買い物をしている【割合】



【圏域別割合】



■買い物を「できない」人【年齢・性別割合】



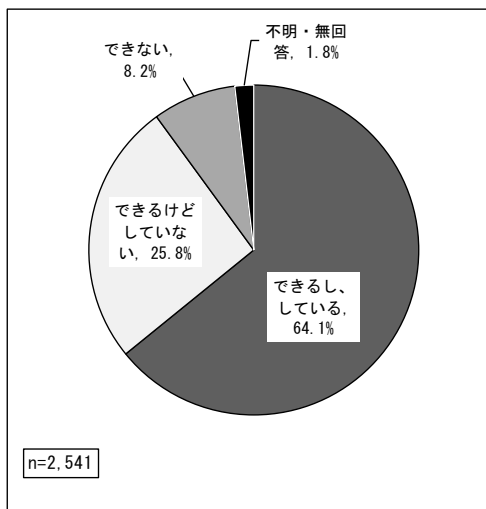
【実数】

	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	9	2	7	9	23
女性	5	7	9	16	59

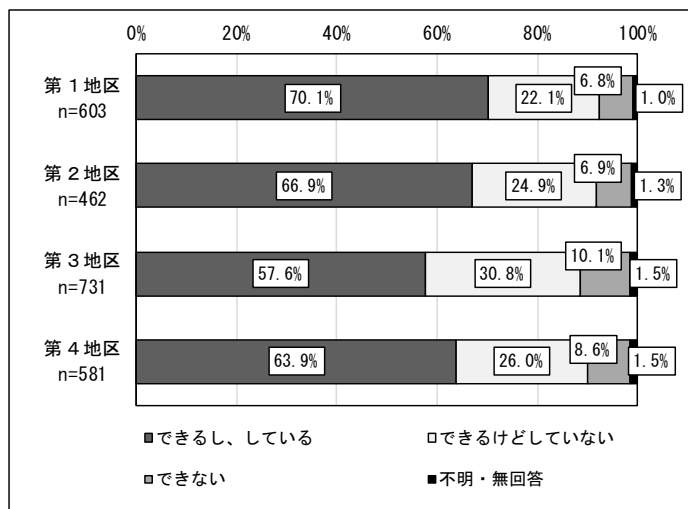
(7) 自分で食事の用意をしていますか (SA)

- ・自分で食事の用意を行うかに関して、「できるし、している」が64.1%と最も多く、次いで「できるけどしていない」が25.8%となっており、「できるし、している」と「できるけどしていない」を合わせると、できるという人が9割弱を占める。
- ・圏域別では、第1地区において「できるし、している」の割合が70.1%と最も高く、第3地区において57.6%と最も低い。
- ・「できない」と回答した割合は、男性の方が高い。また、その割合は男女ともに高齢なほど高くなっている。

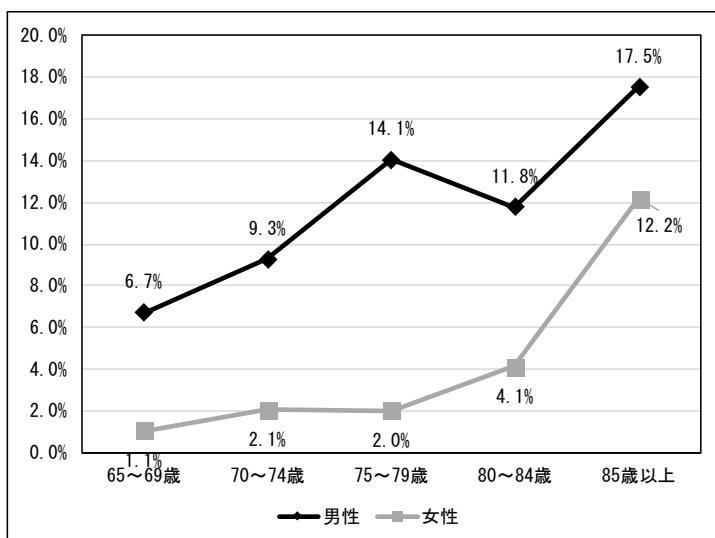
■自分で食事の用意をする【割合】



【圏域別割合】



■食事を用意「できない」人【年齢・性別割合】



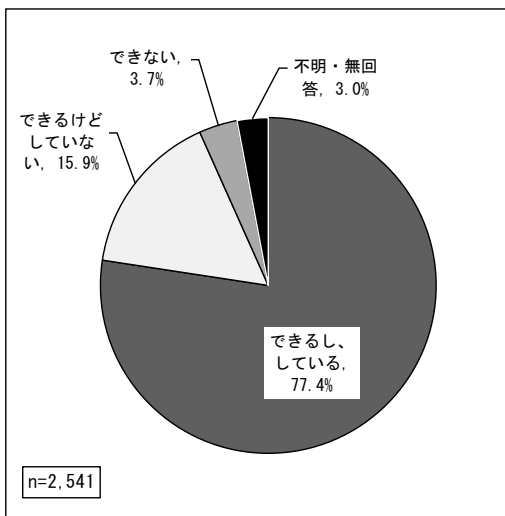
【実数】

	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	23	33	43	22	34
女性	2	5	5	8	29

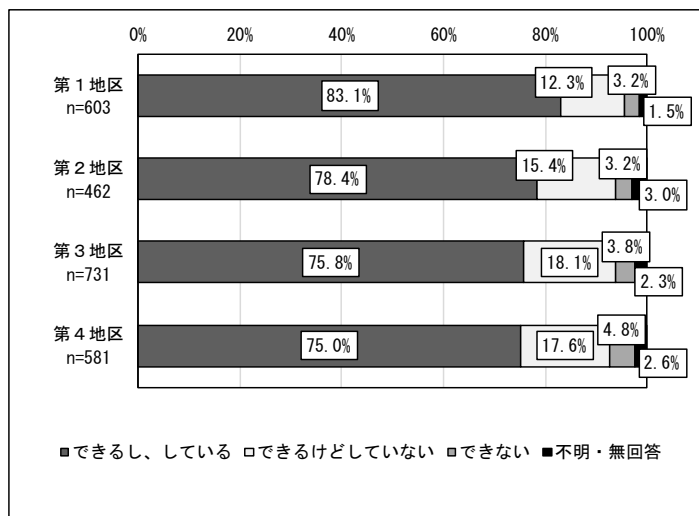
(8) 自分で請求書の支払いをしていますか (SA)

- ・請求書の支払いをする行為に関して、「できるし、している」が77.4%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が15.9%となっており、「できるし、している」と「できるけどしていない」を合わせると、できるという人が9割を超える。
- ・圏域別では、第1地区において「できるし、している」の割合が83.1%と最も高く、第4地区において75.0%と最も低い。
- ・「できない」と回答した割合は、女性では85歳以上が10.9%と最も高くなっている。また、男性では85歳以上が7.7%と最も高くなっている。

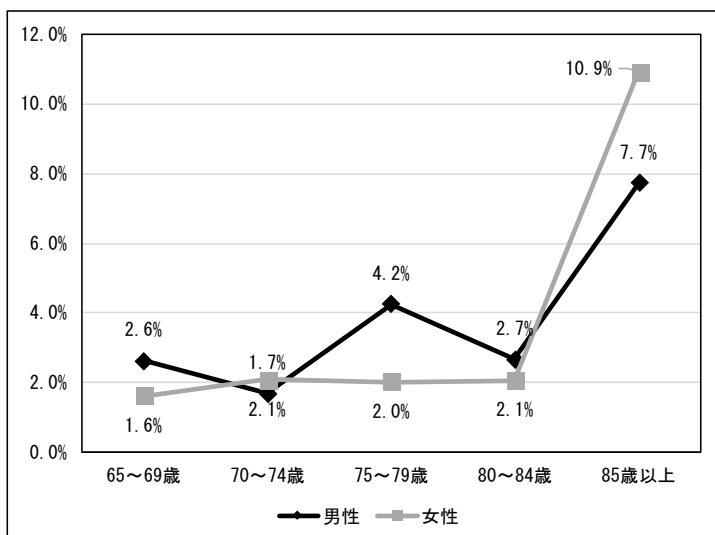
■請求書の支払いをする【割合】



【圏域別割合】



■支払いが「できない」人【年齢・性別割合】



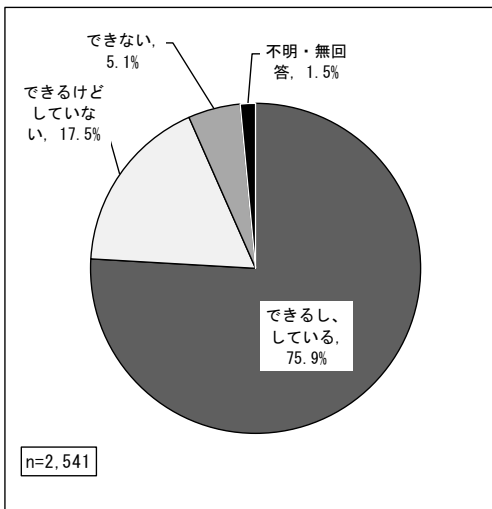
【実数】

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	9	6	13	5	15
女性	3	5	5	4	26

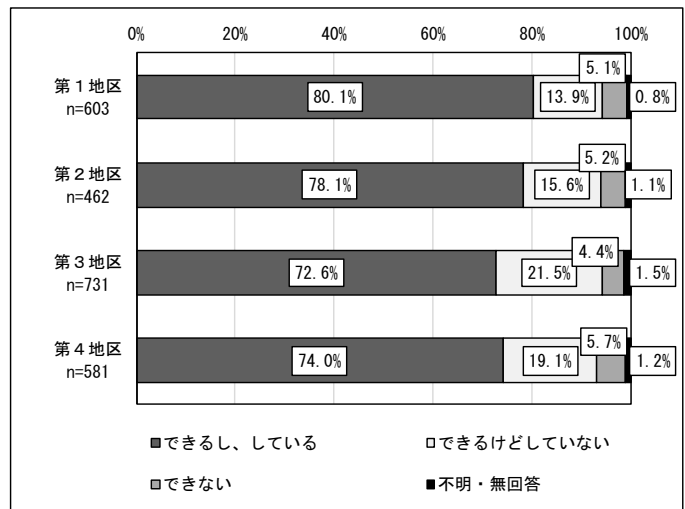
(9) 自分で預貯金の出し入れをしていますか (SA)

- ・預貯金の出し入れをする行為に関して、「できるし、している」が75.9%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が17.5%となっており、「できるし、している」と「できるけどしていない」を合わせると、できるという人が9割を超える。
- ・圏域別では、第1地区において「できるし、している」の割合が80.1%と最も高く、第3地区において72.6%と最も低い。
- ・「できない」と回答した割合は、84歳までは男性が高くなっているが、85歳以上においては女性13.9%となり最も高くなっている。男女ともに年齢が上がるに連れて割合は高くなっている。

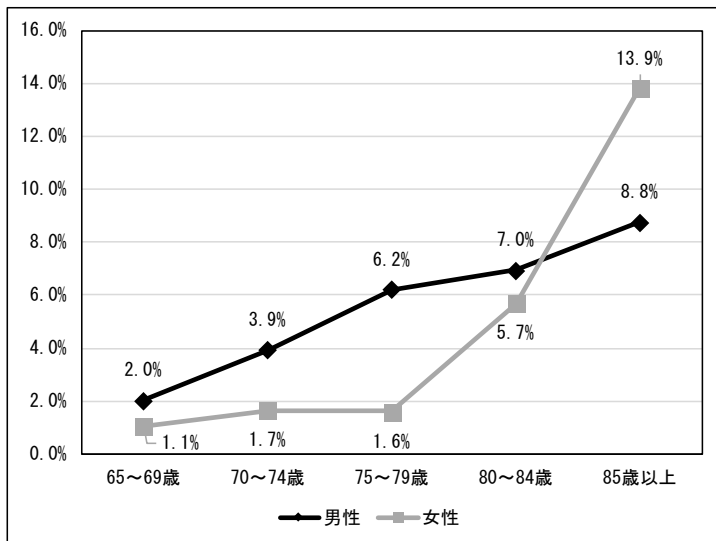
■ 預貯金の出し入れをする【割合】



【圏域別割合】



■ 出し入れ「できない」人【年齢・性別割合】



【実数】

	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	7	14	19	13	17
女性	2	4	4	11	33

⑤ IADL*の評価

IADL の評価の定義

問4の(5)～(9)において該当する選択肢(下の表の網掛けの箇所)にそれぞれ回答した場合を1点とし、5点満点で採点した。

本報告書では、IADLの評価について、5点満点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と定義した。

なお、(5)～(9)の全ての設問に回答した人のみを対象とし、それ以外は「不明・無回答」とした。

No.	設問内容	選択肢
(5)	バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(6)	自分で食品・日用品の買物をしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(7)	自分で食事の用意をしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(8)	自分で請求書の支払いをしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(9)	自分で預貯金の出し入れをしていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

※IADL

IADLとは手段的日常生活動作(instrumental activity of dialy living)のこと。

日常生活動作(ADL: activity of dialy living)は

- (1) 基本的日常生活動作(Basic ADL=BADL)
- (2) 手段的日常生活動作(instrumental ADL=IADL)

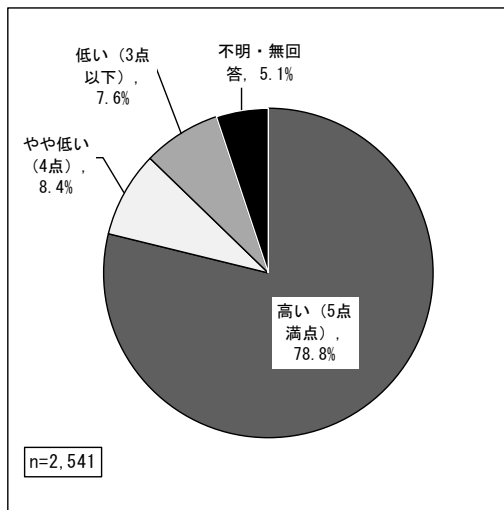
で構成される。

IADLとは、BADLの身の回り動作(食事、更衣、整容、トイレ、入浴等)・移動動作の次の段階であり、具体的には、買い物、調整、洗濯、電話、薬の管理、財産管理、乗り物等の日常生活上の複雑な動作をいう。

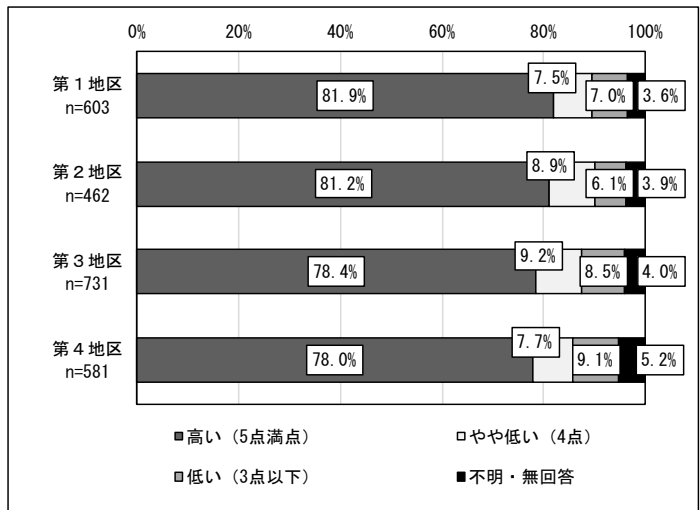
IADLは、ADLよりも前段階の日常生活動作の障害を示しており、IADLの低下が起こってから、次にADLの障害が起こる。

- ・ IADL の評価に関して、「高い (5 点満点)」が 78.8%と最も高く、次いで「やや低い (4 点)」(8.4%)、「低い (3 点)」(7.6%) となっており、評価が高い人が 7 割を超える。
- ・ 圏域別では、第 4 地区において評価が低い (「低い (3 点)」) 人の割合が 9.1%と最も高く、第 2 地区において 6.1%と最も低い。
- ・ 評価が低い人の割合は、75～79 歳までは男性が女性を上回り、80 歳以上では、女性が男性を上回っている。男女ともに 80 歳以上から割合が急増する傾向にある。

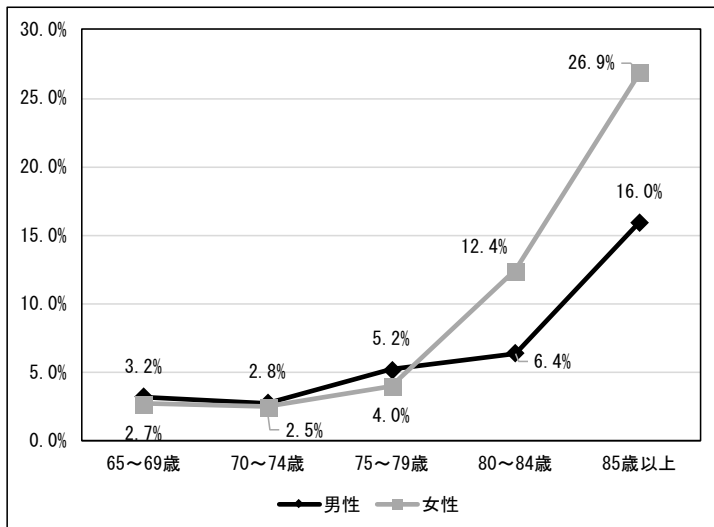
■ IADL の評価【割合】



【圏域別割合】



■ 評価が低い人 ※【年齢・性別割合】



※問 4 の (5) ～ (9) において該当する選択肢 (前頁票の網掛けの箇所) に回答した場合を 1 点とし、合計点数が 3 点以下の人

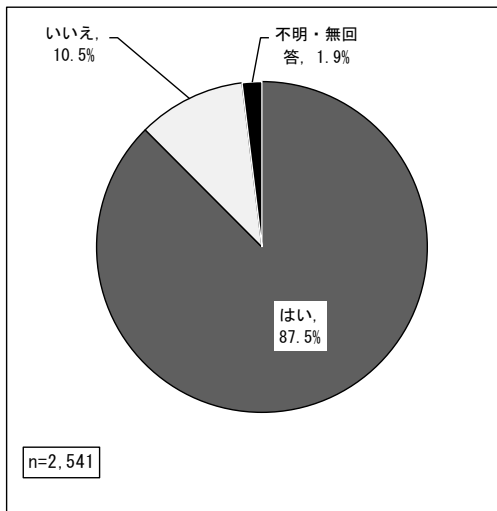
【実数】

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	11	10	16	12	31
女性	5	6	10	24	64

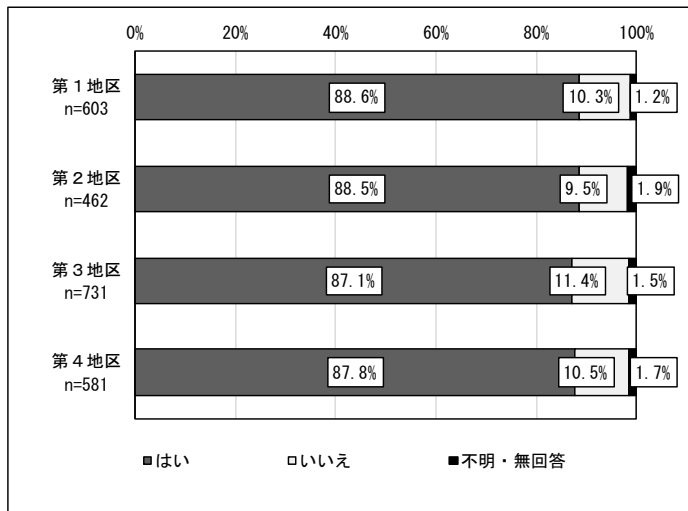
(10) 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか（SA）

- ・年金等の書類が書けるかに関して、「はい（書ける）」が87.5%で、「いいえ（書けない）」が10.5%と、書ける人が8割を超える。
- ・圏域別では、第1地区において「はい（書ける）」の割合が88.6%と最も高く、第3地区において87.1%と最も低い。
- ・「いいえ（書けない）」と回答した割合は、75～79歳までは男性が女性を上回り、80歳以上では女性が男性を上回っている。

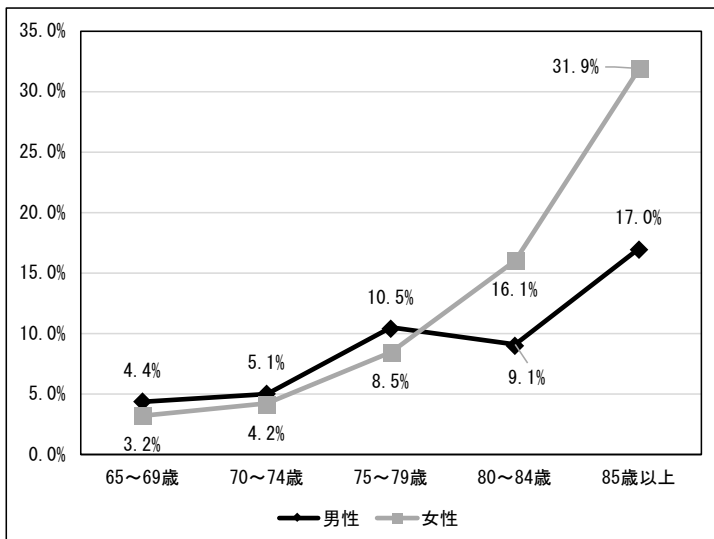
■書類が書ける【割合】



【圏域別割合】



■書けない人※【年齢・性別割合】



※「いいえ」と回答した人

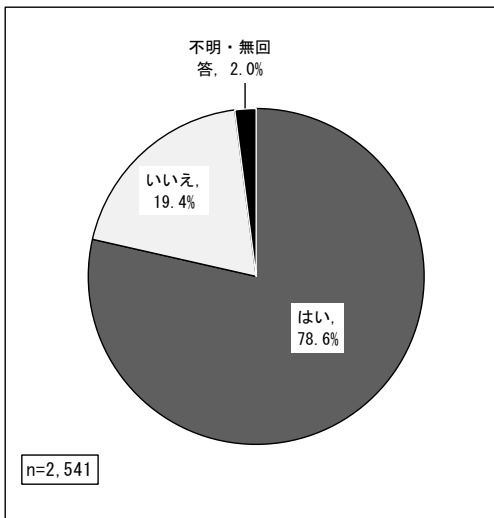
【実数】

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	15	18	32	17	33
女性	6	10	21	31	76

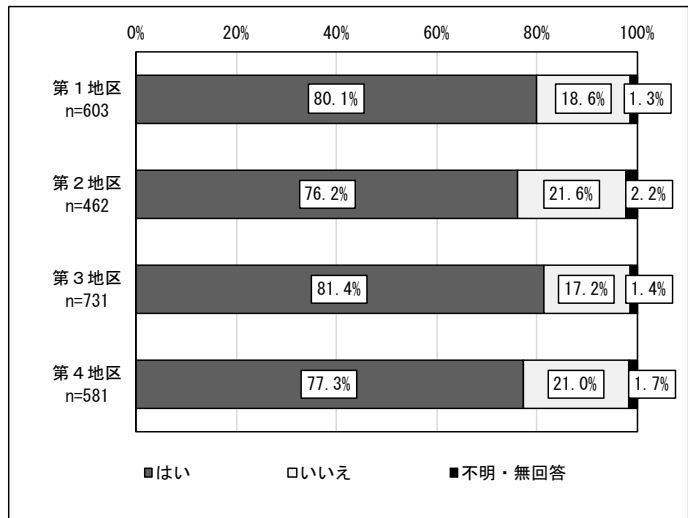
(11) 新聞を読んでいますか (SA)

- ・新聞を読むかどうかに関して、「はい (読んでいる)」が78.6%で、「いいえ (読んでいない)」が19.4%と、新聞を読む人が8割弱に達している。
- ・圏域別では、第3地区において「はい (読んでいる)」の割合が81.4%と最も高く、第2地区において76.2%と最も低い。
- ・「いいえ (読んでいない)」と回答した割合は、女性の方が高い。その割合は男女ともに高齢なほど低くなる傾向にある。

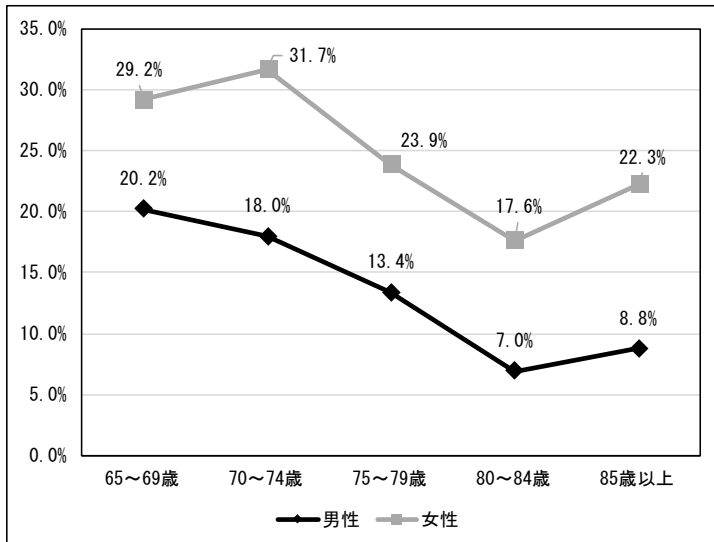
■新聞を読んでいる【割合】



【圏域別割合】



■読んでいない人※【年齢・性別割合】



※「いいえ」と回答した人

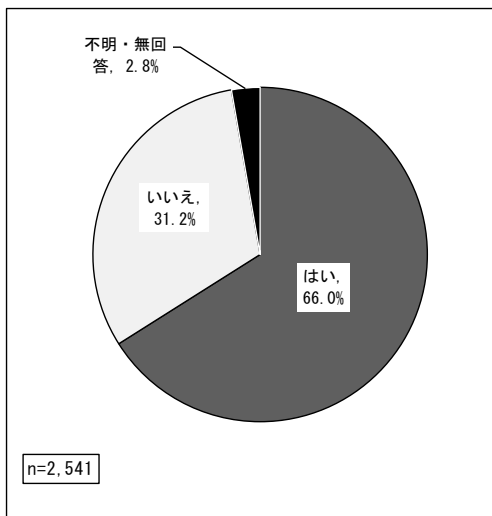
【実数】

	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	69	64	41	13	17
女性	54	76	59	34	53

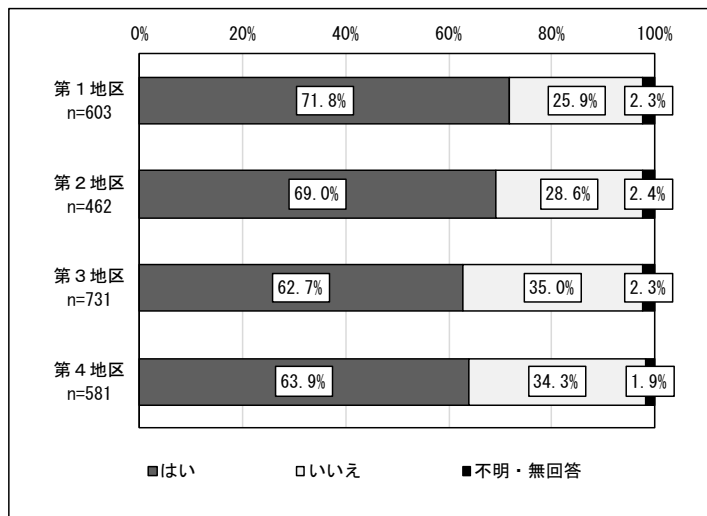
(12) 本や雑誌を読んでいますか (SA)

- ・本や雑誌を読むかどうかに関して、「はい (読んでいる)」が66.0%で、「いいえ (読んでいない)」が31.2%と、本や雑誌を読む人が6割を超える。
- ・圏域別では、第1地区において「はい (読んでいる)」の割合が71.8%と最も高く、第3地区において62.7%と最も低い。
- ・「いいえ (読んでいない)」と回答した割合は、男女ともに高齢なほど高くなる傾向にあり、85歳以上で約37%と最も高くなっている。

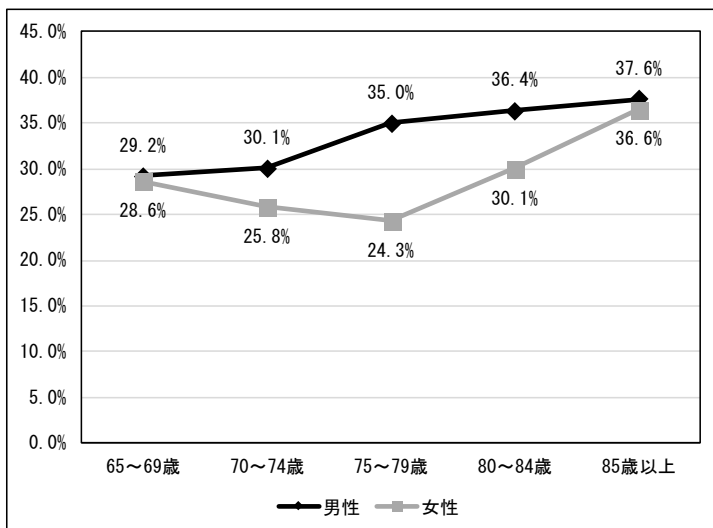
■本や雑誌を読んでいる【割合】



【圏域別割合】



■読んでいない人※【年齢・性別割合】



※「いいえ」と回答した人

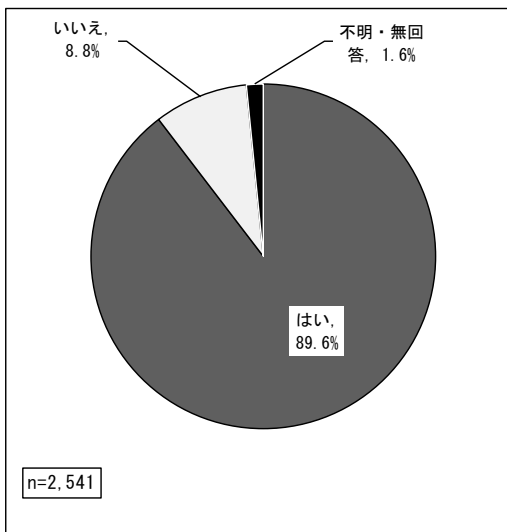
【実数】

	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	100	107	107	68	73
女性	53	62	60	58	87

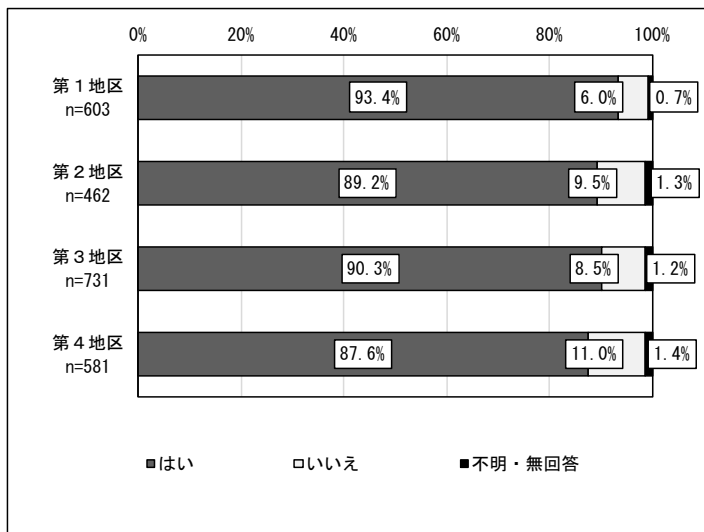
(13) 健康についての記事や番組に関心がありますか (SA)

- 健康についての記事や番組に関心があるかどうかに関して、「はい (関心がある)」が 89.6%で、「いいえ (関心がない)」が 8.8%と、関心がある人が9割弱に達する。
- 圏域別では、第1地区において「はい (関心がある)」の割合が 93.4%と最も高く、第4地区において 87.6%と最も低い。
- 「いいえ (読んでいない)」と回答した割合は、男性では年齢の違いによる傾向は見られないが、女性では高齢なほど高くなる傾向にある。

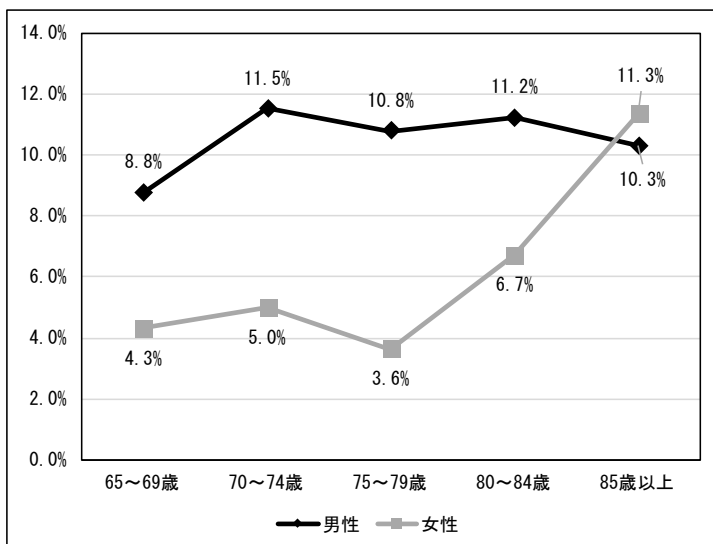
■健康についての記事や番組に関心がある【割合】



【圏域別割合】



■関心がない人※【年齢・性別割合】



※「いいえ」と回答した人

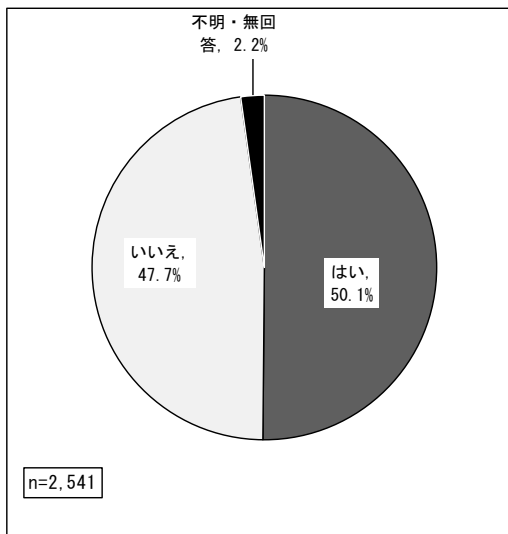
【実数】

	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	30	41	33	21	20
女性	8	12	9	13	27

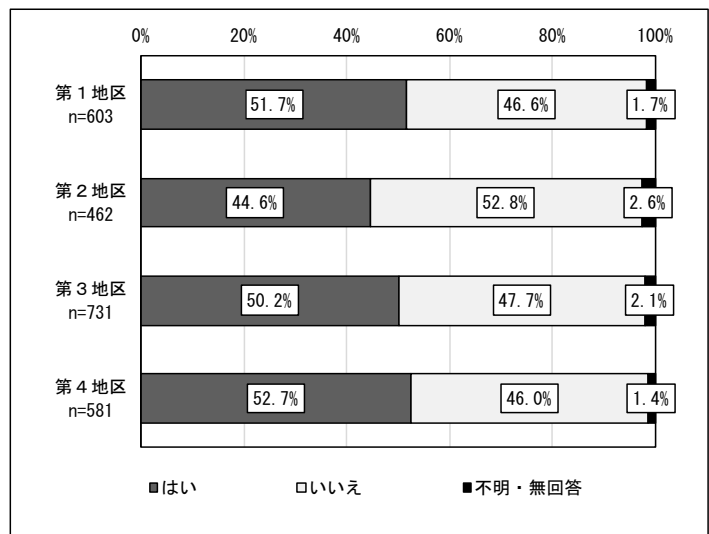
(14) 友人の家を訪ねていますか (SA)

- ・友人の家を訪ねるかに関して、「はい (訪ねている)」が 50.1%で、「いいえ (訪ねていない)」が 47.7%と、訪ねる人が過半に達している。
- ・圏域別では、第4地区において「はい (訪ねている)」の割合が 52.7%と最も高く、第2地区において 44.6%と最も低い。
- ・「いいえ (訪ねていない)」と回答した割合は、男性の方が高い。また、その割合は男性では 80~84歳、女性では 75~79歳を境に高くなり、男女ともに 85歳以上で最も高くなっている。

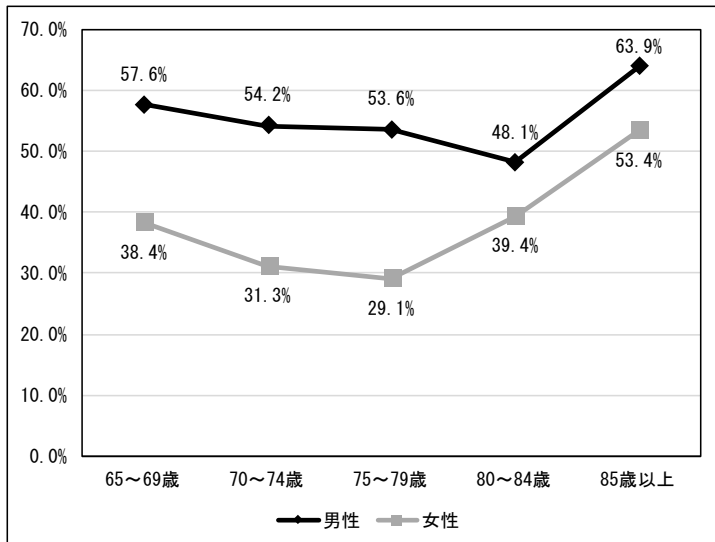
■ 友人の家を訪ねている【割合】



【圏域別割合】



■ 訪ねていない人※【年齢・性別割合】



※ 「いいえ」と回答した人

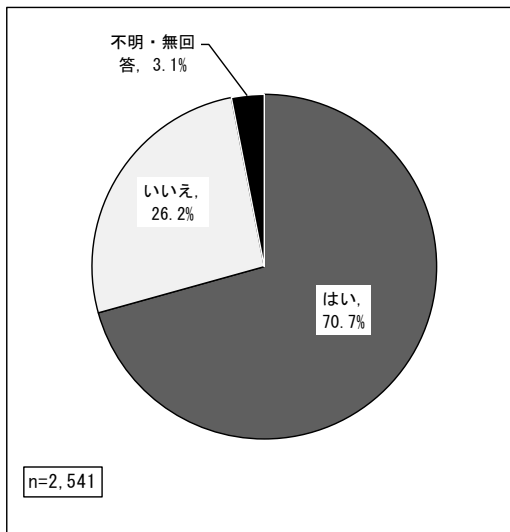
【実数】

	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	197	193	164	90	124
女性	71	75	72	76	127

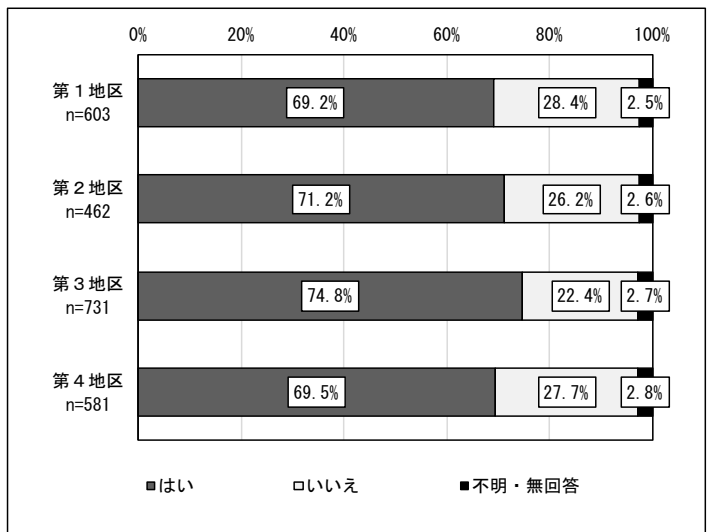
(15) 家族や友人の相談にのっていますか (SA)

- ・家族や友人の相談に乗っているかに関して、「はい (相談に乗っている)」が70.7%で、「いいえ (相談に乗っていない)」が26.2%と、相談に乗っている人が7割近くを占めている。
- ・圏域別では、第3地区において「はい (相談に乗っている)」の割合が74.8%と最も高く、第1地区において69.2%と最も低い。
- ・「いいえ (相談に乗っていない)」と回答した割合は、男性に関しては、年齢による傾向の大きな違いは見られないが、女性に関しては、年齢が高くなるに連れて高くなる傾向にある。男女ともに85歳以上の割合が最も高い。

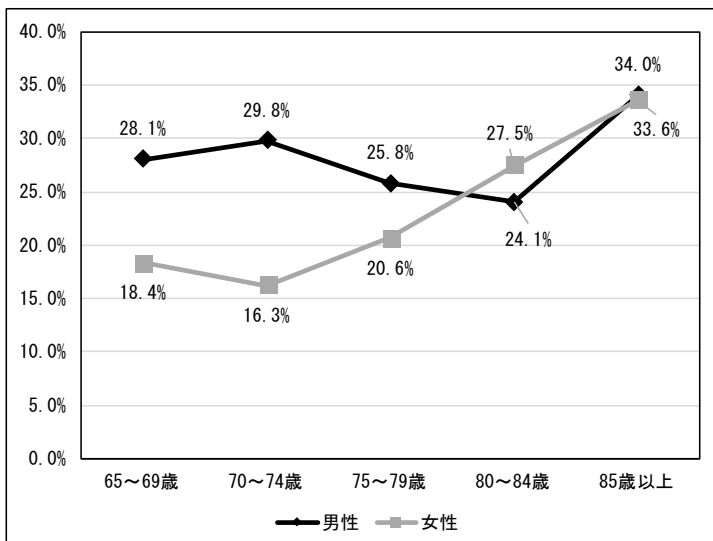
■相談に乗っている【割合】



【圏域別割合】



■相談に乗っていない人※【年齢・性別割合】



※「いいえ」と回答した人

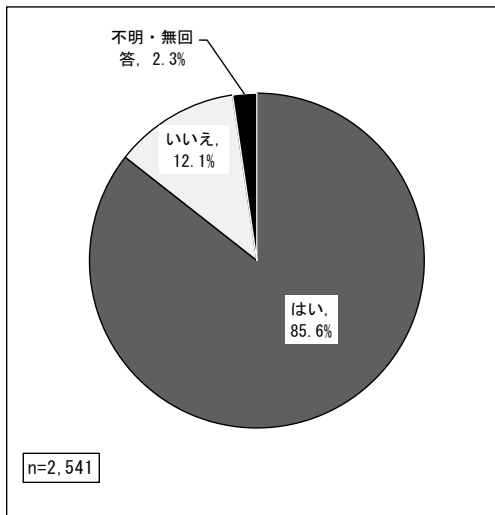
【実数】

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	96	106	79	45	66
女性	34	39	51	53	80

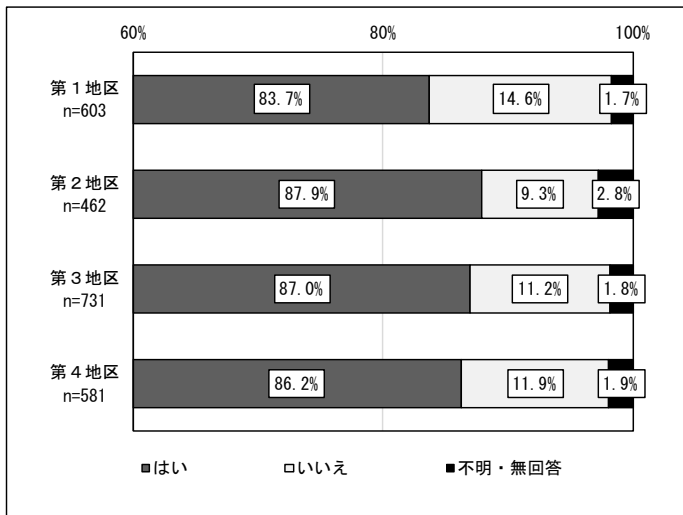
(16) 病人を見舞うことができますか (SA)

- ・病人を見舞うことができるかに関して、「はい (見舞うことができる)」が85.6%で、「いいえ (見舞うことができない)」が12.1%と、病院に見舞うことができる人が8割を超える。
- ・圏域別では、第2地区において「はい (見舞うことができる)」の割合が87.9%と最も高く、第1地区において83.7%と最も低い。
- ・「いいえ (見舞うことができない)」と回答した割合は、男女ともに高齢なほど高くなる傾向にある。

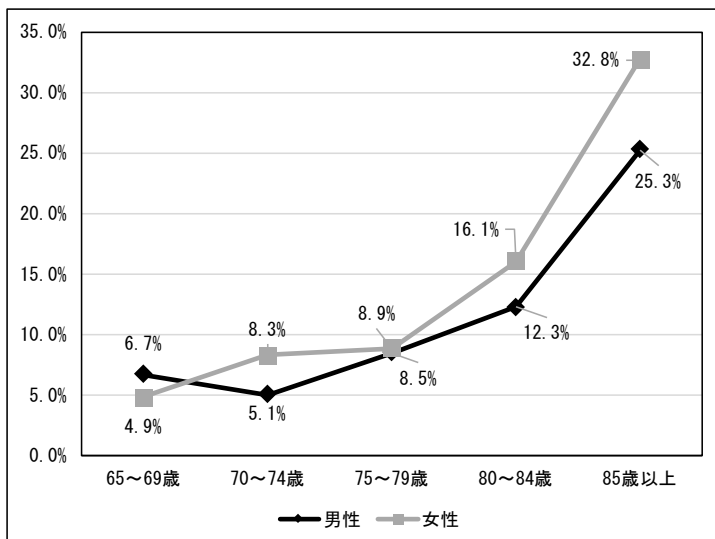
■病人を見舞うことができる【割合】



【圏域別割合】



■病人を見舞うことができない人※【年齢・性別割合】



※「いいえ」と回答した人

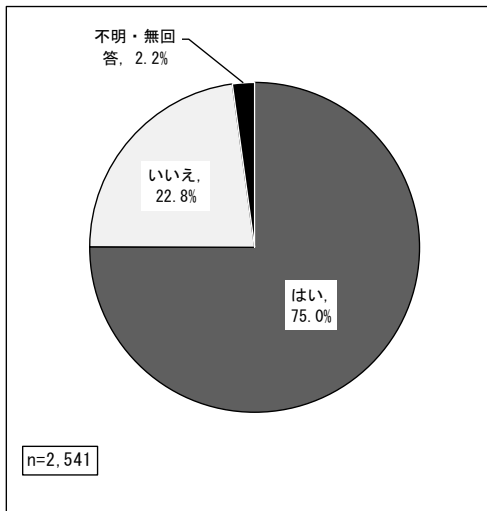
【実数】

	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	23	18	26	23	49
女性	9	20	22	31	78

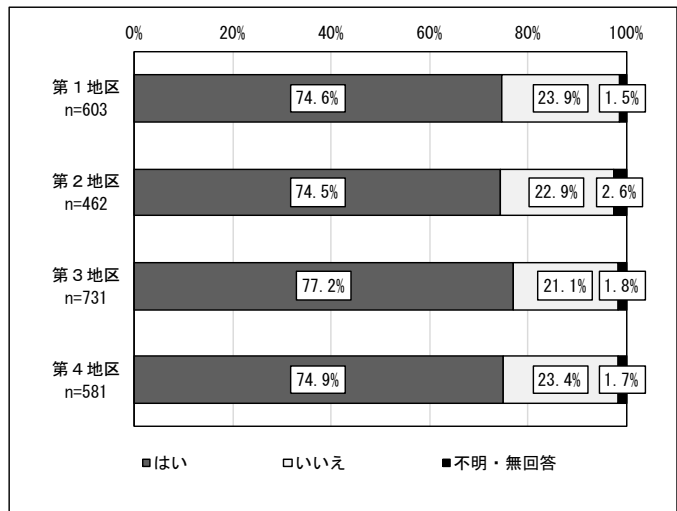
(17) 若い人に自分から話しかけることがありますか (SA)

- ・若い人に自分から話しかけることがあるかに関して、「はい (話しかけることがある)」が75.0%、「いいえ (話しかけることがない)」が22.8%と、話しかけることがある人が7割を超えている。
- ・圏域別では、第3地区において「はい (話しかけることがある)」の割合が77.2%と最も高く、第2地区において74.5%と最も低い。
- ・「いいえ (話しかけることがない)」と回答した割合は、80~84歳では女性の方が高いが、それ以外のすべての年齢において男性の割合が高い。

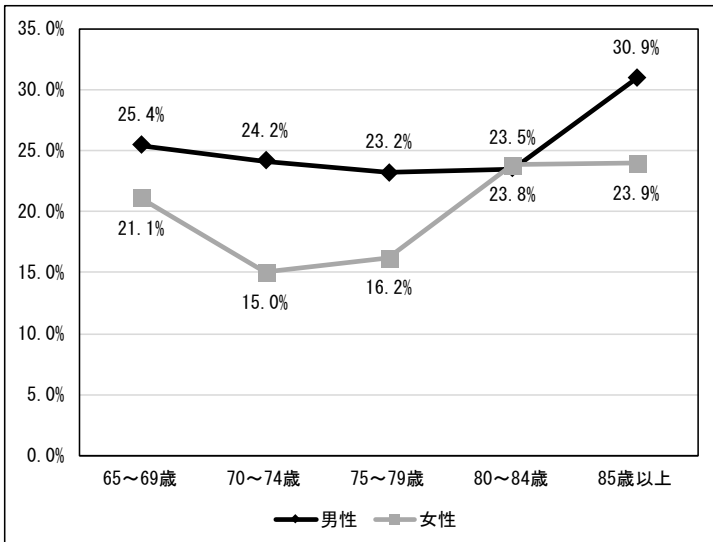
■話しかけることができる【割合】



【圏域別割合】



■話しかけることがない人※【年齢・性別割合】



※「いいえ」と回答した人

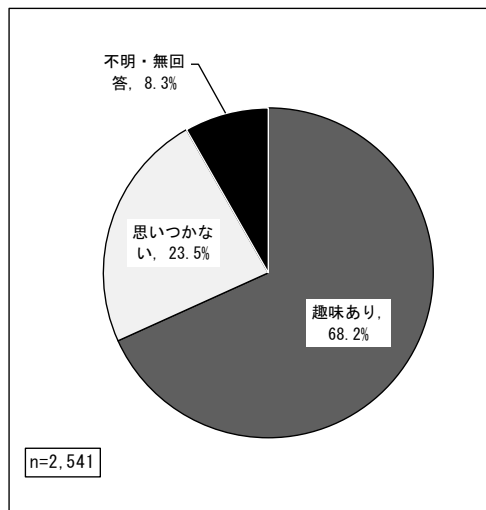
【実数】

	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	87	86	71	44	60
女性	39	36	40	46	57

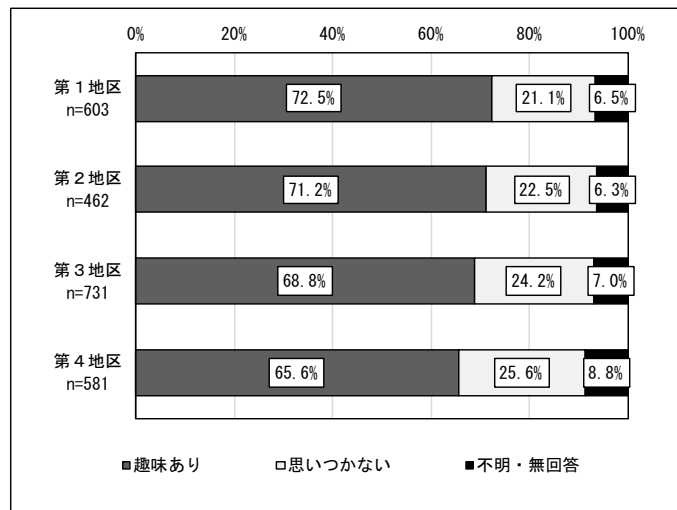
(18) 趣味はありますか (SA)

- ・趣味があるかどうかに関して、「趣味あり」が68.2%で、「思いつかない」が23.5%と、趣味がある人が3分の2以上に達している。
- ・圏域別では、第1地区において「趣味あり」の割合が72.5%と最も高く、第4地区において65.6%と最も低い。
- ・「思いつかない」と回答した割合は、70歳以上で女性の方が高く、85歳以上女性では33.2%と3割を超えている。

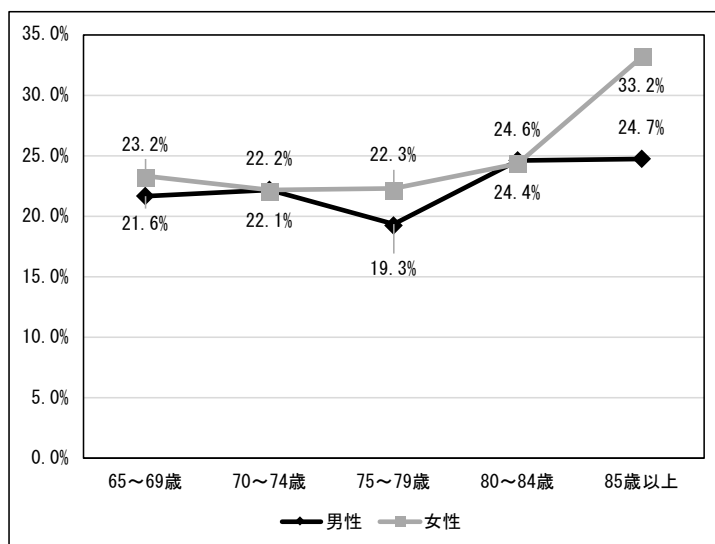
■趣味はある【割合】



【圏域別割合】



■趣味が「思いつかない」人【年齢・性別割合】



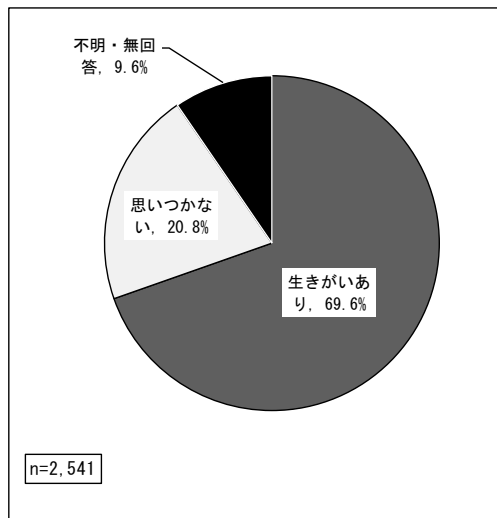
【実数】

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	74	79	59	46	48
女性	43	53	55	47	79

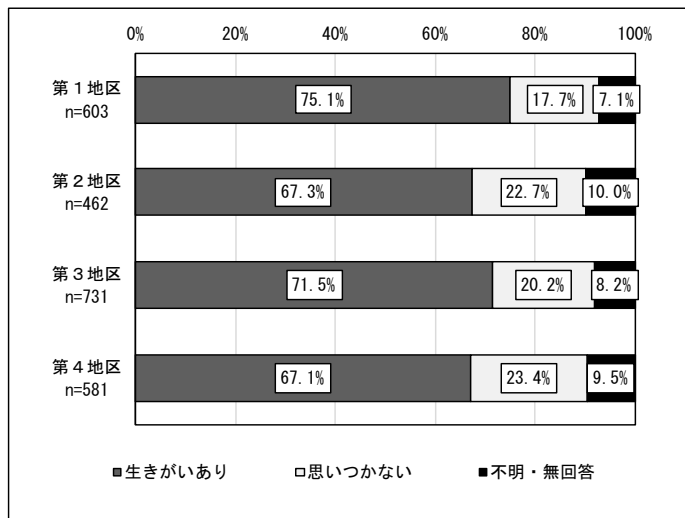
(19) 生きがいがありますか (SA)

- ・生きがいがあるかどうかに関して、「生きがいあり」が69.6%で、「思いつかない」が20.8%と、生きがいがある人が3分の2以上に達している。
- ・圏域別では、第1地区において「生きがいあり」の割合が75.1%と最も高く、第4地区において67.1%と最も低い。
- ・「思いつかない」と回答した割合は、80歳以上で女性の方が高く、85歳以上女性では27.3%で最も高くなっている。

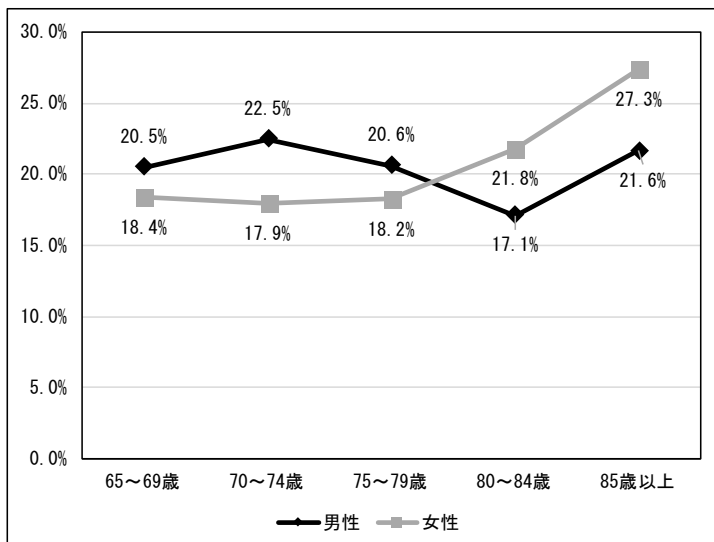
■生きがいはある【割合】



【圏域別割合】



■生きがいが「思いつかない」人【年齢・性別割合】



【実数】

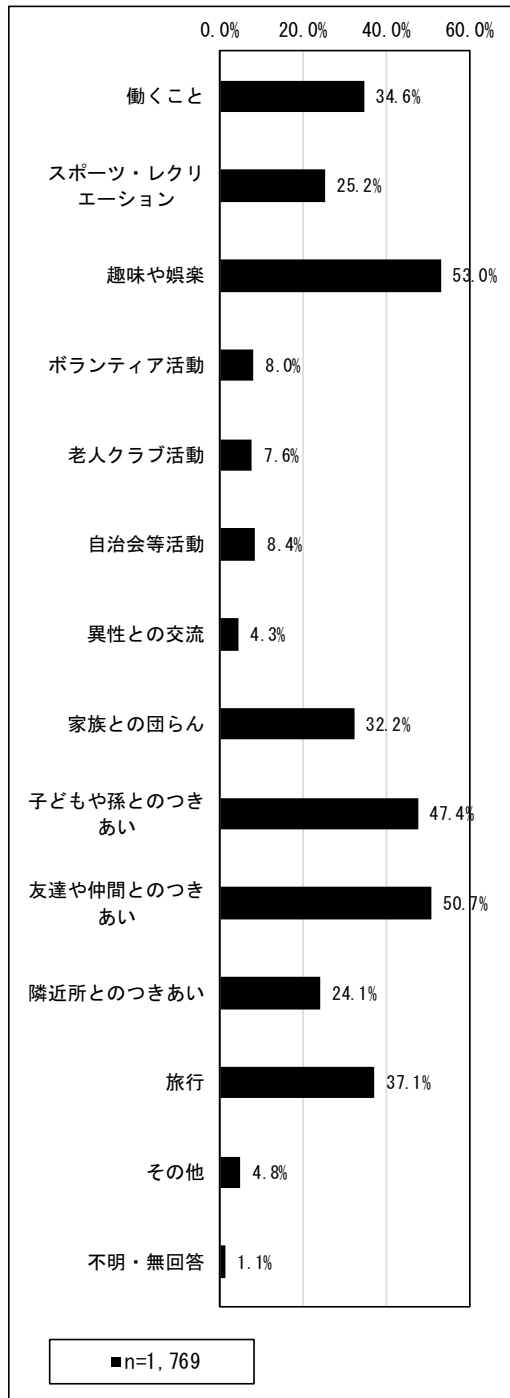
	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	70	80	63	32	42
女性	34	43	45	42	65

【(19) で「1.生きがいあり」の方のみ】

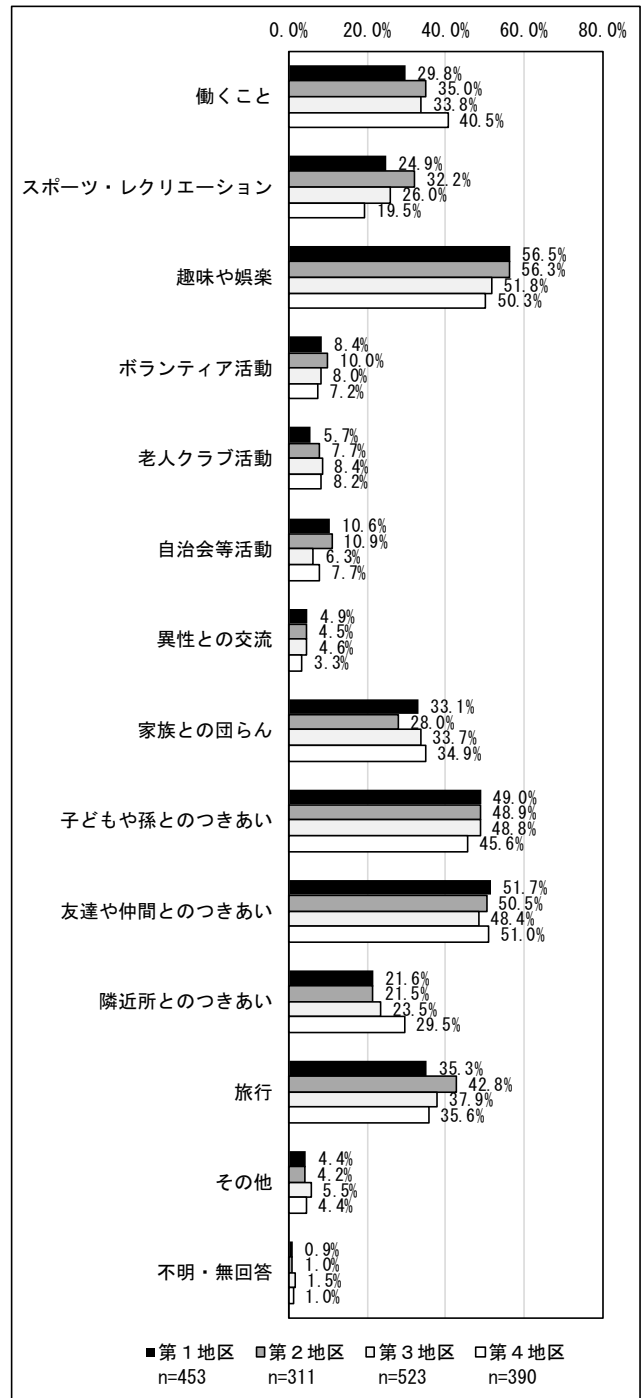
(19) —①あなたが生きがいを感じていることはどんなことですか (MA)

- ・生きがいを感じていることに関して、「趣味や娯楽」が53.0%と最も高く、次いで「友達や仲間とのつきあい」(50.7%)、「子どもや孫とのつきあい」(47.4%)、「旅行」(37.1%)の順となっている。
- ・圏域別でみると、「子どもや孫とのつきあい」「友達や仲間とのつきあい」は圏域による差はあまり見られないが、「趣味や娯楽」は第1地区が56.5%に対し、第4地区が50.3%と、最も高い圏域と最も低い圏域の差が見られる。

■生きがいを感じていること【割合】

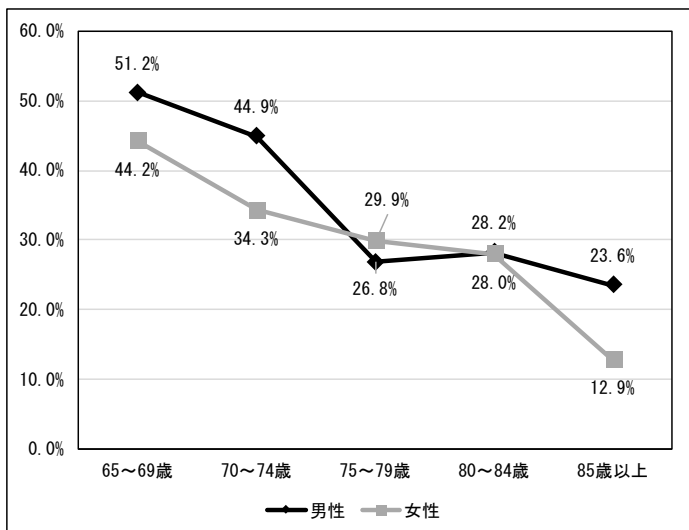


【圏域別割合】



- ・「働くこと」と回答した割合は、75～79歳以外は男性が女性を上回っている。また、その割合は男女ともに高齢なほど低い傾向にある。
- ・「友達や仲間とのつきあい」と回答した割合は、女性の方が高い。また、その割合は男女ともに85歳以上で低くなっている。

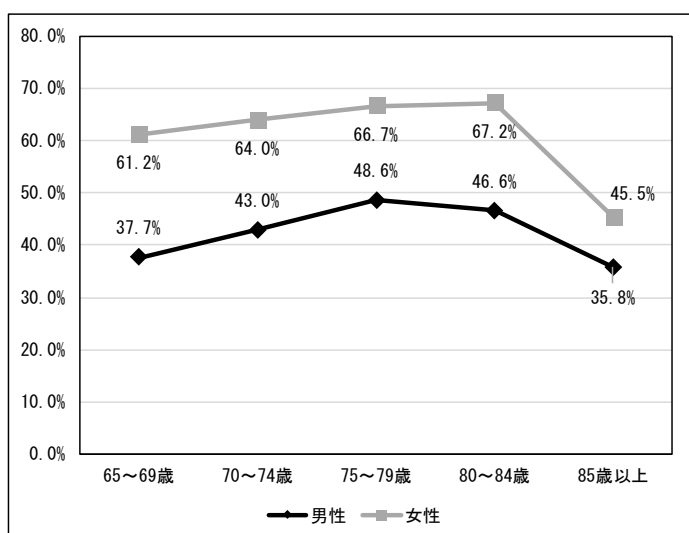
■「働くこと」【年齢・性別割合】



【実数】

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	133	115	59	37	29
女性	65	60	53	35	17

■「友達や仲間とのつきあい」【年齢・性別割合】



【実数】

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	98	110	107	61	44
女性	90	112	118	84	60

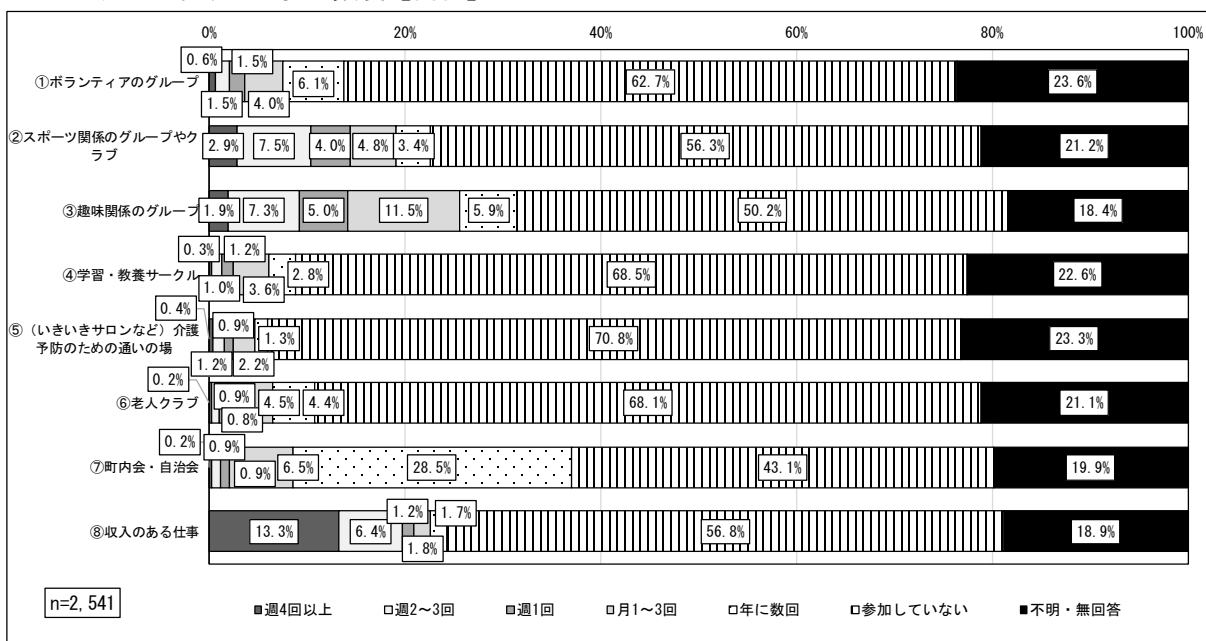
問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか (SA)

- ① ボランティアのグループ ② スポーツ関係のグループやクラブ ③ 趣味関係のグループ
 ④ 学習・教養サークル ⑤ (いきいきサロンなど) 介護予防のための通いの場
 ⑥ 老人クラブ ⑦ 町内会・自治会 ⑧ 収入のある仕事

- ・上記の活動を行う頻度に関して、「参加していない」割合は⑦の活動において4割超、その他すべての活動において半数超を示している。
- ・「参加していない」割合は「(いきいきサロンなど) 介護予防のための通いの場」が70.8%と最も高く、次いで「学習・教養サークル」が68.5%、「老人クラブ」が68.1%の順になっている。
- ・参加している(「参加していない」以外に回答した)割合は「⑦町内会・自治会」が37.0%と最も高い。月に1回以上の参加(「週4回以上」又は「週2~3回」又は「週1回」又は「月1~3回」と回答した)割合は「⑧収入のある仕事」が22.7%で最も高い。また、「週4回以上」参加している割合は、「⑧収入のある仕事」が13.3%と最も高い。

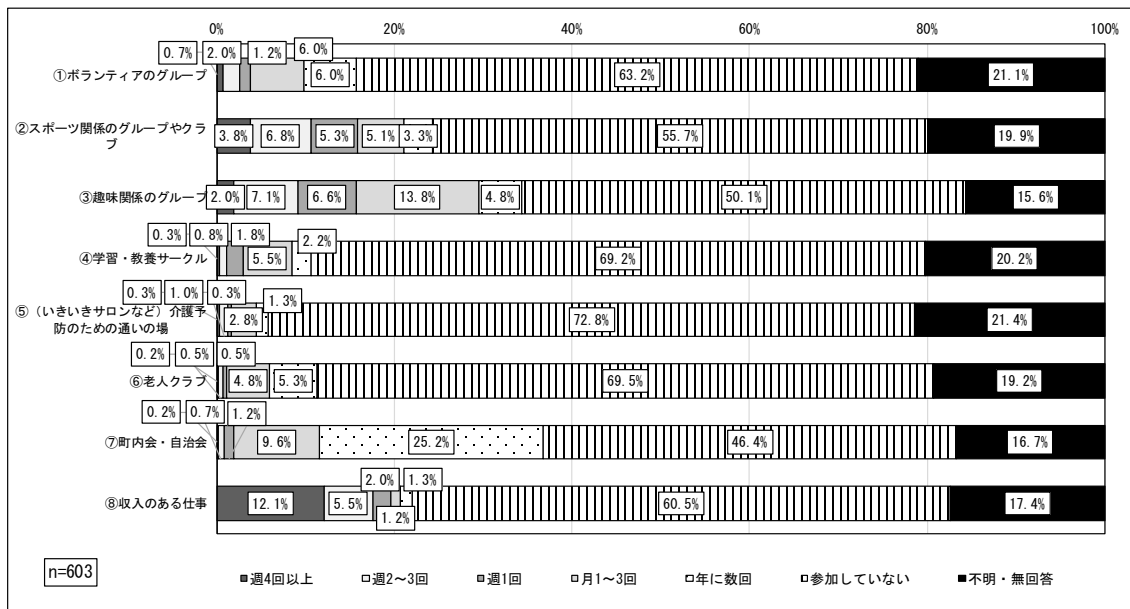
■ 地域での活動への参加頻度【割合】



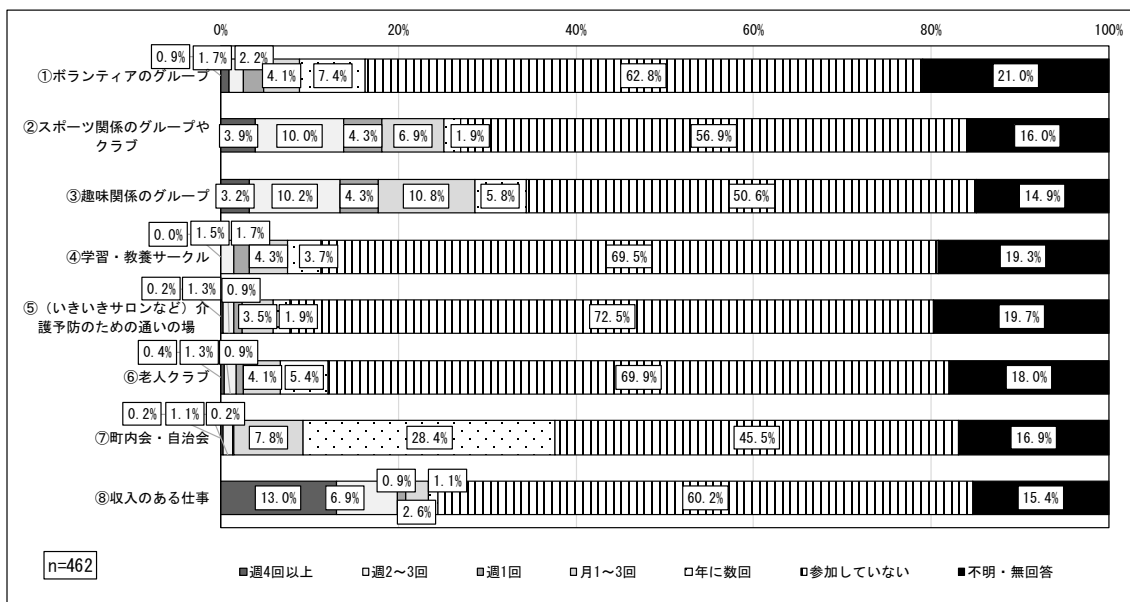
- ・圏域別では、第3地区で「⑦町内会・自治会」に参加している割合が42.7%と4圏域で最も高い。
また、「⑧収入のある仕事」に「週4回以上」参加している割合は第1地区が12.1%で他圏域と比べやや低い。

■地域での活動への参加頻度【圏域別割合】

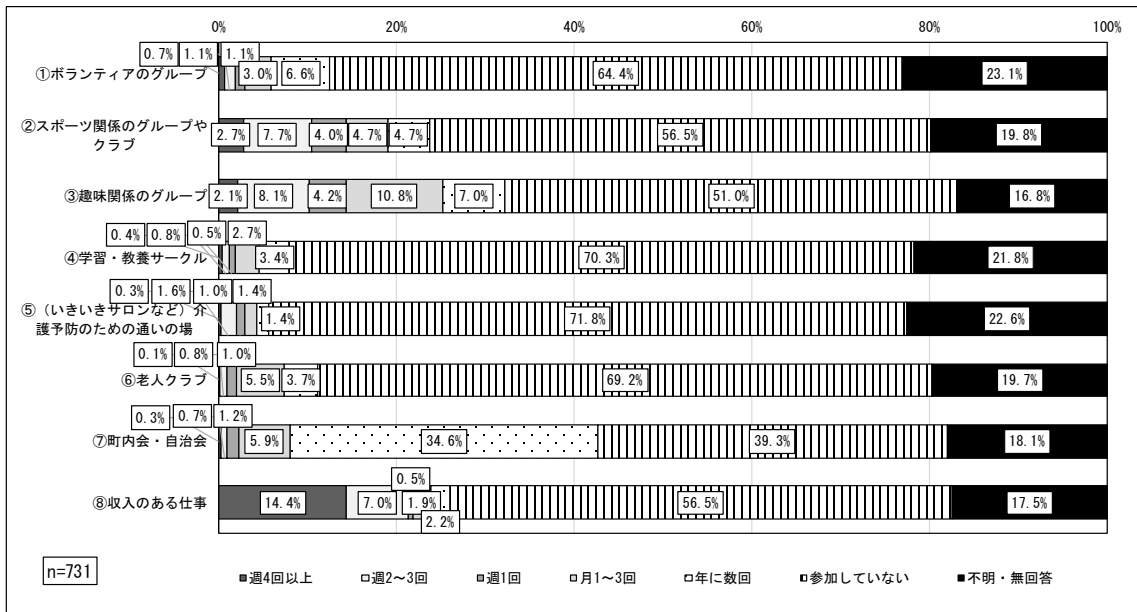
(第1地区)



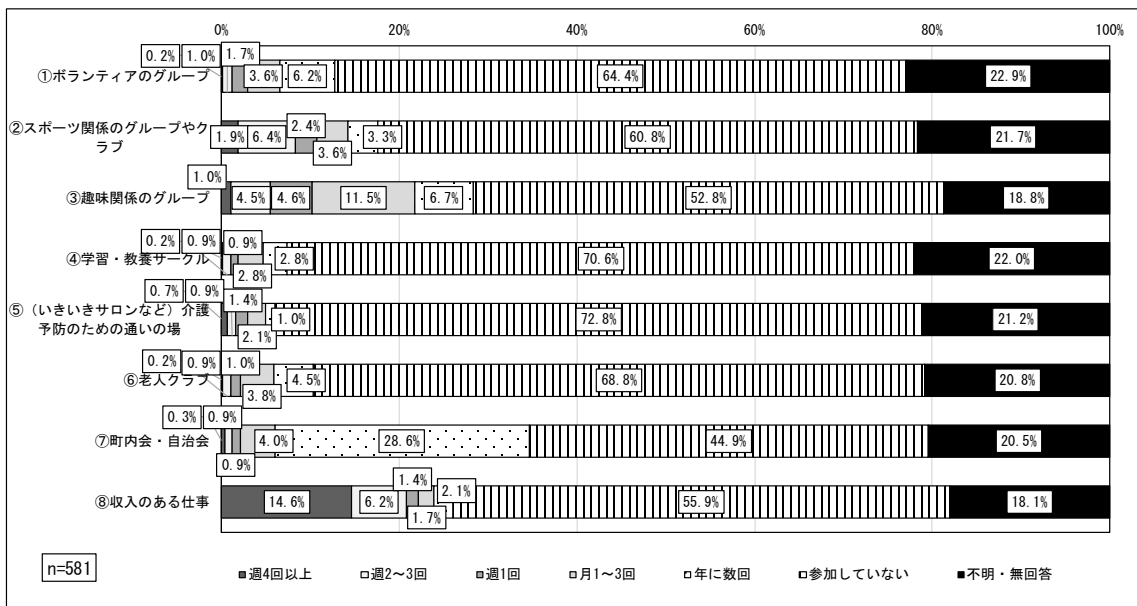
(第2地区)



(第3地区)

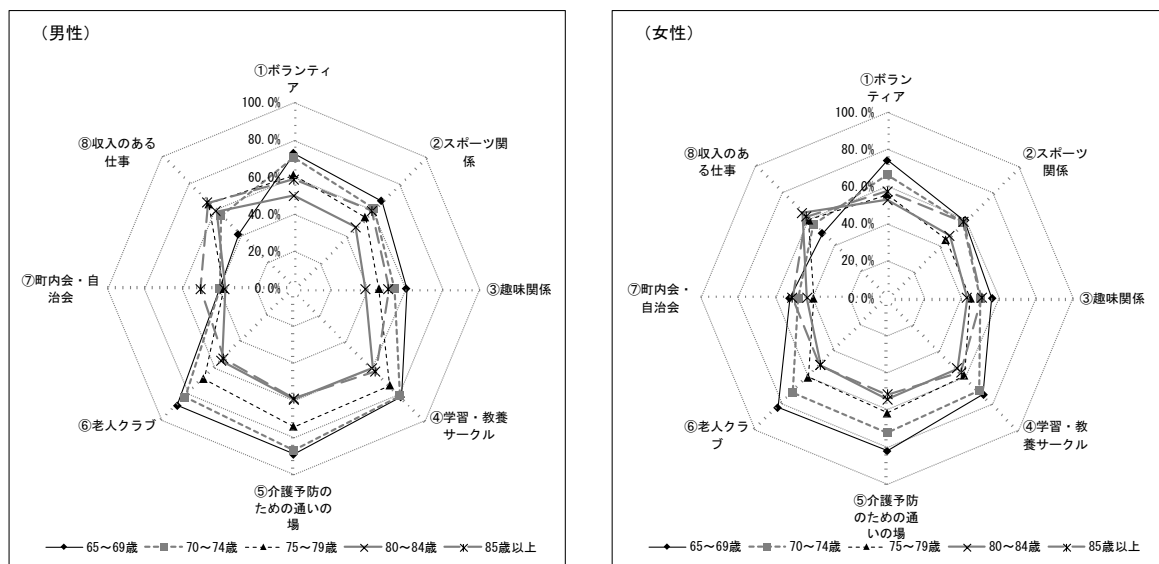


(第4地区)



- ・「参加していない」割合は全体的に男女とも高齢なほど低くなるが、85歳以上では80～84歳と比べ高くなる傾向にあるものが多い。
- ・「参加していない」活動を年齢別にみると、年齢による差が大きいのは男女ともに「⑥老人クラブ」となっており、「⑤（いきいきサロンなど）介護予防のための通いの場」も同様に大きく差が開いている。
- ・「⑧収入のある仕事」については、80歳以上女性の6割以上が参加していない。

■地域での活動に「参加していない」人【年齢・性別割合】



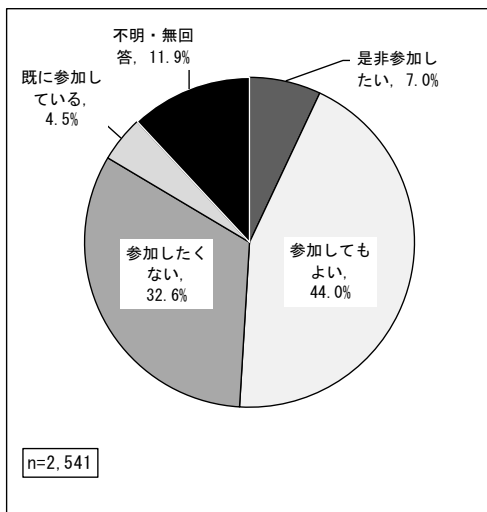
【実数／割合】

(男性)	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
①ボランティアのグループ	249	252	187	94	114
	72.8%	70.8%	61.1%	50.3%	58.8%
②スポーツ関係のグループやクラブ	229	218	167	88	115
	67.0%	61.2%	54.6%	47.1%	59.3%
③趣味関係のグループ	207	193	140	72	99
	60.5%	54.2%	45.8%	38.5%	51.0%
④学習・教養サークル	280	288	224	112	121
	81.9%	80.9%	73.2%	59.9%	62.4%
⑤（いきいきサロンなど）介護予防のための通いの場	304	309	226	111	114
	88.9%	86.8%	73.9%	59.4%	58.8%
⑥老人クラブ	302	293	209	102	103
	88.3%	82.3%	68.3%	54.5%	53.1%
⑦町内会・自治会	136	141	115	69	97
	39.8%	39.6%	37.6%	36.9%	50.0%
⑧収入のある仕事	143	197	198	110	127
	41.8%	55.3%	64.7%	58.8%	65.5%
(女性)	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
①ボランティアのグループ	137	159	138	102	137
	74.1%	66.3%	55.9%	52.8%	57.6%
②スポーツ関係のグループやクラブ	109	138	110	92	138
	58.9%	57.5%	44.5%	47.7%	58.0%
③趣味関係のグループ	104	120	110	83	121
	56.2%	50.0%	44.5%	43.0%	50.8%
④学習・教養サークル	135	168	145	103	134
	73.0%	70.0%	58.7%	53.4%	56.3%
⑤（いきいきサロンなど）介護予防のための通いの場	152	173	152	105	123
	82.2%	72.1%	61.5%	54.4%	51.7%
⑥老人クラブ	154	172	148	98	121
	83.2%	71.7%	59.9%	50.8%	50.8%
⑦町内会・自治会	97	115	98	83	121
	52.4%	47.9%	39.7%	43.0%	50.8%
⑧収入のある仕事	91	134	147	125	147
	49.2%	55.8%	59.5%	64.8%	61.8%

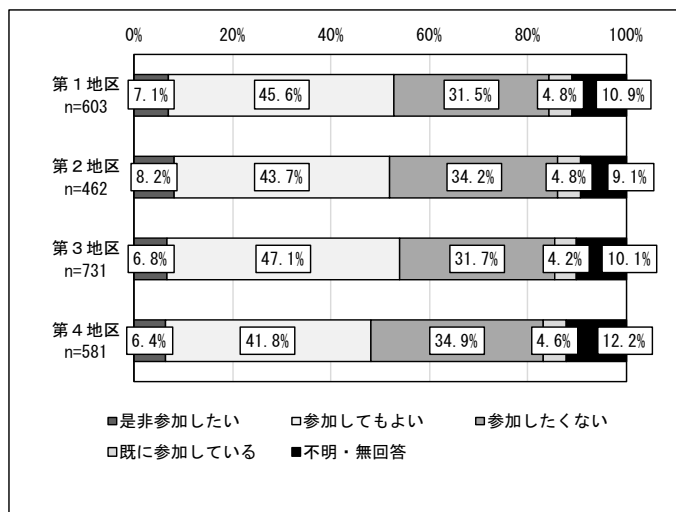
(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか (SA)

- ・地域づくりへの「参加者」としての参加意向に関して、「参加してよい」が44.0%と最も高く、次いで「参加したくない」(32.6%)「是非参加したい」(7.0%)の順となっており、参加意向がある(「是非参加したい」又は「参加してもよい」と回答した)割合は5割を超えている。
- ・圏域別では、第3地区において参加意向がある割合が53.9%と最も高く、第4地区において48.2%と最も低い。
- ・「参加したくない」と回答した割合は、男性は80~84歳、女性は75~79歳が最も低い。また、女性は80歳以上から割合が高くなっている。

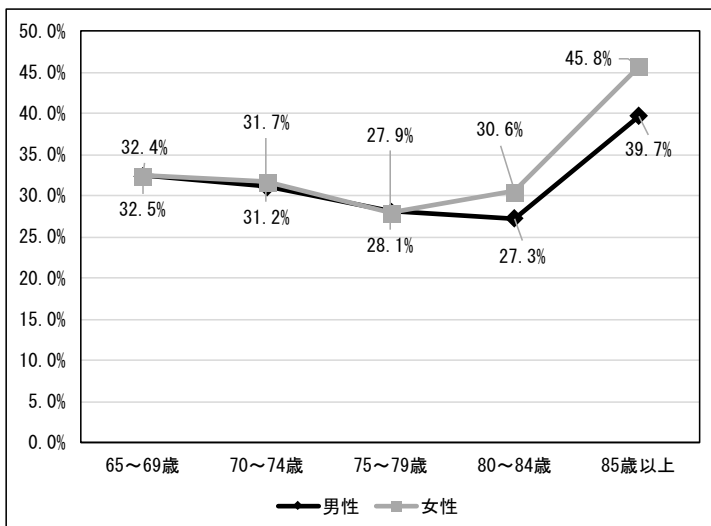
■地域づくりへの参加意向【割合】



【圏域別割合】



■「参加したくない」人【年齢・性別割合】



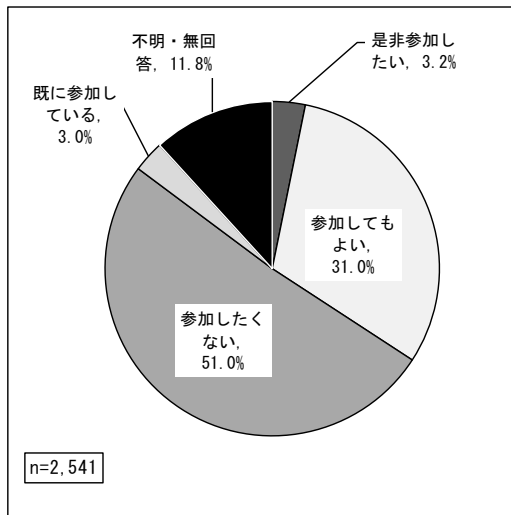
【実数】

	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	111	111	86	51	77
女性	60	76	69	59	109

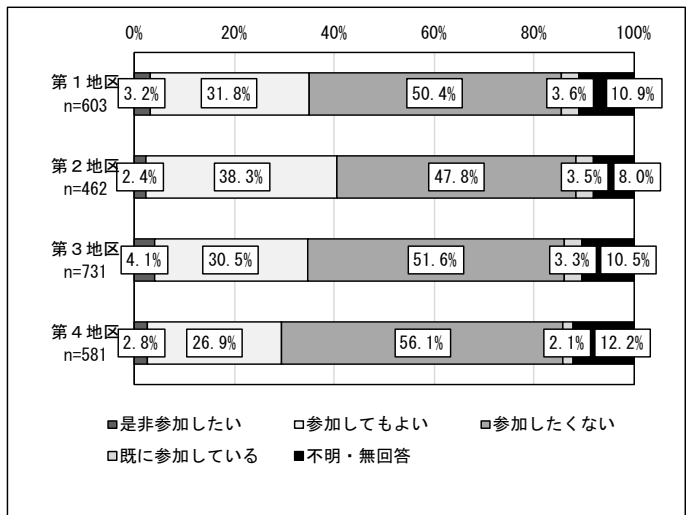
(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか (S A)

- ・地域づくりへの「企画・運営(お世話役)」としての参加意向に関して、「参加したくない」が51.0%と最も高く、次いで「参加してもよい」(31.0%)「是非参加したい」(3.2%)の順となっており、参加意向がある(「是非参加したい」又は「参加してもよい」と回答した)割合は4割を下回っている。
- ・圏域別では、第2地区において参加意向がある割合が40.7%と最も高く、第4地区において29.7%と最も低い。
- ・「参加したくない」と回答した割合は、すべての年齢において女性の方が高く、特に85歳以上女性は59.2%と6割近くに達している。

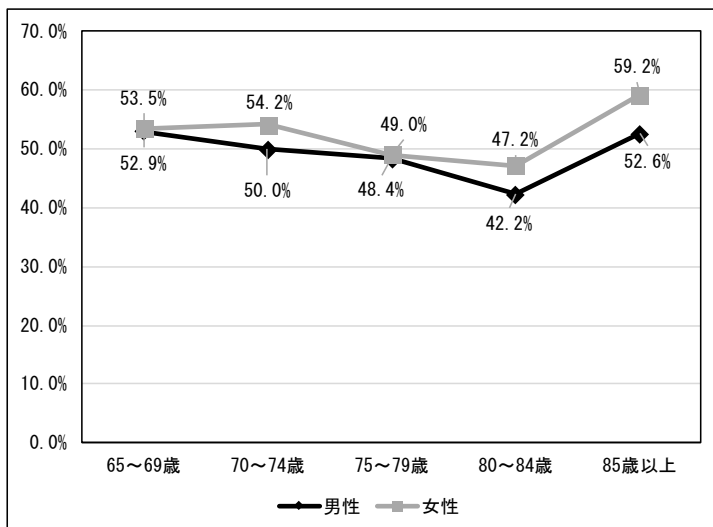
■地域づくりへの参加意向【割合】



【圏域別割合】



■「参加したくない」人【年齢・性別割合】



【実数】

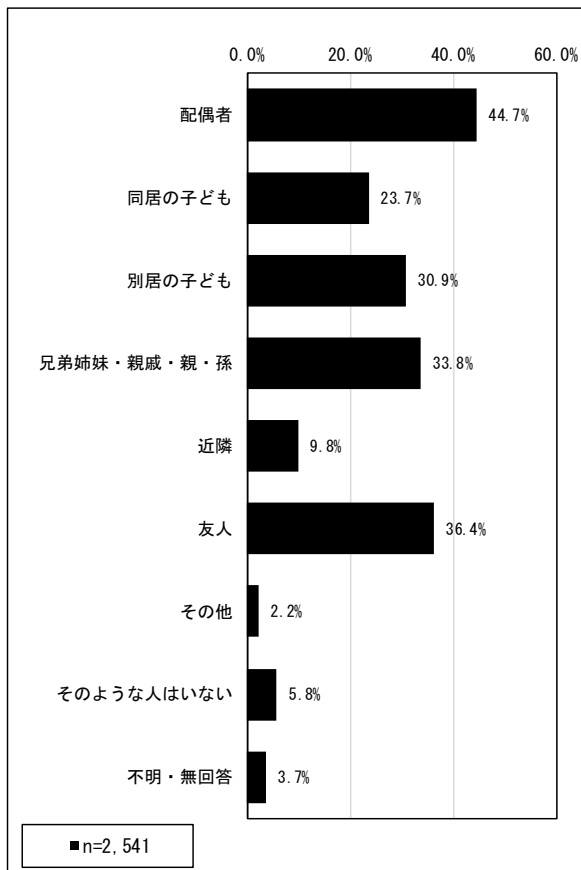
	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	181	178	148	79	102
女性	99	130	121	91	141

問6 たすけあいについて

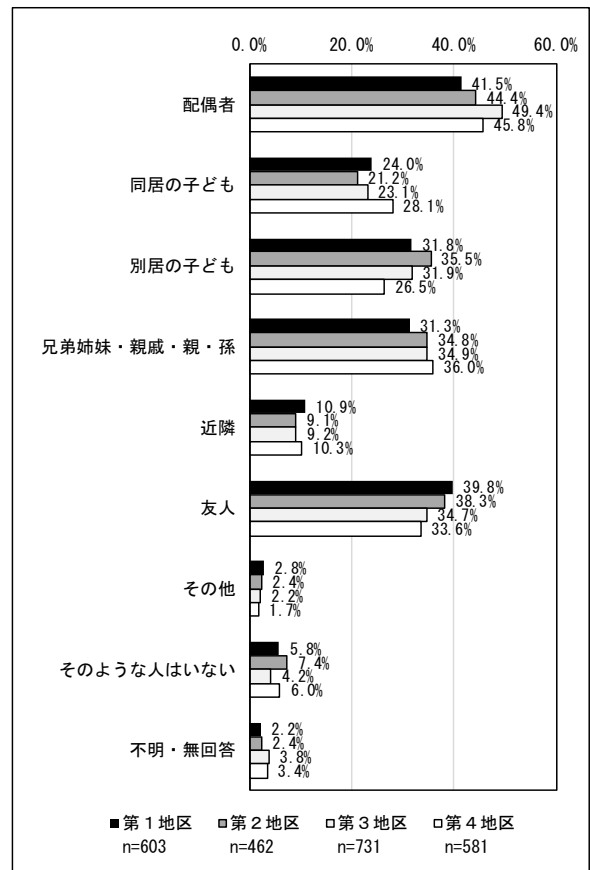
(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(MA)

- ・心配事や愚痴を聞いてくれる相手に関して、「配偶者」が44.7%と最も高く、次いで「友人」(36.4%) 「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(33.8%)、「別居の子ども」(30.9%)の順となっている。
- ・圏域別では、第3地区において「配偶者」と回答した割合が49.4%と他圏域と比べて高く、第1地区において「友人」と回答した割合が39.8%とやや高くなっている。

■聞いてくれる人との関係【割合】

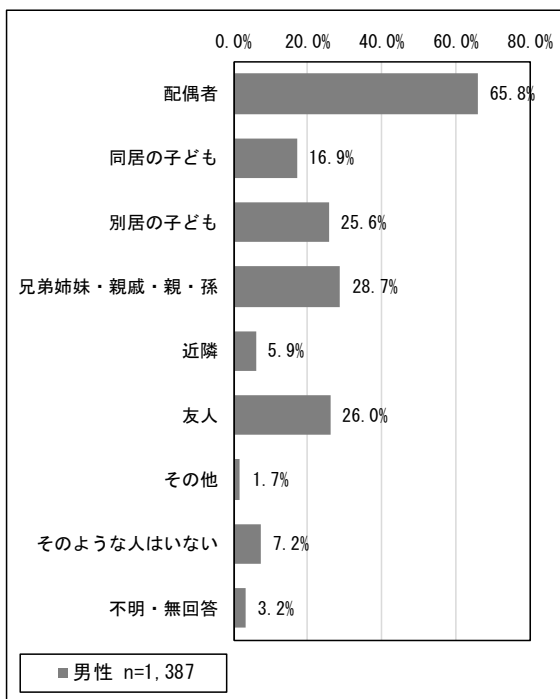


【圏域別割合】

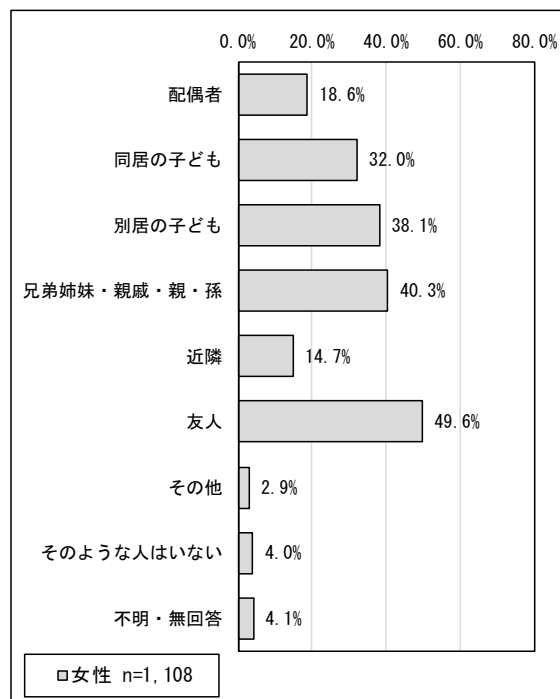


- ・「配偶者」と回答した割合は、男性は65.8%と最も高い。女性は「友人」が49.6%と最も高く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(40.3%)、「別居の子ども」(38.1%)の順となっており、「配偶者」は18.6%と2割にも満たない。
- ・「そのような人はいない」と回答した割合について、80~84歳のみ女性が男性を上回っており、それ以外は男性の方が高い。また、その割合は男性では84歳までは低くなる傾向がある一方、女性では80~84歳を除き、年齢による差異はあまり見られない。

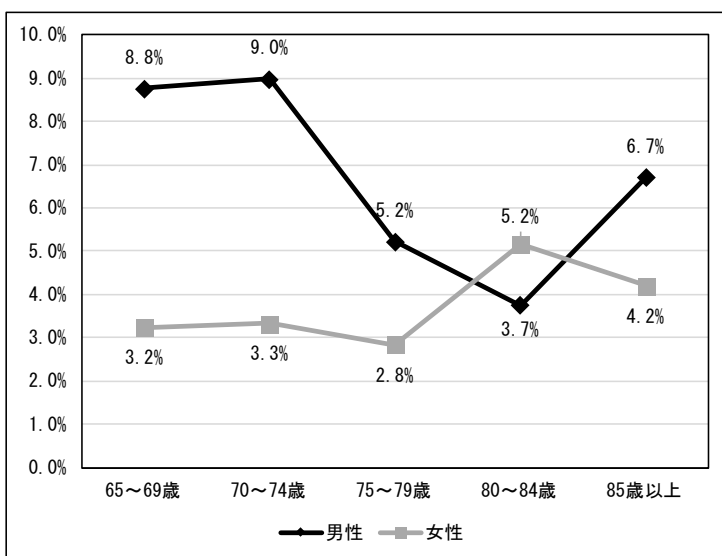
■聞いてくれる人との関係（男性）【割合】



■聞いてくれる人との関係（女性）【割合】



■「そのような人はいない」【年齢・性別割合】



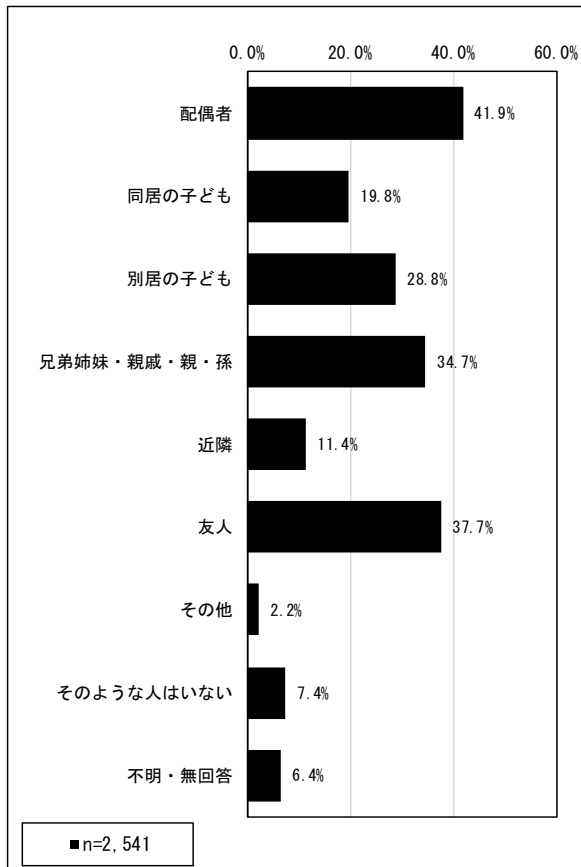
【実数】

	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	30	32	16	7	13
女性	6	8	7	10	10

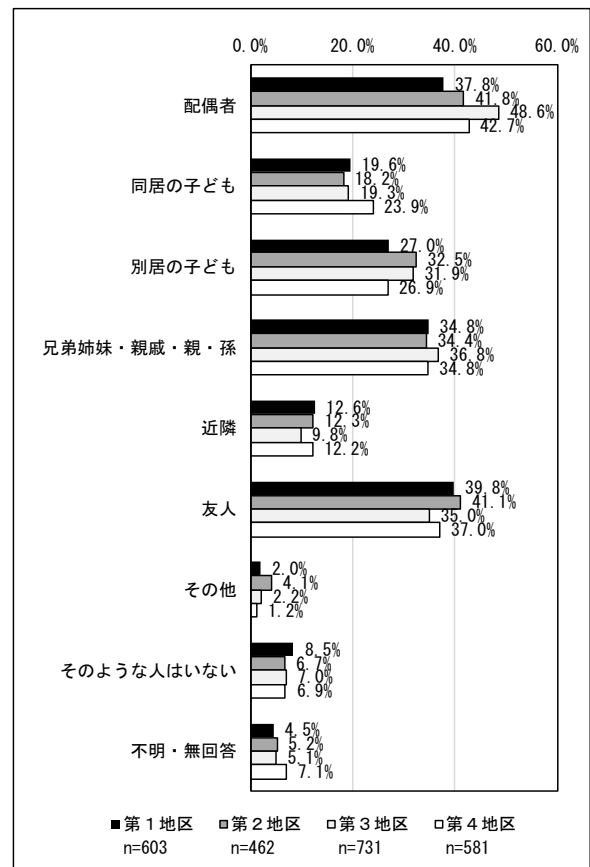
(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（MA）

- ・心配事や愚痴を聞いてあげる相手に関して、「配偶者」が41.9%と最も多く、次いで「友人」(37.7%) 「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(34.7%)、「別居の子ども」(28.8%)の順となっている。
- ・圏域別では、第3地区において「配偶者」と回答した割合が48.6%と他圏域と比べてやや高く、第2地区において「友人」と回答した割合が41.1%とやや高くなっている。

■聞いてあげる人との関係【割合】

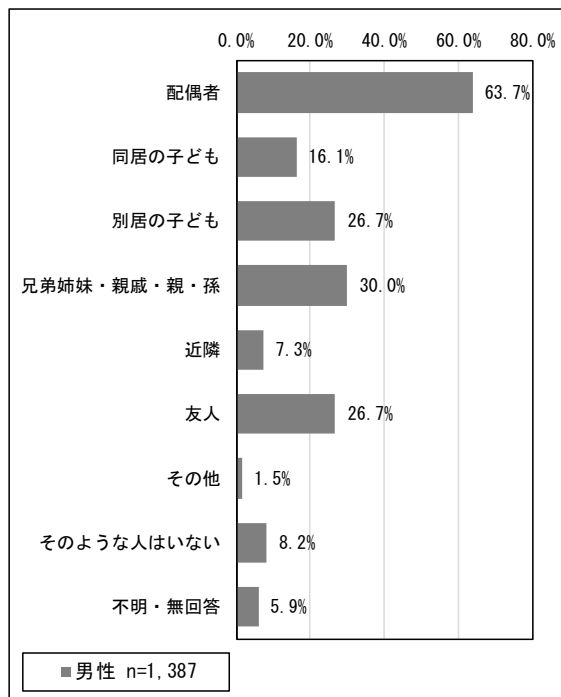


【圏域別割合】

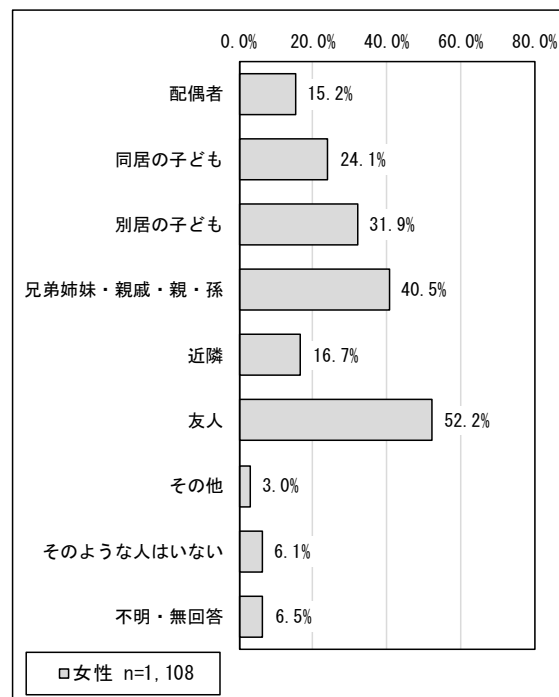


- ・「配偶者」と回答した割合は、男性は63.7%と最も高い。女性は、「友人」が52.2%と最も高く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(40.5%)、「別居の子ども」(31.9%)の順となっており、「配偶者」は15.2%と2割にも満たない。
- ・「そのような人はいない」と回答した割合について、男性が80～84歳まで減少の傾向にあるが、女性は増加し、80～84歳から男性を上回っている。また、その割合は85歳以上の男女ともに1割程度となっている。

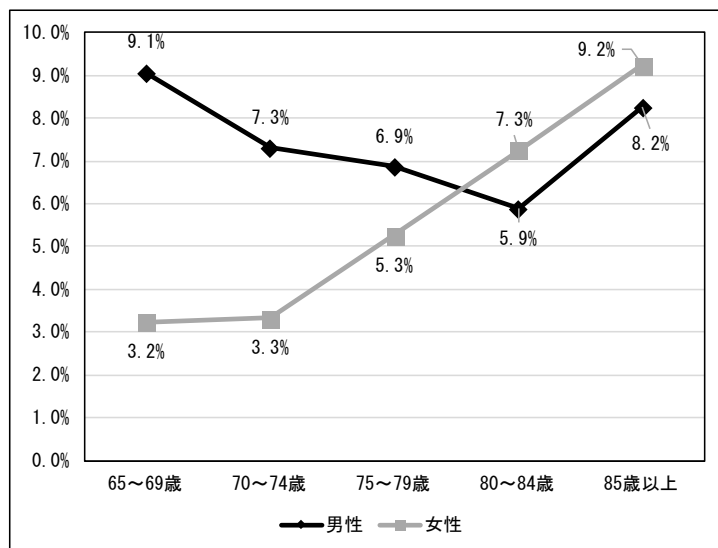
■聞いてあげる人との関係（男性）【割合】



■聞いてあげる人との関係（女性）【割合】



■「そのような人はいない」【年齢・性別割合】



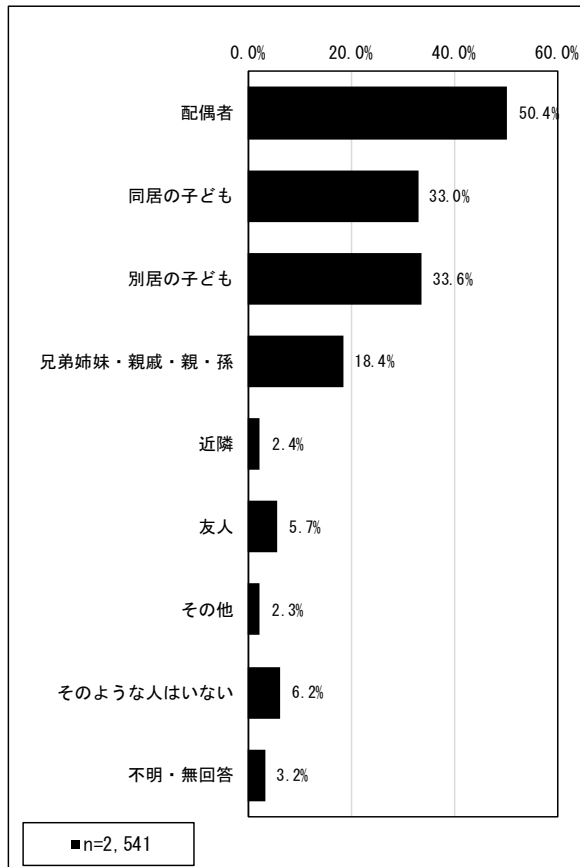
【実数】

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	31	26	21	11	16
女性	6	8	13	14	22

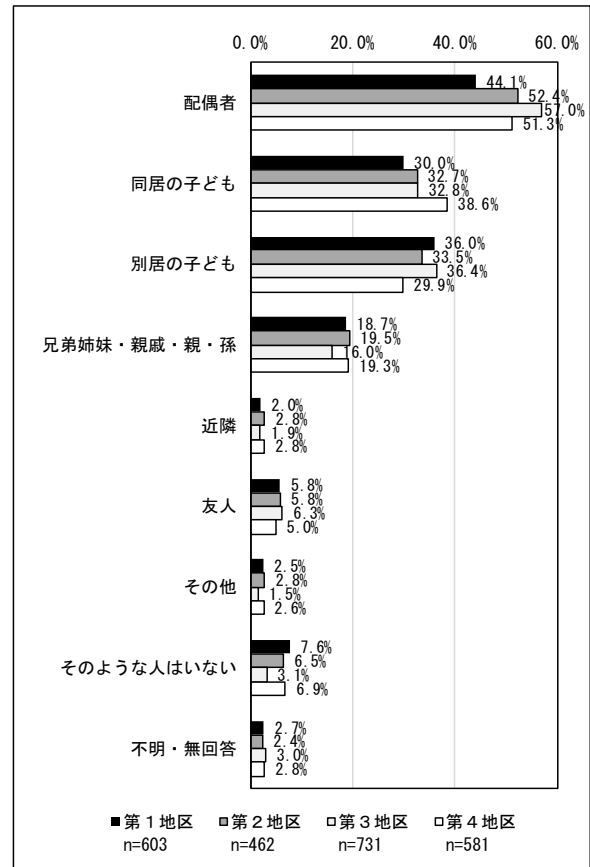
(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人 (MA)

- ・寝込んだときに看病や世話をしてくれる相手に関して、「配偶者」が50.4%と最も多く、次いで「別居の子ども」(33.6%)、「同居の子ども」(33.0%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(18.4%)の順となっている。
- ・圏域別では、第3地区において「配偶者」と回答した割合が57.0%と他圏域と比べてやや高くなっている一方、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合は低くなっている。

■看病や世話をしてくれる人との関係【割合】



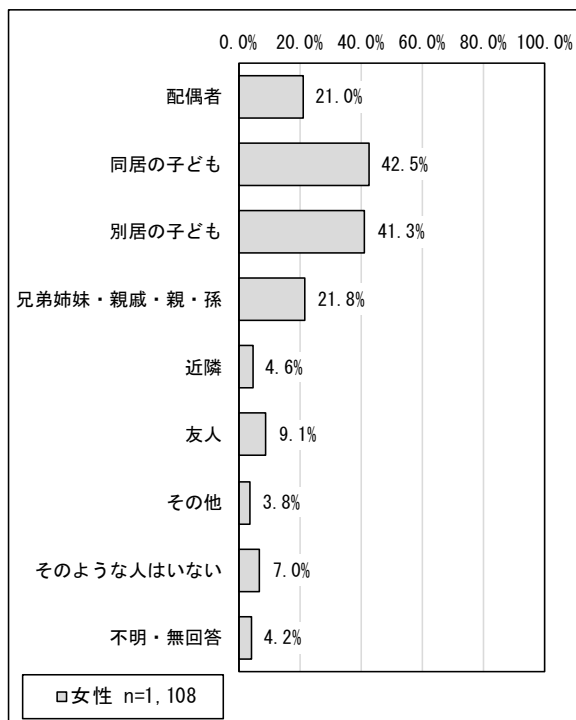
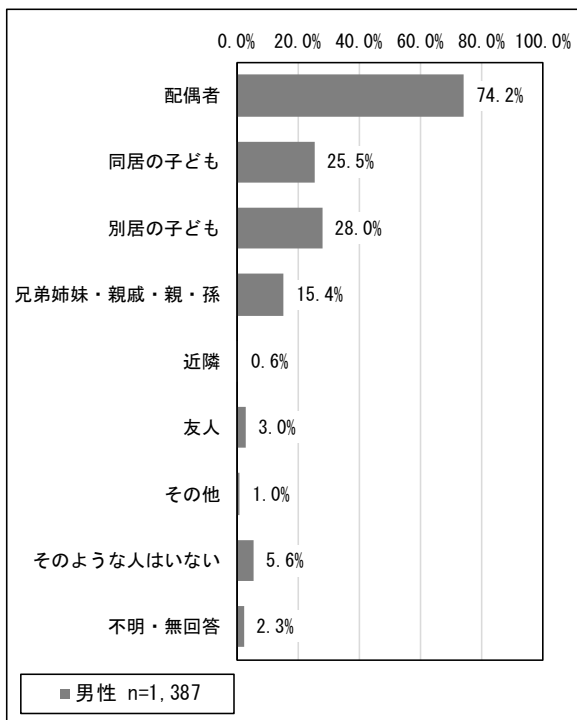
【圏域別割合】



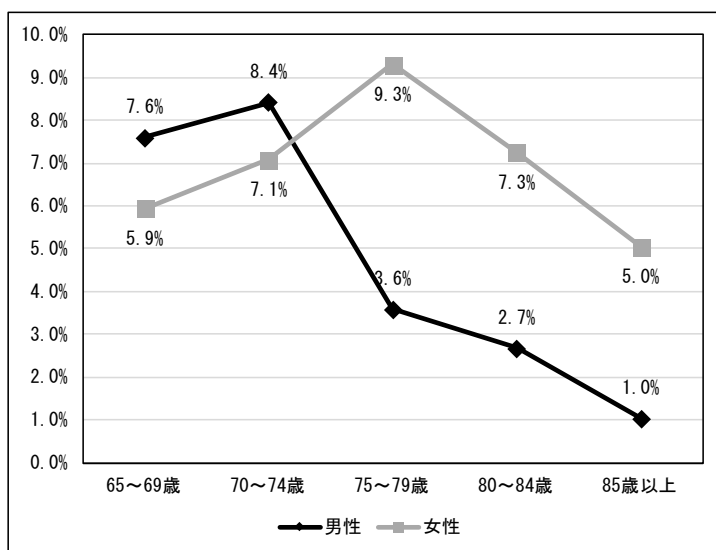
- ・「配偶者」と回答した割合は、男性は74.2%と最も高い。女性は、「同居の子ども」が42.5%と最も高く、次いで「別居の子ども」(41.3%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(21.8%)の順となっており、「配偶者」は21.0%と2割程度となっている。
- ・「そのような人はいない」と回答した割合について、男性が75～79歳から、女性が80～84歳から減少の傾向にある。また、75～79歳から女性の割合が男性を上回っている。

■看病や世話をしてくれる人との関係(男性)【割合】

■看病や世話をしてくれる人との関係(女性)【割合】



■「そのような人はいない」【年齢・性別割合】



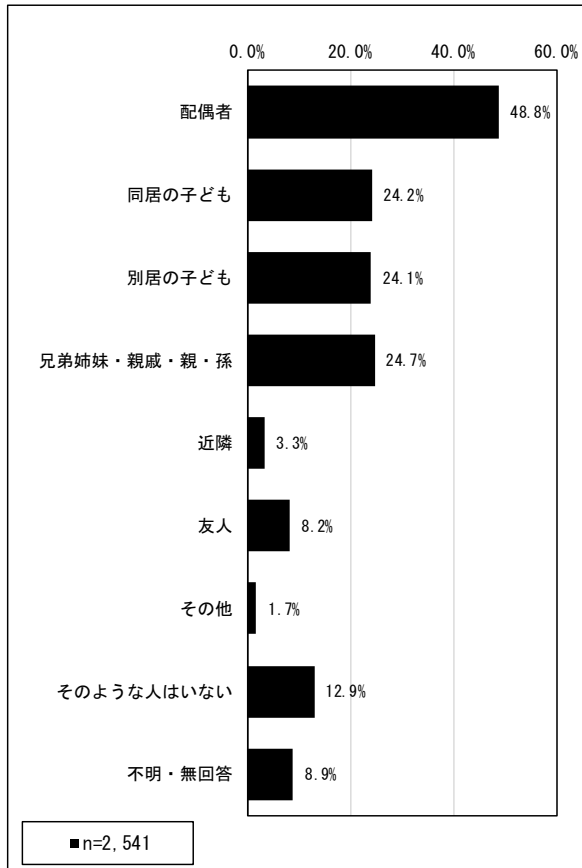
【実数】

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	26	30	11	5	2
女性	11	17	23	14	12

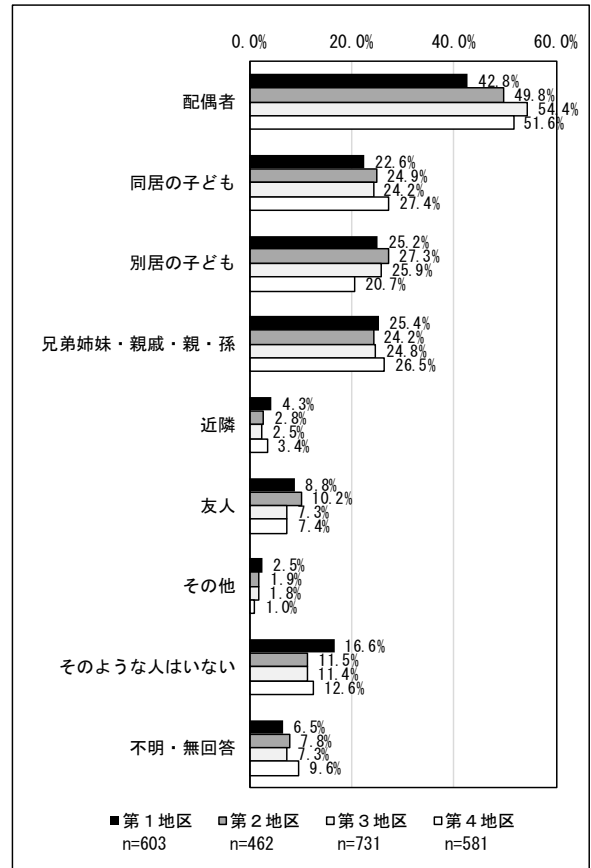
(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人 (MA)

- ・看病や世話をしてあげる相手に関して、「配偶者」が48.8%と最も多く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(24.7%)、「同居の子ども」(24.2%)、「別居の子ども」(24.1%)の順となっている。
- ・圏域別では、第3地区において「配偶者」と回答した割合が54.4%と他圏域と比べてやや高くなっている。また、第4地区において「同居の子ども」、第2地区において「別居の子ども」と回答した割合がやや高くなっている。

■看病や世話をしてあげる人との関係【割合】

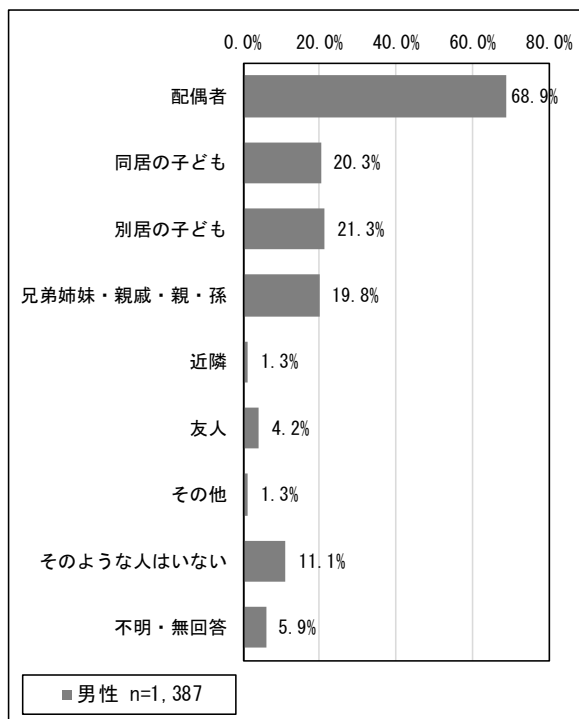


【圏域別割合】

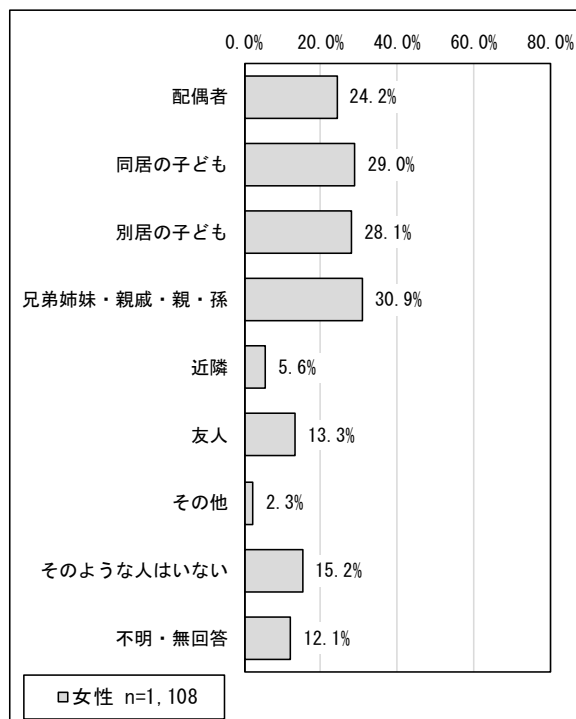


- ・「配偶者」と回答した割合は、男性は68.9%と最も高い。女性は、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が30.9%と最も高く、次いで「同居の子ども」(29.0%)「別居の子ども」(28.1%)、の順となっており、「配偶者」は24.2%に留まっている。
- ・「そのような人はいない」と回答した割合は、女性は高齢なほど高くなる傾向にあるが、男性は下がる傾向にあり、85歳以上で大きく上がっている。

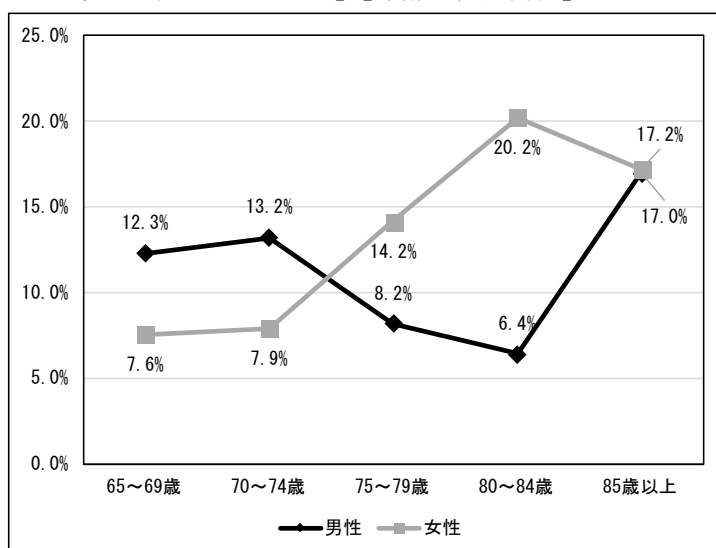
■看病や世話をしあける人との関係(男性)【割合】



■看病や世話をしあける人との関係(女性)【割合】



■「そのような人はいない」【年齢・性別割合】



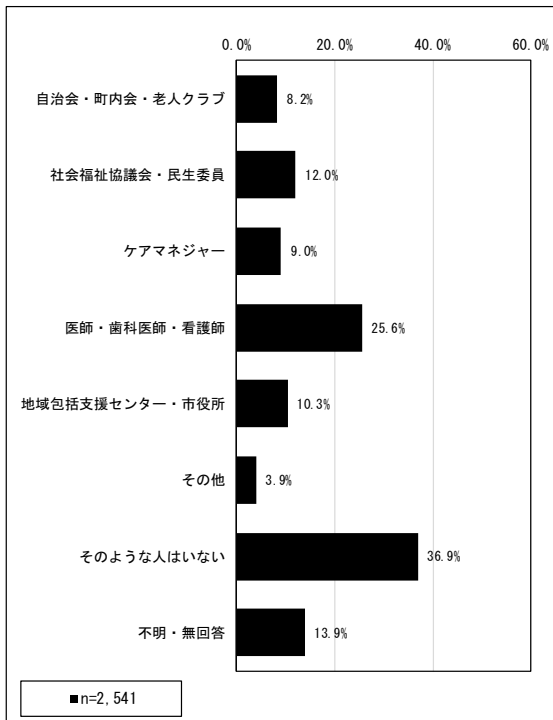
【実数】

	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	42	47	25	12	33
女性	14	19	35	39	41

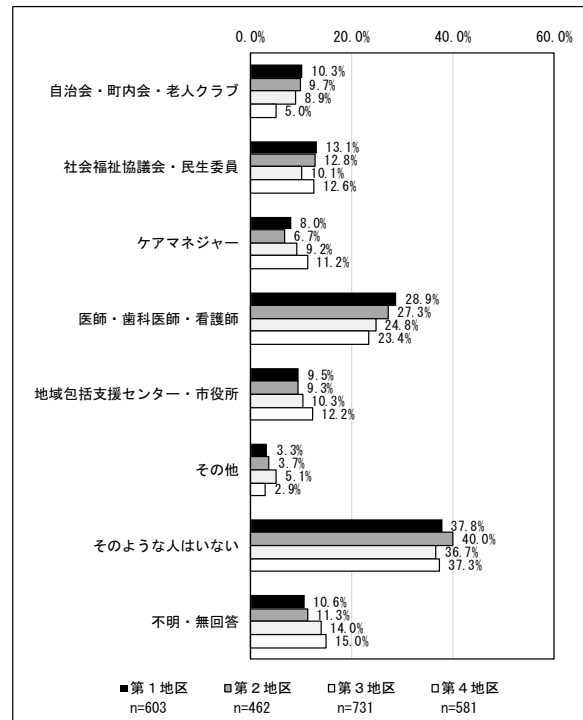
(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください (MA)

- ・家族や友人・知人以外の相談相手に関して、「そのような人はいない」が36.9%と最も高い。次いで「医師・歯科医師・看護師」(25.6%)、「社会福祉協議会・民生委員」(12.0%)となっている。
- ・圏域別では、第2地区において「そのような人はいない」と回答した割合が40.0%と他圏域と比べてやや高くなっている。また、第1地区において「医師・歯科医師・看護師」の割合がやや高く、第3地区において「社会福祉協議会・民生委員」の割合がやや低くなっている。
- ・「そのような人はいない」と回答した割合は、高齢なほど低い傾向にあり、男女ともに65~69歳が最も高くなっている。

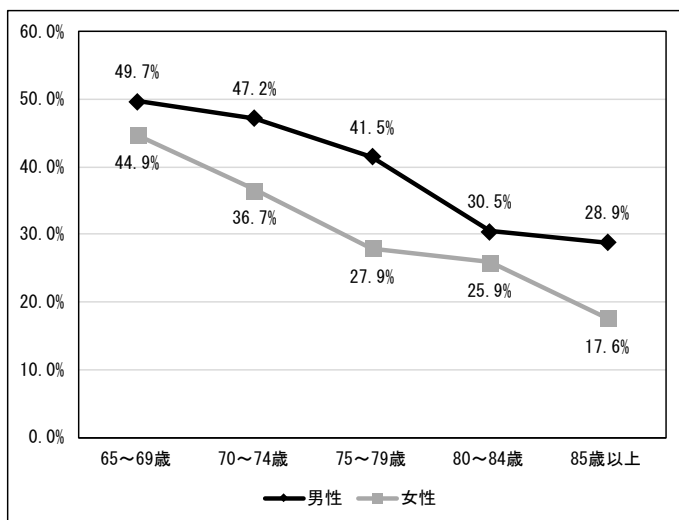
■相談する相手の関係【割合】



【圏域別割合】



■「そのような人はいない」【年齢・性別割合】



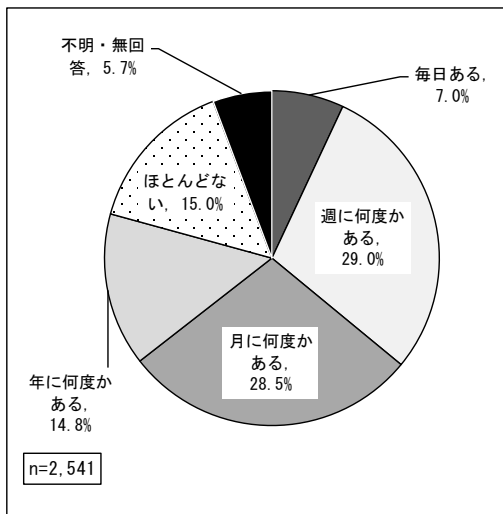
【実数】

	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	170	168	127	57	56
女性	83	88	69	50	42

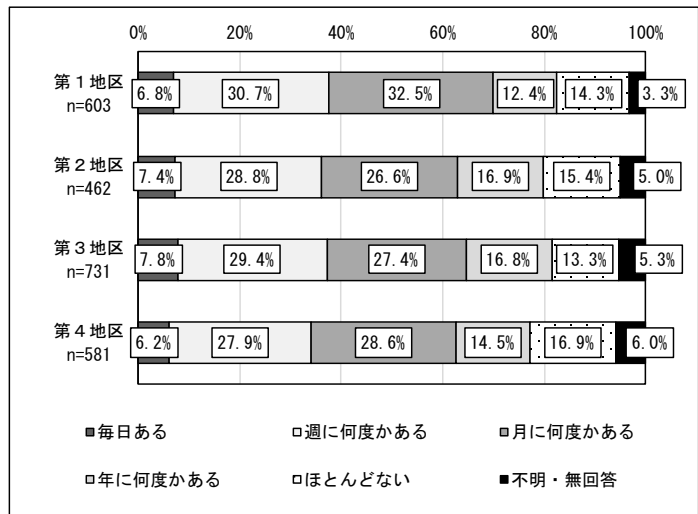
(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか (SA)

- 友人又は知人と会う頻度に関して、「週に何度かある」が29.0%と最も多く、次いで「月に何度かある」(28.5%)、「年に何度かある」(14.8%)の順となっている。また、月に1回以上会う(「毎日ある」又は「週に何度かある」又は「月に何度かある」と回答した)人が6割超を占める。
- 圏域別では、第1地区において「毎日ある」「週に何度かある」の合計割合が37.5%と最も高く、第4地区において34.1%と最も低い。
- 「ほとんどいない」と回答した割合は、全体的に男性の方が高い。その割合は、男女ともに高齢なほど高くなっている。

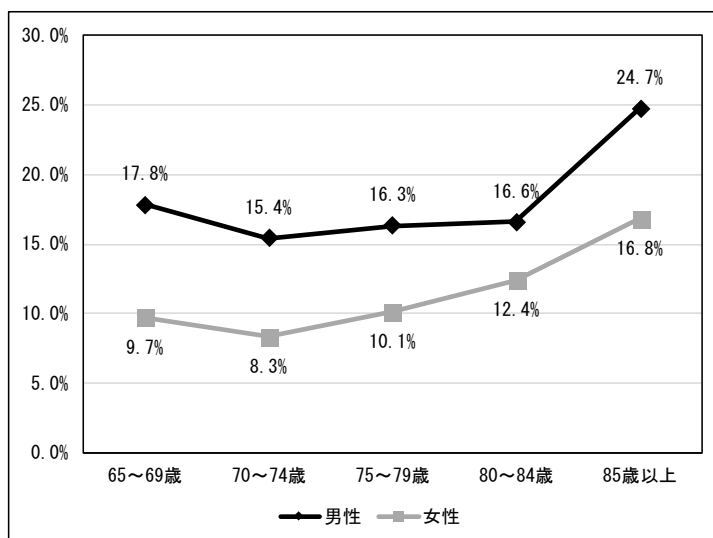
■友人・知人と会う頻度【割合】



【圏域別割合】



■「ほとんどない」【年齢・性別割合】



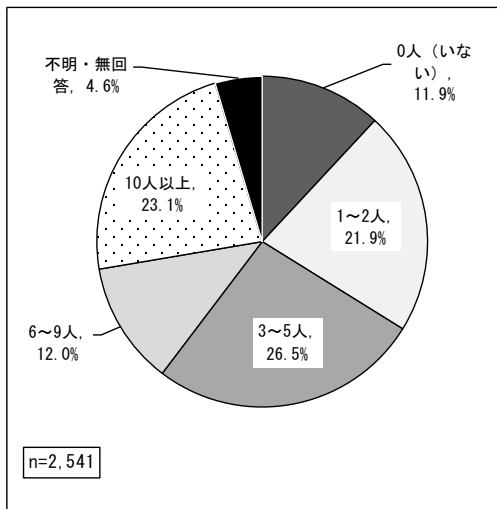
【実数】

	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	61	55	50	31	48
女性	18	20	25	24	40

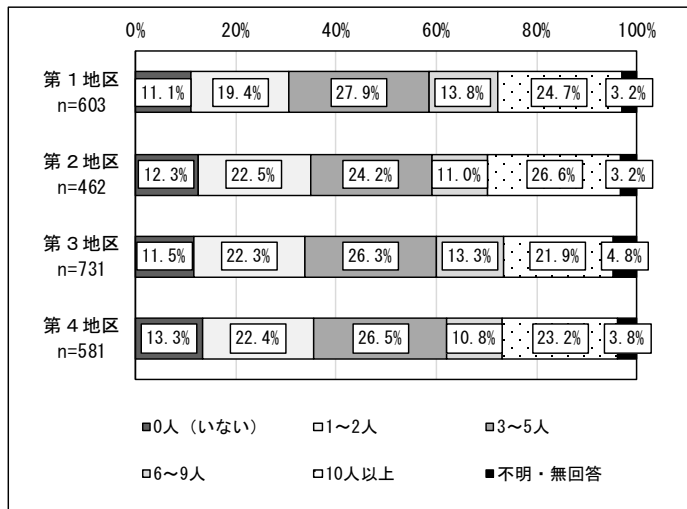
(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか (SA)

- ・友人又は知人と会う頻度に関して、「3～5人」が26.5%と最も多く、次いで「10人以上」(23.1%)、「1～2人」(21.9%)の順となっている。また、6人以上の友人と会う(「6～9人」又は「10人以上」と回答した)人が3割超を占める。
- ・圏域別では、第4地区において「0人(いない)」の割合が13.3%と最も高く、第1地区において11.1%と最も低い。
- ・「0人(いない)」と回答した割合は、男性の方が高い。また、男女ともに85歳以上が最も高い。

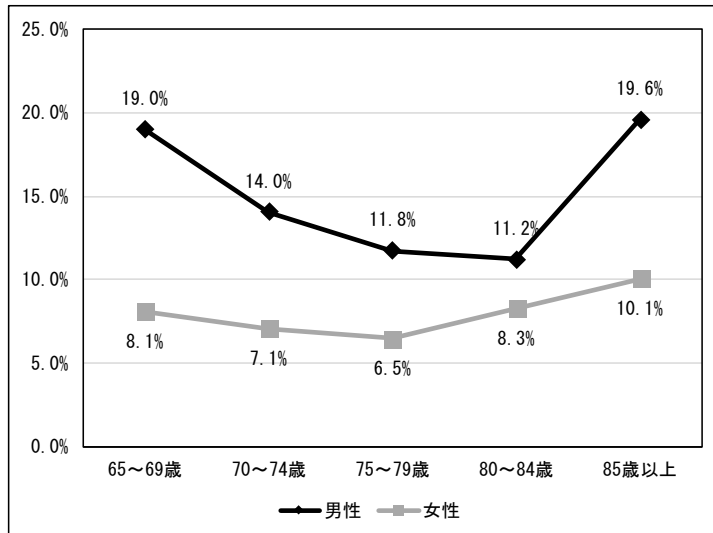
■会った友人・知人の数【割合】



【圏域別割合】



■「0人(いない)」【年齢・性別割合】



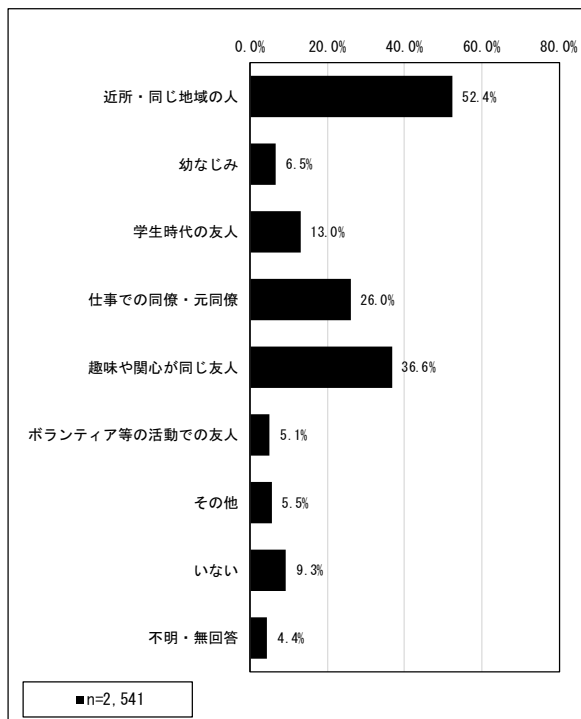
【実数】

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	65	50	36	21	38
女性	15	17	16	16	24

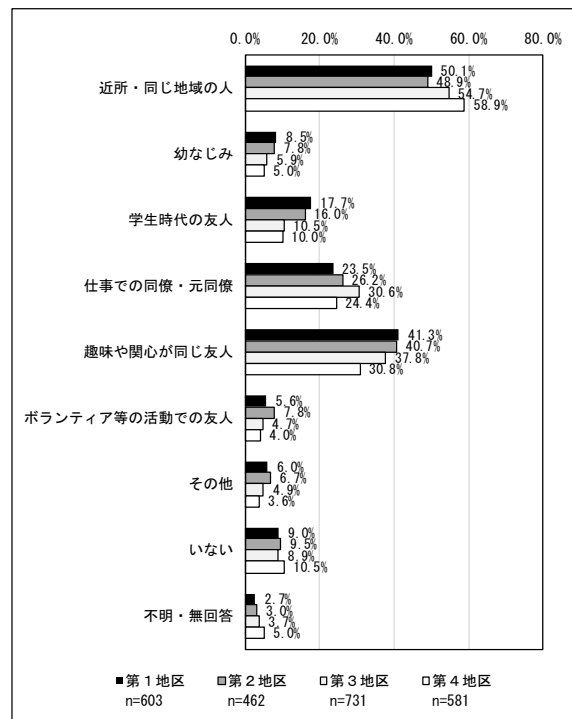
(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか (MA)

- よく会う友人・知人に関して、「近所・同じ地域の人」が52.4%と最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」(36.6%)、「仕事での同僚・元同僚」(26.0%)の順となっている。
- 圏域別では、第4地区において「近所・同じ地域の人」の割合が58.9%と最も高く、「趣味や関心が同じ友人」の割合は30.8%と最も低い。
- 「いない」と回答した割合は、80~84歳で女性が男性を上回っているが、その他は男性の割合が高くなっている。その割合が最も高いのは、男性では85歳以上の13.9%、女性では80~84歳の8.8%となっている。

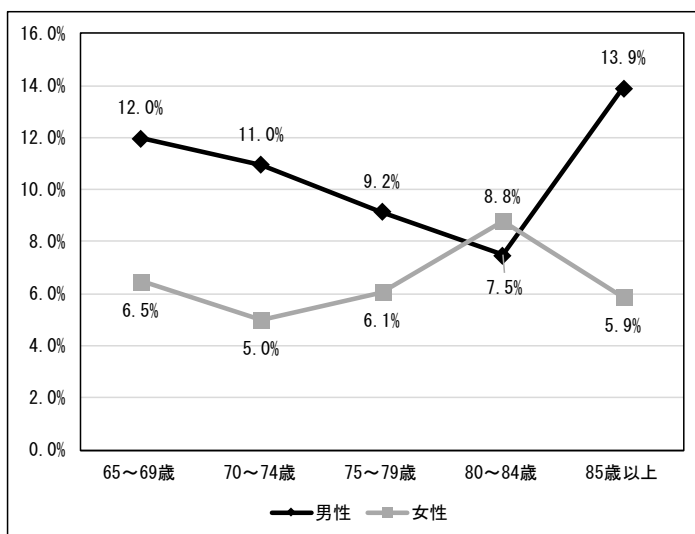
■友人・知人との関係【割合】



【圏域別割合】



■「いない」【年齢・性別割合】



【実数】

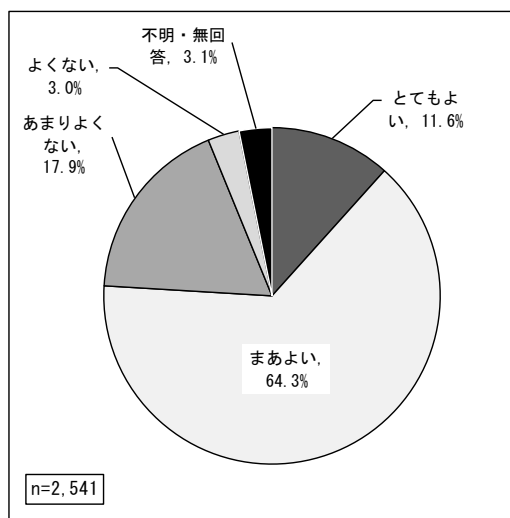
	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	41	39	28	14	27
女性	12	12	15	17	14

問7 健康について

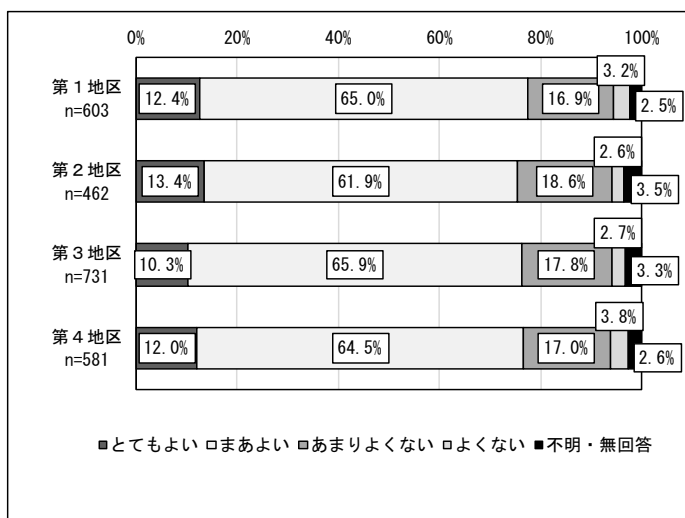
(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか (SA)

- 健康状態に関して、「まあよい」が64.3%と最も高く、次いで「あまりよくない」(17.9%)の順となっており、健康である(「とてもよい」又は「まあよい」と回答した)割合が7割を超えている。
- 圏域別では、第2地区において健康ではない(「あまりよくない」又は「よくない」と回答した)人の割合が21.2%と最も高く、第1地区において20.1%と最も低い。
- 健康ではない人の割合は、75歳以上は男性より女性の割合が高くなっている。

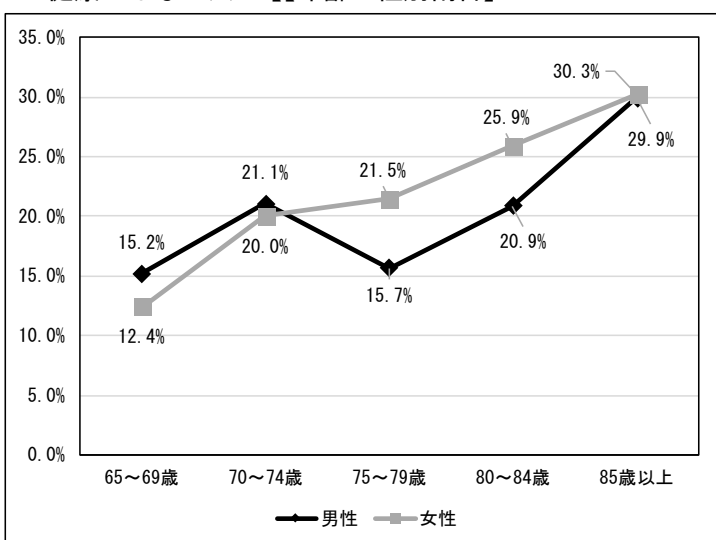
■健康状態【割合】



■圏域別割合【割合】



■健康ではない人※【年齢・性別割合】



※「あまりよくない」又は「よくない」と回答した人

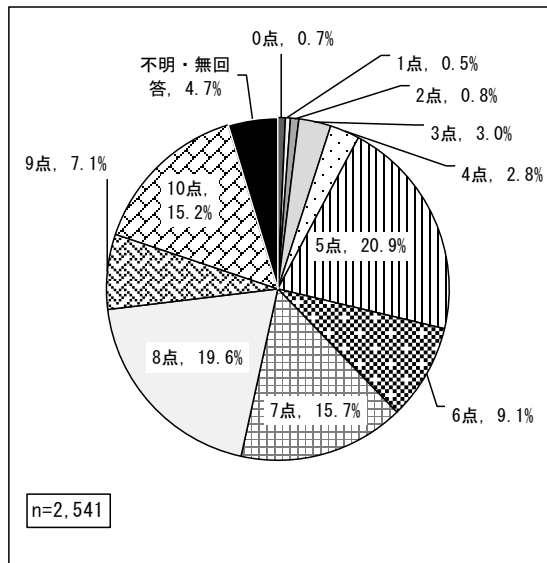
【実数】

	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	52	75	48	39	58
女性	23	48	53	50	72

(2) あなたは、現在どの程度幸せですか (SA)

- ・「0点 (とても不幸)」から「10点 (とても幸せ)」までの11段階での幸福感の評価に関して、「5点」が20.9%と最も高く、次いで「8点」(19.6%)、「7点」(15.7%)の順となり、平均点は6.63点となっている。
- ・圏域別では、第1地区において7点以上(「7点」、「8点」、「9点」、「10点」のいずれかに回答)の割合が61.0%と4圏域の中で最も高く、平均点も6.84点と最も高い。一方で、7点以上の割合が最も低いのは第4地区で56.1%、平均点が最も低いのも第4地区で6.59点となっている。

■ 幸福感

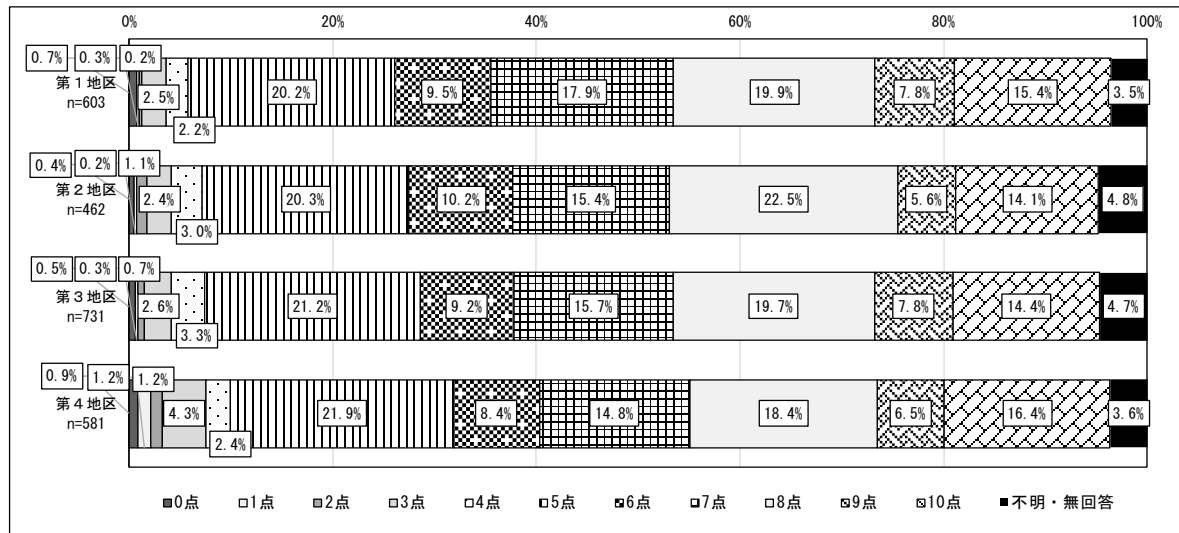


(平均点 ※)

6.63

※加重平均 (小数点第3位以下を四捨五入)

【圏域別割合】



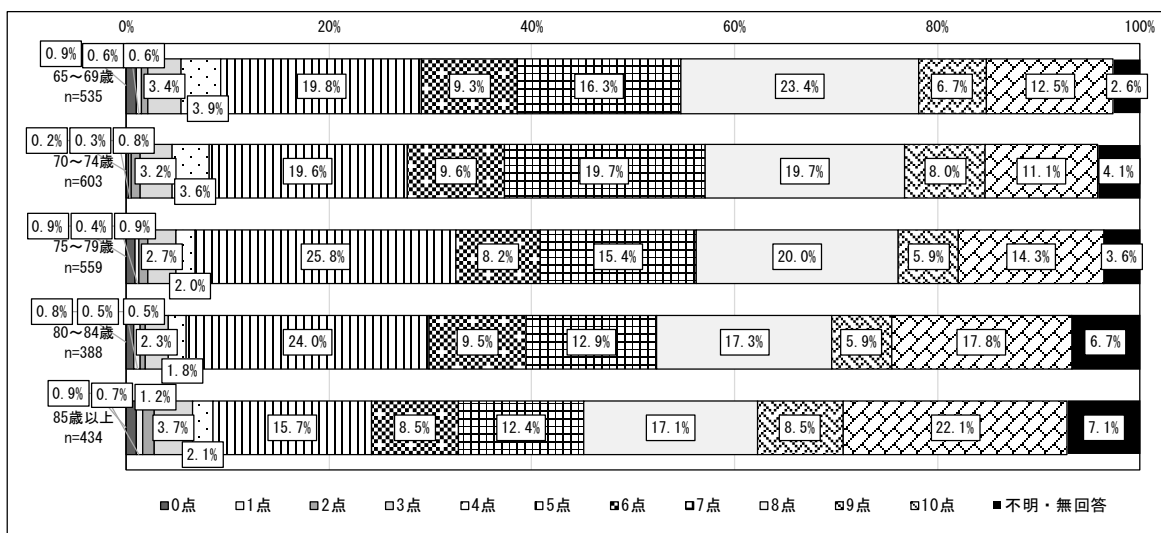
(圏域別平均点 ※)

第1地区	6.84
第2地区	6.63
第3地区	6.65
第4地区	6.59

※加重平均 (小数点第3位以下を四捨五入)

- ・年齢別では、85歳以上において7点以上の割合が60.1%と5つの年齢区分の中で最も高く、平均点も6.73点と最も高い。一方、80～84歳において、7点以上の割合が53.9%、平均点が6.52点とともに最も低い。
- ・男女別では、7点以上の割合が男性で57.9%となっており、女性の57.6%と比べると若干高い。平均点は女性の方が6.69点と男性を上回っている。

【年齢別割合】

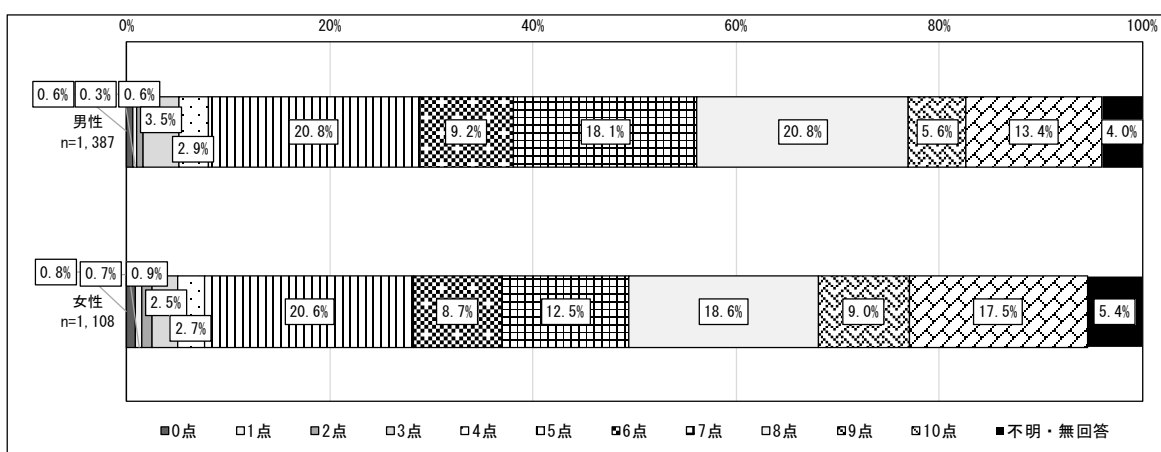


(年齢別平均点 ※)

65～69歳	6.69
70～74歳	6.60
75～79歳	6.60
80～84歳	6.52
85歳以上	6.73

※加重平均 (小数点第3位以下を四捨五入)

【男女別割合】



(男女別平均点 ※)

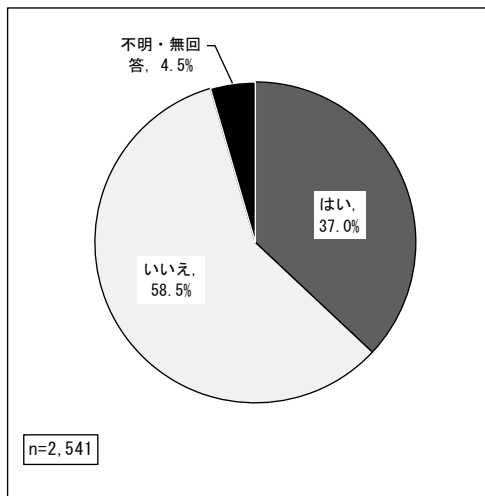
男性	6.61
女性	6.69

※加重平均 (小数点第3位以下を四捨五入)

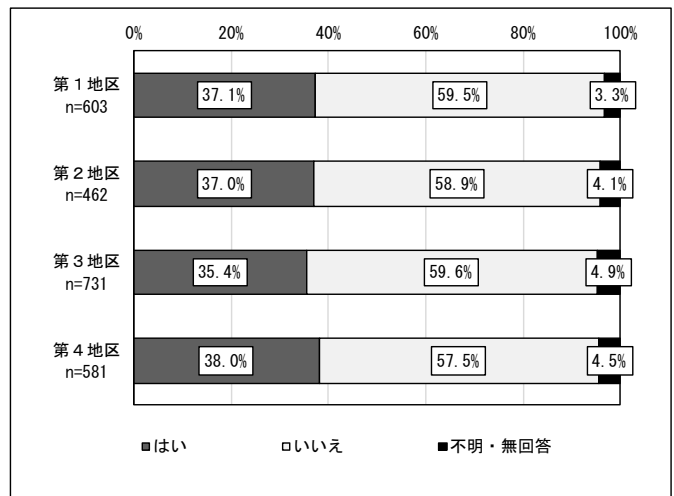
(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか (SA)

- ・最近1か月間で気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかに関して、「はい」が37.0%に対し、「いいえ」が58.5%と、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったことはない人は6割近くを占める。
- ・圏域別では、第4地区において気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったことがある（「はい」と回答した）人の割合が38.0%と最も高く、第3地区において35.4%と最も低い。
- ・気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったことがある人の割合は、女性の方が高く、男性では70～74歳が35.7%、女性では80～84歳が45.1%で最も高い。

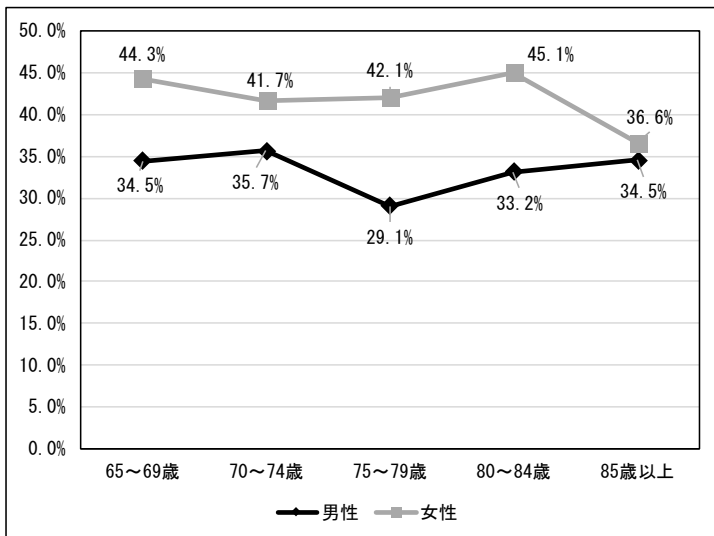
■気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがある【割合】



■圏域別割合【割合】



■気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがある人※【年齢・性別割合】



※「はい」と回答した人

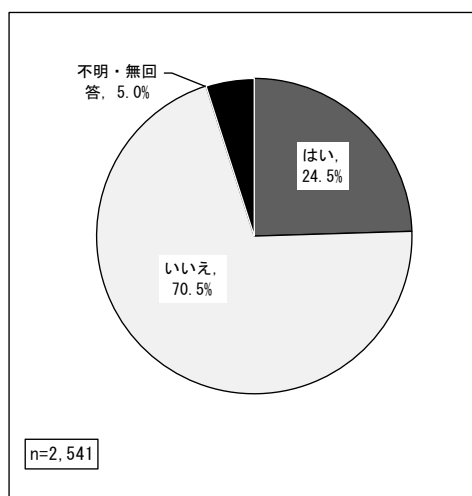
【実数】

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	118	127	89	62	67
女性	82	100	104	87	87

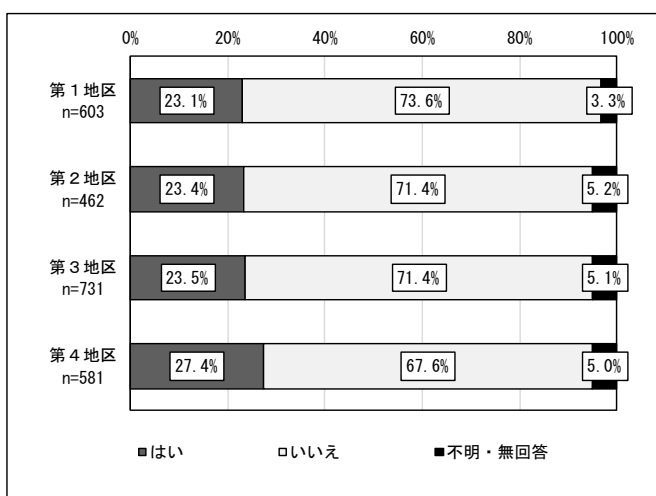
(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか (SA)

- ・最近1か月間で物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあるかに関して、「はい」が24.5%に対し、「いいえ」が70.5%と、興味がわかない、あるいは心から楽しめないことはあまりない人は7割近くを占める。
- ・圏域別では、第4地区において興味がわかない、心から楽しめない（「はい」と回答した）人の割合が27.4%と最も高く、第1地区において23.1%と最も低い。
- ・興味がわかない、心から楽しめない人の割合は、85歳以上を除き女性の方が高く、男性では85歳以上が28.9%、女性では80～84歳が28.0%で最も高い。

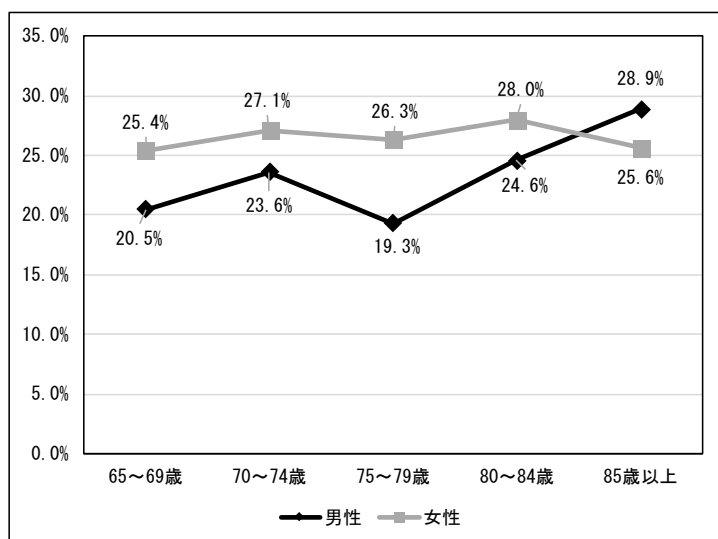
■興味がわかない、楽しめない【割合】



■圏域別割合【割合】



■興味がわかない、心から楽しめない人※【年齢・性別割合】



※「はい」と回答した人

【実数】

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	70	84	59	46	56
女性	47	65	65	54	61

⑥ うつ傾向

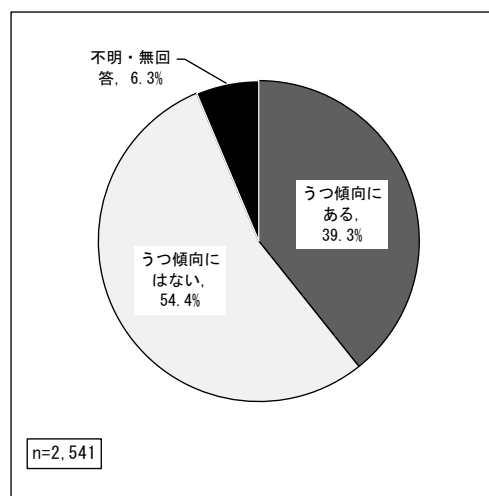
うつ傾向の定義

本報告書では、問7の(3)、(4)でいずれか一つでも該当する選択肢(下の表の網掛けの箇所)に回答した場合、「うつ傾向にある」高齢者と定義した。

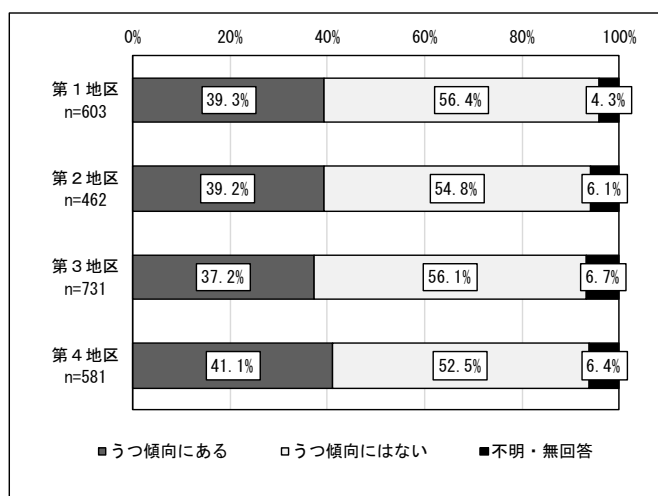
No.	設問内容	選択肢
(3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい 2. いいえ
(4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい 2. いいえ

- ・うつ傾向に関して、「うつ傾向にある」人が39.3%に対し、「うつ傾向にはない」人が54.4%となっており、「うつ傾向にない」人が5割超を占める。
- ・圏域別では、第4地区において「うつ傾向にある」人の割合が41.1%と最も高く、第3地区において37.2%と最も少ない。

■うつ傾向【割合】

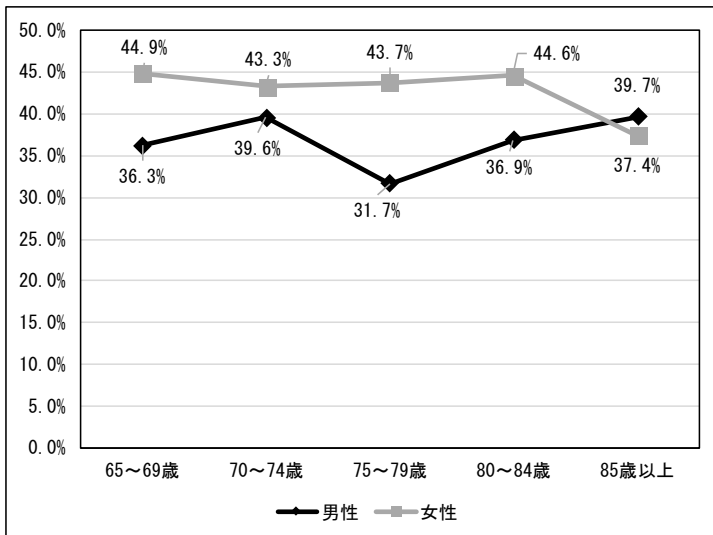


【圏域別割合】



・「うつ傾向にある」人の割合は85歳以上を除き、女性の方が高い。また、その割合は男女とも年齢における傾向は少なく、男性は85歳以上で39.7%と最も高く、女性は65～69歳で44.9%と最も高くなっている。

■「うつ傾向にある」人※【年齢・性別割合】



※問7の(3)、(4)で、いずれか一つでも該当する選択肢(前頁表の網掛けの箇所)に回答した人

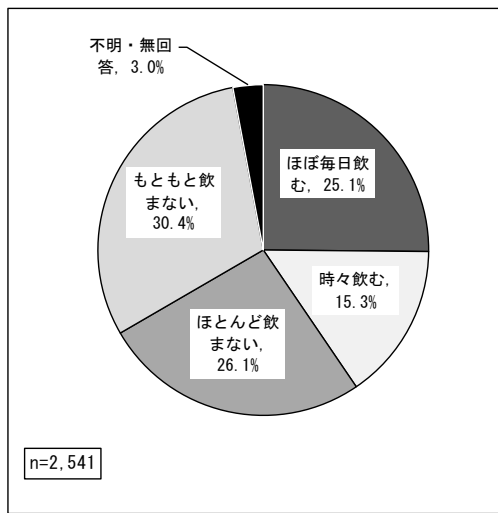
【実数】

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	124	141	97	69	77
女性	83	104	108	86	89

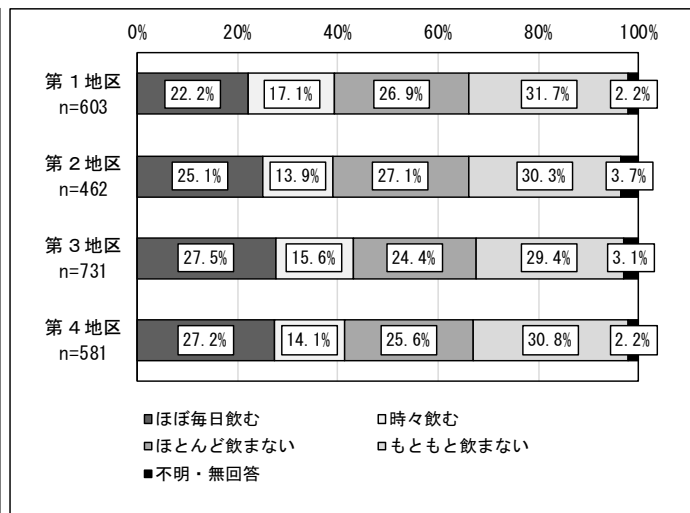
(5) お酒は飲みますか (S A)

- ・飲酒に関して、「もともと飲まない」が30.4%と最も高く、次いで「ほとんど飲まない」(26.1%)、「ほぼ毎日飲む」(25.1%)、「時々飲む」(15.3%)の順となっている。
- ・圏域別では、第3地区において「ほぼ毎日飲む」、「時々飲む」の合計割合が43.1%と最も高く、飲酒の頻度が多い傾向にある。一方、その割合は第2地区において39.0%と最も低い。
- ・「ほぼ毎日飲む」の割合は、男性の方が高くなっているが、高齢なほど低い傾向にある。一方、女性は65～69歳を除くすべての年齢区分で1割未満となっている。

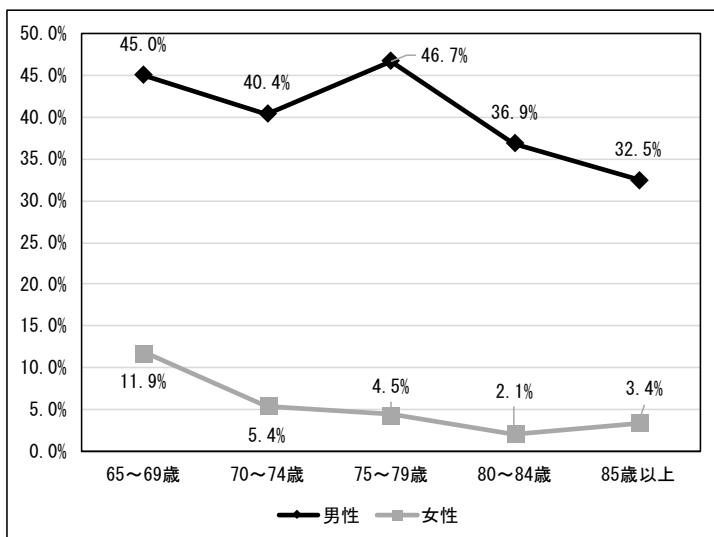
■お酒を飲む【割合】



■圏域別割合【割合】



■「ほぼ毎日飲む」人【年齢・性別割合】



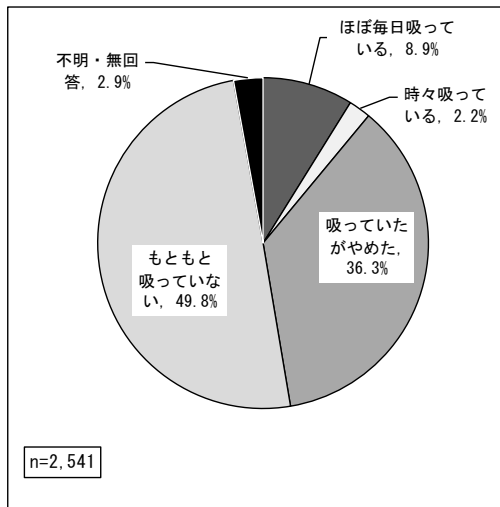
【実数】

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	154	144	143	69	63
女性	22	13	11	4	8

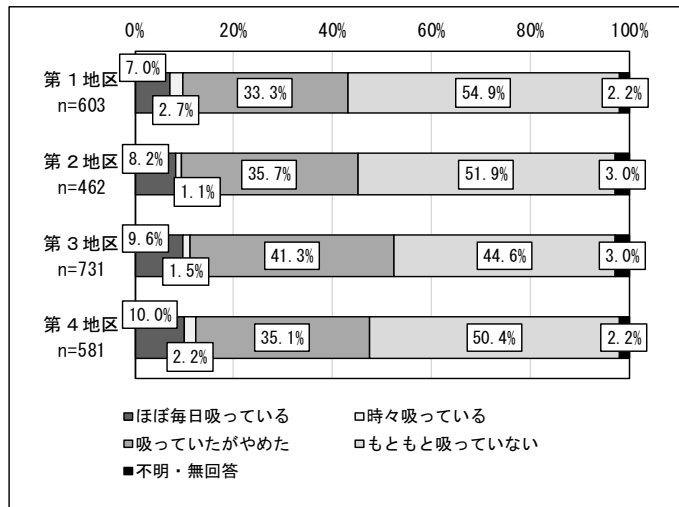
(6) タバコは吸っていますか (SA)

- ・喫煙に関して、「もともと吸っていない」が49.8%と最も多く、次いで「吸っていたがやめた」(36.3%)、「ほぼ毎日吸っている」(8.9%)、「時々吸っている」(2.2%)の順となっている。現在吸っていない(「吸っていたがやめた」又は「もともと吸っていない」と回答した)割合は8割を超える。
- ・圏域別では、第4地区において「ほぼ毎日吸っている」、「時々吸っている」の合計割合が12.2%と最も高く、喫煙の頻度が多い傾向にある。一方、その割合は第2地区において9.3%と最も低い。
- ・「ほぼ毎日吸っている」と回答した割合は、男性の方が高く、女性はすべての年齢区分で1割未満となっている。また、男女ともに高齢なほど低い。

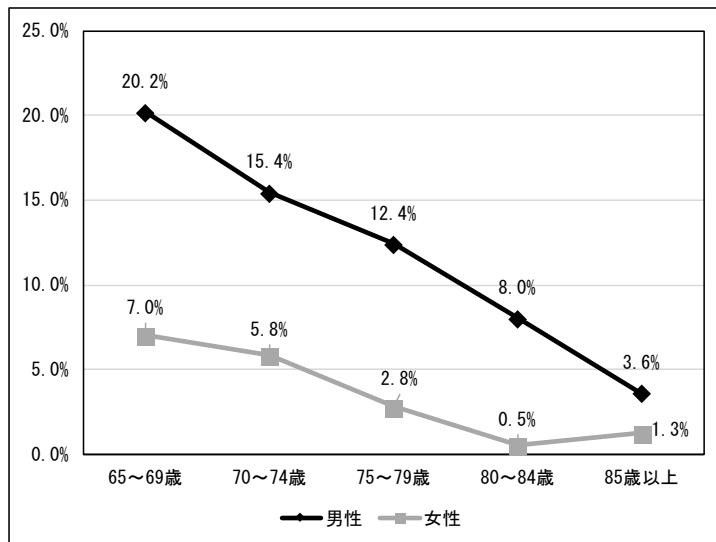
■ タバコを吸う【割合】



■ 圏域別割合【割合】



■ 「ほぼ毎日吸っている」人【年齢・性別割合】



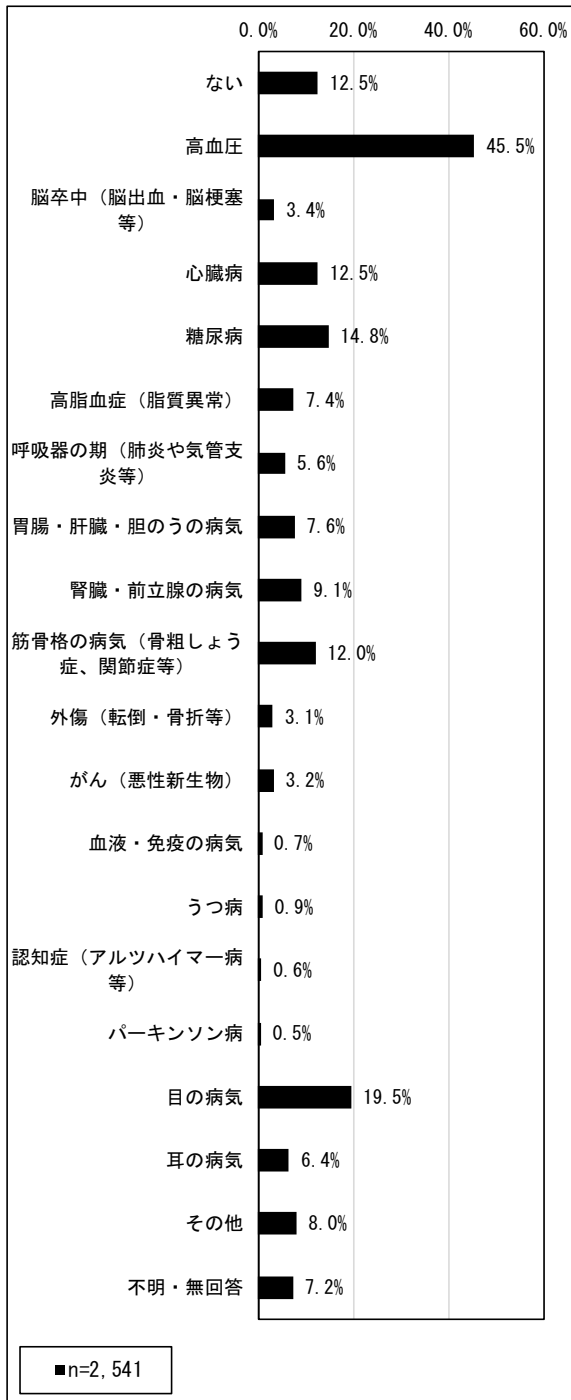
【実数】

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	69	55	38	15	7
女性	13	14	7	1	3

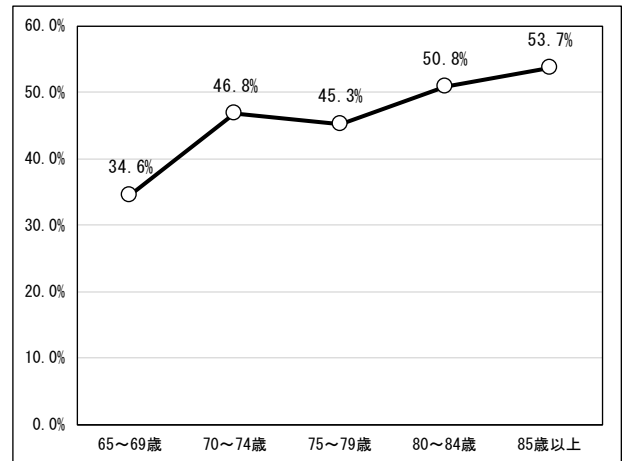
(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (MA)

- ・現在治療中又は後遺症のある病気に関して、「高血圧」が45.5%と最も多く、次いで「目の病気」(19.5%)、「糖尿病」(14.8%)の順となっている。
- ・「高血圧」に関して、65～69歳は34.6%であるが、80～84歳は50.8%と過半数に達するなど、高齢なほど割合は増加している。

■ 治療中・後遺症のある病気【割合】



■ 「高血圧」【年齢別割合】



【実数】

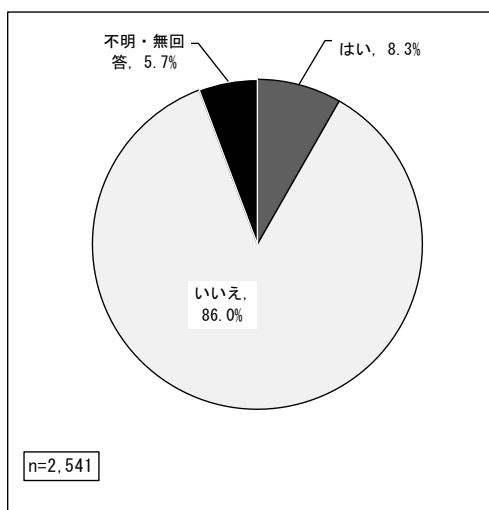
65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
185	282	253	197	233

問8 認知症にかかる相談窓口の把握について

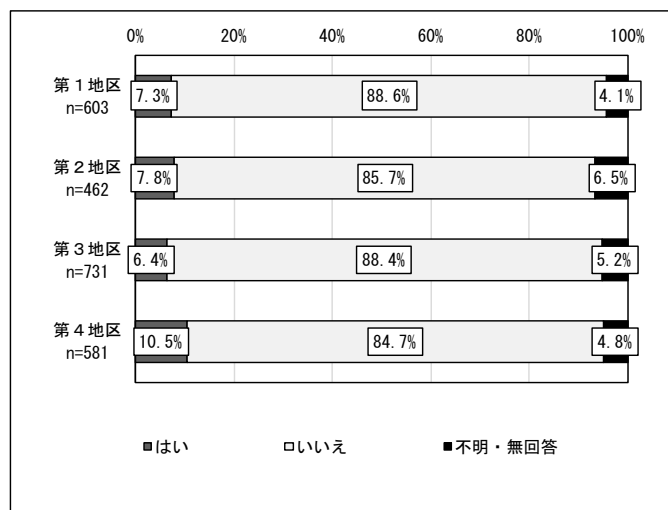
(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか (SA)

- ・ 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるかどうかに関して、「はい (症状がある又は症状がある人がいる)」が8.3%、「いいえ (症状がない又は症状がある人はいない)」が86.0%と、症状がある又は症状がある人がいる人は1割未満だった。
- ・ 圏域別では、第4地区において症状がある又は症状がある人がいる (「はい」と回答した) 人の割合が10.5%と最も高く、第3地区において6.4%と最も低い。
- ・ 症状がある又は症状がある人がいる人の割合は、男女ともに年齢における差は少なく、85歳以上を除き男性が女性を上回っている。

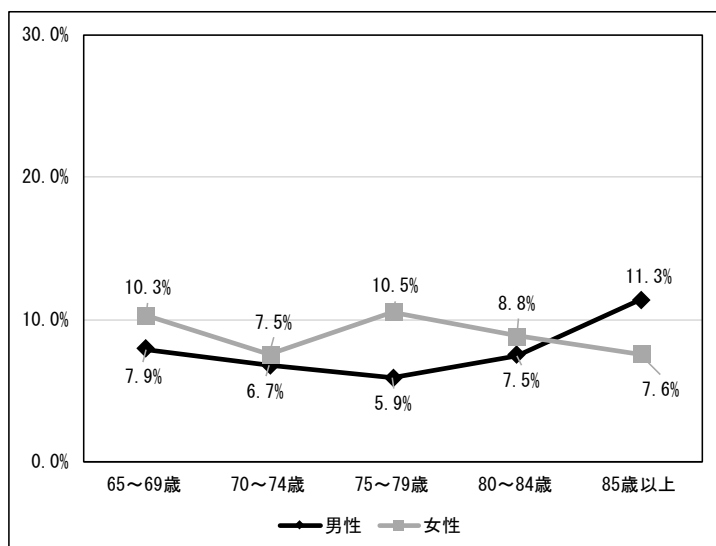
■ 認知症の症状がある人がいる【割合】



【圏域別割合】



■ 「はい」【年齢・性別割合】



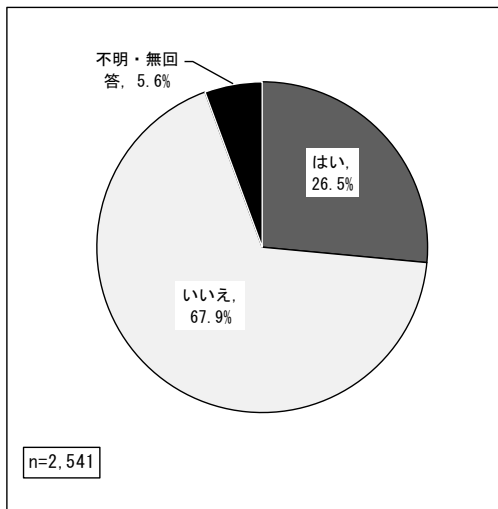
【実数】

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	27	24	18	14	22
女性	19	18	26	17	18

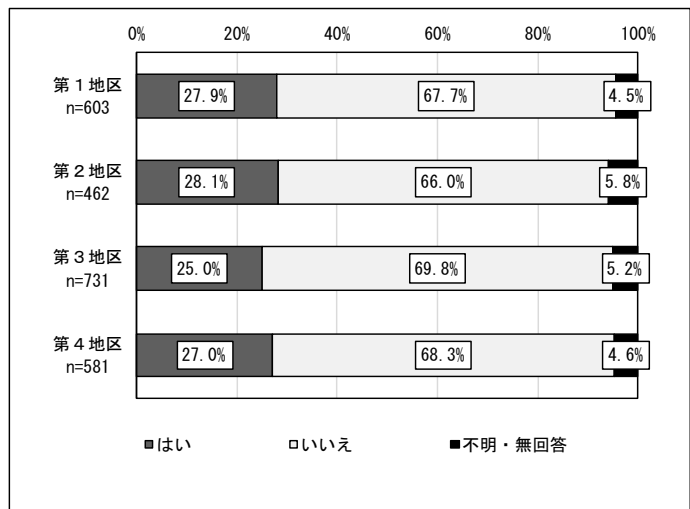
(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか (SA)

- 認知症に関する相談窓口を知っているかどうかに関して、「はい（認知症に関する相談窓口を知っている）」が26.5%、「いいえ（認知症に関する相談窓口を知らない）」が67.9%と、認知症に関する相談窓口を知らない人は7割近くだった。
- 圏域別では、第2地区において認知症に関する相談窓口を知っている（「はい」と回答した）人の割合が28.1%と最も高く、第3地区において25.0%と最も低い。
- 認知症に関する相談窓口を知らない人の割合は、85歳以上を除き、男性が女性を上回っている。

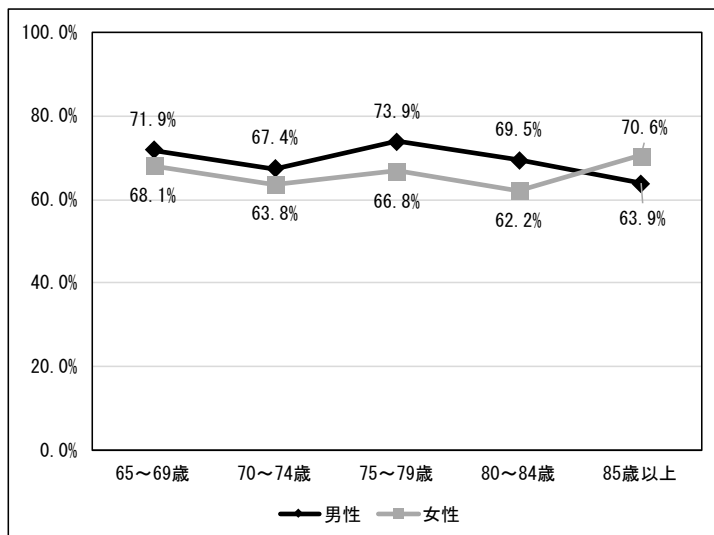
■相談窓口を知っていますか【割合】



【圏域別割合】



■「いいえ」【年齢・性別割合】



【実数】

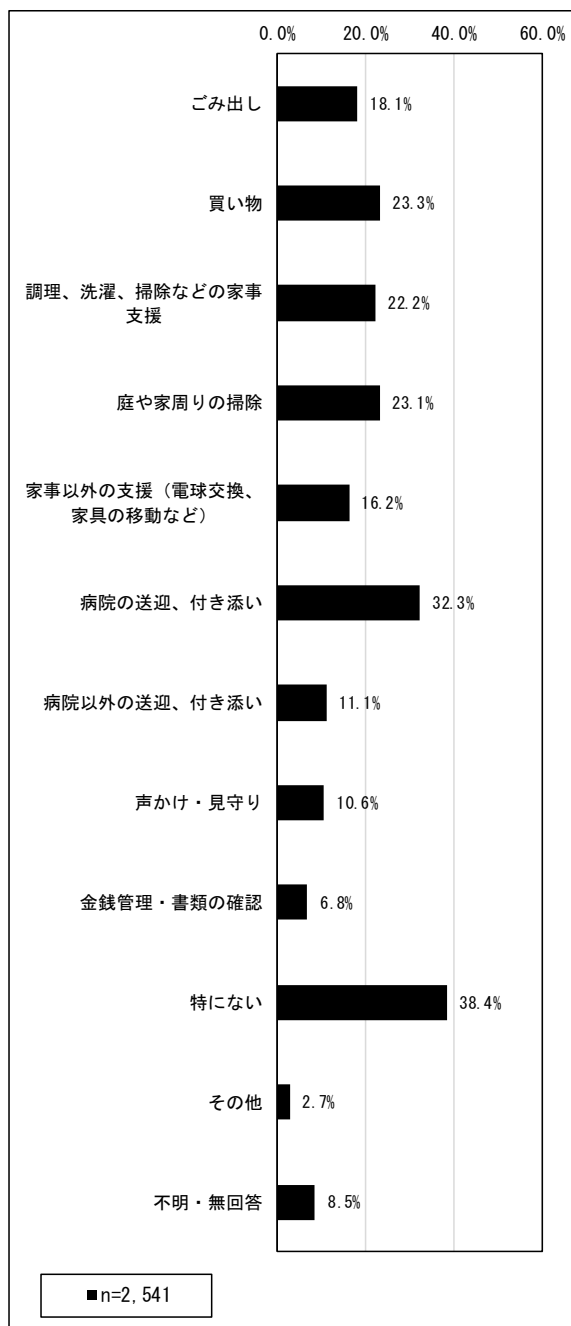
	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85歳以上
男性	246	240	226	130	124
女性	126	153	165	120	168

問9 生活支援について

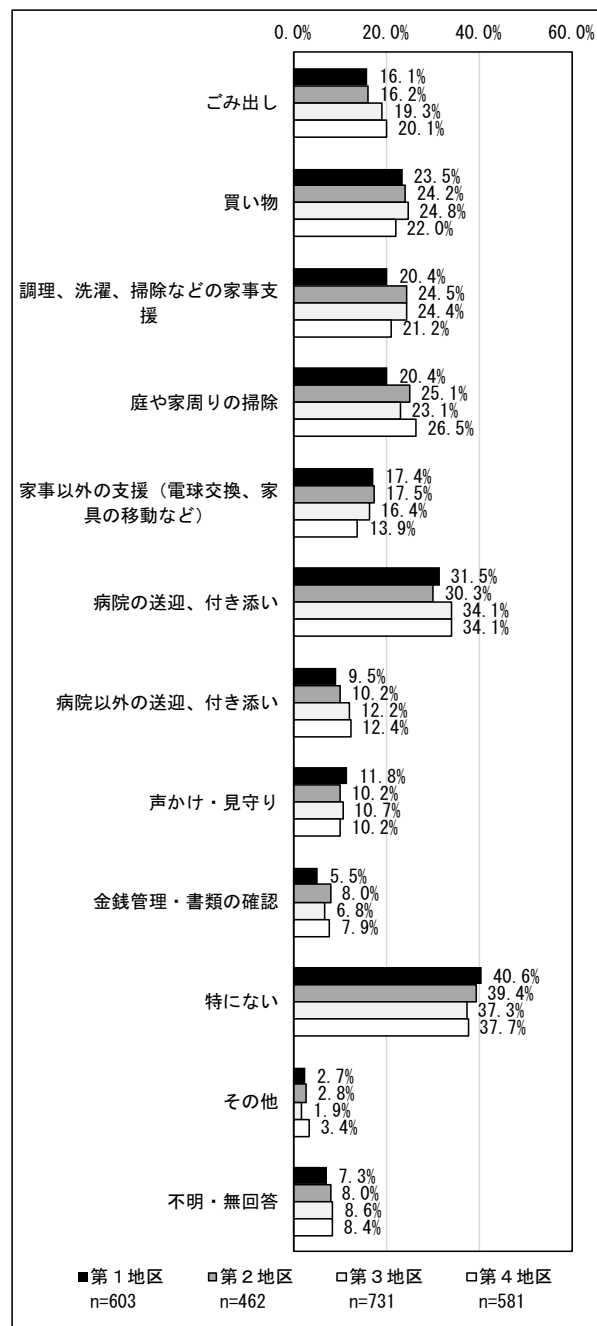
(1) あなたは、普段の生活の中で将来手助けが必要だと思うこと（または手助けしてほしいこと）は何かありますか（MA）

- ・ 普段の生活の中で将来手助けが必要だと思うことに関して、「特にない」が38.4%と最も多く、次いで「病院の送迎、付き添い」が32.3%、「買い物」が23.3%の順になっている。
- ・ 圏域別では、「病院の送迎、付き添い」の割合が全圏域で3割を超えている。また、第2地区、第4地区で「庭や家周りの掃除」と回答した割合が25%を超えている。

■ 普段の生活の中で将来手助けが必要だと思うこと【割合】

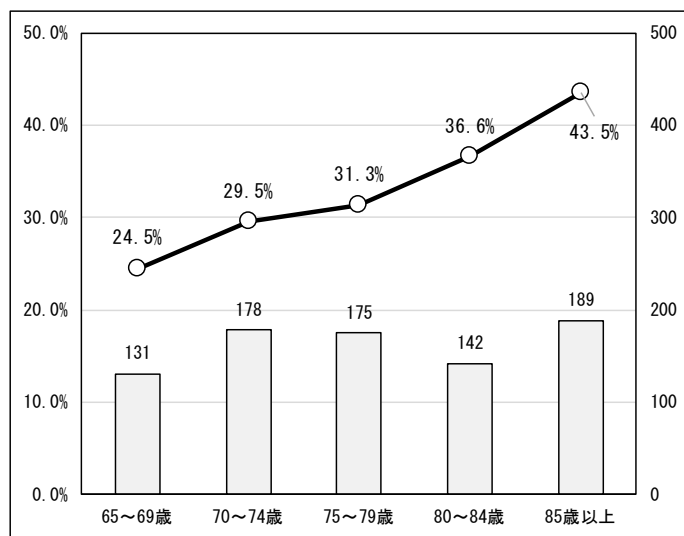


【圏域別割合】



- ・「病院の送迎、付き添い」と回答した割合は、高齢なほど高い傾向にある。
- ・「買い物」と回答した割合は、高齢なほど高い傾向にあるが、75～79歳で若干減少している。

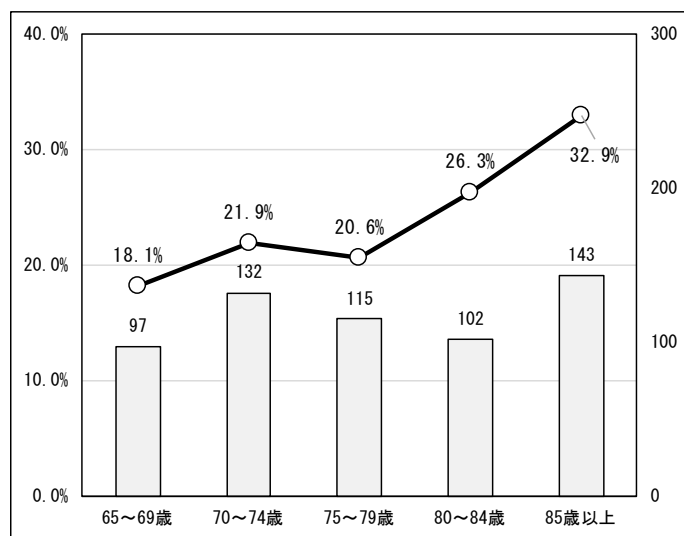
■ 「病院の送迎、付き添い」【年齢別実数・割合】



【家族構成が「1人暮らし」「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の実数】

1人暮らし	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)
116	207

■ 「買い物」【年齢別割合】

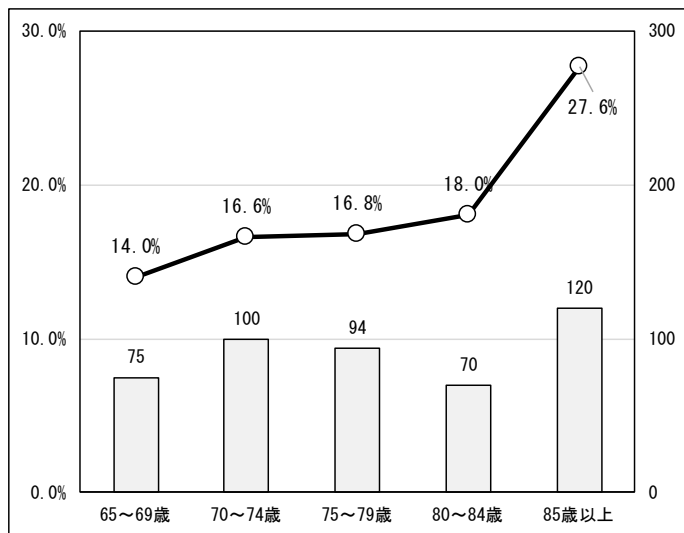


【実数】

1人暮らし	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)
90	152

- ・「ごみ出し」と回答した割合は、高齢なほど高い傾向にあり、特に85歳以上は大きく増加している。
- ・「病院以外の送迎、付き添い」と回答した割合は、高齢なほど高い傾向にあるが、75～79歳で若干減少している。

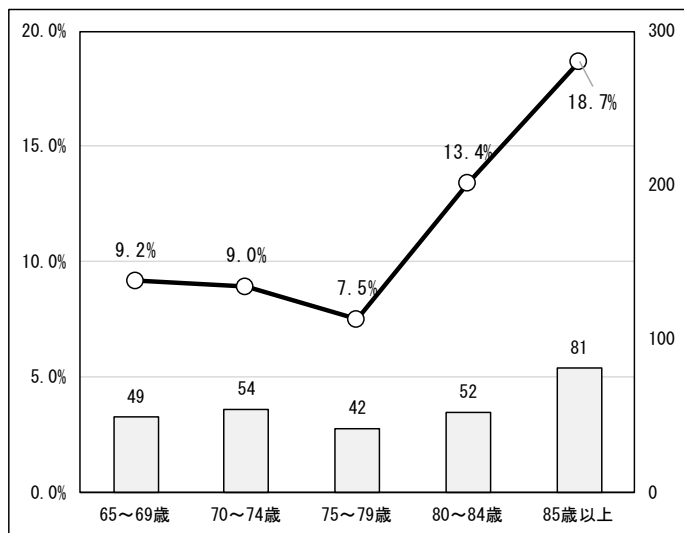
■ 「ごみ出し」【年齢別割合】



【実数】

1人暮らし	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)
67	119

■ 「病院以外の送迎、付き添い」【年齢別割合】



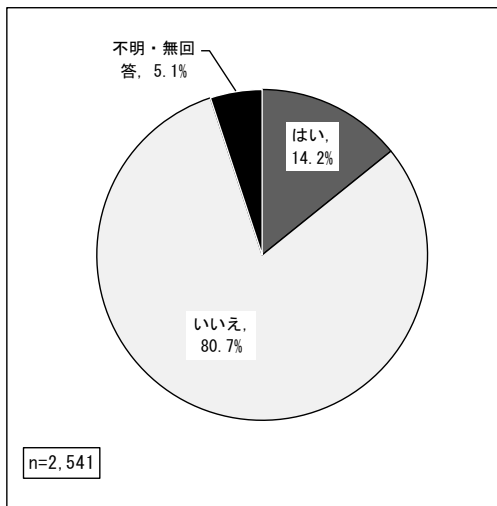
【実数】

1人暮らし	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)
40	66

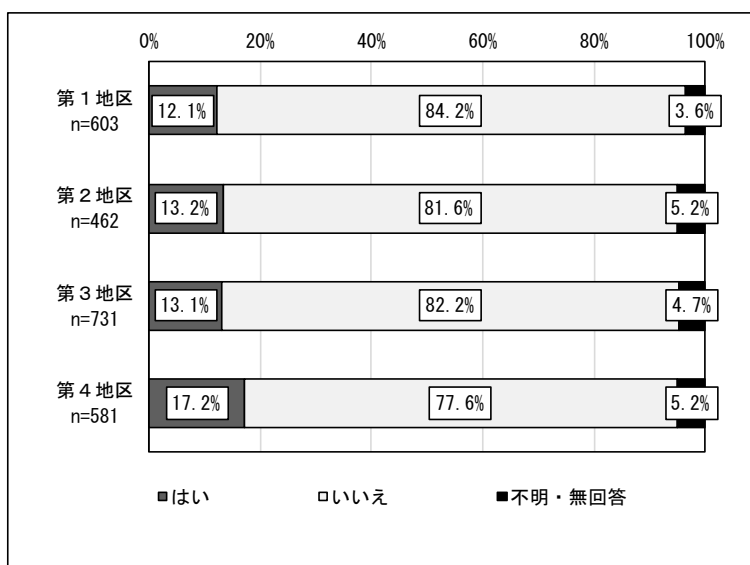
(2) あなたは、日用品の買い物に不安と不便を感じていますか (SA)

- ・日用品の買い物に不安と不便を感じているかどうかに関して、「はい (日用品の買い物に不安と不便を感じている)」が 14.2%、「いいえ (日用品の買い物に不安と不便を感じていない)」が 80.7%と、8割が日用品の買い物に不安と不便を感じていない。
- ・圏域別では、第4地区において日用品の買い物に不安と不便を感じている (「はい」と回答した) 人の割合が 17.2%と最も高く、第1地区において 12.1%と最も低い。

■日用品の買い物に不安と不便を感じていますか【割合】



【圏域別割合】

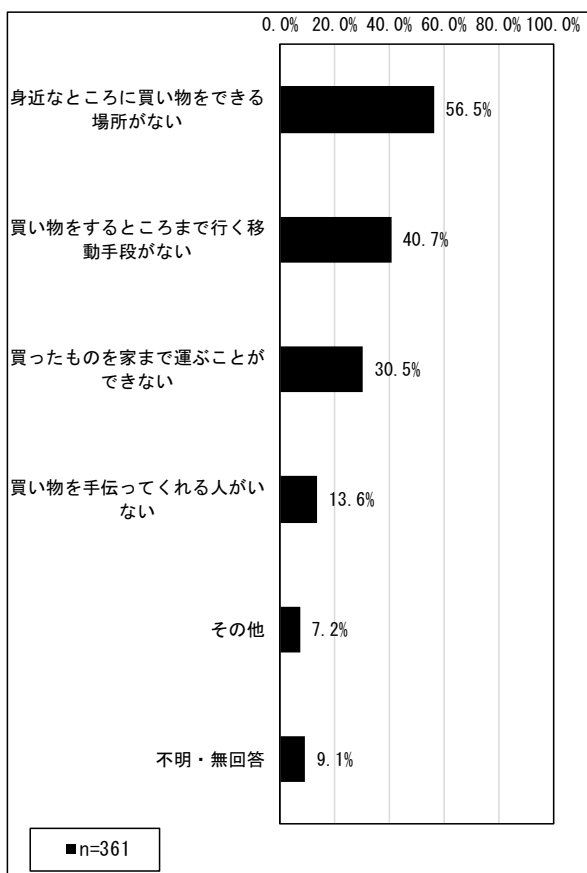


【(2) で「1. 感じている」の方のみ】

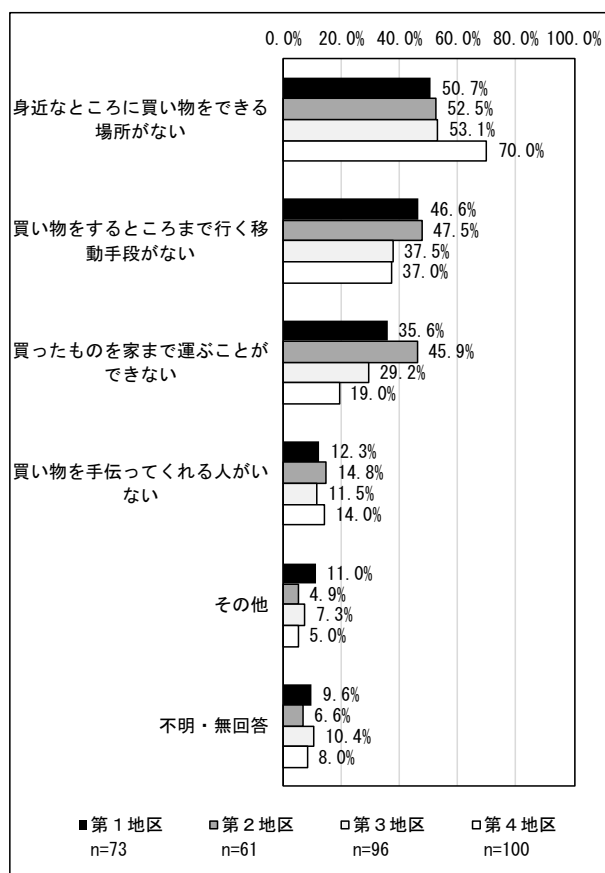
(2) -①どのようなことに不安や不便を感じていますか (MA)

- ・不安や不便を感じている回答者の、特に不安や不便を感じていることに関して「身近なところに行き買い物をできる場所がない」が56.5%と最も多く、次いで「買い物するところまで行く移動手段がない」(40.7%)、「買ったものを家まで運ぶことができない」(30.5%)、「買い物を手伝ってくれる人がいない」(13.6%)の順となっている。
- ・圏域別では、第4地区において「身近なところに行き買い物をできる場所がない」の割合が70.0%と最も高く、「買ったものを家まで運ぶことができない」が19.0%と最も低い。

■不安や不便を感じている理由【割合】



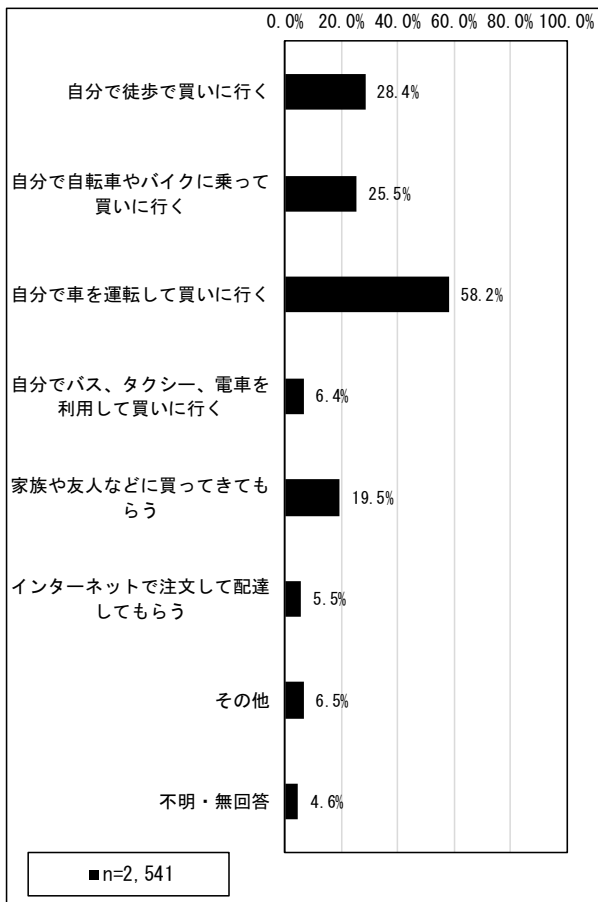
【圏域別割合】



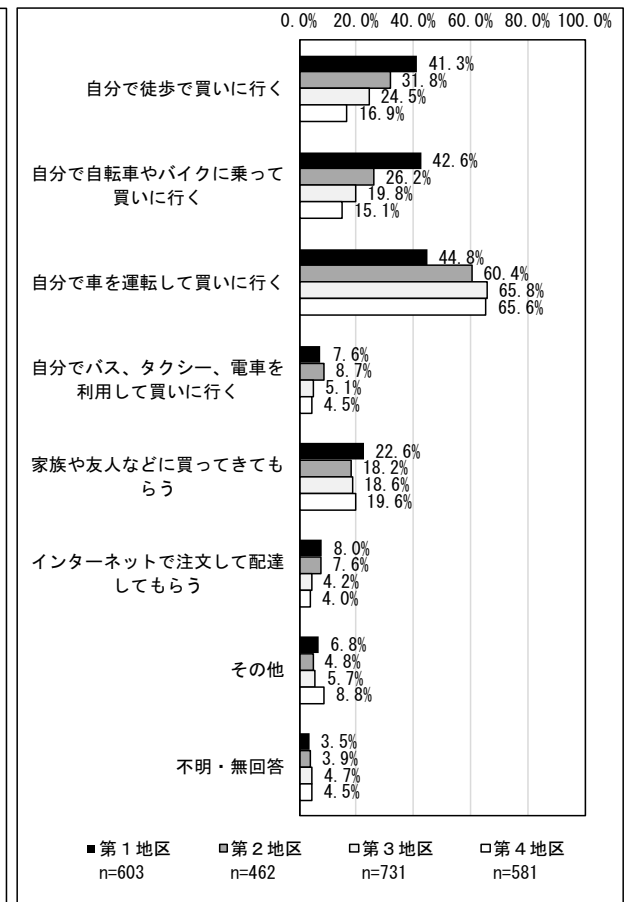
(3) あなたは生活に必要な買い物をする際、どのような方法で行っていますか (MA)

- ・生活に必要な買い物をする際の方法に関して、「自分で車を運転して買いに行く」が58.2%と最も多く、次いで「自分で徒歩で買いに行く」(28.4%)、「自分で自転車やバイクに乗って買いに行く」(25.5%)「家族や友人などを買ってきてもらう」(19.5%)の順となっている。
- ・圏域別では、第1地区を除いて「自分で車を運転して買いに行く」の割合が6割を超えている。第1地区は「自分で徒歩で買いに行く」、「自分で自転車やバイクに乗って買いに行く」、「自分で車を運転して買いに行く」が4割を超えている。

■必要な買い物をする方法【割合】



【圏域別割合】

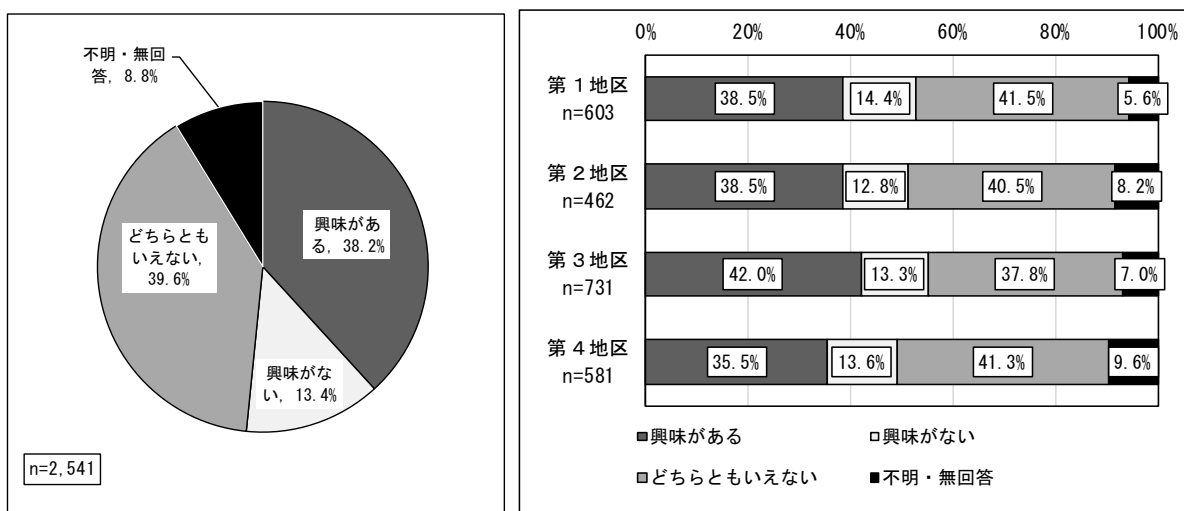


問10 見守りについて

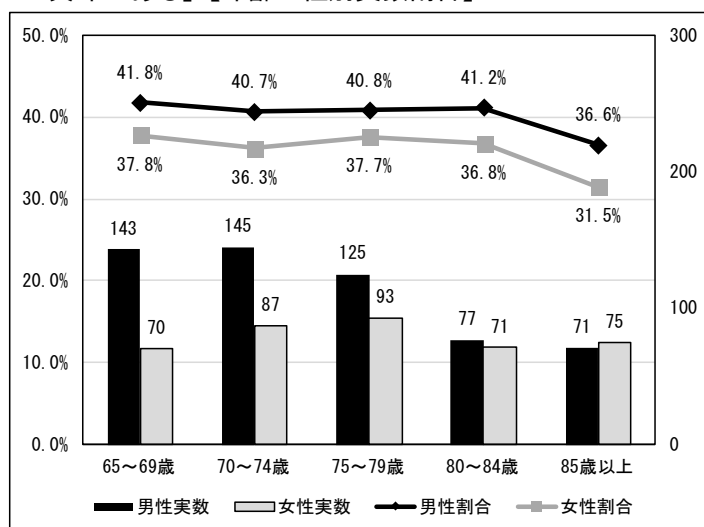
(1) 安否確認のために、自宅に見守り機能がある機器を設置するサービスについて、どう思いますか（例：感知センサーなどにより異変を検知し、親族等へ連絡するサービスなど）（SA）

- ・安否確認のために、自宅に見守り機能がある機器を設置するサービスに関して、「興味がある」が38.2%、「興味がない」が13.4%、「どちらともいえない」が39.6%と、自宅に見守り機能がある機器を設置するサービスに興味がある人は4割近くを占めている。
- ・圏域別では、第3地区において興味がある人の割合が42.0%と最も高く、第4地区において35.5%と最も低い。
- ・興味がある人の割合は、女性より男性の方が高く、男女ともにどの年齢でも3割を超えている。

■自宅に見守り機能がある機器を設置する サービスについて【割合】



■「興味がある」【年齢・性別実数割合】



【家族構成が「1人暮らし」「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の実数】

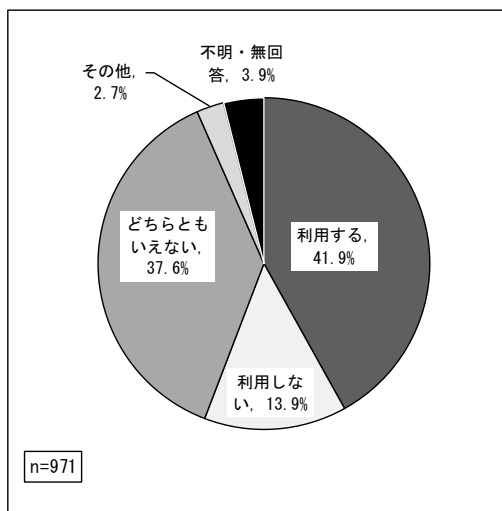
1人暮らし	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)
251	316

【(1) において「1. 興味がある」の方のみ】

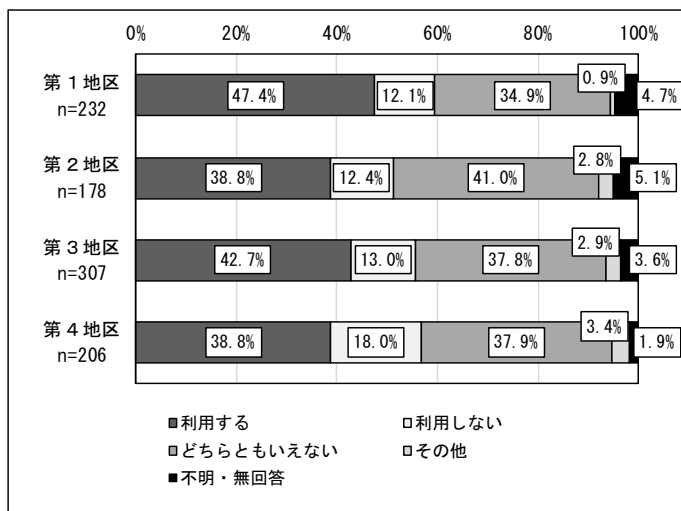
(1) —①安否確認のサービスを利用するにあたり、自己負担がかかる場合でも利用しますか (SA)

- ・安否確認のサービスを利用するにあたり、自己負担がかかる場合でも利用するかどうかに関して、「利用する」が41.9%、「利用しない」が13.9%、「どちらともいえない」が37.6%と、自己負担がかかる場合でも利用すると回答した人は4割を超えている。
- ・圏域別では、第1地区において、自己負担がかかる場合でも利用すると回答した人の割合が47.4%と最も高く、第2地区、第4地区において38.8%と最も低い。
- ・自己負担がかかる場合でも利用すると回答した人の割合は、男性は75～79歳以上が最も低い。女性は高齢なほど高い傾向にはあるが、85歳以上は低くなっている。

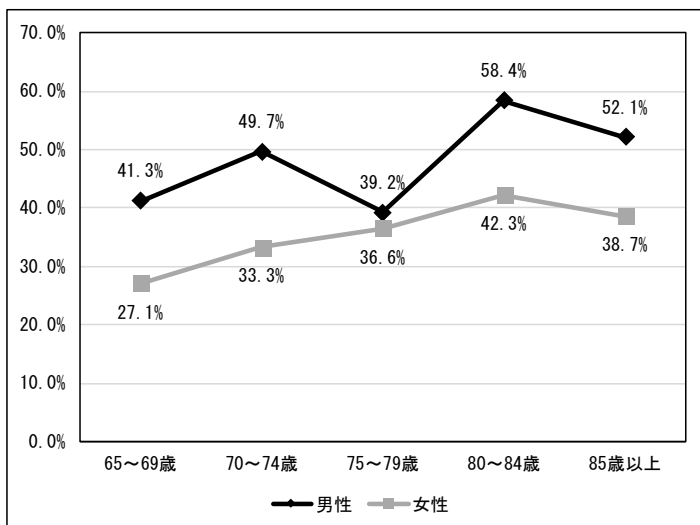
■自己負担がかかる場合でも
利用しますか【割合】



【圏域別割合】



■「利用する」【年齢・性別割合】



【実数】

	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	59	72	49	45	37
女性	19	29	34	30	29

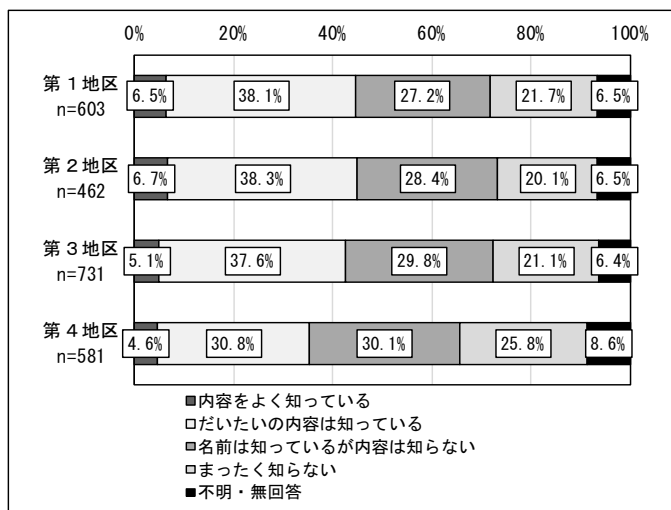
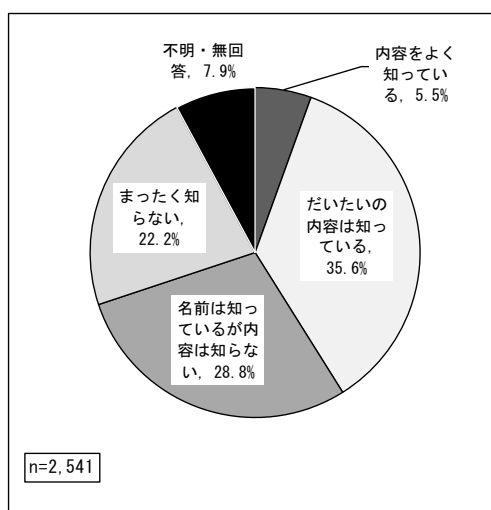
問 1 1 成年後見制度について

(1) 成年後見制度(※)を知っていますか(SA)

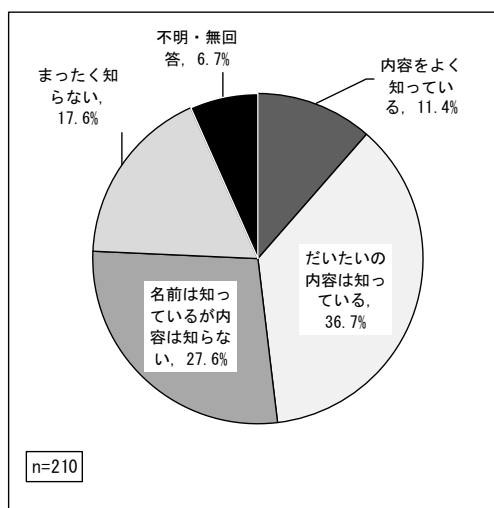
- ・成年後見制度を知っているかどうかに関して、「内容をよく知っている」が5.5%、「だいたいの内容は知っている」が35.6%と、成年後見制度を知っている人は4割であるが、「内容を知らない」、「まったく知らない」人の割合が5割と、知っている人を上回っている。
- ・圏域別では、第2地区において成年後見制度を知っている人の割合が45.0%と最も高く、第4地区において35.4%と最も低い。
- ・問8(1)で「はい」と回答した人(認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいる人)では、成年後見制度を知っている人の割合が48.1%と5割近くを占めている。

※認知症、知的障害、精神障害などによって物事を判断する能力が不十分な方を、代理人(成年後見人等)が、本人に代わって財産や権利を守り、法的に生活を支援する制度です。

■成年後見制度を知っていますか【割合】 【圏域別割合】



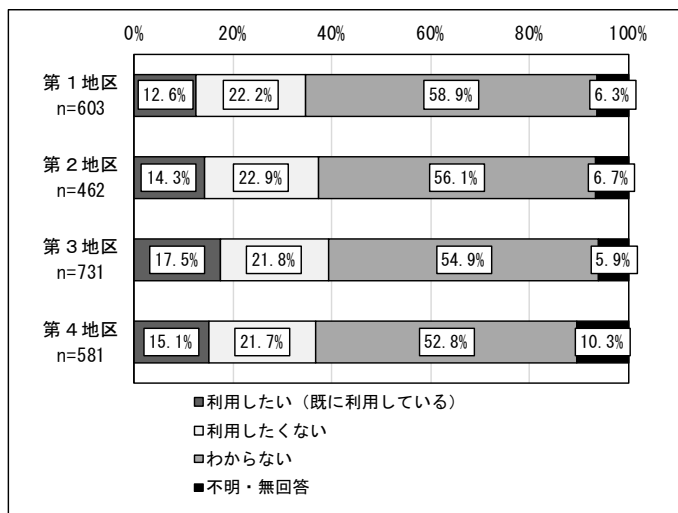
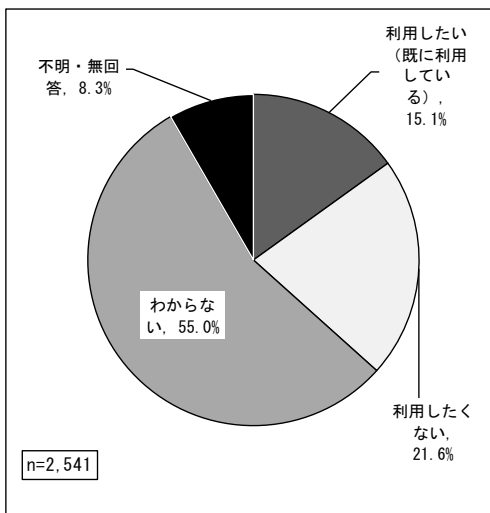
■問8(1)で「はい」と回答した人【割合】



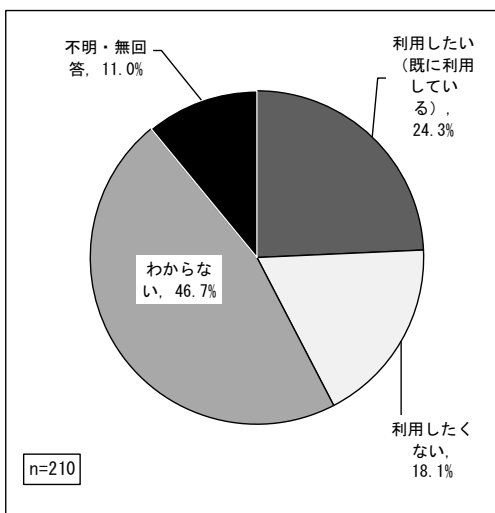
(2) あなたやご家族が認知症などによって物事を判断する能力が十分ではなくなった場合に、「成年後見制度」を利用したいと思いますか (S A)

- ・成年後見制度を利用したいかどうかに関して、「利用したい (既に利用している)」が 15.1%、「利用したくない」が 21.6%、「わからない」が 55.0%だった。
- ・圏域別では、第3地区において成年後見制度を利用したい、又は既に利用している人の割合が 17.5%と最も高く、第1地区において 12.6%と最も低い。
- ・問8(1)で「はい」と回答した人 (認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいる人) では、24.3%が成年後見制度を利用したい、又は既に利用している。

■「成年後見制度」を利用したいと思いますか【割合】 【圏域別割合】



■問8(1)で「はい」と回答した人【年齢・性別割合】

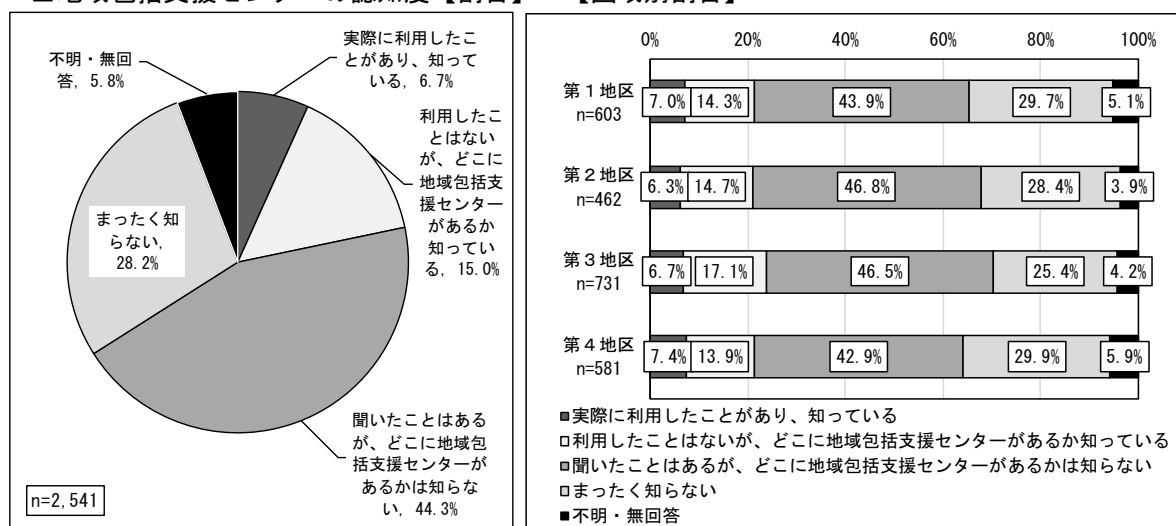


問12 相談サービスについて

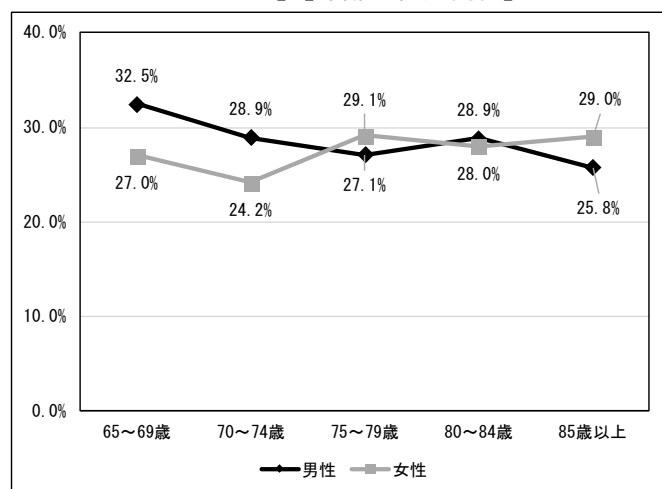
(1) 高齢者のさまざまな相談を受け付けている地域包括支援センター（高齢者サポートセンター）をご存じですか（SA）

- ・地域包括支援センター（高齢者サポートセンター）を知っているかどうかに関して、「実際に利用したことがあり、知っている」が6.7%、「利用したことはないが、どこに地域包括支援センターがあるか知っている」が15.0%と、地域包括支援センターを知っている人は2割を超えている。
- ・圏域別では、第3地区において地域包括支援センターを知っている人の割合が23.8%と最も高く、第2地区において21.0%と最も低い。
- ・地域包括支援センターをまったく知らない人の割合は、男性は65～69歳が最も高く、女性は70～74歳が最も低い。
- ・「地域包括支援センターを利用したことがある人」、「どこにあるか知っている人」は2割にとどまっているが、「聞いたことがある人」を含めると、66.0%で6割を超えている。

■地域包括支援センターの認知度【割合】 【圏域別割合】



■「まったく知らない」【年齢・性別割合】



【実数】

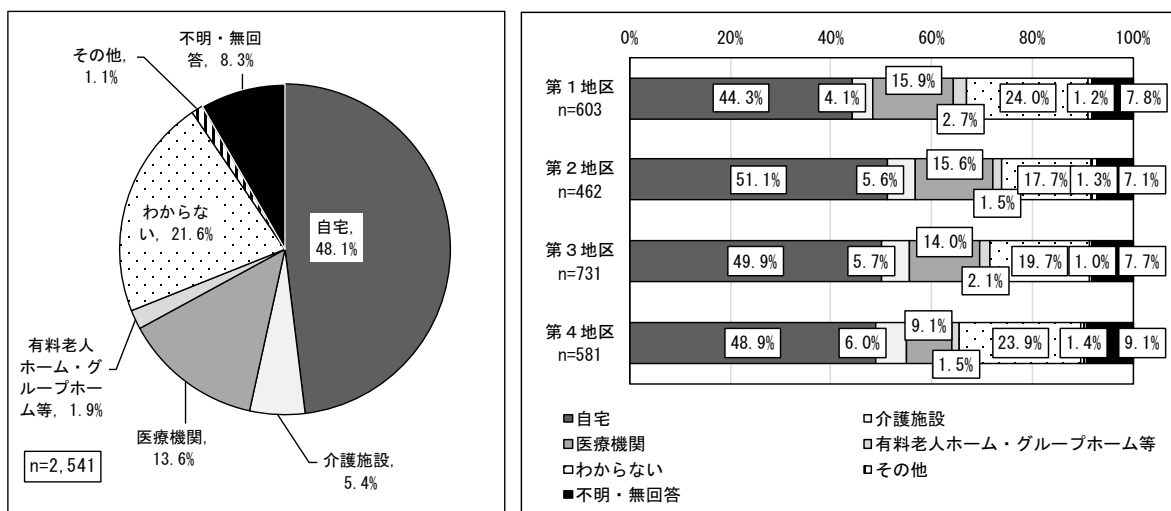
	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	111	103	83	54	50
女性	50	58	72	54	69

問13 人生の最期を迎える場所について

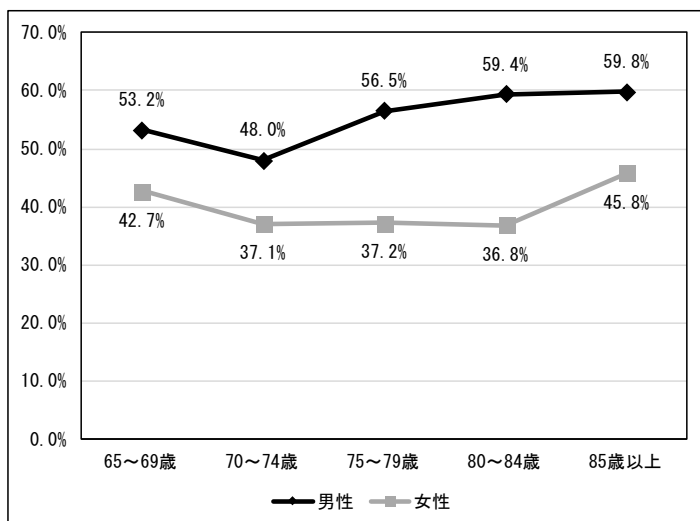
(1) あなたが将来、人生の最期を迎える場所として、希望する場所を教えてください(SA)

- ・人生の最期を迎える場所として希望する場所に関して、「自宅」が48.1%と最も高く、次いで「医療機関」が13.6%、「介護施設」が5.4%の順になっている。
- ・圏域別では、第2地区のみ「自宅」の割合が5割を超えている。
- ・「自宅」と回答した割合は、男性の方が女性より高く、70～74歳を除き5割を超えている。

■人生の最期を迎える場所として、希望する場所【割合】 【圏域別割合】



■「自宅」【年齢・性別割合】



【実数】

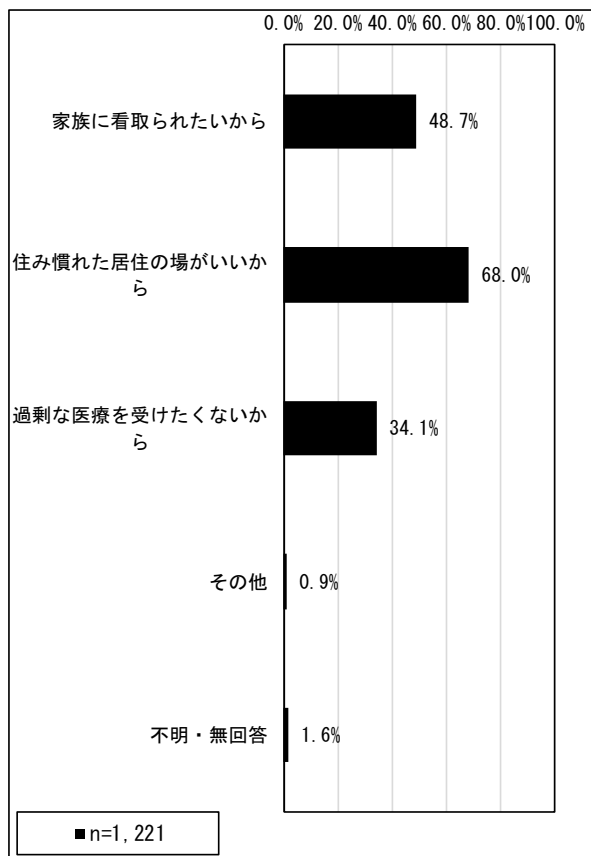
	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上
男性	182	171	173	111	116
女性	79	89	92	71	109

【(1) において「1. 自宅」の方のみ】

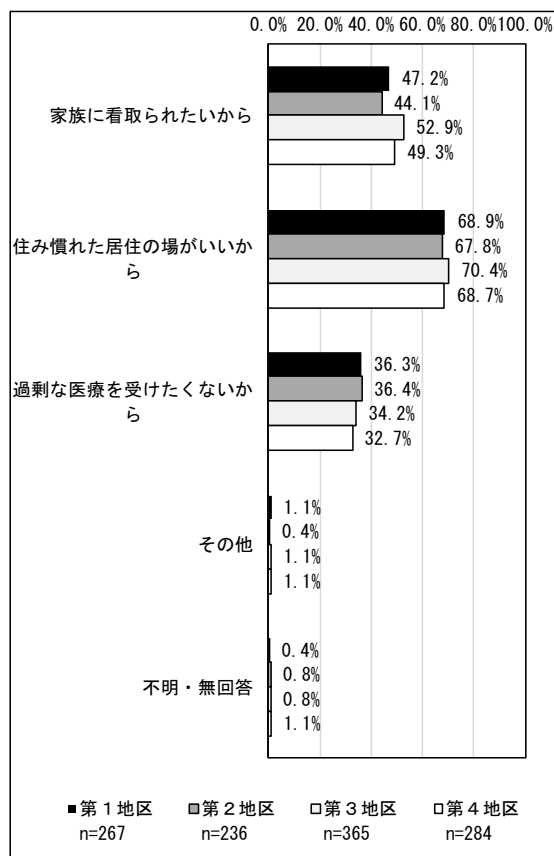
(1) —①選んだ理由は、何ですか (MA)

- ・ 自宅を選んだ理由に関して「住み慣れた居住の場がいいから」が 68.0%と最も多く、次いで「家族に看取られたいから」(48.7%)、「過剰な医療を受けたくないから」(34.1%) の順となっている。
- ・ 圏域別では、第3地区において「住み慣れた居住の場がいいから」の割合が 70.4%と最も高く、「家族に看取られたいから」も 52.9%と最も高い。

■ 自宅を選んだ理由【割合】



【圏域別割合】



【(1) において「2. 介護施設」「3. 医療機関」「4. 有料老人ホーム・グループホーム等」の方のみ】

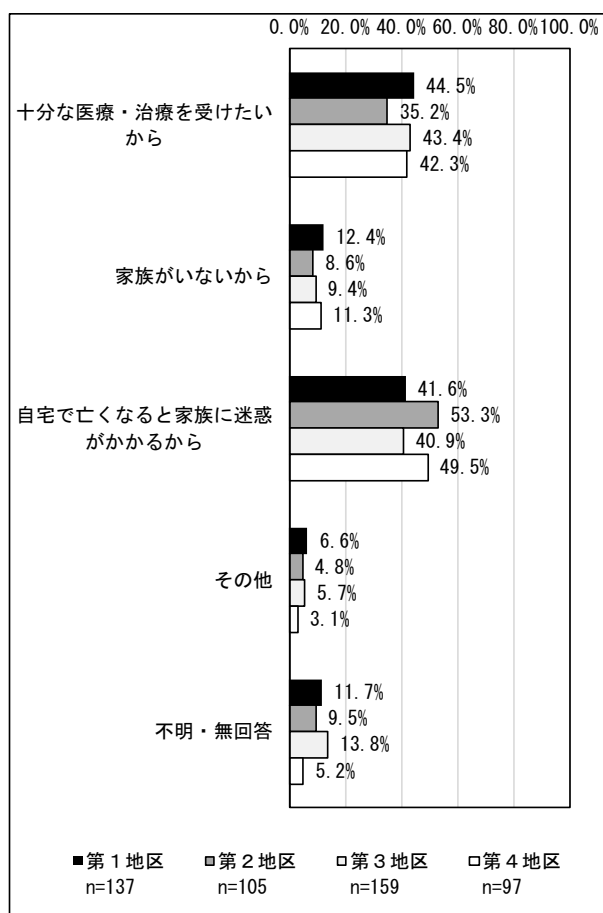
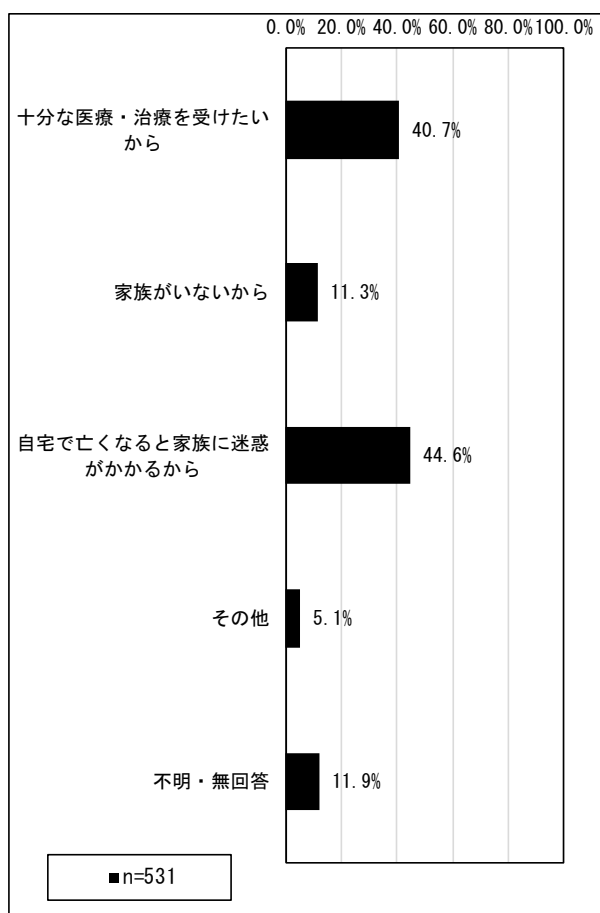
(1) —②選んだ理由は、何ですか (いくつでも)

- ・介護施設、医療機関、又は有料老人ホーム・グループホーム等を選んだ理由に関して、「自宅で亡くなると家族に迷惑がかかるから」が44.6%と最も多く、次いで「十分な医療・介護を受けたいから」(40.7%)、「家族がいないから」(11.3%)の順となっている。
- ・圏域別では、第2地区において「自宅で亡くなると家族に迷惑がかかるから」の割合が53.3%と最も高く、「十分な医療・介護を受けたいから」が35.2%と最も低い。

■介護施設、医療機関、有料老人ホーム

【圏域別割合】

・グループホーム等を選んだ理由【割合】



Ⅲ アンケート結果のまとめ

問1 あなたのご家族や生活状況について

- ・家族と同居している人が5割超え、一人暮らしが2割を超えている。第1地区は一人暮らしの割合が3割弱と最も高い。
- ・普段の生活でどなたかの介護・介助が必要としている人は1割強となっている。介護・介助が必要になった主な原因は「高齢による衰弱」が2割弱と最も高く、「骨折・転倒」、「糖尿病」、「その他」が1割を超えている。
- ・経済的に「苦しい」人は3割を超え、圏域別では第4地区、男女別では男女ともに70～74歳が最も高い。
- ・一戸建ての持ち家にお住まいの方が8割以上で、第3地区、第4地区は9割を超える。

問2 からだを動かすことについて

- ・「①運動器の機能低下」に関しては、低下している人は2割を下回っている。その割合は女性が高く、男女ともに高齢なほど高くなっており、85歳以上では男性が3割弱、女性が4割強となっている。
- ・転倒リスクのある（この1年で転んだ経験がある）人は3割以上で、約半数の人が転倒に対する不安を感じている。
- ・閉じこもり傾向のある（「ほとんど外出しない」又は「週1回」外出する）人は2割弱、外出の回数が減っている人は2割強となっている。閉じこもり傾向のある人は圏域別では、第3地区、第4地区で約2割を占め、外出の回数が減っている人は第4地区が最も高い。また、外出を控えている理由として「足腰等の痛み」が6割近くを占めているが、「交通手段がない」「トイレの心配」も2割を超えている。
- ・外出の際の移動手段は、「自動車（自分で運転）」が半数を超え、男性は80～84歳でも7割近くいる。また、「徒歩」が4割強、「自転車」が3割を超えており、どちらもその割合が第1地区が最も高く、第4地区が最も低い。

問3 食べることについて

- ・「②口腔機能低下」に関しては、低下している人が2割を超えている。その割合は女性が高く、男女ともに高齢なほど高くなっており、女性は80～84歳以上、男性は85歳以上から3割強となっている。
- ・「③低栄養状態」に関しては、低栄養状態にある人（BMIが18.5以下かつ6か月間で2～3kg以上の体重減少があったと人）は1%未満となっている。
- ・歯磨きを毎日している人は9割を超えている。入れ歯の使用は5割程度で、男女ともに高齢なほど割合が高くなる傾向にあり、85歳以上は5割を超える。また、入れ歯の噛み合わせが良くない人は2割弱となっている。
- ・誰かと食事をともにする機会がある人は9割近くで、毎日ある人が5割弱となっている。食事をともにする機会がほとんどない人は、男性の方が女性よりも高く、65～69歳、85歳以上が1割を超えている。

問4 毎日の生活について

- ・物忘れが多いと感じる人が4割強、今日の月日がわからなくなる時がある人が2割強となっており、ともに高齢なほど高くなっている。
- ・「④認知機能の低下」に関しては、機能低下している人が1割強で、その割合は第4地区において最も多い。また、男女とも高齢なほど高くなり、85歳以上では男女ともに2割強に達している。
- ・「⑤IADL（手段的日常生活動作で買い物・乗り物・財産の管理等やや複雑な動作）の評価」に関しては、評価の高い人が8割弱、評価が低い人が1割弱となっている。評価の低い人の割合は圏域別では第4地区が最も高く、男性と比べ女性が80歳以上から割合が高くなっている。
- ・新聞は8割弱、本や雑誌は7割弱の人が読んでいる。読んでいない人の割合は、新聞においては女性の方が高く、本や雑誌においては男性の方が高い。また、健康についての記事や番組に関心がある人が9割弱に達している。
- ・友人の家を訪ねていない人は5割弱、家族や友人の相談に乗っていない人は3割弱、病人を見舞うことができない人は1割強となっている。
- ・若い人に自分から話しかけることがある人は7割を超えている。話しかけることがない人は、80～84歳では女性の方が高いが、それ以外のすべての年齢において男性の割合が高い。
- ・趣味がある人、生きがいがある人が3分の2以上に達している。生きがいを感じていることに関して、「趣味や娯楽」、「友達や仲間とのつきあい」が半数を超え、「子どもや孫とのつきあい」も4割強に達している。

問5 地域での活動について

- ・地域での活動に「参加していない」人が概ね5割以上だが、「趣味関係のグループ」と「町内会・自治会」は参加割合が高い。圏域別では、どの地区も「町内会・自治会」、「趣味関係のグループ」の参加割合が高く、「(いきいきサロンなど)介護予防のための通いの場」が最も低い。地域での活動に参加することが介護予防につながると考えられる。
- ・地域づくり活動や趣味等のグループ活動に対しては、「参加者」としておよそ5割強、「企画・運営（お世話役）」として3割強が参加の意向を示している。その割合は「参加者」としては第3地区、「企画・運営（お世話役）」としては第2地区において最も高くなっている。

問6 たすけあいについて

- ・心配事や愚痴を聞いてくれる人と聞いてあげる人は、「配偶者」が4割強と最も多い。しかし、男女別では男性が「配偶者」と回答した人が6割超えの一方で、女性においては「友人」と回答した人が5割程度と最も高く、「配偶者」は2割以下に留まっており、約50%の差がある。
- ・看病や世話をしてくれる人としてあげる人は、「配偶者」が5割程度と最も多い。しかし、男女別では男性が「配偶者」と回答した人が7割程度一方で、女性においては「兄弟姉妹・親戚・親・孫」と回答した人が3割と最も高く、「配偶者」は2割強にとどまっている。
- ・家族や友人・知人以外の相談相手がいない人が4割弱となっている。その割合は年齢が上がるるとともに低くなっている。
- ・友人・知人に月1回以上会う人が6割を超え、この1か月間で6人以上の友人と会った人が3割を超えている。その割合は、ともに第1地区で最も高くなっている。また、よく会う友人・知人に関しては「近所・同じ地域の人」が5割を超えている。

問7 健康について

- ・自分を健康だと思う人の割合が7割を超えている。健康ではないと思う人は、女性については高齢なほど高くなっている。
- ・幸福感（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点とした11段階での評価）の平均点は、圏域別では第1地区、年齢別では85歳以上が最も高く、男女別では女性の方が高い。
- ・「⑥うつ傾向」に関しては、「うつ傾向にある」人が4割弱を占める。圏域別では第4地区、年齢別では年齢における差はあまりなく、男性が3割強、女性は85歳以上を除き4割強となっている。
- ・飲酒は4分の1、喫煙は1割弱がほぼ毎日飲んでいる（吸っている）。
- ・治療中又は後遺症のある病気は「高血圧」が4割強と最も多く、次いで「目の病気」が2割弱となっている。

問8 認知症にかかる相談窓口の把握について

- ・認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいる人は1割未満で、第4地区において割合が10.5%と若干高い。
- ・認知症に関する相談窓口を知っている人は3割にも満たなかった。圏域、年齢、性別においても大きな差がなく、広く相談窓口を認知されるよう取り組むことが今後の課題と言える。

問9 生活支援について

- ・普段の生活の中で将来手助けが必要だと思うことについては、「特にない」を除いて「病院の送迎、付き添い」「買い物」「庭や家周りの掃除」「調理、洗濯、掃除などの家事支援」「ゴミ出し」の順になっている。圏域別では「病院の送迎、付き添い」及び「病院以外の送迎、付き添い」が第3地区、第4地区で最も高く、「送迎、付き添い」の手助けが必要と考えられる。
- ・日用品の買い物に不安と不便を感じている人は1割強だった。不安や不便を感じている理由としては、「身近なところに買い物をできる場所がない」が最も多く、圏域別での割合は他圏域も5割越えだが、第4地区のみ7割と高い。
- ・生活に必要な買い物をする方法としては「自分で車を運転して買いに行く」が6割弱と最も多く圏域別では第2地区、第3地区、第4地区ともに6割を超えている。

問10 見守りについて

- ・自宅に見守り機能がある機器を設置するサービスについては「興味がある」人が4割近くを占めている。圏域別では大きな差はみられないが、年齢、性別においては70歳代までは、男女の差が大きく、男性の割合が高い。また、「興味がある」人のうち3割弱がひとり暮らしである。
- ・興味がある人で「自己負担がかかる場合でも利用する」人は4割を超えている。圏域別では、第1地区が5割弱と最も高い。男女別の割合は男性のほうが自己負担のかかる場合でも利用する人が多い。

問 1 1 成年後見制度について

- ・成年後見制度を知っている人は4割を超えているが、知らない人の割合が5割と、知っている人を上回っている。圏域別では、第2地区において成年後見制度を知っている人の割合が4割超えているものの、第4地区において4割弱と最も低く、他圏域より認知されていないことがうかがえる。認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がある人の中で、成年後見制度を知っている人の割合が5割近くを占めている。
- ・成年後見制度を利用したい、既に利用している人は1割強、利用したくない人が2割強と、利用したくない人が上回っている。また、半数以上が「わからない」と回答し、成年後見制度についての認知が低いことが影響している。圏域別では、利用したい、又は既に利用している人の割合が第3地区では最も高く、第1地区では最も低い。認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がある人の中で、4分の1程度が成年後見制度を利用したい、又は既に利用している。

問 1 2 相談サービスについて

- ・地域包括支援センターについて「聞いたことはあるが、どこに地域包括支援センターがあるかは知らない」、「まったく知らない」人の割合は7割を超えており、圏域別で見ても大きな差はない。地域包括支援センターの認知は2割程度にとどまっているが、「聞いたことはあるが、どこに地域包括支援センターがあるかは知らない」人の44.3%を含めると、知名度は6割となっている。相談窓口としての認知度の向上は、今後の課題と言える。

問 1 3 人生の最期を迎える場所について

- ・人生の最期を迎える場所として、自宅を希望する人が5割近くと最も高い。その理由として「住み慣れた居住の場がいいから」が7割弱と最も高く、「家族に看取られたいから」が5割弱、「過剰な医療を受けたくないから」3割強の順となっている。また、男性の方が女性より高く、70～74歳を除き5割を超えている。
- ・「介護施設」、「医療機関」、「有料老人ホーム・グループホーム等」を希望する人は2割程度にとどまっている。その理由として「自宅で亡くなると家族に迷惑がかかるから」が最も高く、特に第2地区は半数を超えている。「十分な医療・介護を受けたいから」も4割を超えており、第2地区を除き4割を超えている。

介護予防・日常生活圏域二一ズ調査 調査票

調査ご協力をお願い

日頃より福祉事業の推進にあたりまして、多大なるご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

古河市では、令和2年度に「古河市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画」の策定を予定しております。この計画策定にあたり、65歳以上の市民のみなさまのご意向を反映するため、この調査を実施するものです。

なお、ご回答いただいた内容は、計画策定のための統計資料として使用し、他に転用はいたしません。また、個人を特定できるような情報の公表は一切いたしませんので、ご安心ください。

ご多用のところお手数をおかけいたしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようよろしくお願いいたします。また、本調査票のご返送をもちまして、調査の趣旨にご同意いただいたものとさせていただきます。

令和2年1月

古河市長 針 谷 力
(公印省略)

《ご記入に際してのお願い》

1. ご回答に当たっては、あて名のご本人がお答えいただきますようお願いいたします。
ただし、ご本人が病気などで答えることが難しい時は、ご家族の方などがご本人の立場でお答えくださっても結構です。
2. お答えは特に説明のない限り、あてはまる選択肢の番号を○で囲んでください。
また、数値を記入する場合は、右詰め(例

0	6	9
---	---	---

 kg) でご記入ください。
3. 質問によっては、回答いただく方が限られている場合がありますので、質問番号の案内にご注意ください。
4. この調査で使う用語の意味は、以下の通りです。
介護・・・介護保険サービスを受けている場合のほか、認定を受けていない場合でも、
常時ご家族などの援助を受けている状態
介助・・・ご自分の意思により、一時的に他人に援助を頼んでいる状態

ご記入がすみましたら、誠に恐縮ですが同封の返信用封筒(切手は不要)に入れて、
令和2年1月31日(金)までに、郵便ポストに投函してください。

また、記入上の不明な点、調査についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。



【調査についてのお問い合わせ先】

古河市役所 健康福祉部 介護保険課／高齢福祉課
〒306-0221 古河市駒羽根 1501 番地「健康の駅」
電話 0280-92-4921 (介護保険課直通)
0280-92-5838 (高齢福祉課直通)

【(8) において「3. 現在、何らかの介護を受けている」方のみ】		
(8) ② 主にどなたの介護、介助を受けていますか (いくつでも)		
1. 配偶者 (夫・妻)	2. 息子	3. 娘
4. 子の配偶者	5. 孫	6. 兄弟・姉妹
7. 介護サービスのヘルパー	8. その他 ()	
(9) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか		
1. 大変苦しい	2. やや苦しい	3. ふう
4. ややゆとりがある	5. 大変ゆとりがある	
(10) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか		
1. 持家 (一戸建て)	2. 持家 (集合住宅)	
3. <small>こういちんたいじゅうたく</small> 公営賃貸住宅	4. <small>みんかんちんたいじゅうたく</small> 民間賃貸住宅 (一戸建て)	
5. <small>みんかんちんたいじゅうたく</small> 民間賃貸住宅 (集合住宅)	6. 借家	
7. その他		

問 2 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか			
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない	
(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか			
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない	
(3) 15分位続けて歩いていますか			
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない	
(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか			
1. 何度もある	2. 1度ある	3. ない	
(5) 転倒に対する不安は大きいですか			
1. とても不安である	2. やや不安である	3. あまり不安でない	4. 不安でない
(6) 週に1回以上は外出していますか			
1. ほとんど外出しない	2. 週1回	3. 週2～4回	4. 週5回以上
(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか			
1. とても減っている	2. 減っている		
3. あまり減っていない	4. 減っていない		

(8) 外出を控えていますか		
1. はい ⇒ (8) -①へ	2. いいえ ⇒ (9) へ	
【(8) で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】 (8) -① 外出を控えている理由は、次のどれですか (いくつでも)		
1. 病気	2. 障害 (脳卒中の後遺症など)	
3. 足腰などの痛み	4. トイレの心配 (失禁など)	
5. 耳の障害 (聞こえの問題など)	6. 目の障害	
7. 外での楽しみがない	8. 経済的に出られない	
9. 交通手段がない	10. その他 ()	
(9) 外出する際の移動手段は何ですか (いくつでも)		
1. 徒歩	2. 自転車	3. バイク
4. 自動車 (自分で運転)	5. 自動車 (人に乗せてもらう)	6. 電車
7. 路線バス	8. 病院や施設のバス	9. 車いす
10. 電動車いす (カート)	11. 歩行器・シルバーカー	12. タクシー
13. ぐるりん号、愛・あい号	14. その他 ()	

問 3 食べることについて
(1) 身長・体重
身長 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> cm 体重 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> kg
(2) 1日3食きちんと食べていますか
1. はい 2. いいえ
(3) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか
1. はい 2. いいえ
(4) お茶や汁物等でむせることがありますか
1. はい 2. いいえ
(5) 口の渇きが気になりますか
1. はい 2. いいえ
(6) 歯磨き (人にやってもらう場合も含む) を毎日していますか
1. はい 2. いいえ

(7) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です)		
1. 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用 ⇒ (7) - ①へ	2. 自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし ⇒ (8) へ	
3. 自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用 ⇒ (7) - ①へ	4. 自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし ⇒ (8) へ	
【(7) で「1. 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】 (7) - ① 毎日入れ歯の手入れをしていますか		
1. はい	2. いいえ	
(8) 噛み合わせは良いですか		
1. はい	2. いいえ	
(9) 6 か月間で 2 ～ 3kg 以上の体重減少がありましたか		
1. はい	2. いいえ	
(10) どなたかと食事をとにする機会はありますか		
1. 毎日ある	2. 週に何度かある	3. 月に何度かある
4. 年に何度かある	5. ほとんどない	

問 4	毎日の生活について	
(1) 物忘れが多いと感じますか		
1. はい	2. いいえ	
(2) 周りの人から「いつも同じことを聞く」など物忘れがあるとされますか		
1. はい	2. いいえ	
(3) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか		
1. はい	2. いいえ	
(4) 今日が何月何日かわからない時がありますか		
1. はい	2. いいえ	
(5) バスや電車を使って 1 人で外出していますか (自家用車でも可)		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(6) 自分で食品・日用品の買物をしていますか		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない

(7) 自分で食事の用意をしていますか
1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(8) 自分で請求書の支払いをしていますか
1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(9) 自分で預貯金の出し入れをしていますか
1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
(10) 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか
1. はい 2. いいえ
(11) 新聞を読んでいますか
1. はい 2. いいえ
(12) 本や雑誌を読んでいますか
1. はい 2. いいえ
(13) 健康についての記事や番組に関心がありますか
1. はい 2. いいえ
(14) 友人の家を訪ねていますか
1. はい 2. いいえ
(15) 家族や友人の相談にのっていますか
1. はい 2. いいえ
(16) 病人を見舞うことができますか
1. はい 2. いいえ
(17) 若い人に自分から話しかけることがありますか
1. はい 2. いいえ
(18) 趣味はありますか
1. 趣味あり —————→ ()
2. 思いつかない
(19) 生きがいがありますか
1. 生きがいあり ⇒ (19) -①へ
2. 思いつかない

【(19) で「1. 生きがいあり」の方のみ】		
(19) - ① あなたが生きがいを感じていることはどんなことですか (いくつでも)		
1. 働くこと	2. スポーツ・レクリエーション	3. 趣味や娯楽
4. ボランティア活動	5. 老人クラブ活動	6. 自治会等活動
7. 異性との交流	8. 家族との団らん	9. 子どもや孫とのつきあい
10. 友達や仲間とのつきあい	11. 隣近所とのつきあい	12. 旅行
13. その他 ()		

問 5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか
 ※① - ⑧それぞれに回答してください

① ボランティアのグループ
 1. 週 4 回以上 2. 週 2～3 回 3. 週 1 回 4. 月 1～3 回 5. 年に数回 6. 参加していない

② スポーツ関係のグループやクラブ
 1. 週 4 回以上 2. 週 2～3 回 3. 週 1 回 4. 月 1～3 回 5. 年に数回 6. 参加していない

③ 趣味関係のグループ
 1. 週 4 回以上 2. 週 2～3 回 3. 週 1 回 4. 月 1～3 回 5. 年に数回 6. 参加していない

④ 学習・教養サークル
 1. 週 4 回以上 2. 週 2～3 回 3. 週 1 回 4. 月 1～3 回 5. 年に数回 6. 参加していない

⑤ (いきいきサロンなど) 介護予防のための通いの場
 1. 週 4 回以上 2. 週 2～3 回 3. 週 1 回 4. 月 1～3 回 5. 年に数回 6. 参加していない

⑥ 老人クラブ
 1. 週 4 回以上 2. 週 2～3 回 3. 週 1 回 4. 月 1～3 回 5. 年に数回 6. 参加していない

⑦ 町内会・自治会
 1. 週 4 回以上 2. 週 2～3 回 3. 週 1 回 4. 月 1～3 回 5. 年に数回 6. 参加していない

⑧ 収入のある仕事
 1. 週 4 回以上 2. 週 2～3 回 3. 週 1 回 4. 月 1～3 回 5. 年に数回 6. 参加していない

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

問 6	たすけあいについて あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします		
(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）			
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども	
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人	
7. その他（	）	8. そのような人はいない	
(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）			
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども	
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人	
7. その他（	）	8. そのような人はいない	
(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）			
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども	
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人	
7. その他（	）	8. そのような人はいない	
(4) 反対に、看病や世話をしあげる人（いくつでも）			
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども	
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人	
7. その他（	）	8. そのような人はいない	
(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（いくつでも）			
1. 自治会・町内会・老人クラブ	2. 社会福祉協議会・民生委員		
3. ケアマネジャー	4. 医師・歯科医師・看護師		
5. 地域包括支援センター（高齢者サポートセンター）・市役所			
6. その他（	）	7. そのような人はいない	
(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか			
1. 毎日ある	2. 週に何度かある	3. 月に何度かある	
4. 年に何度かある	5. ほとんどない		
(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか 同じ人には何度会っても1人と数えることとします			
1. 0人（いない）	2. 1～2人	3. 3～5人	
4. 6～9人	5. 10人以上		
(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか（いくつでも）			
1. 近所・同じ地域の人	2. 幼なじみ	3. 学生時代の友人	
4. 仕事での同僚・元同僚	5. 趣味や関心が同じ友人		
6. ボランティア等の活動での友人			
7. その他（	）	8. いない	

問 7 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか

1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない

(2) あなたは、現在どの程度幸せですか

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、○をつけてください)

とても不幸 0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点 とても幸せ


(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

1. はい 2. いいえ

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

1. はい 2. いいえ

(5) お酒は飲みますか

1. ほぼ毎日飲む 2. 時々飲む 3. ほとんど飲まない
4. もともと飲まない

(6) タバコは吸っていますか

1. ほぼ毎日吸っている 2. 時々吸っている 3. 吸っていたがやめた
4. もともと吸っていない

(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (いくつでも)

1. ない 2. 高血圧 3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)
のうぞうちゅう のうしゅっけつ のうこうそくなど
4. 心臓病 5. 糖尿病 6. 高脂血症 (脂質異常)
とうようびょう こうしけっしょう しつじしょう
7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等) 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気
9. 腎臓・前立腺の病気 10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)
じんぞう ぜんりつせん きんこつかく こつそ ししょう
11. 外傷 (転倒・骨折等) 12. がん (悪性新生物) 13. 血液・免疫の病気
がいしょう てんとう こっせつなど がん じんせいしんぶつ けつえき めんえき
14. うつ病 15. 認知症 (アルツハイマー病等) 16. パーキンソン病
にんちしょう にんちしょう アルツハイマー病等 パーキンソン病
17. 目の病気 18. 耳の病気 19. その他 ()

問 8 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか

1. はい 2. いいえ

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか

1. はい 2. いいえ

問 9	生活支援について															
(1) あなたは、普段の生活の中で将来手助けが必要だと思うこと（または手助けして欲しいこと）は何かありますか（いくつでも）																
<table border="0"> <tr> <td>1. ごみ出し</td> <td>2. 買い物</td> <td>3. 調理、洗濯、掃除などの家事支援</td> </tr> <tr> <td>4. 庭や家周りの掃除</td> <td colspan="2">5. 家事以外の支援（電球交換、家具の移動など）</td> </tr> <tr> <td>6. 病院の送迎、付き添い</td> <td colspan="2">7. 病院以外の送迎、付き添い</td> </tr> <tr> <td>8. 声かけ・見守り</td> <td colspan="2">9. 金銭管理・書類の確認</td> </tr> <tr> <td>10. 特になし</td> <td colspan="2">11. その他（ ）</td> </tr> </table>		1. ごみ出し	2. 買い物	3. 調理、洗濯、掃除などの家事支援	4. 庭や家周りの掃除	5. 家事以外の支援（電球交換、家具の移動など）		6. 病院の送迎、付き添い	7. 病院以外の送迎、付き添い		8. 声かけ・見守り	9. 金銭管理・書類の確認		10. 特になし	11. その他（ ）	
1. ごみ出し	2. 買い物	3. 調理、洗濯、掃除などの家事支援														
4. 庭や家周りの掃除	5. 家事以外の支援（電球交換、家具の移動など）															
6. 病院の送迎、付き添い	7. 病院以外の送迎、付き添い															
8. 声かけ・見守り	9. 金銭管理・書類の確認															
10. 特になし	11. その他（ ）															
(2) あなたは、日用品の買い物に不安と不便を感じていますか																
1. 感じている 2. 感じていない																
【(2) において「1. 感じている」の方のみ】																
(2) - ① どのようなことに不安や不便を感じていますか（いくつでも）																
<table border="0"> <tr><td>1. 身近なところに買い物をできる場所がない</td></tr> <tr><td>2. 買い物するところまで行く移動手段がない</td></tr> <tr><td>3. 買ったものを家まで運ぶことができない</td></tr> <tr><td>4. 買い物を手伝ってくれる人がいない</td></tr> <tr><td>5. その他（ ）</td></tr> </table>		1. 身近なところに買い物をできる場所がない	2. 買い物するところまで行く移動手段がない	3. 買ったものを家まで運ぶことができない	4. 買い物を手伝ってくれる人がいない	5. その他（ ）										
1. 身近なところに買い物をできる場所がない																
2. 買い物するところまで行く移動手段がない																
3. 買ったものを家まで運ぶことができない																
4. 買い物を手伝ってくれる人がいない																
5. その他（ ）																
(3) あなたは生活に必要な買い物をする際、どのような方法で行っていますか（いくつでも）																
<table border="0"> <tr><td>1. 自分で徒歩で買いに行く</td></tr> <tr><td>2. 自分で自転車やバイクに乗って買いに行く</td></tr> <tr><td>3. 自分で車を運転して買いに行く</td></tr> <tr><td>4. 自分でバス、タクシー、電車を利用して買いに行く</td></tr> <tr><td>5. 家族や友人などに買ってきてもらう</td></tr> <tr><td>6. インターネットで注文して配達してもらう</td></tr> <tr><td>7. その他（ ）</td></tr> </table>		1. 自分で徒歩で買いに行く	2. 自分で自転車やバイクに乗って買いに行く	3. 自分で車を運転して買いに行く	4. 自分でバス、タクシー、電車を利用して買いに行く	5. 家族や友人などに買ってきてもらう	6. インターネットで注文して配達してもらう	7. その他（ ）								
1. 自分で徒歩で買いに行く																
2. 自分で自転車やバイクに乗って買いに行く																
3. 自分で車を運転して買いに行く																
4. 自分でバス、タクシー、電車を利用して買いに行く																
5. 家族や友人などに買ってきてもらう																
6. インターネットで注文して配達してもらう																
7. その他（ ）																

問 10	見守りについて						
(1) 安否確認のために、自宅に見守り機能がある機器を設置するサービスについて、どう思いますか（例：感知センサーなどにより異変を検知し、親族等へ連絡するサービスなど）							
1. 興味がある 2. 興味がない 3. どちらともいえない							
【(1) において「1. 興味がある」の方のみ】							
(1) - ① 安否確認のサービスを利用するにあたり、自己負担がかかる場合でも利用しますか							
<table border="0"> <tr> <td>1. 利用する</td> <td>2. 利用しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. どちらともいえない</td> <td colspan="2">4. その他（ ）</td> </tr> </table>		1. 利用する	2. 利用しない		3. どちらともいえない	4. その他（ ）	
1. 利用する	2. 利用しない						
3. どちらともいえない	4. その他（ ）						

問 11 成年後見制度について

(1) 成年後見制度（※）を知っていますか

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1. 内容をよく知っている | 2. だいたいの内容は知っている |
| 3. 名前は知っているが内容は知らない | 4. まったく知らない |

※認知症、知的障害、精神障害などによって物事を判断する能力が不十分な方を、代理人（成年後見人等）が、本人に代わって財産や権利を守り、法的に生活を支援する制度です

(2) あなたやご家族が認知症などによって物事を判断する能力が十分ではなくなった場合に、「成年後見制度」を利用したいと思いますか

- | | | |
|--------------------|------------|----------|
| 1. 利用したい（既に利用している） | 2. 利用したくない | 3. わからない |
|--------------------|------------|----------|

問 12 相談サービスについて

(1) 高齢者のさまざまな相談を受け付けている地域包括支援センター（高齢者サポートセンター）をご存じですか

1. 実際に利用したことがあり、知っている
2. 利用したことはないが、どこに地域包括支援センターがあるか知っている
3. 聞いたことはあるが、どこに地域包括支援センターがあるかは知らない
4. まったく知らない

問 13 人生の最期を迎える場所について

(1) あなたが将来、人生の最期を迎える場所として、希望する場所を教えてください

- | | | | |
|----------|-----------|---------|---------------------|
| 1. 自宅 | 2. 介護施設 | 3. 医療機関 | 4. 有料老人ホーム・グループホーム等 |
| 5. わからない | 6. その他（ ） | | |

【(1) において「1. 自宅」の方のみ】

(1) -① 選んだ理由は、何ですか（いくつでも）

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 家族に看取られたいから | 2. 住み慣れた居住の場がいいから |
| 3. 過剰な医療を受けたくないから | 4. その他（ ） |

【(1) において「2. 介護施設」「3. 医療機関」「4. 有料老人ホーム・グループホーム等」の方のみ】

(1) -② 選んだ理由は、何ですか（いくつでも）

- | | |
|------------------------|-------------|
| 1. 十分な医療・介護を受けたいから | 2. 家族がいないから |
| 3. 自宅で亡くなると家族に迷惑がかかるから | 4. その他（ ） |

以上で調査は終了です。
ご協力ありがとうございました。

記入もれがないか、今一度お確かめください。
記入した調査票を切り離すことなく、**送付されたもの全てを3つ折り**にして、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに投函してください。

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 報告書

古河市 健康福祉部 介護保険課/高齢福祉課

〒306-0221 茨城県古河市駒羽根 1501 番地「健康の駅」

Tel:0280-92-4921 (介護保険課)

0280-92-5838 (高齢福祉課)